Panasonic

取扱説明書

CATV デジタル セットトップボックス

品番 TZ-BDT910M
TZ-BDT910F
TZ-BDT910P

このたびは、ケーブルテレビ局にご加入くださいまして、まことにありがとうございました。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用の前に**「安全上のご注意」(207 ～213ページ)を必ずお読みください。**
- この取扱説明書は大切に保管してください。
- 取扱説明書は、TZ-BDT910M、TZ-BDT910F、TZ-BDT910P 共用ですが、機種により接続と設定内容が異なります。

安全上のご注意
視聴
録画
再生
編集
ダビング
他の機器と
写真／音楽
便利機能
接続・設定
必要なとき

本機の「特長」

「デジタル放送を楽しむ」

地上デジタル　BSデジタル　CATVデジタル

本機は、地上・BSデジタル放送、日本ケーブルラボ標準デジタル放送を受信するCATV用デジタルセットトップボックスです。

サービス内容により放送内容が異なります。詳しくは、ご加入のケーブルテレビ局にお問い合わせください。

「ハイビジョンで楽しむ」

▶ 27,30ページ

デジタル放送のハイビジョン番組をハイビジョン画質で録画できます。

「録画が便利!」

2番組同時録画

▶ 45ページ

見たいデジタル放送の番組が重なっても、両方ともハイビジョン画質で録画できます。

「3D映像を楽しむ」

▶ 58ページ

3D対応テレビと接続し、臨場感にあふれた、迫力ある3D映像をお楽しみいただけます。

「番組を持ち出す」

▶ 97ページ

録画した番組を携帯電話などのモバイル機器に持ち出して楽しむことができます。

「思い出を見よう!残そう!」

動　画

▶ 51,86ページ

ビデオカメラなどで撮影した動画の取り込みができます。

ハイビジョン動画(AVCHD)の場合、再生もできます。

写　真

▶ 91,94ページ

デジタルカメラなどで撮った写真の再生や取り込みができます。

「ネットワークにつないで楽しむ」

ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容によりご利用いただけない場合があります。

テレビでネット ▶ 104ページ

テレビでいろいろな情報を見ることができます。

ブロードバンドレシーバー機能 ▶ 145ページ

外出先から本機の録画予約ができます。

ドアホン・センサーカメラ録画 ▶ 102ページ

留守中の訪問客などを記録することができます。

お部屋ジャンプリンク(DLNA) ▶ 108ページ

本機に録画した映像を別の部屋で見ることや、
別の部屋にある機器の映像を見ることができます。

1ヵ月の番組表 ▶ 33ページ

1ヵ月の番組表を表示することができます。※1

※1 ネットワークで番組情報を提供している放送局のみ
（2011年2月現在、WOWOWのみ）

注目番組 ▶ 35ページ

注目番組を表示することができます。※2

※2 ネットワークで番組情報を提供している放送局のみ
（2011年2月現在、NHK、WOWOWのみ）

機種ごとの相違点について

機種＼相違点	デジタル放送の変調方式	ケーブルモデム
TZ-BDT910M	トランスモジュレーション※3	あり
TZ-BDT910F	トランスモジュレーション※3 パススルー※4	あり
TZ-BDT910P	トランスモジュレーション※3 パススルー※4	なし

※３　トランスモジュレーションとは、CATV 局で受信した放送波の変調方式や周波数を変換して送出する方法のことをいいます。地上デジタル放送の場合、OFDM を 64QAM に変換して送出します。

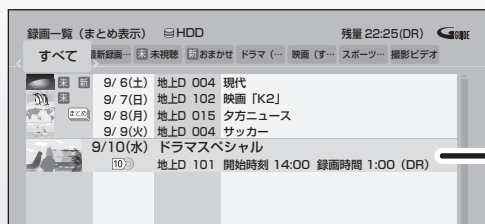
※４　パススルーとは、CATV 局で受信した放送波の変調方式を変えずに送出する方法のことをいいます。

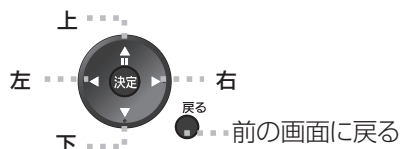
「操作」についてのご案内

本書では、本機の操作方法を説明しています。
紙の取扱説明書以外にも、目的別に以下のガイドで本機の操作をご案内しています。

1 機器操作は　表示中の画面で確認

画面上で、機能説明や操作できるボタンの表示などを確認できます。

例）操作できるボタンの表示

選択中の項目は黄色で表示

基本的な操作は、リモコンの上下左右ボタンと決定ボタンを使います。

2 音声で案内　音声ガイド

機器の操作を音声や操作音で確認できます。

- ご使用になる場合は、初期設定「音声ガイド機能」を「入」に設定してください。(➔152)
- [音声切換]（ふた内部）を3秒以上押すと、設定画面を直接表示することができます。

もくじ　「安全上のご注意」を必ずお読みください(➜207～213ページ)

● 本書内の表現について 11
● 各部のはたらき 12
●本体 12
●本体表示窓 13
●リモコン 13
● ディスク・SD カードを入れる 15
●ディスク 15
●SD カード 15
● 記録できるディスクについて 16
● 操作の前に 20
●本機の映像をテレビに映す 20
●本機の電源を切る 20
●画面上の基本操作について 20

番組

視聴

● テレビ放送を見る 21
●その他の選局方法 21
●データ放送を見る 22
●有料番組を見る 23
●番組視聴中の便利な機能 24

録画

● 録画する 27
●録画中のいろいろな操作 28
●録画しながら再生する 28
●ぴったり録画 29
● 予約録画する 30
●番組表を使って HDD に予約録画する 30
●番組表を使ってディスクに予約録画する 31
●番組表の見かた 32
●番組表の表示設定 33
●注目番組一覧から予約録画する 35
●番組を検索して予約録画する 36
●新番組を自動で予約録画する 37
●選んでいる番組に関連した番組を
予約録画する 37
●詳細設定をする 38
●日時を指定して予約録画する
（時間指定予約） 40
●予約内容の確認、取り消し、修正など 41
●番組表での予約の取り消し / 修正 42
●録画中の予約録画を止める 42
●予約録画の便利な機能 43
●予約録画に関するお知らせ 44
● 番組の同時録画について 45
● 録画モードについて 46
● 記録の制限について 48
● 多重音声の記録について 49

（➜ 次ページにつづく）

再生

● 再生する 50
- ●録画した番組を再生する 50
- ●市販またはレンタルの BD ビデオや DVD ビデオを再生する 50
- ●撮影したハイビジョン動画(AVCHD) を再生する...51
- ●録画一覧について 52
- ● まとめ 番組について 55
- ●再生中のいろいろな操作..............................56
- ●3D 映像を楽しむ 58
- ●BD-Live、e-move 対応の BD ビデオや 副映像のある BD ビデオを楽しむには.........60
- ●他の機器で作成したプレイリストの再生.....61
- ●信号切換や再生方法の設定などをする.........62

編集

● 番組を編集する..65
● チャプターの作成・再生・編集 68
- ●チャプターマークを作成する / 削除する.....68
- ●チャプターを再生・編集する 69

● 番組を消去する..70

ダビング

● 番組のダビングについて........................... 71
● 番組をダビングする 72
- ●かんたんダビング 72
- ●詳細ダビング.. 74
- ●ファイナライズ後のディスク (DVD ビデオ)をダビングする.................... 76
- ●再生中番組の保存 78

● ダビング時の動作について........................ 79
- ●高速でダビングできる場合 80
- ●高速でダビングできない場合 (1 倍速ダビングになる場合)...................... 81

他の機器と

● レコーダー・ビデオデッキ・ビエラから ダビングする... 82
- ●i.LINK(TS)を使ってダビングする 83
- ●ネットワークを使ってダビングする............ 84

● ビデオカメラからダビングする 85
- ●ハイビジョン動画(AVCHD)を取り込む..... 86
- ●MPEG2 動画を取り込む(ダビング) 87
- ●接続した DV 機器を再生して ダビングする 88
- ●DV おまかせ取込.. 88

● i.LINK(TS)対応機器を操作する 90
- ●i.LINK(TS)対応機器を再生する 90

写真

● 写真を再生する......91
●写真再生のいろいろな機能......92
● 写真の整理をする......93
● 写真を取り込む / 書き出す......94
●写真を取り込む......94
●写真を書き出す......95

音楽

● 音楽 CD を再生する......96
●再生中のいろいろな操作......96

便利機能

● 録画した番組をモバイル機器に持ち出す......97
●持ち出し番組を作成する......98
●ネットワーク経由で持ち出す(転送)......99
●SD/USB 経由で持ち出す(転送)......99
●転送した番組を確認･消去する......101
● ドアホンやセンサーカメラから録画された映像を再生する......102
●録画された映像を再生する......102
●録画された映像を編集する......103
● インターネットを利用した情報を見る......104
●アクトビラからダウンロードする......106
●動画共有サイトなどのサービスを利用する......107
● お部屋ジャンプリンク(DLNA)を使う......108
●別の部屋のテレビなどで見る(サーバーとして使用する)......108
●別の部屋の機器の映像を見る(クライアントとして使用する)......110
● 文字入力......111
●文字パネル方式で文字入力する......111
●携帯電話(リモコンボタン)方式で文字入力する......112
● ビエラリンク(HDMI)を使う......114
● 本機で記録できるようにする(フォーマット)......118
● ディスク名入力 / ディスクプロテクト / 全番組消去......120
● 他の機器で再生できるようにする(ファイナライズ)......121

(➜ 次ページにつづく)

接続・設定

- テレビやケーブル宅内線と接続する 122
- アンプと接続する 125
  - HDMI 端子で接続する 125
  - デジタル音声端子で接続する 126
- i.LINK 対応機器と接続する 126
- ネットワーク接続をする 127
- IC カードを挿入する 131
- 電源コードを接続する 132
- 設置設定をする 133
  - チャンネル設定をする 133
  - 視聴チャンネルを表示させる 135
  - 地域設定を修正する 135
  - B-CAS/C-CAS カードのテストをする 136
- 接続した端子に合わせて設定する 137
- テレビ画面の横縦比を変更する 139
- リモコン設定をする 140
- ネットワークの設定をする 142
- ネットワーク連携する機器の設定をする ... 144
- いろいろな情報を見る(メール / 情報) 147
- 放送設定を変える(放送設定) 149
- 本機の設定を変える(初期設定) 152
- デジタル出力される音声と接続・設定の関係 161
- ソフトウェアの更新について 162

必要なとき

- 受信できるテレビ放送について 163
- 同時操作について 164
  - 番組の録画中·ダビング中にできる操作 ... 164
  - 他の操作を実行中の予約録画の動作 165
- 再生のみできるディスク / 使えないディスクについて 166
  - 再生のみできるディスク 166
  - 本機で使えないディスク 166
- SD カードについて 167
- USB 機器について 168
  - USB 機器を接続する 168
- 取り扱いについて 169
- こんな表示が出たら 172
- 故障かな !? 177
- 操作一覧について 189
- 表示マーク一覧 190
  - 番組内容画面 190
  - 予約一覧画面 191
  - 録画一覧、写真一覧、曲一覧画面 192
  - ダビング、持ち出し番組一覧画面 193
  - その他の画面 193
- 用語解説 194
- 仕様 197
- 安全上のご注意 207
- さくいん 214

本機の温度上昇について

本機を使用中は温度が高くなりますが、性能・品質には問題ありません。本機の移動やお手入れなどをするときは、電源を切って電源コードを抜いてから３分以上待ってください。

- 本機の温度が気になる場合は、ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。

本機が操作を受けつけなくなったときは…

[電源⏻/I]を3秒以上押す

電源⏻/I

本機がリセットされ、電源が切れます。

故障かな！？と思った場合 ➜ 177

本機を返却するときは

170ページをご覧ください。

番組などの消去について

本機での番組消去、部分消去、チャプター消去などの消去機能は、一度実行すると元に戻すことはできません。
よく確認してから実行してください。

インターネットの閲覧制限機能について

本機には、インターネットを見る際に、お子様などに見せたくないホームページやブログなどを見ることを制限するための機能が組み込まれています。お子様などが本機を使ってインターネットをご覧になる家庭では、この制限機能の利用をおすすめします。
この制限機能をご使用の場合は、下記の設定を行ってください。

- **パスワードロック機能**
  パスワード（暗証番号）を設定することで、インターネットへのアクセスを制限することができます。
  ・パスワード（暗証番号）設定方法
  （➜150「制限項目設定」）
  ・インターネットへのアクセス制限設定
  （ブラウザ制限を［**ブラウザ**］ボタンを押したときに暗証番号の入力が必要となる設定にする）**（➜104、150「ブラウザ制限」）**

無許可コピーコンテンツの利用制限について

本機は著作権を保護するために、以下の技術を採用しています。

Cinaviaの通告
この製品はCinavia技術を利用して、商用制作された映画や動画およびそのサウンドトラックのうちいくつかの無許可コピーの利用を制限しています。
無許可コピーの無断利用が検知されると、メッセージが表示され再生あるいはコピー（ダビング）が中断されます。
Cinavia技術に関する詳細情報は、http://www.cinavia.comのCinaviaオンラインお客様情報センターで提供されています。
Cinaviaについての追加情報を郵送でお求めの場合、Cinavia Consumer Information Center, P.O. Box 86851, San Diego, CA, 92138, USAまではがきを郵送してください。

- **本機の受信周波数帯域に相当する周波数を用いた機器とは離してご使用ください。**
  本機の受信周波数帯域(90 MHz～770 MHz)に相当する周波数を用いた携帯電話などの機器を、本機やケーブルテレビ宅内線の途中に接続している機器に近づけると、その影響で映像･音声などに不具合が生じる場合があります。それらの機器とは離してご使用ください。
- **視聴記録の送信について**
  IC カードに記録されている視聴記録データは、定期的に自動送信されます。
- **本機は性能向上のためダウンロードを行う場合があります。ダウンロードを実行するには、本機の電源を「切」にしてください。**
  電源プラグをはずしたり、電源「入」にしているとダウンロードが実行されません。ダウンロードを実行するため、視聴時以外は電源を「切」にしてください。
- 本機に組み込まれているソフトウェアの解析、変更、改造などを行わないでください。
- メールや購入記録、データ送信のポイントなどのデジタル放送に関する情報は、本機が記憶します。万一、本機の不具合によって、これらの情報が消失した場合、復元は不可能です。その内容の補償についてはご容赦ください。
- 国外でこの製品を使用して有料放送サービスを享受することは、有料サービス契約上禁止されています。
- B-CAS カードおよび C-CAS カードは地上･BS･CS デジタル放送、日本ケーブルラボ標準デジタル放送を視聴していただくために、お客様へ貸与された大切なカードです。お客様の責任で破損、故障、紛失などが発生した場合は、再発行費用が請求されます。

- この取扱説明書のイラストや画面はイメージであり、実際とは異なる場合があります。

本書内の表現について

●本書内で参照していただくページを(➔○○)で示しています。
●ディスクなどの表示を以下のマークで表示しています。

ディスクなど	表示マーク
HDD	HDD
BD-RE※	BD-RE
BD-R※	BD-R
BD ビデオ	BD-V
DVD-RAM	RAM
DVD-R	-R
DVD-R DL	
DVD-RW	-RW

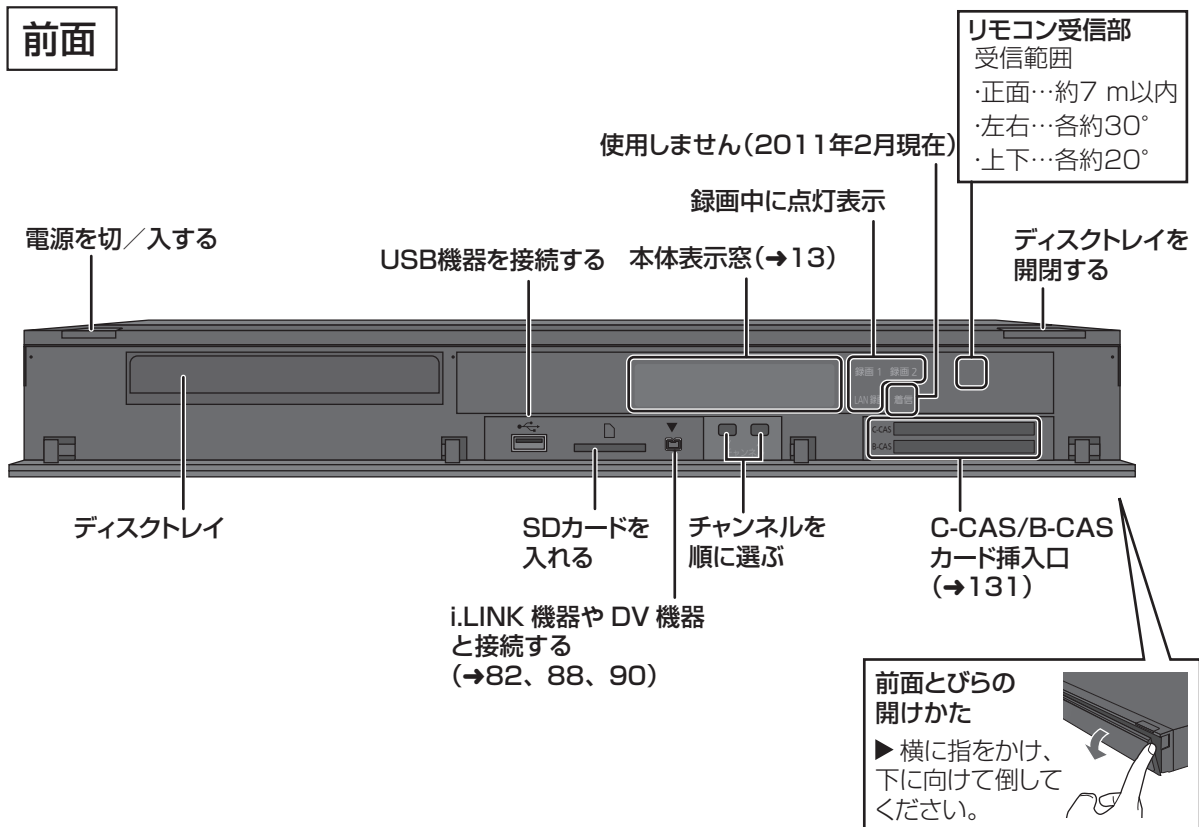
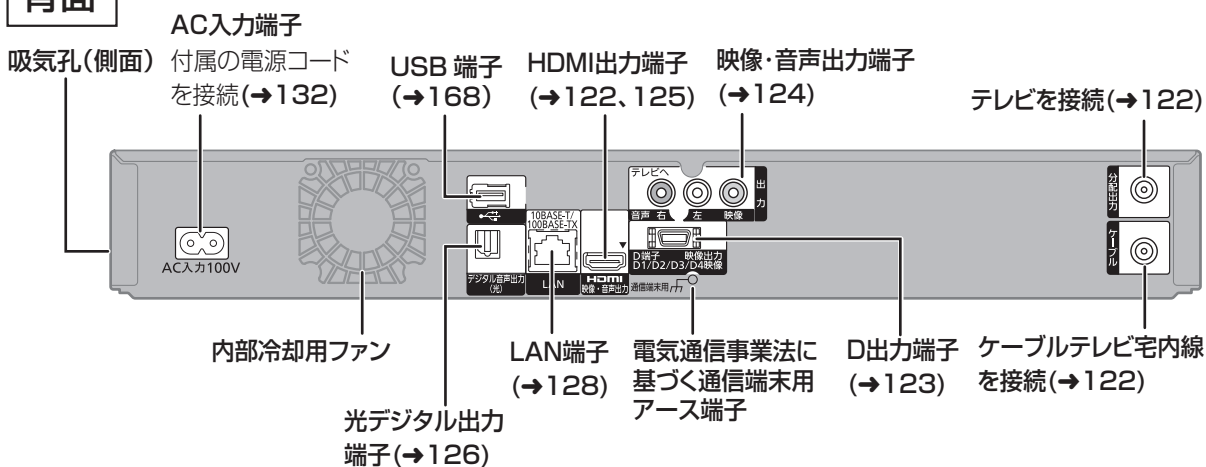
ディスクなど	表示マーク
DVD ビデオ	DVD-V
+R	
+R DL	
+RW	
CD	CD
SD カード	SD
USB 機器	USB

※ DL、BDXL も含みます。

同じディスクでも記録方式の違いなどにより動作が異なる場合は、表示マークに記録方式を付与しています。
●AVCREC 方式の場合: 例) RAM(AVCREC) -R(AVCREC)
●VR 方式の場合: 例) RAM(VR) -R(VR) -RW(VR)
●ビデオ方式の場合: 例) -R(V) -RW(V) (ただしファイナライズ後は DVD-V)
●ビデオカメラなどで撮影したハイビジョン動画(AVCHD)が記録されたディスクや SD カードの場合は、AVCHD と表示

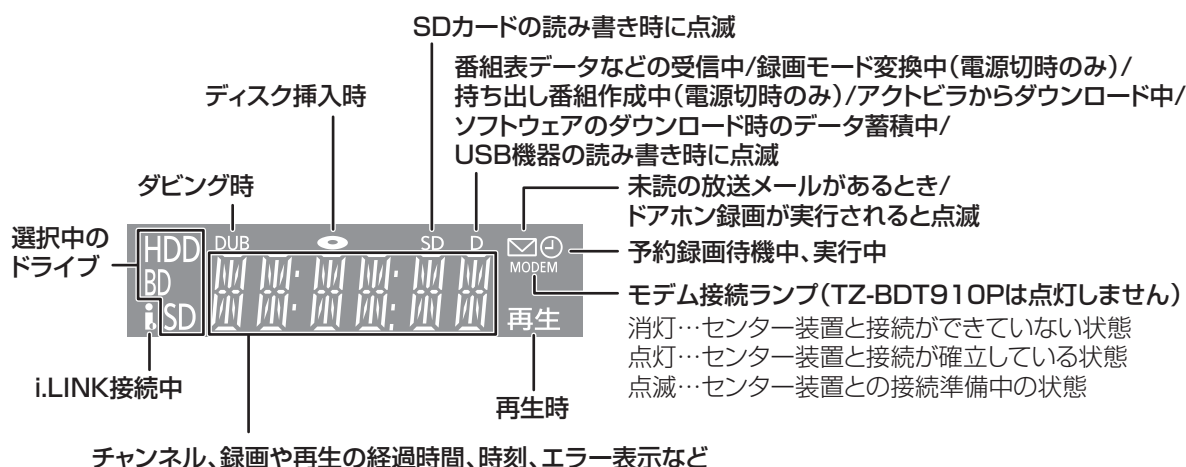
はじめに

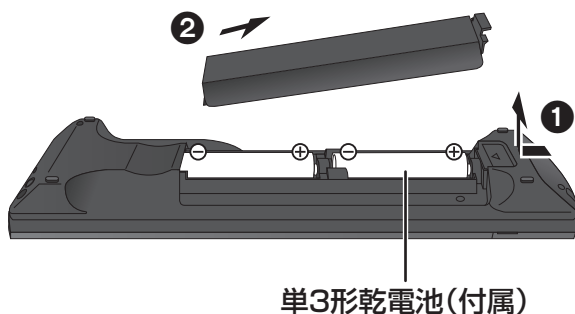
各部のはたらき

本体

お知らせ

- 最新の番組情報の取得とダウンロードを実行するため、視聴時以外は電源を「切」にしてください。
- 電源を切っていても、デジタル放送からの情報受信や視聴記録の送信を自動的に行っていますので、IC カードの抜き差し時や異常時以外は電源コードを抜かないでください。

本体表示窓

以下の場合に点灯表示します。

リモコン

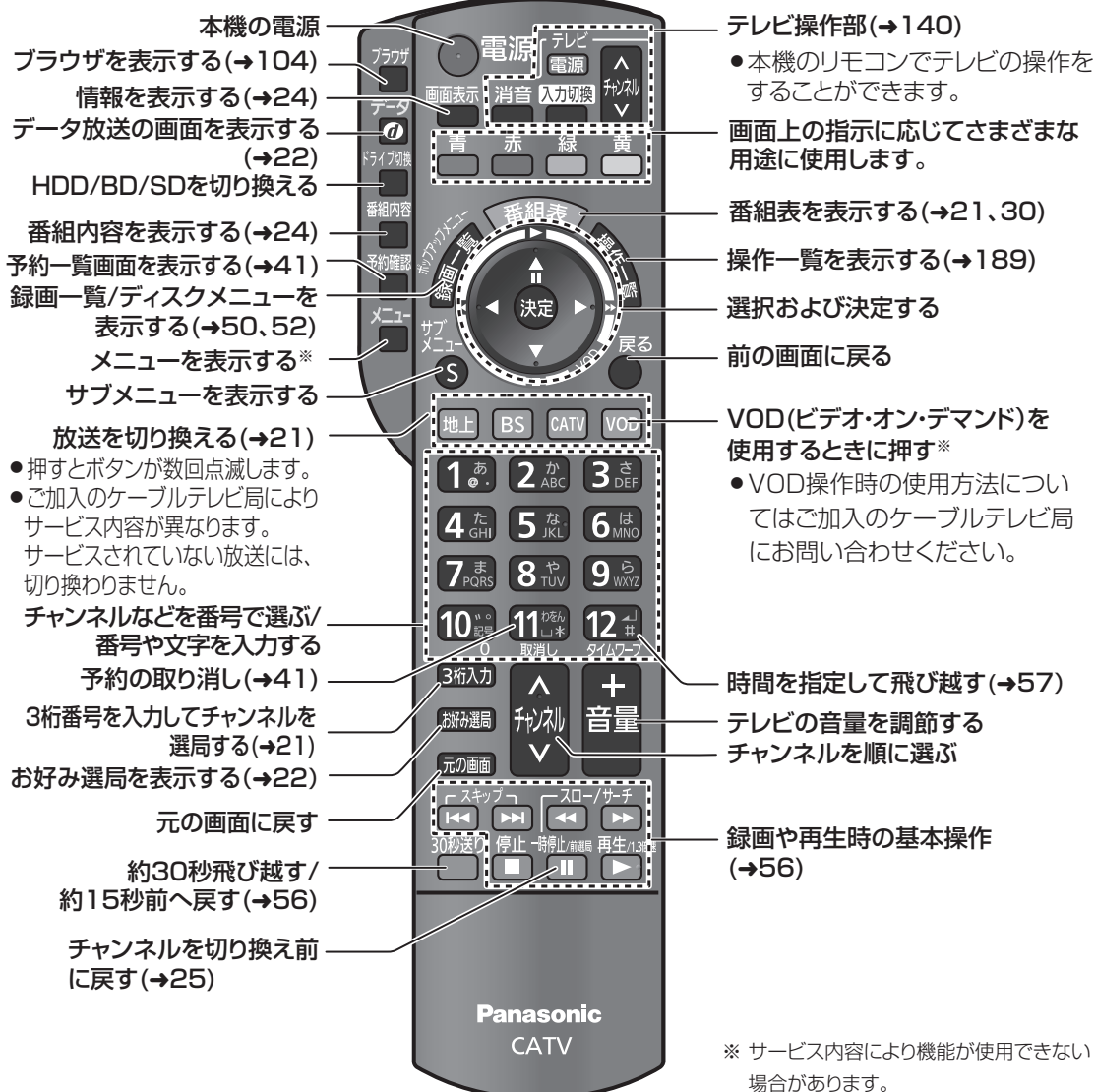
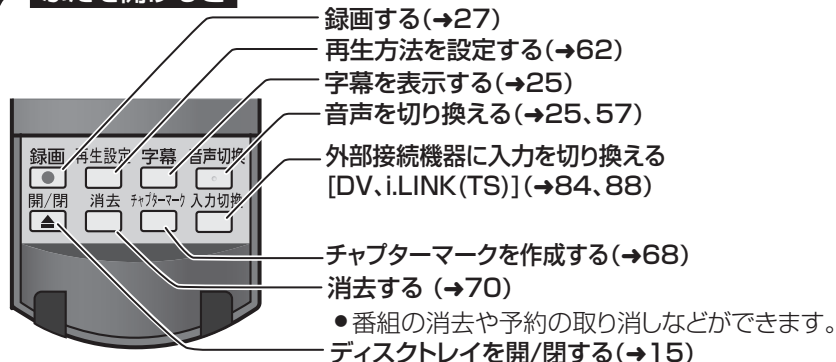
リモコンの準備

電池を入れてください。

●⊕⊖ を確認してください。

●本機のリモコン受信部(➜12)に向けて、まっすぐ操作してください。

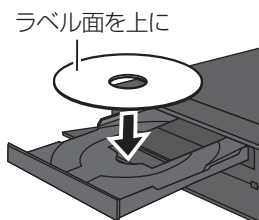
はじめに

リモコン(つづき)

※ サービス内容により機能が使用できない場合があります。

ディスク・SD カードを入れる

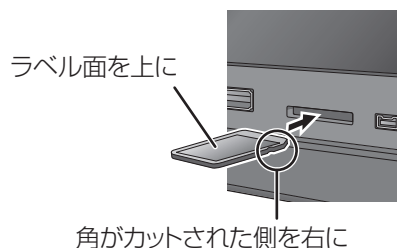
ディスク

開/閉 [▲](リモコンのふた内部)を押してトレイを開き、ディスクを入れる

●もう一度押すと、トレイが閉まります。
●本体の [▲開/閉] でも操作できます。
●ディスクの確認画面が表示されるまでしばらくお待ちください。

お知らせ

●両面ディスクの場合、記録または再生したい側の面を下にして入れてください。
●ほこりや指紋が付着したディスクは、**汚れを取り除いて**から使用してください。**(➜171)**
●使用後は、ディスクの汚れや傷つきを防ぐため、ケースまたはカートリッジに収めて保管してください。
●**カートリッジ付きディスクについて**
・カートリッジ付きの BD-RE(Ver.1.0)は、本機では使用できません。(カートリッジからディスクを取り出しても使えません)
・DVD-RAM や 8 cm のディスクは、カートリッジからディスクを取り出してトレイにのせてください。**(➜ 下記)**
(TYPE1 は使えません)
●ディスクをお使いにならない場合は、ディスクをトレイから取り出しておくことをおすすめします。

SD カード

❶ **本体前面のとびらを開ける**
❷ **カードを「カチッ」と音がするまで、奥までまっすぐ差し込む**

❸ **本体前面のとびらを閉じる**

カードを取り出すには

上記手順 ❷ で、カードの中央部を「カチッ」と音がするまで押し、まっすぐ引き出す

お知らせ

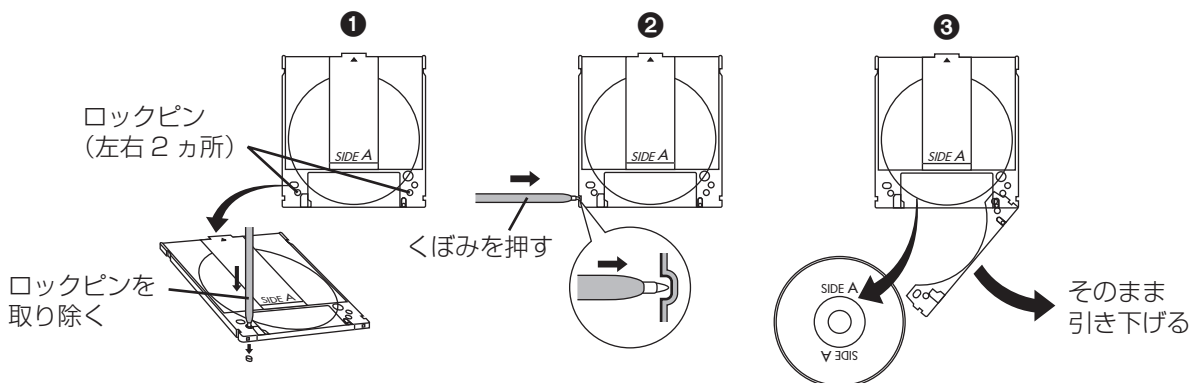
●**本体表示窓の“SD”(➜13)点滅中は、読み込み・書き込みを行っています。本体が正常に動作しなくなったり、カードの内容が破壊されたりする恐れがありますので、点滅中に電源を切ったり、カードを取り出したりしないでください。**
●mini タイプや micro タイプの SD カードは、必ず専用の アダプターを装着し、アダプターごと出し入れしてください。

例)
カートリッジ付きディスクの取り出しかた例

カートリッジからの取り出しかたはディスクによって異なります。
詳しくはディスクの説明書をご覧ください。

両面 DVD-RAM ディスクの場合

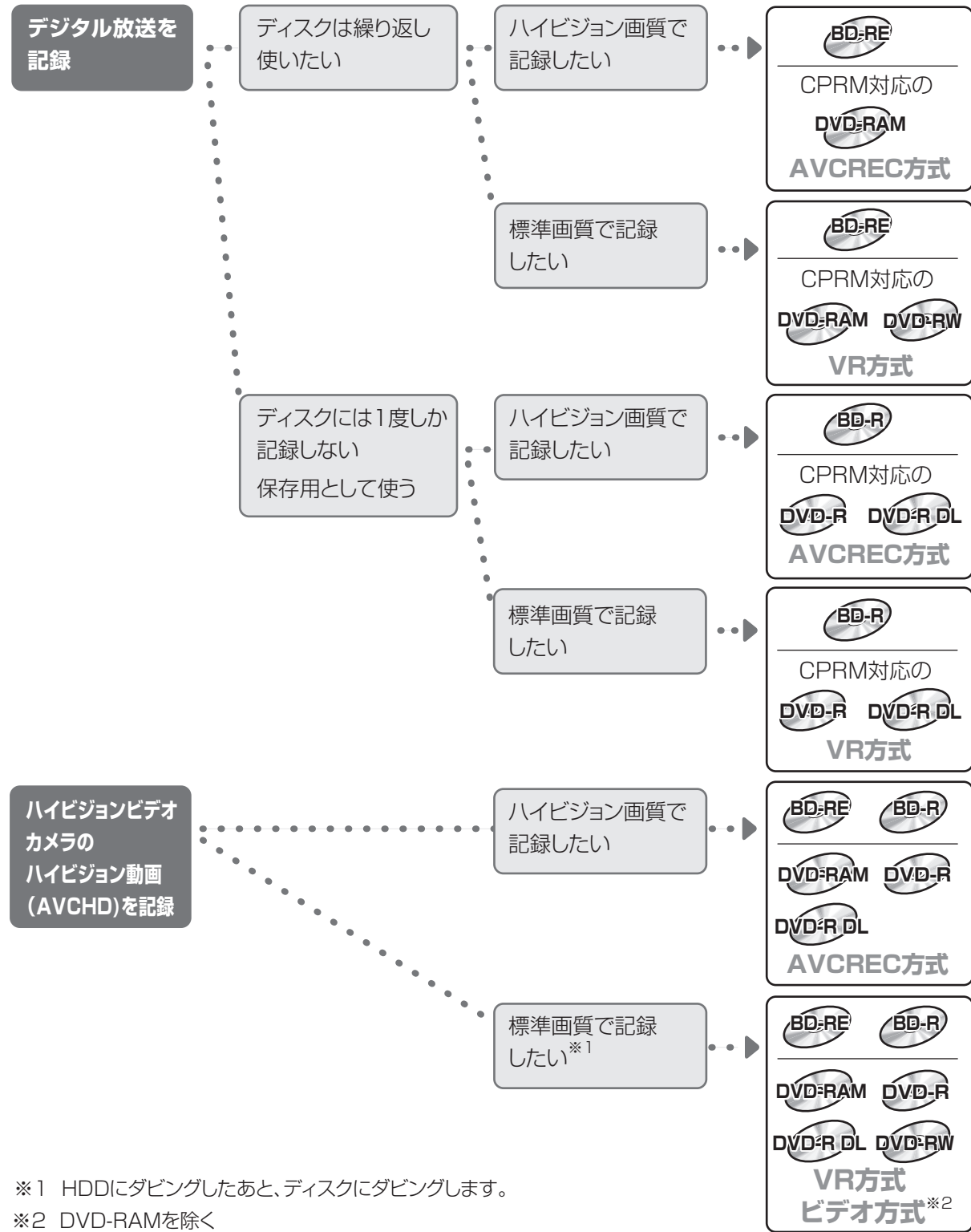
❶ ❷ ❸

ロックピン
(左右 2 ヵ所)
SIDE A
ロックピンを
取り除く
くぼみを押す
そのまま
引き下げる

記録できるディスクについて

ディスクの種類	ロゴ	記録方式	記録できる放送	記録できる画質
BD-RE	Blu-ray Disc	—	地上・BS・CATV デジタル放送	ハイビジョン画質 標準画質
BD-R	Blu-ray Disc			
DVD-RAM	DVD RAM RAM4.7	AVCREC方式	地上・BS・CATV デジタル放送	ハイビジョン画質
		VR方式（DVDビデオレコーディング規格）	地上・BS・CATV デジタル放送	標準画質
DVD-R DVD-R DL（片面2層）	DVD R R4.7 DVD R R DL	AVCREC方式	地上・BS・CATV デジタル放送	ハイビジョン画質
		VR方式（DVDビデオレコーディング規格）	地上・BS・CATV デジタル放送	標準画質
		ビデオ方式（DVDビデオ規格）	デジタル放送は記録できません	標準画質
DVD-RW	DVD RW	VR方式（DVDビデオレコーディング規格）	地上・BS・CATV デジタル放送	標準画質
		ビデオ方式（DVDビデオ規格）	デジタル放送は記録できません	標準画質

●DVD の記録方式は、本機でフォーマット(➜118)することで設定されます。

記録できる録画モード	予約録画は?	フォーマットは?(➜118)	備考
DR HG HX HE HL HM HZ XP SP LP EP FR	できる (予約は1番組)	必要	● DL、BDXL™ にも記録できます。 ● カートリッジ付きのBD-RE(Ver.1.0)の記録や再生はできません。 (カートリッジからディスクを取り出しても使えません)
HG HX HE HL HM HZ	できる (予約は1番組)	必要	● デジタル放送を記録するには、CPRM対応のディスクか確かめてください。 ● カートリッジ付きのDVD-RAMは、カートリッジからディスクを取り出してお使いください。 (TYPE1は使えません)
XP SP LP EP FR	できる (予約は1番組)	不要 (データ用ディスクの場合、フォーマット必要)	
HG HX HE HL HM HZ	できる (予約は1番組)	必要	● デジタル放送を記録するには、CPRM対応のディスクか確かめてください。
XP SP LP EP FR	できる (予約は1番組)	必要	
XP SP LP EP FR	できない	不要	● コピー制限のない番組(ビデオカメラで撮影した映像など)のみ記録できます。
XP SP LP EP FR	できる (予約は1番組)	必要	● デジタル放送を記録するには、CPRM対応のディスクか確かめてください。
XP SP LP EP FR	できない	必要	● コピー制限のない番組(ビデオカメラで撮影した映像など)のみ記録できます。

記録できるディスクについて(つづき)

※1 HDDにダビングしたあと、ディスクにダビングします。
※2 DVD-RAMを除く

記録したディスクを他の機器で再生するには?

BD-RE、BD-R に対応した機器で再生できます。

- LTH typeのBD-Rに記録した場合、再生機器がLTH typeに対応していないと再生できないときがあります。
- 当社製 DMR-E700BD や 2006 年春以前に発売された他社製機器では、再生できません。
- HG、HX、HE、HL、HM、HZモードの番組や、本機に取り込んだハイビジョン動画(AVCHD)は、再生できない場合があります。
- DL や BDXL のブルーレイディスクは、対応機器でのみ再生できます。
  - ・DL のブルーレイディスクは、2006 年秋以降に発売された当社製ブルーレイディスクレコーダーで再生できます。
  - ・BDXL のブルーレイディスクは、右記のロゴが付いた機器で再生できます。

以下の条件に当てはまる機器で再生できます。

- **記録したディスクの再生に対応**
- **記録したディスクの記録方式の再生に対応**

  ・**AVCREC 方式の場合:**
  対応機器には右記のロゴが付いています。
  対応機器以外で使用しないでください。
  ディスクがフォーマットされたり、取り出せなくなるなど故障の原因になります。
  -R はファイナライズ(➜121)が必要です。

  ・**ビデオ方式の場合:**
  記録後にファイナライズ(➜121)が必要です。

- **デジタル放送を記録したディスクの場合、CPRM に対応している必要があります。**

お知らせ

- ディスクによっては、記録できないことや、記録状態によって再生できないことがあります。

操作の前に

本機の映像をテレビに映す

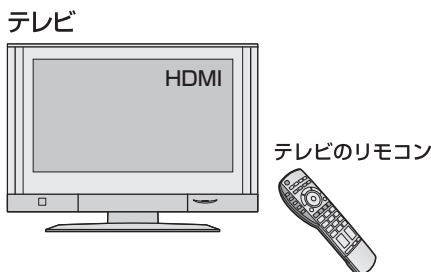
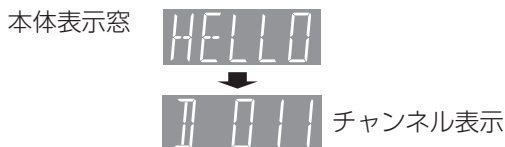
1 テレビの電源を入れる

2 テレビのリモコンで、入力切換の操作をする

- 本機を接続した入力に切り換えてください。（HDMI、ビデオ 1 など）
- 本機のリモコンでもテレビの電源を入れたり、入力切換を行うことができます。(➜140)

3 本機のリモコンの 電源 を押す

本体表示窓

チャンネル表示

- テレビに映像が映っているか確認してください。

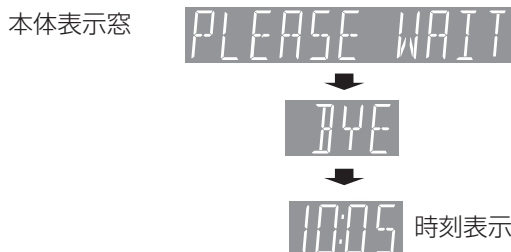
テレビに映像が表示されない場合

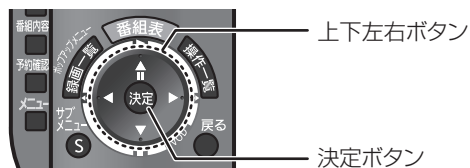
- テレビの入力を確認してください。
- 接続を確認してください。
(➜122 ～ 132)

本機の電源を切る

本機のリモコンの 電源 を押す

本体表示窓

時刻表示

画面上の基本操作について

本機は画面に表示されている項目をリモコンの上下左右ボタンで選び、決定ボタンを押すことで操作を行います。

例えば、番組を選びたい場合

黄色になっている項目が、現在選ばれている項目

[▼]を押す

黄色になります。

[決定]を押す

番組内容の画面が表示されます。

本書では、上記のような操作をする場合、

番組を選び、を押す

と記載しています。

テレビ放送を見る

1 **「選局入力方式」(➜150)が「プリセット」の場合:**
[地上] [BS] [CATV] を押して、放送を選ぶ

●押すとボタンが数回点滅します。

●ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容により視聴できない放送がある場合があります。

[地上]: 地上デジタル放送
[BS]: BS デジタル放送
[CATV]: CATV デジタル放送(CATV の放送が複数ある場合は、押すたびに切り換わります)

●「選局入力方式」(➜150)が「3 桁入力」の場合は、手順2へ進んでください。

2 **[1 あ@.] ～ [12 #] または を押して、チャンネルを選ぶ**

●数字ボタンを使ってチャンネルを選ぶ場合、「選局入力方式」(➜150)の設定に従って選局されます。

·**「プリセット」に設定されているとき:**
数字ボタンを押すとボタンに割り当てられた放送局を選局
- 3 桁入力で選局したい場合は、はじめに [3 桁入力] を押してから選局してください。(➜ 右記)

·**「3 桁入力」に設定されているとき:**
3 桁のチャンネル番号を入力して選局
例)地上デジタル 101:[1]➜[10]➜[1]
- 数字ボタンを押して 3 秒以上経つか [決定] を押すと、押したボタンで(プリセット)選局されます。
- 3桁入力時に同じチャンネル番号の放送が複数ある場合は、見たい放送を選んで [決定] を押してください。

LOGO 地上D 101
LOGO BS 101

お知らせ

●本機でワンセグ放送の視聴やファイナライズを行うダビング中の視聴はできません。

その他の選局方法

番組表から選局

❶ [番組表] を押す

❷ 放送中の番組を選び、[決定] を押す

☞ **別の放送の番組表を見るには**
[◀] [▶] を押し続ける
●[地上] [BS] [CATV] を押しても、別の放送に切り換わります。

❸「今すぐ見る」を選び、[決定] を押す

3桁チャンネル番号を入力して選局

❶ テレビ視聴中に、[3桁入力] を押す

❷ [1 あ@.] ～ [10 記号] を押して、チャンネルを入力する
例)101 の場合…[1] → [10] → [1]
●画面が表示されている間に入力してください。

同じチャンネル番号の放送が複数ある場合:

❸ 見たい放送局を選び、[決定] を押す

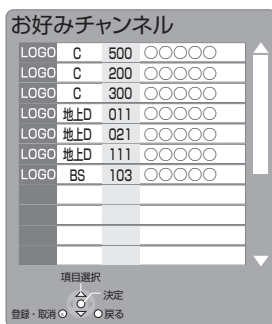
☞ **枝番号の異なる放送を選局するには**
(➜26「枝番選局」)

視聴

その他の選局方法(つづき)

お好み選局から選局

お好み選局は、テレビ画面に放送局のリストを表示し、そのリストの中から選局できる機能です。
放送に関係なく1つのリストに表示することができます。登録したチャンネルは、お好み番組表としても表示できます。

❶ テレビ視聴中に、お好み選局 を押す

❷ 放送局を選び、決定 を押す

■チャンネルの登録

① 登録したい放送局を視聴中に、
[お好み選局] を押す

② [サブ メニュー] を押す

③ 「登録」を選び、[決定] を押す

④ 「はい」を選び、[決定] を押す
- リストの一番下に登録されます。
（最大 48 チャンネル）

■チャンネルの取り消し

① [お好み選局] を押す

② 取り消す放送局を選び、[サブ メニュー] を押す

③ 「取消」を選び、[決定] を押す

④ 「はい」を選び、[決定] を押す

お知らせ
- お好み選局で表示される順番を変更したい場合は、チャンネルをすべて取り消し、再度希望の順番で登録してください。

データ放送を見る

データ放送のある番組では、テレビ画面の指示に従ってさまざまな情報やサービスを利用できます。
- **本機では、データ放送を録画できません。**

1 データ放送のある番組を視聴中に、データ を押す

2 見たい項目を選び、決定 を押す

例）

- 画面の指示に従って、[青]、[赤]、[緑]、[黄] や**数字ボタン**で操作してください。

テレビ放送に戻るとき
[データ] を押す

データ放送のある番組かを確認するには
テレビ放送視聴中に、[番組内容] を押す
(➜24「視聴中の番組の内容を見る」)
- 以下の表示マークが表示された番組は、データ放送を行っています。
(表示マークが表示されない番組もあります)

お知らせ
- テレビ放送視聴中の番組を DR モード以外での録画中は、[データ] を押してもデータ放送を見ることができません。

有料番組を見る

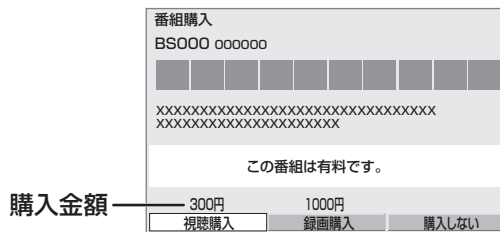
デジタル放送には、無料と有料のものがあります。有料チャンネルを見るには、ご加入のケーブルテレビ局との契約が必要です。

- ペイ･パー･ビュー(番組単位で購入できる)の番組を視聴･録画するには、ご加入のケーブルテレビ局とペイ･パー･ビューの契約と画面上での購入操作が必要です。
- IC カードの挿入が必要です。
- LAN ケーブルでケーブルモデムなどとの接続が必要な場合があります。(➜127)

1 ペイ･パー･ビューの番組を選局し、決定 を押す

- 番組によってはプレビュー(購入前に、わずかな時間だけ視聴できるサービス)画面が表示されます。

2 項目を選び、決定 を押す

- 番組により、選べる項目が変わります。

購入する：番組を購入したことになり、視聴できます。
ただし、コピーガードのある番組は録画できません。

購入しない：番組を購入しません。

視聴購入：(料金を払うと視聴できるときのみ表示)
番組を購入したことになり視聴できます。ただし、コピーガードのある番組は録画できません。

録画購入：(料金を払うと録画できるときのみ表示)
番組を購入したことになり視聴および録画ができます。
- デジタル放送には、ビデオデッキなどで録画できないようにしている(コピーガードのある)番組があります。その番組は正常に録画できません。コピーガードを解除できない番組では表示されません。

確認画面が出た場合は、表示内容を確認し操作してください。

購入した有料番組の確認/送信結果を確認するには(➜147)

お知らせ

- 購入した番組の視聴中にも、他のチャンネルに切り換えることができます。ただし、購入操作が終了していると、実際には番組を視聴しなくても料金が請求されます。また、番組予約が実行された場合、視聴や録画をしなくても料金が請求されます。

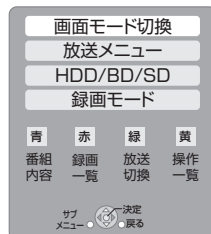
テレビ放送を見る(つづき)

番組視聴中の便利な機能

上下左右の黒帯を消して拡大

画面モード切換

上下左右に黒帯が入っている場合に、上下左右の黒帯を消して大きく表示します。

❶ を押す

- 表示されない場合、もう一度[サブ メニュー]を押してください。

❷「画面モード切換」を選び、決定 を押す

❸ 画面モードを選ぶ

ノーマル:
元の映像で表示します。

サイドカット:
ワイド映像(16:9 映像)の左右の黒帯を消して拡大表示します。

サイドカット固定:
設定を変えるまで、上記の「サイドカット」された画面のままになります。

ズーム:
ノーマル映像(4:3 映像)の上下の黒帯を消して拡大表示します。

お知らせ

- 以下の場合、画面モード切換は「ノーマル」に戻ります。
  (「サイドカット固定」の場合は戻りません)
  ・他のチャンネルを選局
  ・番組の再生を始める、または終了する
  ・電源を切 / 入
- 番組やディスクの内容によっては、設定しても効果がない場合があります。
- 「TVアスペクト」(➜139)を「4:3」にしている場合、「サイドカット固定」が選択できるようになり、「ズーム」は選択できなくなります。
- テレビ側の画面モードなどを使って調整できる場合もあります。ご使用のテレビの説明書をご覧ください。

視聴中の番組の内容を見る

番組内容 を押す

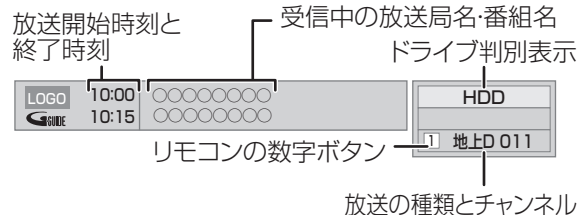
☞ **番組の詳しい内容(属性)を見るには**
[**赤**] を押す([**青**] を押すと番組内容に戻ります)

☞ **選んでいる番組に関連した番組を検索するには**
(➜37)

☞ **番組内容の表示を消すには**
[**番組内容**] を押す

見ている番組の情報を表示

画面表示 を押す

例)

☞ **表示を消すには**
[**画面表示**] を数回押す

音声を切り換える

[音声切換] (ふた内部)を押す

●押すごとに、放送の内容によって切り換わります。

お知らせ

●録画中に切り換えても、記録される音声に影響はありません。
●切り換えた音声が有料の場合もあります。

字幕を表示する

視聴している番組が字幕付きの番組の場合、字幕を表示できます。

[字幕] (ふた内部)を押す

お知らせ

●押すごとに、字幕の表示の入切を切り換えます。

テレビの音量を調節する

を押す

お知らせ

●本機のリモコンでテレビの音量を調節するには設定が必要です。(➜140)

チャンネルを切り換え前に戻す

チャンネルを切り換えたあと、もう一度切り換える前のチャンネルに戻ることができます。

●切り換える前のチャンネルは、3秒以上視聴していたときに有効になります。

[一時停止/前選局] を押す

お知らせ

●[**録画●**](ふた内部)を押して録画している番組を視聴中のときは、録画を一時停止します。

音声の出力先を切り換える

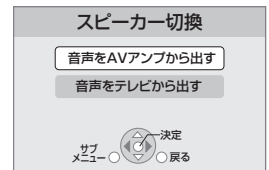
本機をビエラリンク(HDMI)に対応した当社製テレビとアンプに HDMI で接続すると、本機の音声出力先を切り換えることができます。

●切り換えるには、「ビエラリンク制御」を「入」にしてください。(➜156)

❶ **[サブメニュー S] を押す**

●表示されない場合、もう一度[**サブ メニュー**]を押してください。

❷ **「スピーカー切換」を選び、[決定] を押す**

❸ **音声出力先を選び、[決定] を押す**

お知らせ

●ビエラリンク(HDMI)を使用するには、接続したテレビ側、アンプ側の設定が必要です。
詳しくは、各機器の取扱説明書をご覧ください。
●HDMI 規格に準拠していないケーブルでは動作しません。

放送中の番組の 3D 設定をする

3D/2D 出力

●3D 対応テレビと HDMI ケーブルで接続時

サイドバイサイド(2 画面構成)などの 3D 対応の放送の番組を 3D 映像で見ることができない場合に変更してください。

(詳しくは ➜59「3D映像を視聴するための便利な機能」)

テレビ放送を見る(つづき)

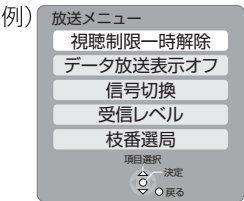
番組視聴中の便利な機能(つづき)

放送内容などの設定

テレビ視聴中に

❶ サブメニュー S を押す

❷「放送メニュー」を選び、決定 を押す

例）放送メニュー
視聴制限一時解除
データ放送表示オフ
信号切換
受信レベル
枝番選局
項目選択 決定 戻る

❸ 設定項目を選び、決定 を押す（➜ 右記へ）

お知らせ

●視聴中の番組により表示される項目が変わります。

視聴制限一時解除	暗証番号(➜150)を入力して視聴制限を一時解除します。
データ放送表示オフ	データ放送の表示を終了します。
信号切換	映像や音声などの信号を複数放送している場合は、以下の操作で切り換えることができます。 信号切換 / マルチビュー 主番組 / 映像 映像1 / 音声 日本語 / 二重音声 主 / データ データ1 / 字幕 オン オフ / 字幕言語 日本語 英語 / 項目選択 設定変更 戻る **設定する項目を選び、設定する** お知らせ ●切り換えた映像が有料の場合もあります。 ●記録できる音声、映像、字幕情報は、録画モードによって異なります。 **(詳しくは ➜46)**
受信レベル	受信している信号の強さなどを表示します。 お知らせ ●表示は簡易表示であり、確認の目安です。
枝番選局 (地上デジタル)	枝番号とは、同じチャンネル番号に割り当てられる放送が複数受信できた場合に、追加される番号のことです。 (例:「011-0」、「011-1」) 3桁チャンネル番号を入力して選局すると主選局の放送局が選局されます。 以下の操作で、違う枝番号の放送局を選局することができます。 **放送局を選び、[決定] を押す** 枝番選局 3桁番号：011 / 011-0 LOGO ○○○○○ 主選局 / 011-1 ○○○○○ / 011-2 ○○○○○ / 枝番切換 選局 戻る / 青 赤 緑 主選局変更 黄 **主選局を変更するには** 主選局にしたい放送局を選び、[緑] を押す

録画する

HDD

この操作では HDD にのみ録画できます。

1   CATV **を押して、放送を選ぶ**

2 1 〜 12 **または** **を押して、チャンネルを選ぶ**

3 サブメニュー S **を押す**

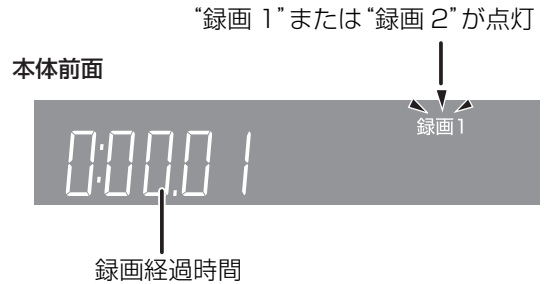
4 **「録画モード」を選び、** 決定 **を押す**

5 **録画モードを選ぶ**

- [▲][▼] を押すと切り換わります。
- 表示が消えると、選ばれた録画モードに切り換わります。

例）

6 録画 **(ふた内部)を押す**

"録画 1"または"録画 2"が点灯

7 **録画を止めるときは、** 停止 **を押す**

- 録画停止画面が出たら「はい」を選び、[**決定**] を押してください。

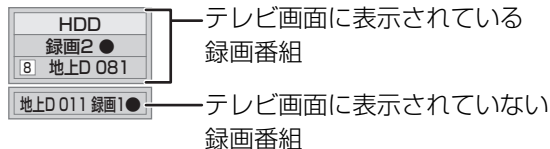
お知らせ

- ディスクへは録画できません。
  ・予約録画はできます。(ビデオ方式は除く)
- 予約録画が始まり、2 番組を録画(**➜ 45**)できない場合は、予約録画が優先され録画は終了します。
- 長時間連続して録画すると、8 時間ごとの番組に分割されます。
- デジタル放送の番組でも、標準画質の番組があります。この番組は、ハイビジョン画質の録画モードを選んで録画しても、画質は標準画質です。
- 録画中の番組の録画モードを変えることはできません。
- 録画中の番組の録画モードは、[**画面表示**] を2回押すと確認することができます。(**➜57**)(本体表示窓には表示されません)

録画中のいろいろな操作

録画中の番組の確認

画面表示 を押す

例)2 番組を録画中

録画中の番組をテレビ画面に表示

一時停止などの操作をする場合、操作前に録画中の番組をテレビ画面に表示させてください。

●放送を切り換えていた場合:

   を押す

●チャンネルを切り換えていた場合:

を押す

録画を止める

停止 を押す

●2番組を録画中のときは、録画を止めたいチャンネルを選んでください。
●録画停止画面が出たら「はい」を選び、[決定] を押してください。

一時停止する

録画を一時停止させたい番組をテレビ画面に表示させてください。(➜ 上記)

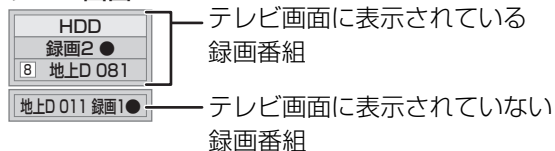
一時停止/前還局 を押す

●もう一度押す、または [録画●](ふた内部)を押すと録画を再開します。(番組は分割されません)
●一時停止すると、その部分が再生時に一瞬静止画になる場合があります。

2 番組同時に録画する

27 ページの手順 1 ～ 6 で別の番組を録画する

本体前面

テレビ画面

●2 番組を録画中のチャンネル / 放送切換は、録画中の番組間でのみ行われます。

録画しながら再生する

追っかけ再生:
HDD 録画中の番組を再生します。

同時録画再生:
録画中に録画済みの番組を再生します。
ただし、ディスク予約録画中は、ディスクの再生はできません。

1

を押す

2 番組を選び、決定 を押す

ぴったり録画

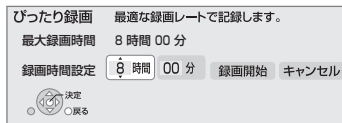
録画した番組を新品の DVD(4.7 GB)にぴったりダビングできるよう設定時間に合わせて「XP」～「EP」の中から自動的に最適な画質で HDD に録画します。
(➜46「FR」)

1 **チャンネルを選ぶ**(➜27 ページ手順 1 ～ 2)

2 **[操作一覧] を押す**

3 **「その他の機能へ」を選び、[決定] を押す**

4 **「ぴったり録画」を選び、[決定] を押す**

5 **“時間”または“分”を選び、録画時間を設定する**

●8 時間を超えて設定することはできません。

6 **「録画開始」を選び、録画を始めたい場面で [決定] を押す**

☞ **録画の残り時間を確認するには**

[画面表示] を押す

例)

録画の残り時間

お知らせ

●録画中にぴったり録画はできません。

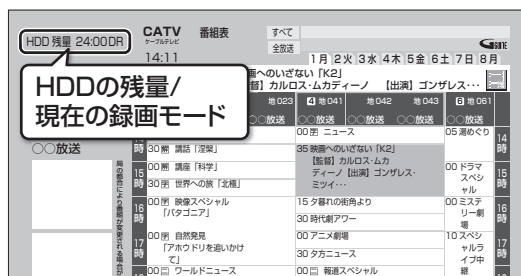
予約録画する

HDD BD-RE BD-R RAM -R(AVCREC) -R(VR) -RW(VR)

番組表を使って HDD に予約録画する

1 番組表 **を押す**

2 番組を選ぶ

例)

 別の放送の番組表を見るには

[◀][▶] を押し続ける

● [地上] [BS] [CATV] を押しても、別の放送に切り換わります。

3 決定 **を押す**

決定 **の代わりに** 赤 **を押すと、**

現在の録画モードで簡単に予約を完了できます。

(予 が表示されます)

● 手順4～5の操作は不要です。
● 現在の録画モードは手順2の画面で確認できます。

4 「番組予約へ」を選び、 決定 **を押す**

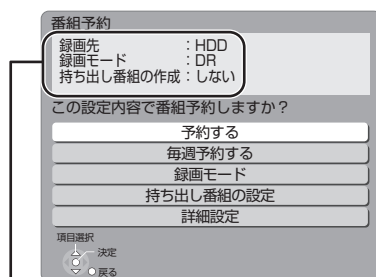
5 項目を選び、 決定 **を押す**

予約する:
予約を登録

毎週予約する:
毎週同じ曜日に予約を登録(➔43)

録画モード:
録画モードを変更(変更後、「予約する」または「毎週予約する」を選んで予約を登録してください)

持ち出し番組の設定:
モバイル機器へ持ち出すための番組を作成(➔98)

詳細設定:
録画先や予約する曜日の設定などの予約内容を変更(➔38)

予約内容を確認してください。

お知らせ

● 番組表は設置後すぐには表示されません。放送局から番組表のデータを受信する必要があります。(➔32)
● 電源の入 / 切にかかわらず、予約の開始時刻になると予約録画を開始します。
● 本機では 128 番組まで予約できます。(毎日・毎週予約は、1 番組として数えます)
● 予約済みの番組をさらにもう 1 番組予約したい場合、**手順 3** で **[決定]** を押して予約してください。

番組表を使ってディスクに予約録画する

ディスクへの予約は 1 つだけ登録可能です。

1 ディスクを入れる

●下記のような画面が表示されますので、[戻る]を押して画面を消してください。

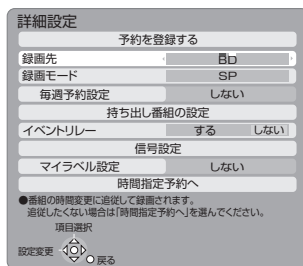
例）

BD-RE
かんたんダビング

2 30 ページの手順 1 ～ 4 を行う

●30ページの手順3では、[決定]を押してください。

3 「詳細設定」を選び、決定 を押す

4 録画先を「BD」にする

5 「録画モード」を設定する

●ディスクや記録方式によって録画できるモードは異なります。

6 「予約を登録する」を選び、決定 を押す

●フォーマット画面が表示された場合は、画面に従ってフォーマットを行ってください。

●予約完了のメッセージ画面は、[決定]を押すと、早く消すことができます。

DVD にデジタル放送を録画する場合

CPRM対応 のディスクをお使いください。

DVD に予約録画できる記録方式

ハイビジョン画質で記録できます。（デジタル放送のみ可能）

● -RW ではできません。

標準画質で記録します。

予約録画できません。

録画

お知らせ

●CATV デジタル放送を録画モード「HG」「HX」「HE」「HL」「HM」「HZ」でディスクに予約する場合、番組によっては録画先を HDD に変更して予約を実行するときがあります。

番組表の見かた

番組表は、放送局から送られるテレビ番組情報を、新聞の番組欄のようにテレビ画面に表示するシステムです。電源「切」時に番組表のデータ受信を行います。

※HDDやディスクの残量は、現在の録画モード(右側に表示されたモード)で計算された残量表示になります。

番組の色分け表示について

本機は番組データのジャンル情報に従って代表的な5つのジャンル(映画、スポーツ、音楽、ドラマ、アニメ/特撮)を色分け表示しています。

お知らせ

- 本機を設置した時間帯によっては、番組表を表示できるまでに1日程度かかる場合があります。
- 番組表の受信時刻は、放送ごとに異なるため、一度にすべての放送の番組表が表示されないこともあります。

番組表の表示設定

放送の切り換え

地上 BS CATV を押す

●[◀][▶]を押し続けても、別の放送に切り換わります。

日付の切り換え

●全チャンネル表示時のみ

❶ 青 を押す

❷ 日付を選び、決定 を押す

お知らせ

- 本機は放送局からの番組情報を基に、通常は8日分の番組表を表示することができます。
  さらに、本機をネットワークに接続し、「通信によるGガイド受信」(➜149)を「オン」にすると、1ヵ月の番組情報を取得することができます。（2011年2月現在、ネットワークから1ヵ月の番組情報を取得できる放送局は WOWOWのみです）
- ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容やご利用になっている環境により、ご利用いただけない場合があります。

指定のチャンネルの番組表を3桁チャンネル番号で表示

❶ 3桁入力 を押す

❷ 1 〜 10 を押して、チャンネルを入力する

例）101の場合…[1]→[10]→[1]

●入力画面が表示されている間に入力してください。

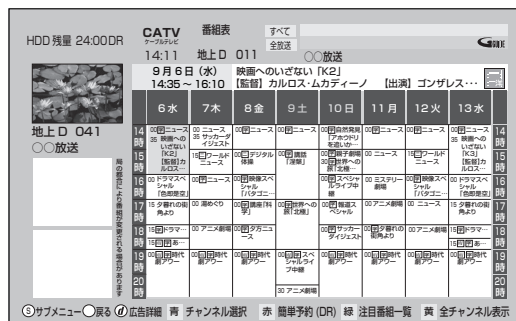
同じチャンネル番号の放送が複数ある場合:

❸ 見たい放送局を選び、決定 を押す

チャンネル別に表示

選んだチャンネルの番組表を日付別に一覧表示します。

❶ 表示したいチャンネルの番組を選ぶ

❷ 黄 を押す

☞ **全チャンネル表示に切り換えるには**

[黄]を押す

☞ **別のチャンネルを表示するには**

チャンネル別表示中に

① 青 を押す

② チャンネルを選び、決定 を押す

例）

チャンネル選択	1／20ページ
地上D 011	○○○○○
地上D 021	○○○○○
地上D 031	○○○○○
地上D 041	○○○○○
地上D 051	○○○○○
地上D 061	○○○○○
地上D 071	○○○○○
地上D 101	○○○○○

青 次ページ

項目選択 決定 戻る

お知らせ

- 1ヵ月の番組表を取得している場合、9日目以降の番組表の表示には時間がかかります。

番組表の表示設定(つづき)

1 番組表表示中に

 を押す

2 **項目を選び、設定する**

番組表の検索	「フリーワード」や「ジャンル」などから、番組を検索します。(➜36)
録画モード	録画モードを変更します。(➜46)
表示チャンネル数 ●全チャンネル表示時のみ	全チャンネル表示中に、1画面に表示するチャンネル数を変更します。
表示日数切換 ●チャンネル別表示時のみ	チャンネル別表示中に、1画面に表示する日数を変更します。
表示対象 ●全チャンネル表示時のみ	番組表で表示させる内容を変更します。 ●「設定チャンネル」は、チャンネル設定されている Po1 ～ 36 までのチャンネルを表示し、枝番号表示しないようにします。 ●番組表の表示をやめると、設定は「すべて」に戻ります。
放送切換	別の放送の番組表を表示します。 ●お好み番組表は、「お好み選局」(➜22)で登録されている放送局が表示されます。 ●「お好み」に設定した場合のみ、次回番組表を開いたときも「お好み」に設定されたままです。
ジャンル別表示 ●全チャンネル表示時のみ	ドラマや映画、スポーツなどの見たいジャンルの番組だけを番組表上で明るく表示します。 ① **メインジャンルを選び、[決定]を押す** ② **サブジャンルを選び、[決定]を押す** **ジャンル別の表示をやめるには** ① **[サブ メニュー]**を押す ② 「全ジャンル表示」を選び、**[決定]**を押す ●別の放送の番組表を表示した場合やサブメニュー操作を行った場合もジャンル表示をやめます。
視聴制限一時解除	暗証番号(➜150)を入力して視聴制限を一時解除します。 **[決定] を押す**
番組データ取得	選択した局の番組情報を受信します。 **[決定] を押す**

注目番組一覧から予約録画する

放送局がおすすめする番組を一覧表示できます。

1 番組表表示中に
[緑] **を押す**

2 放送を選び、[決定] を押す

●地上D、BSの全チャンネルを選んだ場合、手順 4 へ進んでください。

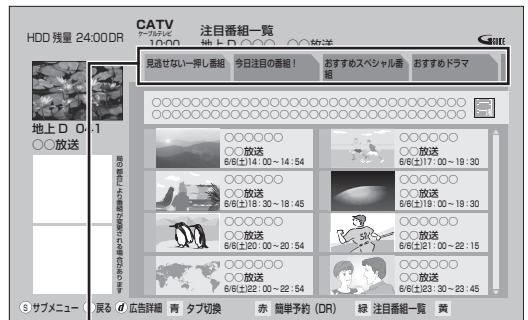
ネットワークに接続し、「通信によるGガイド受信」(➜149)を「オン」に設定すると、放送局の注目番組一覧を表示します。
(2011年2月現在、ネットワークから注目番組の情報を取得できる放送局はNHK、WOWOWのみです)

3 (ネットワークから注目番組の情報を取得できる放送局を選んだときのみ)
カテゴリーを選び、[決定] を押す

カテゴリー

☞ **カテゴリー内の注目番組をまとめて予約するには**
[赤] を押す
● 予 が表示され、予約は完了します。
●録画された番組は、まとめ 番組になります。

☞ **放送を変更するには**
[緑] を押す(**➜ 手順 2 へ**)

4 番組を選び、[決定] を押す

カテゴリー

☞ **他のカテゴリーを表示するには**
[青] を押して、カテゴリーを選択する

☞ **放送を変更するには**
[緑] を押す(**➜ 手順 2 へ**)

☞ **録画モードを変更するには**
① [サブ メニュー] を押す
② 録画モードを選び、[決定] を押す

5 「番組予約へ」を選び、[決定] を押す
(「番組予約」の場合は ➜30 手順 5)
(「時間指定予約」の場合は ➜40 手順 3)

番組を検索して予約録画する

1 番組表表示中に

サブメニュー S **を押す**

2 「番組表の検索」を選び、決定 を押す

3 検索方法を選び、決定 を押す

フリーワード検索
ジャンル検索
キーワード検索
人名検索

ジャンル検索
キーワード検索
人名検索

❹ **検索条件を選び、決定 を押す**
- この操作を繰り返し、検索条件を絞り込みます。

放送を切り換えるには
[地上] [BS] [CATV] を押す

別の日の検索結果を表示するには
検索結果画面表示中に 、[青] を押して、日付を選択する

- [サブ メニュー] を押すと、「視聴制限一時解除」や「録画モード」「表示対象」「放送種別」の変更を行うことができます。

❺ **番組を選び、決定 を押す**
❻ **「番組予約へ」 を選び、決定 を押す**
(➜30 手順 5)

フリーワード検索

「フリーワード」の複数の検索条件 (5 件まで)を登録し、1 つでも条件を満たす番組を検索することができます。

■**検索条件を登録する**

❹ 緑 **を押す**
- 文字を入力し(➜112)、登録してください。

上記手順 ❹ を繰り返し、検索したい条件を追加してください。

登録したフリーワードを変更するには
① 検索条件を選び、[決定] を押す
② 「フリーワード編集」を選び、[決定] を押す
③ 文字を入力する(➜112)

登録した検索条件を削除するには
① 検索条件を選び、[黄] を押す
② 「はい」を選び、[決定] を押す

■**検索する**

❹ 検索する放送種別を変更する場合：
① サブメニュー S **を押す**
② **「放送種別」を選ぶ**
③ **検索したい放送を選び、決定 を押す**

❺ 青 **を押す**

別の日の検索結果を表示するには
検索結果画面表示中に 、[青] を押して、日付を選択する

❻ **番組を選び、決定 を押す**
❼ **「番組予約へ」 を選び、決定 を押す**
(➜30 手順 5)

お知らせ
- キーワード･人名検索で CATV 放送の番組は検索できません。
- 検索結果は、放送データの取得状況によって変わりますので、キーワードなどが一致していても検索できない場合があります。
- ネットワークに接続し、「通信によるGガイド受信」(➜ 149)を「オン」にしている場合、フリーワード検索結果の表示に時間がかかります。
- 「フリーワード検索」で英数の文字入力をした場合、半角で登録されますが、検索は半角文字と全角文字を区別せずに行います。

新番組を自動で予約録画する

地上デジタル　BS デジタル

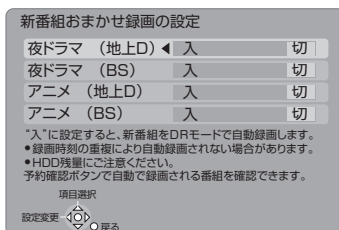
番組名に 新 、<新>、<新番組>、<新シリーズ>が含まれるドラマまたはアニメを最大 16 番組まで自動で予約することができます。

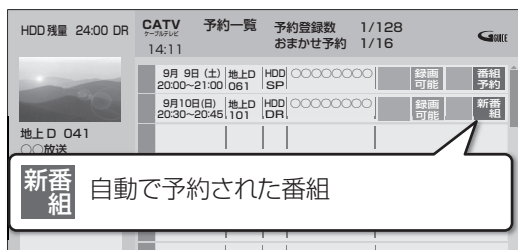
- 「夜ドラマ」は 18時～23時59分の間に開始時刻が含まれるドラマが対象になります。
- 録画先は「HDD」、録画モードは「DR」で予約します。
- 地上 /BS デジタル放送のみ自動で予約します。

1 操作一覧 **を押す**

2 「その他の機能へ」を選び、決定 を押す

3 「新番組おまかせ録画」を選び、決定 を押す

4 設定したい項目を選び、「入」にする

予約された新番組の確認

予約確認 **を押す**

予約内容を修正するには(➜41)

「修正」を選び、「設定変更」画面を表示すると、通常の番組予約になります。

- 新番組を毎日·毎週予約したい場合も予約内容の修正が必要です。

録画した新番組の再生

番組を再生し、停止すると、次回予約の画面が表示されます。画面の指示に従ってください。

お知らせ

- 新番組でも、受信した番組データによっては正しく予約できない場合があります。
- 通常の番組と予約が重なった場合、2 番組を録画(➜ 45)できないときは、新番組の予約は行われません。
- 新番組同士の予約が重なった場合、2 番組を録画(➜ 45)できないときは、以下の優先順位で予約します。
  ① 開始時刻の早い番組を優先
  ② 新番組の開始時刻が同じときは、地上デジタルと BS デジタルでは、地上デジタルの番組を優先し、同じ放送のときは、チャンネル番号の小さい番組を優先
- 契約が必要なチャンネルの新番組も自動で予約しますが、契約していない場合、録画はされません。

選んでいる番組に関連した番組を予約録画する

選択している番組のジャンルや出演者など関連した情報から番組を検索します。

番組内容画面(➜30 手順 4)表示中に

❶ **「関連情報」を選び、決定 を押す**

❷ **項目を選び、決定 を押す**

例）

関連情報
ジャンルで番組を探す
キーワードで番組を探す
項目選択
決定
戻る

- この操作を繰り返し、検索条件を絞り込みます。

放送を切り換えるには

[地上] [BS] [CATV] を押す

別の日の検索結果を表示するには

検索結果画面表示中に 、[青] を押して、日付を選択する

❸ **番組を選び、決定 を押す**

❹ **「番組予約へ」を選び、決定 を押す（➜30 手順 5)**

録画

詳細設定をする

30 ページ手順 5 などで「詳細設定」を選んだあとに操作します。

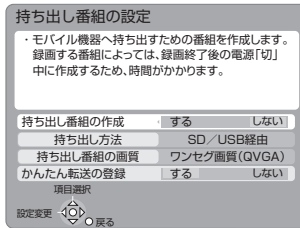
1 **項目を選び、設定する**(➜ 右記へ)

- 「毎週予約設定」「持ち出し番組の設定」「信号設定」「マイラベル設定」「時間指定予約へ」の場合は、[決定] を押してください。

2 設定が終了したら、
「予約を登録する」または「修正を反映する」を選び、決定 を押す

録画先	「HDD」または「BD」を選びます。
録画モード	録画モード(➜46)を設定します。
毎週予約設定	毎週予約設定 毎週予約 しない 自動更新 入 切 月 する しない 火 する しない 水 する しない 木 する しない 金 する しない 土 する しない 日 する しない ●お好みの曜日を選び、曜日毎に設定を変更することができます。 項目選択 設定変更 決定 戻る **「毎週予約」(➜43)を設定する** ●「自動更新」を「入」に設定すると、前回の番組を消去して録画するので、HDD 容量を効率よく録画できます。 ●曜日ごとに「する」「しない」の設定をすることもできます。 **お知らせ** ●番組表を使って毎週予約した番組で、予約した番組と同じ名前の番組が見つけられずに予約を実行した場合、正常に予約録画されないときがあります。 ●毎週予約では、次回以降の予約が重複している場合があります。予約一覧で確認してください。

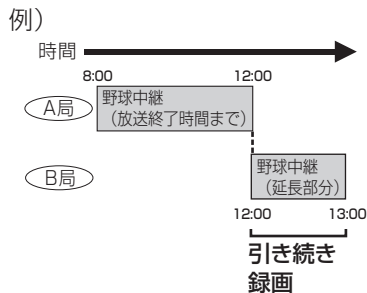
持ち出し番組の設定 HDD

録画時に持ち出し番組も作成するよう設定をします。(➜98)

「持ち出し番組の作成」を選び、「する」を選ぶ

- 「かんたん転送の登録」を「する」に設定すると、「かんたん転送」(➜99)で転送することができます。
- 持ち出し番組の作成は、録画後でも行うことができます。(➜98)

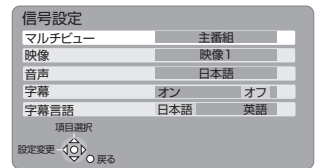
持ち出し方法･持ち出し番組の画質について(➜97)

イベントリレー

「する」を選ぶと、野球延長などで延長部分が他のチャンネルで放送される場合、引き続き番組を録画します。(ただし、別番組として録画されます)

お知らせ

- 毎日･毎週予約を設定している場合は働きません。
- 録画先が“BD”の場合、延長部分は HDD に代替録画されます。
- 他の予約と重複した場合、一方の番組が録画されないときがあります。

信号設定

複数の音声や映像の信号があるときに設定します。

① **項目を選び、設定する**

② **[戻る] を押す**

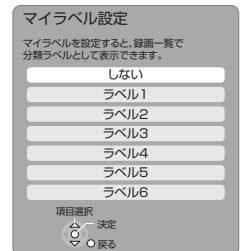
お知らせ

- 記録できる音声、映像、字幕情報は、録画モードによって異なります。(詳しくは ➜46)
- 選べる項目は、予約時点の番組情報に基づいています。実際に放送された番組が設定した項目を含んでいない場合、設定した内容では録画されません。

マイラベル設定 HDD

録画する番組をどのマイラベルに分類させるか設定することができます。

設定すると、録画一覧(➜52)で番組を探すのに便利です。

設定は録画後に変更することもできます。(➜66)

ラベルを選び、[決定] を押す

- 選択したラベルが録画一覧にない場合、画面にメッセージが表示されます。画面の指示に従って表示設定をしてください。
- マイラベル名は変更することができます。(➜54「分類ラベル設定」)

時間指定予約へ

録画時間や番組名などの変更をしたい場合に行います。(➜40「時間指定予約」)

HDD BD-RE BD-R RAM -R(AVCREC) -R(VR) -RW(VR)

日時を指定して予約録画する（時間指定予約）

1 予約確認 **を押す**

2 緑 **を押す**

3 **予約内容を設定する**

（➜ 右記「時間指定予約」へ）

4 **「予約を登録する」または「修正を反映する」を選び、決定 を押す**

お知らせ

- **暗証番号に関する表示が出たとき**
  デジタル放送には、視聴制限のある番組があり、視聴･録画には暗証番号(➜150)の入力が必要です。視聴制限のない番組の場合は、[戻る]を押すと予約できます。
- 番組追従機能(➜43)は働きません。

予約内容の設定

時間指定予約

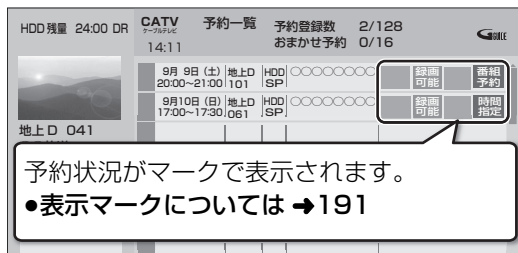
❶ **項目を選び、設定する（➜ 下記へ）**
- 「毎週予約設定」「持ち出し番組の設定」「番組名入力」「マイラベル設定」の場合は、**[決定]** を押してください。

❷ 設定が終了したら、
左記手順４へ

録画日	日付を指定します。
毎週予約設定	毎日･毎週予約を設定します。 **(➜38「毎週予約設定」)**
放送種別 / チャンネル	録画する放送とチャンネルを設定します。
開始時刻 / 終了時刻	録画の開始時刻や終了時刻を設定します。 ●[◀] または [▶] を押したままにすると15分単位で変更できます。
録画先	「HDD」または「BD」を選びます。
録画モード	録画モード(**➜46**)を設定します。
持ち出し番組の設定 HDD	持ち出し番組作成の設定をします。**(➜39)**
番組名入力	●文字入力について(**➜111**) ●入力しなくても、番組表にある番組は、録画後に自動的に番組名が付きます。
マイラベル設定 HDD	録画する番組をどのラベルに分類させるか設定します。**(➜39)**

予約内容の確認、取り消し、修正など

1 予約確認 **を押す**

2 **番組を選び、以下の操作を行う**

- 実行されなかった予約は、翌々日の午前 4 時には一覧から消去されます。
- 予約番組の放送時間が変更された場合に、変更内容が予約一覧で反映されないときがあります。

予約の取り消し

❶ 黄 を押す
❷「はい」を選び、決定 を押す

- [1 1] または [消去](ふた内部)を押して取り消すこともできます。

予約内容の修正

❶ 決定 を押す
❷「修正」を選び、決定 を押す
(「番組予約」の場合は ➜38「詳細設定」へ)
(「時間指定予約」の場合は➜40「時間指定予約」へ)

毎日・毎週予約の予約状況を確認

予約の重複などを確認できます。

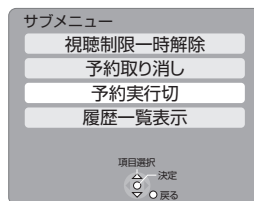
❶ 決定 を押す
❷「毎週一覧」を選び、決定 を押す

- 予約の「重複」がある場合に [決定] を押すと、「予約重複確認」画面を表示します。(➜44)
予約の修正をしてください。

予約の実行を止める(一時解除)

❶ サブメニュー S を押す

例)

サブメニュー
視聴制限一時解除
予約取り消し
予約実行切
履歴一覧表示
項目選択 決定 戻る

❷「予約実行切」を選び、決定 を押す

- 予約内容に「予約実行切」マークが表示されます。
- [サブ メニュー] を押して「予約実行入」を選ぶと、待機状態に戻ります。

視聴制限の一時解除

暗証番号(➜150)を入力して視聴制限を一時解除します。

❶ サブメニュー S を押す
❷「視聴制限一時解除」を選び、決定 を押す
❸ 1 ～ 10 で暗証番号を入力する

履歴一覧の表示

❶ サブメニュー S を押す
❷「履歴一覧表示」を選び、決定 を押す

- 履歴を選択して削除することができます。

履歴の削除

「一部未実行」の番組などの履歴を削除します。

❶ サブメニュー S を押す
❷「履歴削除」を選び、決定 を押す
❸「はい」を選び、決定 を押す

- 予約一覧で削除した場合でも、履歴一覧での履歴は残っています。

録画

予約録画する(つづき)

番組表での予約の取り消し / 修正

予約の取り消し

❶「予」が表示されている番組を選び、決定 を押す
❷「予約取り消し」を選び、決定 を押す

- 「予」が消えます。
- 予約録画実行中の番組は、取り消しできません。

予約の修正

❶「予」が表示されている番組を選び、決定 を押す
❷「予約修正」を選び、決定 を押す

「番組予約」の場合は
➜38「詳細設定」

「時間指定予約」の場合は
➜40「時間指定予約」

お知らせ

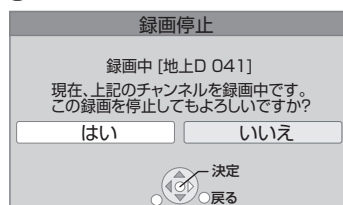
- 同じ番組を複数予約している場合は、予約一覧で取り消しや修正を行ってください。(➜41)

録画中の予約録画を止める

1 停止 ■ **を押す**

- 2番組を録画中のときは、録画を止めたいチャンネルを選んでください。

2 **「はい」を選び、決定 を押す**

例）

予約録画の便利な機能

録画の毎日･毎週予約

連続ドラマを**毎日･毎週予約**すると自動的に毎日または毎週録画し、毎回の放送を録りためていきます。

●連続ドラマが終了するなど不要になった予約は取り消してください。(➜41)

■まとめ表示について まとめ HDD

連続ドラマなどを毎日･毎週予約した番組は、録画一覧画面でまとめて表示されます。(➜55)
(「自動更新」を「入」にして録画した場合は除く)

■前回の番組を消去して録画するには（自動更新）HDD

「自動更新」(➜38)を設定しておくと、前回の放送分は消去されますので、HDD の容量を効率よく使えます。

●番組にプロテクトを設定している場合や、HDD 再生中、ダビング中は自動更新されません。(別番組として録画され、次回からそれが自動更新されます)

ディスクの残量不足などに対応(代替録画)

ディスクの入れ忘れ、残量不足などでディスクに予約録画できない場合は、自動的に“HDD”に録画先を変更し、録画の失敗を防ぎます。

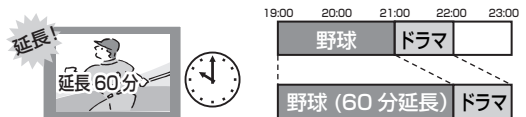
●HDDの残量が少ない場合は、録画できる分のみ録画されます。

●CATV デジタル放送を録画モード「HG」「HX」「HE」「HL」「HM」「HZ」でディスクに予約する場合、番組によっては代替録画を行うことがあります。

番組追従機能

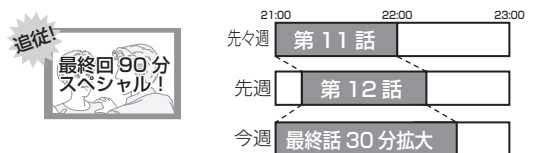
●番組表から予約した番組にのみ働きます

■野球中継などの番組延長に対応

予約後に放送時間が変わっても、録画時間を自動的に変更します。(3 時間までの変更に対応)

●「イベントリレー」(➜39)を設定しておくと、延長部分が、他のチャンネルで放送される場合にも対応します。

●予約した番組が放送局側の都合により放送されなかった場合、予約録画は実行されません。

■毎日・毎週予約した番組の時間変更に対応

「ドラマを毎週予約していたが、次回の放送に時間変更があった。最終回だけ 30 分拡大版だった。」などの場合に対応します。(開始 / 終了時刻の 3 時間までの変更に対応)

●次回以降の予約登録をするときに、同じ番組名を番組表データから探して登録します。

●番組表の更新を基に働くため、更新状態(番組名の変更など)によっては正しく働かない場合があります。この場合は、最初の予約内容のまま登録します。

番組追従機能を無効にするには

時間指定予約で予約を行ってください。(➜40)

お知らせ

●番組追従機能によって予約の重複が起こった場合は、変更後の録画時間で録画の優先順位を決定します。開始時刻の早い番組が実行され、遅い番組の重複している部分は録画されません。

●番組追従機能は当社独自の機能です。Gガイド固有の機能ではありません。

●予約番組の放送時間が変更された場合に、変更内容が予約一覧で反映されないときがあります。

予約録画する(つづき)

予約録画に関するお知らせ

予約録画待機中の録画や再生

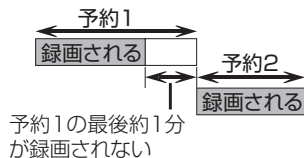
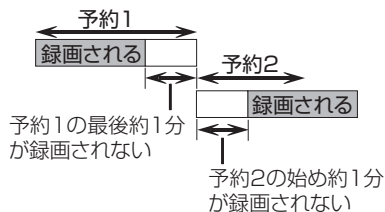
以下の場合、予約録画が始まり、録画や再生は終了します。

- ●録画中:
  ２番組を録画できない状態のとき
- ●ディスク再生中:
  ディスクへ予約した番組の予約時刻になったとき
- ●BD ビデオや AVCHD のディスク、「1080/60p」の表示がある SD カードの番組を再生中:
  XP、SP、LP、EP、FR モードの予約録画の開始時刻になったとき
- ●HDD に取り込んだ「1080/60p」の表示がある番組を再生中:
  DR モード以外の予約録画の開始時刻になったとき

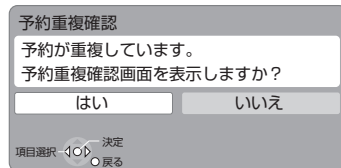
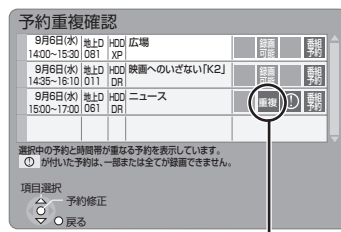
予約時の電源の切 / 入について

電源の切 / 入にかかわらず、予約録画は始まります。予約録画中に電源を切ることはできます。(録画に影響はありません)

前の予約の終了時刻と次の予約の開始時刻が同じ場合

２番組を録画できない状態のときは、前の予約の終わりの約 1 分が録画されません。

次の予約先が「BD」の場合は、次の予約の始めも、約 1 分が録画されません。

- ●前の予約の録画終了時刻に近づくと、視聴中のチャンネルが次の予約のチャンネルに切り換わる場合があります。

予約番組が重なっているとき
(30 ページ手順 5 などのあと)

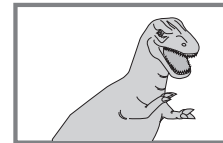
予約が重なって、録画が正しく行われない場合、確認画面が表示されます。
画面の指示に従って、予約の重複を修正することをおすすめします。

例)

「重複」マークが付いた予約は、一部またはすべてが録画できません。

予約を選び、[決定]を押すと、予約の修正ができます。

予約一覧画面で「重複」マークが表示されている番組は、番組の一部またはすべてが録画されません。

開始時刻の早い番組を優先して録画します。録画が終わり次第、次の番組が途中から録画されます。

番組の同時録画について

本機でできる同時録画の組み合わせは、以下の通りです。

ディスクには1番組のみ録画できます。

お知らせ

- 予約録画していた番組が、番組追従機能によって録画が延長になり、次の予約と重なった場合に、同時録画の上記の組み合わせ以外のとき、その予約の一部またはすべてが実行されなくなります。
- 以下の場合、番組の2番組同時録画はできません。
  - ･DV 入力から録画する場合
  - ･ディスクから HDD へダビング中
  - ･HDD から HDD へダビング(複製)中

録画

録画モードについて

録画モード	DR	HG・HX・HE・HL・HM・HZ	XP・SP・LP・EP	FR
画質	放送画質 放送そのままの画質で記録	ハイビジョン画質 放送データを圧縮※1して、ハイビジョン画質で長時間記録 ディスクにもハイビジョン画質で記録	標準画質 従来のアナログ放送と同様の画質で記録	標準画質 ディスクの残量に合わせてXP～EPの中で画質を自動調整して記録 ●番組の時間が少なくても、ディスク残量がなくなる場合があります。
	高画質　長時間		高画質　長時間	―
記録できる放送／入力	地上・BS・CATV デジタル放送 i.LINK（TS）	地上・BS・CATV デジタル放送	地上・BS・CATV デジタル放送 DV入力	
記録できるディスク	HDD BD-RE BD-R	HDD BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC)	HDD BD-RE BD-R RAM(VR) -R(VR) -R(V)※2 -RW※2	
サラウンドの音声	サラウンド音声※3		ステレオ音声 （ダウンミックス2チャンネル）	
複数の音声（マルチ音声➜49）	複数の音声をすべて記録	音声は2つ記録※4※5※6	音声は1つだけ記録※4	
複数の映像	複数の映像をすべて記録	映像は1つだけ記録※4		
文字スーパー	記録する	記録しない		
字幕情報	字幕の入／切情報を含めて記録 （再生時、字幕表示の入／切ができる）		字幕の入／切情報は記録しない （再生時、字幕表示の入／切はできない）※4	

※1　MPEG-4 AVC/H.264エンコード

※2　-R(V) -RW(V) デジタル放送のコピー制限のある番組は記録できません。

※3　CATVデジタル放送の番組によっては、放送の音声方式を変換したステレオ音声（ダウンミックス2チャンネル）になります。

※4　記録したい映像や音声、字幕表示の入／切などの内容を選びたい場合、記録前に下記の設定をしてください。
- ●録画時　　：「信号切換」（➜**26**）で選ぶ
- ●予約録画時：「信号設定」（➜**39**）で選ぶ
- ●ダビング時：「信号切換」（➜**62**）で選んだあと、ダビングを行う（➜**79**）

※5　HZモードの場合、音声の種類によっては録画できる時間が短くなる場合があります。

※6　CATVデジタル放送の番組によっては、音声は1つだけ記録する場合があります。

画質と記録時間について

スポーツ、音楽ライブ番組など、動きや明るさの変化が激しい番組を長時間の録画モード(例:HE、HL、HM、HZやEP)で録画する場合、ブロック状のノイズが目立つことがあります。この場合、DRやHG、XPなど高画質の録画モードをお使いになることをおすすめします。

予約録画時の録画モードについて

予約録画時に、現在選ばれている録画モードを確認するには、30ページの手順2の画面で確認してください。

- 予約した番組の録画モードを確認するには、予約一覧をご覧ください。(➜41)

HG、HX、HE、HL、HM、HZモードでの録画について

録画モード「HG」、「HX」、「HE」、「HL」、「HM」、「HZ」での録画は、以下の場合、いったん録画モード「DR」で録画したあと、電源「切」時に設定した録画モードに変換します※。

- 2番組を録画中に次の動作を行った場合(1番組のみ録画モード「DR」に切り換えて録画します)
  - ・HDD BD-RE BD-R RAM -R -RW DVD-V の番組再生
  - ・音楽の再生
- 2番組を録画中に次の動作を行った場合(2番組とも録画モード「DR」に切り換えて録画します)
  - ・BD-V AVCHD の番組再生
  - ・ディスクへのダビング
- 1番組のみ録画中に次の動作を行った場合(録画モード「DR」に切り換えて録画します)
  - ・BD-V AVCHD の番組再生
  - ・ディスクへの1倍速ダビング
- CATVデジタル放送を録画する場合(番組によっては録画モード「DR」に切り換えて録画することがあります)

また、HG、HX、HE、HL、HM、HZモードで2番組を録画中は、以下の制限があります。

- HDDとディスクに1番組ずつ録画している場合やHDDの残量が少ない場合、再生やダビングはできません。
- 持ち出し番組やダビングリスト作成画面のプレビューはできません。
- ドアホン・センサーカメラ映像を再生できません。

※ 電源「切」時に、電源コードを抜いている場合、録画モード変換は行いません。

録画

記録の制限について

デジタル放送の録画とダビング

デジタル放送のほとんどの番組には、不正なダビングを防止し著作権を保護するため、「ダビング 10」または「1回だけ録画可能」のコピー制限があります。

ブルーレイディスク
市販されているディスクはそのまま使用できます。

DVD
著作権保護技術を持ったCPRMに対応している必要があります。

パッケージに CPRM対応 の記載のあるDVDを準備してください。
（デジタル放送録画用と記載されている場合もあります）

■コピー制限について

コピー制限のある番組を録画すると、録画先がHDDの場合は 10 または 1 を、ブルーレイディスクの場合は 1 を表示します。
10 ～ 1 はダビングの残り可能回数を表します。
DVDの場合は ✕ を表示し、ダビングや移動はできません。

1 表示のある番組について
ダビングまたは転送すると、ダビング元の番組は消去されます。（複製はできません）
- 通常の番組・持ち出し番組ともにダビング元から消去されます。（BD-R 番組が消去されてもディスク残量は増えません）

- プロテクト設定（➜65）されている場合、ダビングできません。

コピー制御のしくみに関する一般的な内容については、下記ホームページをご覧ください。
社団法人 デジタル放送推進協会
http://www.dpa.or.jp

番組内でアスペクト比が異なる番組の記録

以下の場合、「ビデオ方式の記録アスペクト」（➜154）を「オート」に設定していると、番組の開始時のアスペクト比で記録します。別のアスペクト比で記録したい場合、設定を変更してください。
- 「高速ダビング用録画」（➜153）が「入」のときに
  - ・DV 入力から録画
  - ・ファイナライズ後のディスク（DVDビデオ）から HDD にダビング
- -R(V) -RW(V) へ記録するとき

ハイビジョン画質で記録時のアスペクト比

デジタル放送を「HG」、「HX」、「HE」、「HL」、「HM」、「HZ」モードで記録する場合、「デジタル放送の記録アスペクト」（➜154）の設定に従って記録されます。
- ハイビジョン画質の 16:9 映像は「4:3」にしても、16:9 映像として記録されます。

標準画質で放送されている番組の記録

放送によっては、「DR」モードよりも他の録画モードで記録するほうが、記録容量が大きくなる場合があります。

多重音声の記録について

海外映画やスポーツ中継などには、主音声と副音声を含んだ番組や複数の音声を含んだ番組があります。
このような音声を含んだ番組を録画するときは、設定により記録される音声が異なります。

録画する放送の音声を見分けるには…

番組表の番組内容画面で、表示されるマークを確認してください。

信号 :マルチ音声
主+副 :二重音声

番組を視聴中のときは、**[音声切換]**（ふた内部）を押して、音声を切り換えて確認することもできます。

例えば、日本語と英語の二ヵ国語放送を記録する場合

	記録先	デジタル放送のマルチ音声	デジタル放送の二重音声
両方の音声を記録する (こんにちは) (Hello)	HDD ブルーレイディスク	DR、HG、HX、HE、HL、HM、HZ モードを選ぶ※1	録画モードにかかわらず両方の音声が記録されます※2
	DVD	HG、HX、HE、HL、HM、HZ モードを選ぶ※1	RAM -R(AVCREC) -R(VR) -RW(VR) を使う※2
片方の音声のみ記録する (こんにちは) ●記録する音声を選ぶには **(➜ 下記)**	HDD ブルーレイディスク DVD	XP、SP、LP、EP、FR モードを選ぶ	― (両方の音声を記録します※2)

		デジタル放送のマルチ音声
記録する音声を選ぶには	録画時	●**直接録画の場合** 「信号切換」**(➜26)**の「音声」 ●**予約録画の場合** 予約時の「信号設定」**(➜39)**の「音声」
	ダビング時	「信号切換」**(➜62)**の「音声」で音声を選んだあと、ダビング**(➜79)**

※1 CATV デジタル放送の番組を HG、HX、HE、HL、HM、HZモードで記録する場合、記録できる音声は1つになることがあります。**(記録する音声を選ぶには ➜ 上記)**

※2 HDD BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) CATV デジタル放送の番組を HG、HX、HE、HL、HM、HZモードで記録する場合、「二重放送音声記録」**(➜155)**で選ばれた音声のみ記録します。ただし、番組によっては「主」、「副」を選んでも、両方の音声が記録される場合があります。

再生する

HDD BD-RE BD-R BD-V RAM -R -RW DVD-V AVCHD

録画した番組を再生する

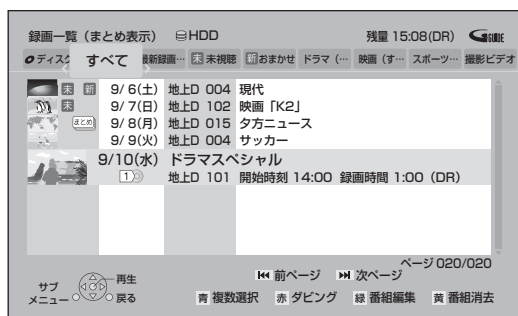
ディスクを再生する場合、ディスクを入れる。

例) RAM

DVD-RAM(VR)
録画した番組を見る
かんたんダビング
写真

上記画面が表示された場合、「録画した番組を見る」を選び、[決定]を押すと、下記の手順2に進むことができます。

1 録画一覧 **を押す**

2 **番組を選び、決定 を押す**

- 毎日・毎週予約した番組は、まとめ番組内に録画されます。
  まとめ番組を選んで、[決定]を押すと、まとめ番組内の番組を表示できます。

市販またはレンタルの BD ビデオや DVD ビデオを再生する

ディスクを入れて、メニュー画面が表示されたときは、画面に従って操作してください。

1 **ディスクを入れる**

- 自動的に再生が始まります。
- 再生が始まらない場合、[再生 ▶]を押してください。

2 メニュー画面が表示された場合
項目を選び、決定 を押す

メニュー画面を表示させるには

BD-V 再生中: [サブ メニュー]を押して、「トップメニュー」を選ぶ
停止中: [録画一覧]を押す

DVD-V [録画一覧]を押す
([サブ メニュー]を押して、「トップメニュー」を選ぶ)

ポップアップメニューを表示させるには

BD-V 再生中: [録画一覧]を押す

- 停止中に[1]～[10]を押して、タイトルを再生できるディスクもあります。
  DVD-V: 2 桁入力　BD-V: 3 桁入力

お知らせ

- 表示マークについては ➜192
- 録画一覧表示中に[赤]を押すと、かんたんダビング(➜72)を行うことができます。

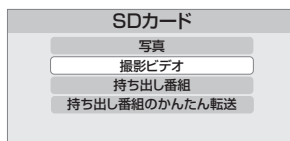
お知らせ

- BD-V 市販の映画などが記録された BD ビデオは、XP、SP、LP、EP、FR モードで録画中に再生することはできません。また、再生中に XP、SP、LP、EP、FR モードの予約録画が始まると再生を終了します。
- メニュー画面の表示中は、ディスクが回っています。本機のモーターの保護やテレビ画面への焼き付き防止のため、再生しないときは [停止 ■] を押して停止させてください。

撮影したハイビジョン動画(AVCHD)を再生する

当社製デジタルハイビジョンビデオカメラで撮影したハイビジョン動画(AVCHD)を再生することができます。
- 当社製デジタルハイビジョンビデオカメラで撮影した 1080/60p(1920 × 1080/60 プログレッシブ)記録の番組を再生することもできます。

ディスクまたは SD カードを入れると、下記画面が表示されます。(表示される項目は記録内容によって異なります)

例) SD

ディスクを入れた場合:
下記の手順 3 に進みます。

SD カードを入れた場合:
① 「撮影ビデオ」を選び、**[決定]** を押す
② 「AVCHD(ハイビジョン画質)を見る」を選び、**[決定]** を押す
- 下記の手順 4 に進みます。

1 **を押す**

2 「ブルーレイ(BD)/DVD」または「SD カード」を選び、決定 を押す

3 「撮影ビデオ(AVCHD)を見る」を選び、決定 を押す

4 タイトルを選び、決定 を押す

☞ **メニューが表示されないときは**
[1] ～ [10] で3桁入力してタイトルを再生してください。

録画一覧について

お知らせ

- 録画一覧の番組名は、録画を開始して 3 分後または録画終了時に付くようになります。番組名が付いていない場合、いったん録画一覧画面を消して再表示すると番組名が付きます。
- 視聴制限のある番組は表示されない場合があります。「視聴制限一時解除」(➜54)を行うと、表示されるようになります。

ラベルの分類について

HDD に録画した番組は、番組の内容によって本機があらかじめ設定しているラベルに自動的に分類されます。また、お好みでマイラベルに分類すると、さらに番組を探しやすくなります。

ディスク		ディスク内の番組（ディスクが入っている場合のみ表示） ● BD-V DVD-V では表示されません。
HDD	すべて	すべての番組
	最新録画番組	最新の録画番組から順に 18 番組まで表示します。 ●表示は全番組表示になります。 ●再生中に録画が開始されると、録画一覧上の選択中の番組は変更されます。番組を消去するときはお気をつけください。
	未 未視聴	録画してまだ見ていない番組 ●再生後は、「 未 未視聴」から除外されます。
	新 おまかせ	「新番組おまかせ録画」(➜37)で録画された番組 ●再生後に表示される予約画面で「予約する」の操作を行うと、「 新 おまかせ」から除外されます。
	ダウンロード ●TZ-BDT910Pのみ	ダウンロードした番組(➜106)
	ドラマ、映画などの「ジャンル」	録画した番組の番組情報をもとに、そのジャンルに該当する番組のみを表示します。 ●番組によっては、正しく分類されない場合があります。
	マイラベル	「マイラベル設定」(➜39、66)で設定した番組のみを表示します。 ●マイラベルは 6 個準備されています。新たに追加することはできません。 ●マイラベル名は変更することができます。(➜54「分類ラベル設定」)
	撮影ビデオ	ディスクやSDカード、USB機器から取り込まれたハイビジョン動画（AVCHD）(➜86)

再生する(つづき)

HDD **BD-RE** **BD-R** **RAM** **-R** **-RW**

録画一覧上での便利な機能

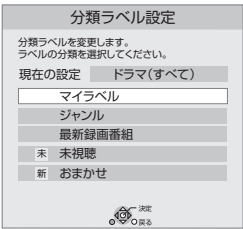
録画一覧画面上で

❶ **番組を選び、[サブメニュー] (S) を押す**

●「分類ラベル設定」を行うときは、変更したいラベル(➜53)を選んでから [サブ メニュー] を押してください。

❷ **項目を選び、(決定) を押す（➜ 下記へ）**

例）

先頭から再生 **つづきから再生** **HDD**	前回停止した位置から再生するか、最初から再生するか選ぶことができます。
番組消去	番組を消去すると、持ち出し番組も消去されます。[ダウンロードした番組(➜106)を除く] **「消去」を選び、[決定] を押す**
内容確認	番組の内容が確認できます。 **画面を消すには** **[決定]** を押す
分類ラベル設定 **HDD**	録画一覧に表示するラベルを変更します。 ●「すべて」「撮影ビデオ」ラベルは変更できません。 分類ラベル設定 分類ラベルを変更します。 ラベルの分類を選択してください。 現在の設定　ドラマ(すべて) マイラベル ジャンル 最新録画番組 未 未視聴 新 おまかせ 決定 戻る **表示させたいラベルを選び、[決定] を押す** ●「ジャンル」を選んだ場合は、この操作を繰り返します。 ●「マイラベル」は、以下の操作でラベル名を変更することができます。 ① 設定するマイラベルを選び、**[決定]** を押す ② 「名称変更」を選び、**[決定]** を押す (ラベル名を変更しない場合は、「確定」を選んでください) ③ ラベル名を入力する (➜111)
視聴制限一時解除 **HDD**	「制限項目設定」(➜150)で設定された視聴制限を一時的に解除します。画面の指示に従って暗証番号を入力してください。表示されていない視聴制限のある番組を表示します。
全番組表示へ **まとめ表示へ** **HDD**	表示を切り換えます。

まとめ 番組について

毎日·毎週予約した番組は、録画一覧画面で まとめ 番組として表示されます。

まとめ 番組の再生 HDD

■番組を選んで再生する

❶ まとめ 番組を選び、決定 を押す
❷ 再生する番番組を選び、決定 を押す

■番組を連続して再生する（まとめ再生）

まとめ 番組を選び、再生/1.3倍速 ▶ を押す

● まとめ 番組内の番組を連続で再生します。
● まとめ 番組にダウンロードした番組(➜106)が含まれる場合、まとめ再生はできません。

まとめ 番組の番組名について HDD

「まとめ表示」での番組名は、まとめ 番組内の最初の番組名が付きます。

「まとめ表示」での番組名を変更するには

変更したい まとめ 番組を選んで、「番組名編集」を行ってください。(➜65)

●「すべて」ラベル選択時のみ編集できます。
● まとめ 番組名を変更しても番組内の各番組の名前は変わりません。

まとめ 番組の編集 HDD

●「すべて」ラベル選択時のみ編集できます

❶ 番組を選び、青 を押す
● ☑ が表示されます。この操作を繰り返し、番組を選びます。
❷ すべて選んだあと、サブメニュー S を押す
❸ 項目を選び、決定 を押す（➜ 下記へ）

まとめ番組の作成	選んだ番組を、1 つにまとめます。 **「まとめ番組の作成」を選び、[決定] を押す**
まとめ番組の解除	まとまりを解除します。 **「まとめ番組の解除」を選び、[決定] を押す**
まとめ番組から除外	選んだ番組を、まとめ 番組から外します。 （まとめ番組一覧表示のとき） **「まとめ番組から除外」を選び、[決定] を押す**

再生する(つづき)

再生中のいろいろな操作

停止

を押す

続き再生メモリー機能

止めた位置を一時的に記憶するため、次回再生時に止めた位置から再生します。

- HDD :番組ごとに止めた位置を記憶
- ディスク:前回止めた位置のみを記憶
  - ・記憶した位置は、トレイを開けると解除されます。
  - ・BD-V DVD-V ディスクによっては、続き再生メモリー機能が働かない場合があります。

一時停止

[一時停止/前選局 ‖] **を押す**

- もう一度押す、または[**再生▶**]を押すと、再生を再開します。

早送り・早戻し(サーチ)

[スロー/サーチ ◀◀] **または** [スロー/サーチ ▶▶] **を押す**

押すごとに、または押し続けると速度が速くなります。(5 段階)

- [**再生 ▶**]で通常再生に戻ります。

スキップ

再生中または一時停止中に

[スキップ |◀◀] **または** [スキップ ▶▶|] **を押す**

押した回数だけ番組や場面を飛び越します。

- チャプターマーク(➔**68**)がある場合は、その場面に飛びます。
- HDD まとめ再生中(➔**55**)は、前後の番組も含めて飛び越します。

30 秒先へ飛び越す

[30秒送り] **を押す**

押すごとに、約30秒先へ飛び越して再生します。

- DVD-V 正しく働かない場合があります。

15 秒前へ戻す

[30秒送り] **を約 2 秒以上押す**

押すごとに、約15秒前に戻して再生します。

- DVD-V 正しく働かない場合があります。

早見再生(1.3 倍速)

[再生/1.3倍速 ▶] **を約 1 秒以上押す**

通常よりも速い速度で再生します。

- もう一度[**再生▶**]を押すと、通常再生に戻ります。
- 市販のBDビデオを3D再生中、または「1080/60p」の表示がある番組、-RW(ファイナライズ後も含む)ではできません。

スロー再生

一時停止中に

[スロー/サーチ ◀◀] **または** [スロー/サーチ ▶▶] **を押す**

押すごとに速度が速くなります。(5段階)

- [**再生 ▶**]で通常再生に戻ります。
- BD-V AVCHD 送り方向のみ働きます。

コマ送り / コマ戻し

一時停止中に

を押す

押すごとに 1 コマずつ送り(戻し)ます。

- 押し続けると、連続してコマ送り(戻し)します。
- [**再生 ▶**]で通常再生に戻ります。
- BD-V AVCHD コマ戻しはできません。

時間を指定して飛び越す(タイムワープ)

❶ 12 (タイムワープ) を押す

●飛び越し時間表示が消えたときは、もう一度押してください。

❷ 飛び越し時間の表示中に、
[▲][▼] で飛び越す時間を設定し、決定 を押す

●[▲][▼] を押すごとに 1 分ずつ(押し続けると 10 分ずつ)送り [▲]、戻し [▼] します。

● BD-V DVD-V AVCHD できません。

画面モードの切り換え

上下左右に黒帯が入っている場合に、上下左右の黒帯を消して大きく表示します。

操作方法(➜24)

音声の切り換え

音声切換 (ふた内部) を押す

●押すごとに、番組の内容によって切り換わります。

● BD-V DVD-V ディスク制作者の意図などにより、切り換えができないディスクもあります。

音声の出力先の切り換え

本機をビエラリンク(HDMI)に対応した当社製テレビとアンプに HDMI で接続すると、本機の音声出力先を切り換えることができます。

操作方法(➜25)

字幕の切り換え

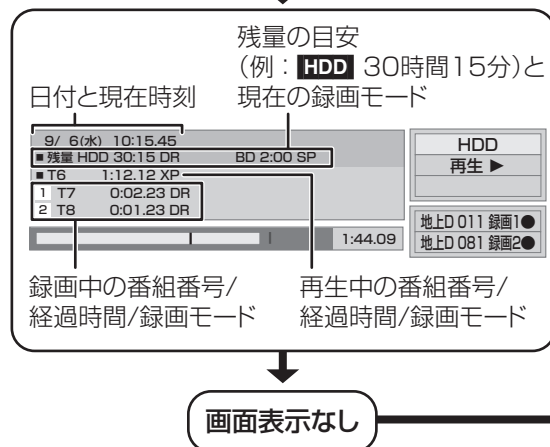
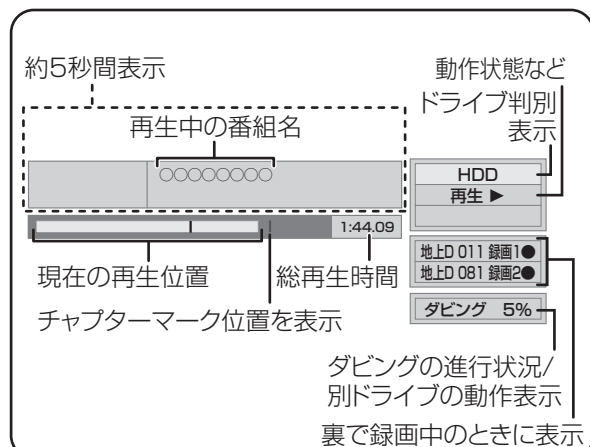
再生中の字幕表示の入 / 切は、[字幕](ふた内部)を押してもできません。字幕表示の入/切を行うには、「再生設定」(➜62)で行ってください。

操作の状態の表示

テレビ画面で操作内容や本機の状態などを確認できます。

画面表示 を押す

●押すごとに切り換わります。

例) HDD

残量表示について

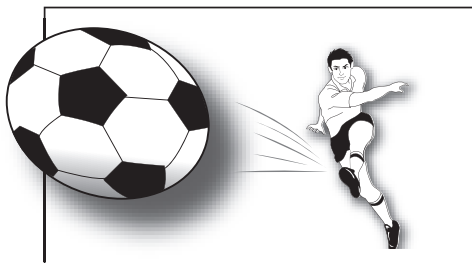
放送信号によってディスクの使用量にばらつきが生じるため、記録可能なおおよその時間を表示しています。(DR モードは、特にそのばらつきが大きくなります)

お知らせ

●ディスクや再生状態(停止中など)によっては、一部できない操作があります。

3D 映像を楽しむ

3D 対応テレビと HDMI ケーブルで接続すると、臨場感にあふれた、迫力ある 3D 映像をお楽しみいただけます。

- 本機と 3D 対応のテレビを、HDMI ケーブルで接続する(➜ 122)
  ・テレビ側で必要な準備を行ってください。

※イラストはイメージ図です。

- 表示される画面の指示に従って、再生を行ってください。

3D 再生に関する設定

必要に応じて下記の設定を行ってください。

3D ディスクの再生方法 BD-V	3Dディスクを2D(従来の映像)再生することもできます。(➜153)
3D 方式設定	3D 映像が正しく 3D 再生できない場合に、接続しているテレビの方式に合わせて設定を変更します。(➜156)
3D 再生時の注意表示	3D視聴の注意画面を表示しないようにすることができます。(➜156)
画面表示の飛び出し量 BD-V	再生設定画面などの飛び出し量を変更することができます。(➜63)

3D映像を視聴するための便利な機能

❶ **視聴または再生中に サブメニュー S を押す**

●表示されない場合、もう一度[サブ メニュー]を押してください。

❷ **「3D/2D出力」を選び、決定 を押す**

❸ **項目を選び、決定 を押す**

出力方式	**オリジナル**	元の映像で表示します。
	サイドバイサイド	サイドバイサイド(2画面構成)などの3D対応の放送の番組を3D映像で見ることができない場合に選択してください。 ●変更しても正しく表示されない場合は、「3D方式設定」(➜**156**)とテレビ側の3D設定を確認してください。
	2D → 3D変換	再生中の2D映像を擬似的に3D映像に出力します。
3D画面モード(3D奥行きコントローラー) ●3D再生中のみ	**標準**	標準的な3D効果で映像を再生します。
	弱	飛び出しすぎを抑えて、広がり感のある3D映像を楽しめます。 ●「2D→3D変換」時は選択できません。
	手動設定	3D映像の各種効果を設定します。 **奥行き** 映像の飛び出し量を設定します。 **スクリーンタイプ** 画面の見えかた(平面または曲面)を選択します。 **周辺ぼかし幅** 画面の縁のぼかし量を設定します。 **周辺ぼかし色** 画面の縁のぼかしの色を設定します。

お知らせ

- 「3D方式設定」(➜**156**)が「サイドバイサイド」の場合:
  - ・テレビ側でも3Dの設定を切り換えてください。
  - ・「画面表示の飛び出し量」(➜**63**)は設定できません。
- 接続している機器によっては、再生中の映像が解像度などの変化のため、2D映像に切り換わることがあります。接続している機器側の3D設定をご確認ください。
- 3D映像は、「HDMI出力解像度」や「24p出力」(➜**157**)の設定どおりに出力されない場合があります。
- 3D映像の再生開始時に、サイドバイサイド(2画面構成)で見えることがあります。
- 3D映像と2D映像を連続で再生すると、先頭部分が二重に見えることがあります。
- 以下の場合、「3D/2D出力」の設定が「出力方式」は「オリジナル」、「3D画面モード」は「標準」に戻ります。
  - ・他のチャンネルを選局
  - ・番組の再生を始める、または終了する
  - ・電源を切 / 入
- BD-V の3D再生や 3D 表示のある番組では、「出力方式」は「オリジナル」固定になります。

再生

BD-Live、e-move対応のBDビデオや副映像のあるBDビデオを楽しむには

お楽しみいただける機能や再生方法などはディスクによって決められており、さまざまです。
ディスクに添付の説明やホームページをご覧いただきお楽しみください。

インターネットを使って BD-Live 対応ディスクを楽しむ

BD-Live 対応ディスクでは、インターネットに接続して字幕や特典映像、ネットワーク対戦ゲームなどのさまざまな機能を楽しむことができます。
ほとんどのBD-Live対応ディスクでは、BD-Live機能を利用して再生するために、外部メモリー(ローカルストレージ)に追加コンテンツをダウンロードする必要があります。

- 本機ではローカルストレージに SD カードを利用します。SD カードが挿入されていない場合、BD-Live機能を利用できません。

1. **ネットワーク接続と設定をする**
   (➜ 127、142)
2. **「BD-Live インターネット接続」(➜153)を「有効」または「有効(制限付き)」に設定する**
3. **1 GB 以上の残量がある SD カードを入れる**
4. **ディスクを入れる**

- SDカードに記録されたBDビデオのデータが不要になった場合は、「カード管理」の「BD ビデオデータ消去」で消去することができます。**(➜119、手順 4 で「BD ビデオデータ消去」を選んでください)**

お知らせ

- インターネットに接続してBD-Liveコンテンツを利用するには、アカウントの取得が必要な場合があります。アカウントの取得方法は、ディスクの画面表示や説明書に従ってください。
- BD-Live 対応ディスクは再生中に、レコーダーやディスクの識別 ID をインターネット経由でコンテンツプロバイダに対して送信することがあります。

e-move 対応ディスクから映像を持ち出す

e-move 対応ディスクでは、インターネットに接続して映像をモバイル機器に持ち出して楽しむことができます。

- e-moveの映像は、本機の持ち出し番組を再生できる機器で楽しめます。**(➜97)**

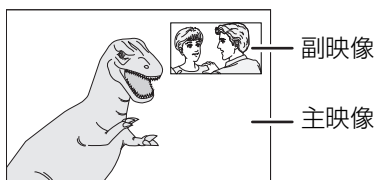
1. **ネットワーク接続と設定をする**
   (➜ 127、142)
2. **「BD-Live インターネット接続」(➜153)を「有効」または「有効(制限付き)」に設定する**
3. **SD カードを入れる または USB 機器 (携帯電話など)を接続する**
4. **ディスクを入れる**
5. **ディスクの手順に従って、映像を持ち出す**

お知らせ

- 持ち出した映像は、持ち出し番組一覧**(➜101)**で確認·消去することができます。
- ディスクによっては、映像を消去すると、再度映像の持ち出しができなくなる場合があります。
- 「BD ビデオデータ消去」**(➜119)**を行っても、映像は消去されません。

副映像のあるディスクを楽しむ

副映像のあるディスクでは、映画監督のコメントやサブストーリーなどの映像を、本編の再生と同時に楽しむことができます。

例)

- 副映像の音声を出力する場合、「BDビデオ副音声·操作音」**(➜155)**を「入」にしてください。

副映像が表示されないときは
「信号切換」の「副映像」の「映像情報」と「音声情報」を「入」に設定してください。**(➜62)**

他の機器で作成したプレイリストの再生

BD-RE **BD-R** **RAM** **-R(AVCREC)** **-R(VR)** **-RW(VR)**

本機ではプレイリストの作成や編集はできません。

1 **操作一覧 を押す**

2 **「ブルーレイ(BD)/DVD」を選び、決定 を押す**

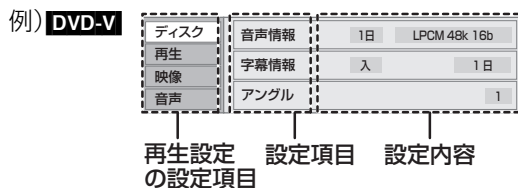
3 **「プレイリストを見る」を選び、決定 を押す**

4 **プレイリストを選び、決定 を押す**

信号切換や再生方法の設定などをする

1 再生中に
再生設定 (ふた内部)**を押す**

2 **再生設定の項目を選び、[▶] を押す**

例) DVD-V

3 **設定項目を選び、[▶] を押す**
●ディスクにより設定項目は異なります。

4 **設定を変更する**

お知らせ
●映像や音声によっては、効果が得られない場合や適切に動作しない場合があります。

ディスク

映像情報 AVCHD
情報の表示のみ

音声情報
音声や言語の選択または音声属性の表示

信号切換
DR、HG、HX、HE、HL、HM、HZモードの番組は音声などを切り換えます。
「字幕」「字幕言語」の設定内容はデジタル放送の視聴時にも適用されます。
[決定] を押して、さらに設定します。
▶ マルチビュー
▶ 映像
▶ 音声
▶ 二重音声
▶ 字幕(オン / オフ)
▶ 字幕言語(日本語 / 英語)

BD-V
▶ 主映像
・映像情報 / 音声情報
▶ 副映像
・映像情報(入 / 切)/ 音声情報(入 / 切)

字幕情報
字幕表示の入 / 切や、言語の選択

音声チャンネル
音声(L/R)を切り換えます。

字幕スタイル
ディスクに記録された字幕スタイルを選びます。

アングル
アングルを選びます。

●収録内容により表示が変わります。収録されていない場合は変更できません。

再生

リピート
(本体表示窓に経過時間が表示されるときのみ)
繰り返し再生の方法を選びます。ディスクによりリピートの種類は異なります。
- ▶ **番組** :録画した番組全体を繰り返し再生
- ▶ **タイトル** : BD-V DVD-V AVCHD
  タイトル全体を繰り返し再生
- ▶ **チャプター** :再生中のチャプターを繰り返し再生
- ▶ **プレイリスト**:プレイリスト
- ▶ **全曲** :ディスク全体
- ▶ **1 曲** :選んだ曲のみ

ランダム(音楽再生時のみ)
●「入」にすると、順不同に再生します。

画面表示の飛び出し量
3D再生中の再生設定画面などの飛び出し量を変更することができます。
●「3D 方式設定」(➜156)が「サイドバイサイド」の場合は設定できません。

自動 CM 早送り
CMを自動的に飛ばして再生します。音声が下記の場合に働きます。

番組(タイトル)	CM	番組(タイトル)
モノラル/二重	ステレオ	モノラル/二重
再生	スキップ	再生

・録画内容によっては、正しく働かないことがあります。
例:上図の CM 部分が 5 分以上の場合など
・以下の場合は働きません。
- DR モードの番組
- DV 入力 /i.LINK(TS)入力から録画した番組
- マルチ音声の番組

映像

画質選択
再生時の画質を選びます。
- ▶ **ノーマル** :標準
- ▶ **ソフト** :ざらつきの少ない柔らかな画質
- ▶ **ファイン** :輪郭の強調されたくっきりした画質
- ▶ **シネマ** :映画鑑賞向け
- ▶ **アニメ** :アニメ鑑賞向け

  「原画解像度」をさらに選びます。
  [BD-V またはハイビジョン放送(1080i)を DR、HG、HX、HE、HL、HM、HZ モードで記録した番組のみ]
  低解像度(720i/p、480i/p)の原画をハイビジョン(1080i)に変換したアニメ番組の場合、「標準」以外を選ぶと再生する画質が改善する場合があります。
  ・**標準**:1080i の場合
  ・**720i/p**
  ・**480i/p**
  ●設定によっては、再生する画質が劣化します。
  ●再生を停止した場合、「標準」に戻ります。
  ●「標準」以外にすると、字幕は表示されません。
- ▶ **ユーザー** :さらに画質を調整

  [▶] で「詳細画質設定」を選び、**[決定]** を押す
  ・**コントラスト**(白黒の強弱)
  ・**ブライトネス**(画面全体の明るさ)
  ・**シャープネス**(鮮やかさ)
  ・**カラー**(色の濃さ)
  ・**ガンマ**(暗くて見えにくい映像の輪郭)

アドバンスト設定
HD オプティマイザー
「入」にすると、動画のモザイクノイズや文字周りのもやを精度よく補正します。

超解像アップコンバート
D 端子や HDMI 端子から 1080i/1080p で出力時、標準画質の映像をくっきりした鮮明な画質に補正します。「2」にすると、「1」よりさらに鮮明になります。

プログレッシブ
480p、1080p のプログレッシブ映像の最適な出力方法を選びます。
●「Auto」でぶれが生じるときは、「Video」にしてください。

24p DVD-V
[「24p 出力」(➜157)が「入」の場合のみ]
「入」にすると、より映画らしい動きで再生することができます。
●設定の切り換え時に、映像が乱れる場合があります。
●ディスクを取り出した場合、「切」に戻ります。

信号切換や再生方法の設定などをする(つづき)

音声

音質効果

リ.マスター※

デジタル放送や記録時の音声圧縮処理によって欠落した音声信号の高音域成分を復元し、より豊かな高音質を楽しめます。
(サンプリング周波数が48 kHz以下で記録された音声のみ)

ナイトサラウンド※

夜間など音量を絞った状態でも大音量の音声や小音量の音声などを自動的に調節して、聞き取りやすいサラウンド音声を楽しめます。

▶ リ.マスター強
▶ リ.マスター標準
▶ ナイトサラウンド
▶ 切

●音声がひずむ場合、「切」にしてください。
●リ.マスターとナイトサラウンドを同時に設定することはできません。

自動音量調整※

番組とCM、ディスクと放送など、コンテンツ間の音量差を自動で調整します。
●音声がひずむ場合、「切」にしてください。

シネマボイス※

センターチャンネルを含む3チャンネル以上のサラウンド音声の場合、センターチャンネルの音声レベルを2倍にしてセリフを聞き取りやすくします。

※ HDMI 出力やデジタル音声出力時には、「デジタル出力」が「PCM」の場合のみ働きます。(➜155)(ただし、デジタル音声出力端子に接続時は、2 チャンネルの音声になります)

番組を編集する

HDD BD-RE BD-R RAM -R -RW
(ファイナライズしたディスクや AVCHD では編集できません)

1 を押す

2 番組を選び、緑 を押す

例)HDD

3 項目を選び、決定 を押す(➜右記へ)

例)HDD

(➜98)

※ **編集したい場面をうまく選ぶために**

① 早送りやスロー再生、タイムワープなど(➜56、57)を使って、目的の部分を探す

② 編集したい場面で [一時停止 ❚❚] を押し、[◀] [▶] を押して場面を調整する

番組名編集	文字入力 (➜111) **お知らせ** ● 新 表示の番組は変更できません。 ●番組名を変更すると、持ち出し番組の番組名も変更されます。 ● まとめ 番組の番組名を変更しても、まとめ 番組内の各番組の名前は変わりません。
プロテクト設定 / 解除	記録内容を誤って消去しないよう、番組ごとに書き込み禁止(プロテクト)の設定ができます。 ● -R(V) -RW(V) できません。 **「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、[決定] を押す** ●プロテクト設定すると「🔒」が表示されます。
部分消去	● -R(V) -RW(V) できません。 ① **[再生 ▶] を押して、再生を始める** ② **「開始点」を選び、消去する部分の開始点※で [決定] を押す** ③ **[再生 ▶] を押して、再生を始める** ④ **「終了点」を選び、消去する部分の終了点※で [決定] を押す** ●続けて別の不要な部分を設定する場合、「次の区間設定へ」を選び、[決定] を押す(➜手順 ② へ) ・20区間まで設定できます。 ・すでに設定した区間の変更はできなくなります。 ⑤ **「消去開始」を選び、[決定] を押す** ⑥ **「実行」を選び、[決定] を押す** ●部分消去した場面には、チャプターマークが作成されます。 ●部分消去すると、持ち出し番組は消去されます。

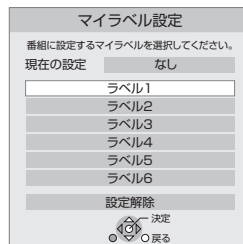
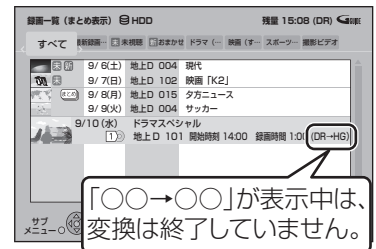
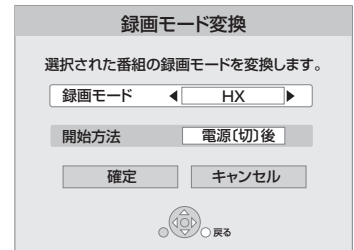
番組を編集する(つづき)

番組分割	● -R(V) -RW(V) できません。 ① **「分割」を選び、分割する場面※で[決定]を押す** ●「プレビュー」を選び、[決定]を押すと、分割する場面を確認することができます。 **場面を選び直すには** ①「分割」を選び、[再生▶]を押して再生を始める ② 分割する場面で、[決定]を押す ② **「終了」を選び、[決定]を押す** ③ **「分割」を選び、[決定]を押す** ●分割した番組は、まとめ番組になります。 ●分割すると、持ち出し番組は消去されます。 ●分割すると、分割点の直前部分が一瞬再生されなくなります。

※ **編集したい場面をうまく選ぶために**

① 早送りやスロー再生、タイムワープなど(➜56、57)を使って、目的の部分を探す

② 編集したい場面で[一時停止 ▮▮]を押し、[◀] [▶]を押して場面を調整する

サムネイル変更 HDD -R(V) -RW(V)	録画一覧やトップメニューで表示される画像(サムネイル)を変更します。 ● -R(V) -RW(V) サムネイルはファイナライズ後のトップメニュー画面で表示されます。 ① **[再生▶]を押して、再生を始める** ② **「変更」を選び、お好みの場面※で[決定]を押す** **場面を選び直すには** ①「変更」を選び、[再生▶]を押して再生を始める ② お好みの場面で、[決定]を押す ③ **「終了」を選び、[決定]を押す**
マイラベル設定 HDD	録画した番組をお好みのラベルに分類することができ、番組を探すのに便利です。 ① **ラベルを選び、[決定]を押す** ② **「マイラベル設定」を選び、[決定]を押す** ●選択したラベルが録画一覧にない場合、画面にメッセージが表示されます。画面の指示に従って表示設定をしてください。 ●マイラベルの設定を解除するには、「設定解除」を選び、[決定]を押してください。 ●マイラベル名は変更することができます。(➜ 54「分類ラベル設定」)

録画モード変換 HDD	**録画モードの変換には、番組の再生とほぼ同じ時間がかかります。** 録画モードを変換すると、HDD の容量をおさえることができます。 ① **録画モードを選ぶ** ② **「開始方法」を選び、開始方法を設定する** ●**すぐに**: 「確定」後すぐに、変換を開始します。変換中は録画や再生はできません。 ●**電源 [切] 後**: 電源切後、予約録画の設定がされていない時間帯に変換を行います。変換中に電源を入れると、変換を中止し、次に電源を切ると、変換をやり直します。 ③ **「確定」を選び、[決定] を押す** ④ 「すぐに」開始する場合: **「開始」を選び、[決定] を押す** **変換を実行中に中止するには** **[戻る]** を 3 秒以上押す 「電源 [切] 後」開始する場合: **[決定] を押す** **変換の設定内容を変更・取り消しするには** ① **65 ページ**手順 **3** で「録画モード変換」を選ぶ ② 「設定変更」または「設定取消」を選び、**[決定]** を押す **変換が終了しているか確認するには** **お知らせ** ●変換前の録画モードより高画質な録画モードを選ぶことはできません。 ●録画モードが EP、FR モードの番組や HDD に取り込んだハイビジョン動画(AVCHD)では変換できません。 ●HDDの残量が少ない場合、変換できないことがあります。 ●番組と録画モードの組み合わせによっては、変換すると容量が増える場合があります。 ●複数の映像や音声などを含む番組をXP、SP、LP、EP、FR モードに変換する場合、変換を開始する直前に「信号切換」(➔62)で記録したい音声を選んでください。

お知らせ

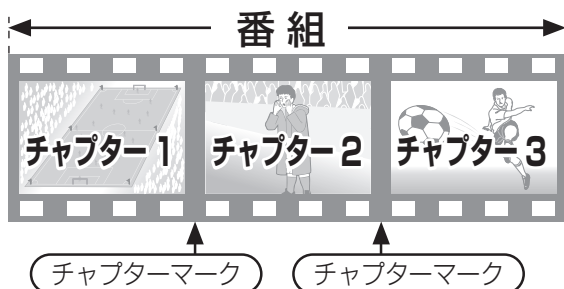
- 「録画モード変換」が設定されている番組は、「番組分割」「プロテクト設定」はできません。設定を取り消すと実行できます。
- 持ち出し番組の作成が終了していない番組は、「番組分割」はできません。「持ち出し番組の作成」(➔98)の設定を取り消すと実行できます。
- ダウンロードした番組(➔106)は、「プロテクト設定 / 解除」、「マイラベル設定」、「持ち出し番組の作成」のみできます。

チャプターの作成・再生・編集

HDD [ダウンロードした番組(➜106)ではできません]

BD-RE BD-R RAM -R(AVCREC) -R(VR) -RW(VR)
(ファイナライズしたディスクでは再生のみできます)

チャプターとは

チャプターマークで区切られた区間のことです。
スキップ(➜56)すると、チャプターマークを作成した場面に飛ぶことができます。

チャプターの自動作成について

- 「自動チャプター」(➜154)を「入」にすると、デジタル放送の録画時に CM などの場面で自動的にチャプターマークを作成します。2 番組を録画中でも作成します。
  ただし、CATV デジタル放送の録画では、番組によっては作成されない場合があります。
- 自動 CM 早送り(➜63)が働く場面にもチャプターマークが自動的に作成されます。(1 番組あたり最大 98 個)
- 録画する番組や録画モードによっては、正しく作成されない場合があります。

チャプターマークを作成する / 削除する

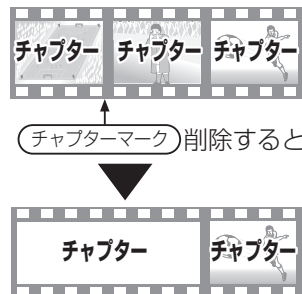
作成

再生中または一時停止中にチャプターマークを作成したい場面で

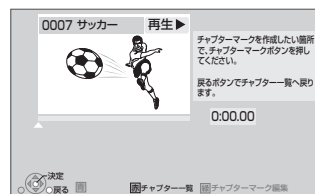
チャプターマーク(ふた内部)を押す

削除

一時停止中に

1. **スキップ⏮またはスキップ⏭を押して、削除したい場面に飛ぶ**
2. **チャプターマーク(ふた内部)を押す**
3. **「はい」を選び、決定を押す**

前後のチャプターが結合されます。

チャプター一覧からチャプターマークの作成や削除を行うこともできます。

① **[録画一覧] を押す**
② **番組を選び、[サブ メニュー] を押す**
③ **「チャプター一覧へ」を選び、[決定] を押す**
④ **[緑] を押す**

⑤ **上記「作成」「削除」の手順を行う**

チャプターを再生･編集する

1 **を押す**

2 番組を選び、サブメニュー Ⓢ を押す

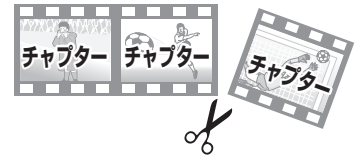
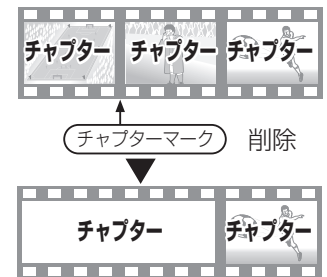
3 「チャプター一覧へ」を選び、決定 を押す

4 編集する:
チャプターを選び、サブメニュー Ⓢ を押す
(➜ 手順５へ)

再生する:
チャプターを選び、決定 を押す

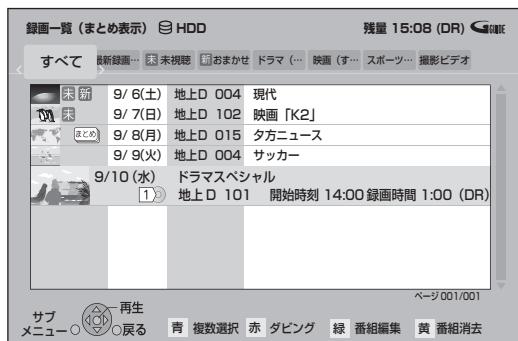
5 編集する項目を選び、決定 を押す
(➜ 右記へ)

チャプター消去
チャプター結合

チャプター消去	指定したチャプターの録画内容を消去し、番組の部分消去を行います。(元に戻すことはできません) **「消去」を選び、[決定] を押す** ●チャプターをすべて消去すると、その番組自体も消去されます。 ●持ち出し番組も消去されます。
チャプター結合	選択中のチャプターと次のチャプターの間のチャプターマークを削除して、1つにつなぎます。 前後のチャプターが結合されます。 **「結合」を選び、[決定] を押す**

番組を消去する

HDD **BD-RE** **BD-R** **RAM** **-R** **-RW**

1 を押す

2 番組を選び、黄 を押す

- [消去]（ふた内部）を押す、または [サブ メニュー] を押して「番組消去」を選んでも消去できます。
- まとめ 番組内の番組を消去する場合、[黄] を押す前に、[決定] を押して、まとめ 番組内の番組を表示してください。

3 「消去」を選び、決定 を押す

お知らせ

- **HDD** 消去すると、持ち出し番組も消去されます。
  [ダウンロードした番組(➜106)を除く]
- **消去後のディスク残量について**
  - **HDD** **BD-RE** **RAM** **-RW(VR)**
    消去すると、消去した分、残量が増えます。
  - **-RW(V)**
    最後に記録した番組を消去したときのみ、残量が増えます。

消去しても残量は増えません			消去すると残量が増えます	
番組 1	番組 2	・・・	最後に記録した番組	残量

  - **BD-R** **-R** 消去しても残量は増えません。

番組のダビングについて

本機には複数のダビング方法があります。
ダビング元やダビング先など用途に応じたダビング方法を行ってください。

録画した番組のダビング

 から   へ

- 難しい設定なしに、番組をダビングしたい
  ・・・**かんたんダビング（➔72）**
- お好みの設定でダビングしたい
- FRモードでDVDの残量ぴったりにダビングしたい
  ・・・**詳細ダビング（➔74）**
- 再生中の番組をダビングしたい
  ・・・**再生中番組の保存（➔78）**

   から へ

詳細ダビング（➔74）

撮影した動画のダビング

  から   へ

（MPEG2）（MPEG2） （VR方式）

MPEG2動画を取り込む（➔87）

 から   へ

（AVCHD）（AVCHD） （AVCREC方式）

ハイビジョン動画（AVCHD）を取り込む（➔86）

   から へ

（AVCHD）（AVCHD）

ハイビジョン動画（AVCHD）を取り込む（➔86）

DVDにデジタル放送をダビングする場合

CPRM対応

のディスクをお使いください。

☞ 複数の音声や字幕情報を含んだ番組のダビングについて（➔79）

デジタル放送のダビングについて（ムーブバック）

- DVD からはダビングできません。
- BD からは移動のみできます。
  （ディスクの番組は消去されます。ただし BD-R はディスク残量は増えません）
- BD-RE BD-R 以下の番組は移動できません。
  - ・ディスク内で番組分割した番組
  - ・当社製ブルーレイディスクレコーダー以外の機器で記録や編集をした番組
  - ・BD-R ファイナライズしたディスク
  - ・録画時間が 8 時間を超える番組

お知らせ

- **ダビング中の番組の視聴について**

・ファイナライズを行うダビング中は、番組の視聴はできません。ダビング中に番組を視聴したい場合は、ファイナライズを行わないダビングをしてください。

番組をダビングする

かんたんダビング

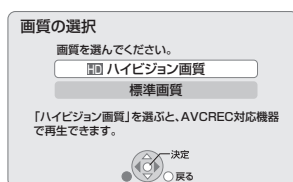
ダビング方向:

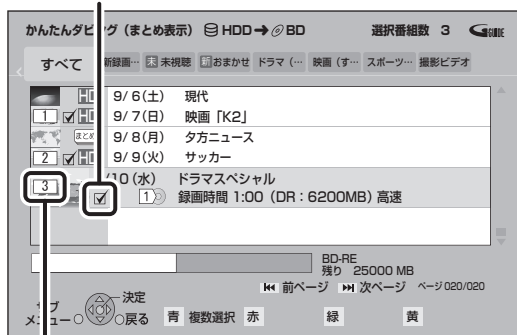
HDD ➡ BD-RE BD-R RAM -R -RW

HDDにある番組をディスクにダビングします。

1 ディスクを入れる

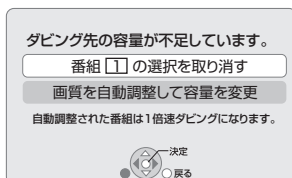
2 「かんたんダビング」を選び、決定 を押す

●RAM -R 新品など未フォーマットの場合、画質の選択画面が表示されます。
画質を選び、[決定]を押してください。

3 番組を選び、決定 を押す

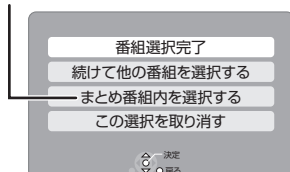
☑ が表示されます。

選んだ番組には番号が付けられ、選んだ順にダビングされます。

☞ 選んだ番組がディスク残量を超える場合

確認画面が表示されます。

例）

「画質を自動調整して容量を変更」を選んだ場合、ディスクの容量に応じた録画モードに自動設定します。

4 「番組選択完了」を選び、決定 を押す

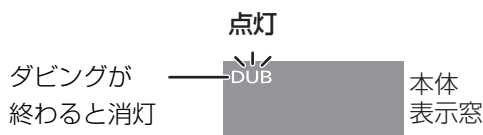
手順3でまとめ番組を選んだときのみ表示

他の番組も選択したい場合などは、表示された項目を選んで操作してください。(➜ 手順3へ)

5 「ダビング開始」を選び、決定 を押す

●オプション設定について(➜73)

6 「はい」を選び、決定 を押す

点灯

ダビングが終わると消灯 — DUB 本体表示窓

新品など未フォーマットのディスクにダビングする場合、自動的にフォーマットした後、ダビングを始めます。

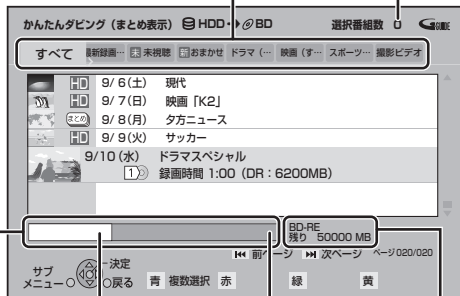
☞ ダビングを実行中に中止するには

戻る を3秒以上押す

●ファイナライズ中は中止できません。
●中止時の動作(➜79)

お知らせ

●「標準画質」で未フォーマットの -R -RW にダビングする場合、以下の記録方式にフォーマットします。
・10 ～ 1 の番組が含まれている場合:　VR方式
・10 ～ 1 の番組が含まれていない場合:　ビデオ方式
●1回にダビングできる番組は99番組までです。(まとめ番組をダビングする場合、まとめ番組内の番組数が99番組を超えると、ダビングできません)
●プロテクト設定(➜65)されている 1 の番組はダビングできません。
●視聴制限のある番組は表示されない場合があります。「視聴制限一時解除」(➜73)を行うと、表示されるようになります。
●**表示マークについては ➜193**

かんたんダビングの画面の見かた

ダビングする画質について

HD 表示のある番組:

- 以下のディスクにハイビジョン画質でダビングできます。

BD-RE **BD-R** **RAM(AVCREC)** **-R(AVCREC)**

- 以下のディスクは標準画質でのダビングになります。

RAM(VR) **-R(VR)** **-R(V)** **-RW**

HD 表示のない番組:

- ディスクにかかわらず標準画質でのダビングになります。
- **RAM(AVCREC)** **-R(AVCREC)** にはダビングできません。

ダビングの便利な機能

かんたんダビング画面(➜72 手順 3)で

❶ **番組を選び、サブメニュー S を押す**

❷ **項目を選び、決定 を押す（➜ 下記へ）**

内容確認	番組の内容が確認できます。
画質変更	☑が付いている番組のダビングする画質を変更できます。 ●選択できる画質は番組やディスクによって異なります。
オプション設定	**項目を選び、設定する** ●「ダビング終了後自動ファイナライズ」を「する」にすると、**-R** **-RW** へのダビング終了後に、ファイナライズを行います。
視聴制限一時解除※	「制限項目設定」(➜150)で設定された視聴制限を一時的に解除します。画面の指示に従って暗証番号を入力してください。表示されていない視聴制限のある番組を表示します。
並び替え※	表示順を変更します。 （全番組表示時のみ）
まとめ表示へ※ **全番組表示へ**※	表示を切り換えます。

※ 番組に☑が付いているときはできません。

ダビング

詳細ダビング

ダビング方向:

HDD ➡ **HDD** **BD-RE** **BD-R** **RAM** **-R** **-RW**

BD-RE **BD-R** **RAM** **-R(AVCREC)** **-R(VR)** **-RW(VR)** ➡ **HDD**

●ディスクにダビングするには、フォーマットをして記録方式を設定してください。(➜118)

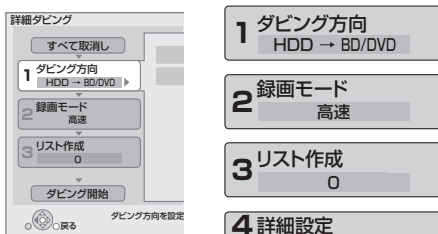
1

を押す

2 「ダビングする」を選び、決定 を押す

3 「詳細ダビング」を選び、決定 を押す

4 項目を選び、[▶] を押す(➜ 右記へ)

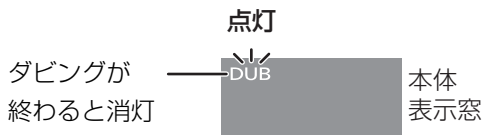
●「ダビング方向」「録画モード」「リスト作成」「詳細設定」の項目を設定してください。

2 録画モード 高速

3 リスト作成 0

4 詳細設定

5 「ダビング開始」を選び、決定 を押す

6 「はい」を選び、決定 を押す

●ダビング終了後、約5分以上本機の操作を何も行わなかったときは、本機の電源が切れます。

ダビングを実行中に中止するには

戻る を3秒以上押す

●ファイナライズ中は中止できません。

●中止時の動作(➜79)

お知らせ

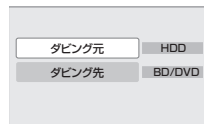
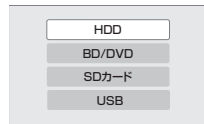
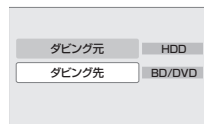
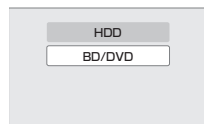
●当社製 DVD ビデオカメラで撮影した映像を HDD にダビングすると、撮影した日付単位で1番組になります。

ダビング方向

❶ 「ダビング元」を選び、決定 を押す

❷ ダビング元を選び、決定 を押す

❸ 「ダビング先」を選び、決定 を押す

❹ ダビング先を選び、決定 を押す

❺ [◀] を押す(➜ 左記手順4へ)

お知らせ

●ダビング先とダビング元をHDDにすると番組を複製することができます。(複製後は まとめ 番組になります)

・コピー制限のある番組を複製する場合、ダビング残り可能回数は1回減ります。(複製された番組のダビング残り可能回数は1回になります)

・1 表示のある番組、ダウンロードした番組(➜106)の複製はできません。

●デジタル放送のダビングについて

・DVD からはダビングできません。

・BD からは移動になります。

(ディスクの番組は消去されます。ただし **BD-R** はディスク残量は増えません)

録画モード

❶「録画モード」を選び、決定 を押す

❷ 録画するモードを選び、決定 を押す

❸ [◀] を押す（➜74 手順４へ）

お知らせ

- ディスクによって選べる録画モードは異なります。
- ダビング元より高画質な録画モードを選んでも、画質は向上しません。

リスト作成

❶「新規登録」を選び、決定 を押す

❷ 番組を選び、 青 を押す

- ☑ が表示されます。操作を繰り返し、番組を選びます。
- 挿入されているディスクにダビングできる番組のみ明るく表示します。

選択を取り消すには

番組を選び、[青] を押す

❸ すべてを選んだあと、決定 を押す

❹ [◀] を押す（➜74 手順４へ）

お知らせ

- 高速モードで BD-RE BD-R にダビングする場合、HD 表示のある番組のみ登録できます。
- 高速モードで -R(V) -RW(V) にダビングする場合、▶▶◎ 表示のある番組のみ登録できます。
- ダビングリスト容量について（ダビング先に記録される容量）
  ･管理情報が含まれるなどの理由で、ダビングする番組の合計より少し大きくなります。
- 視聴制限のある番組は表示されない場合があります。「視聴制限一時解除」(➜76)を行うと、表示されるようになります。

詳細設定

（-R -RW へダビングするときのみ）

❶「ファイナライズ」を選び、決定 を押す

❷「入」または「切」を選び、決定 を押す

❸ [◀] を押す（➜74 手順４へ）

（BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) へ HG、HX、HE、HL、HM、HZモードでダビングするときのみ）

複数の音声や字幕情報を含んだ番組の記録方式を設定できます。

❶「音声・字幕の記録」を選び、決定 を押す

❷「モード 1」または「モード 2」を選び、決定 を押す

- モード１：再生時に音声や字幕の切り換えができます。
- モード２：再生時に音声や字幕の切り換えはできません。ダビング前に「信号切換」(➜62)で記録する内容を設定してください。

❸ [◀] を押す（➜74 手順４へ）

お知らせ

- 「ファイナライズ」を「入」に設定すると、ダビング終了後、ファイナライズ(➜121)を行います。記録や編集をすることはできなくなります。

ダビング

番組をダビングする(つづき)

詳細ダビング(つづき)

ダビングの便利な機能

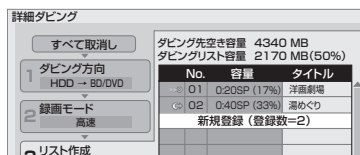
リスト作成画面(➜75「リスト作成」手順 ❷)で

❶ 番組を選び、サブメニュー(S) を押す

❷ 項目を選び、決定 を押す（➜ 下記へ）

内容確認※	番組の内容が確認できます。
視聴制限一時解除※ HDD	「制限項目設定」(➜150)で設定された視聴制限を一時的に解除します。画面の指示に従って暗証番号を入力してください。表示されていない視聴制限のある番組を表示します。
並び替え※ HDD	表示順を変更します。（全番組表示時のみ）
まとめ表示へ※ 全番組表示へ※ HDD	表示を切り換えます。

※ 番組に☑ が付いているときはできません。

リスト作成画面(➜75「リスト作成」手順 ❶)で

●登録されたリストや設定を取り消す：
「すべて取消し」を選び、[決定] を押す

●リスト項目を入れ替える：
番組を選び、[決定] を押したあと、新たに登録したい番組を選ぶ

●リストの追加や消去、移動などの編集をする：
[サブ メニュー] を押したあと、項目を選ぶ
・リスト全消去
・追加
・消去
・移動

ファイナライズ後のディスク(DVD ビデオ)をダビングする

ファイナライズ後のディスクを編集したい場合など、ディスクの内容をダビングすることができます。

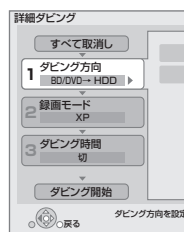
ダビング方向：
DVD-V （ファイナライズ後の -R(V) -RW(V)、+R、+R DL、+RW） ➡ HDD

1 操作一覧 を押す

2 「ダビングする」を選び、決定 を押す

3 「詳細ダビング」を選び、決定 を押す

4 項目を選び、[▶] を押す

●操作方法は「詳細ダビング」(➜74)をご覧ください。

以下のように設定してください。
・「ダビング方向」：「ダビング元」➜「BD/DVD」
・「録画モード」　：「録画モード」を選ぶ
（「高　速」「HG」「HX」「HE」「HL」「HM」「HZ」「FR」は選べません）
・「ダビング時間」：ダビング時間を設定する(➜77)

5 「ダビング開始」を選び、決定 を押す

6 「はい」を選び、決定 を押す

●最初に右記の画面がダビングされます。
●番組の再生が終わったあとも、設定した時間までダビングを続けます。

7 ダビングしたい番組の再生を始める

トップメニューが表示された場合は

番組を選び、[**決定**] を押す

好みの番組を再生するには

① [**録画一覧**] を押す
② 番組を選び、[**決定**] を押す

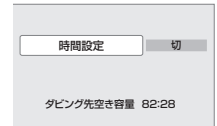
ディスクの再生が始まらない場合は

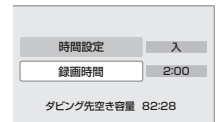
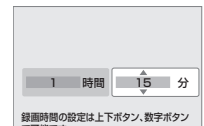
① [**再生 ▶**] を押す
② （トップメニューが表示されたら）
番組を選び、[**決定**] を押す

ダビングを実行中に中止 / 終了するには

を 3 秒以上押す

ダビング時間

❶ **「時間設定」を選び、決定 を押す**

❷ **「入」または「切」を選び、決定 を押す**
- 「切」にすると、ダビング先の容量がなくなるまでダビングを続けます。

❸ **「録画時間」を選び、決定 を押す**

❹ **“時間”または“分”を選び [▲][▼] で設定し、決定 を押す**

お知らせ

- **市販の DVD ビデオのほとんどは録画禁止処理がされており、ダビングできません。**
- 高画質や高音質のディスクをダビングしても、元の画質や音質のまま記録することはできません。
- テレビ画面に表示される内容をそのまま記録するため、トップメニュー画面の操作も記録します。
- ダビング中、不要な番組などはスキップ(➜**56**)で飛び越すことができます。

再生中番組の保存

HDDに録画した番組を再生中にダビングすることができます。

●再生位置にかかわらず、再生中の番組の先頭からダビングが開始されます。

ダビング方向：HDD ➡ BD-RE BD-R RAM -R -RW

●ディスクにダビングするには、フォーマットをして記録方式を設定してください。(➜118)

1 ダビングしたい番組を再生する

複数の音声や字幕情報を含んでいる番組の場合：

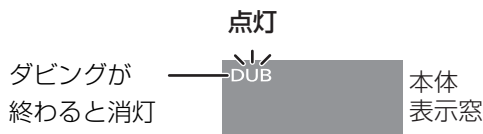
● RAM(VR) -R(VR) -RW(VR) [音声切換](ふた内部)を押して記録したい音声を選び、「信号切換」(➜62)で字幕情報の設定をする

2 サブメニュー S を押す

●表示されない場合、もう一度[サブ メニュー]を押してください。

3 「再生中番組の保存」を選び、決定 を押す

4 「保存開始」を選び、決定 を押す

●ダビング終了後、約5分以上本機の操作を何も行わなかったときは、本機の電源が切れます。

ダビングを実行中に中止するには

戻る を3秒以上押す

●中止時の動作(➜79)

ダビング時の動作について

ダビング実行中、ダビングを中止したときの動作

例)番組 A･B･C の順にダビングして番組 C の途中で中止した場合

番組 A	番組 B	番組 C
ダビング完了	ダビング完了	中止

高速 番組 A･B のみダビングされます。
番組 C はダビングされません。

1 倍速 番組 A･B と番組 C の途中までがダビングされます。

ただし

- HDDからディスク、またはブルーレイディスクから HDD へのダビングで、番組 C がコピー制限のある番組
  - ･番組Cはダビングされず、ダビング元に残ります。
- HDD から -R(V) -RW(V) にダビング
  - ･HDD に一時的に複製中： 番組A･B･Cはダビングされません。
  - ･DVD に高速ダビング中： 番組 C はダビングされません。

BD-R -R ダビング速度に関係なく、番組Cの中止したところまでがディスクに書き込まれるため、番組 C がダビングされていない場合でもディスク残量は減少します。

-R(V) -RW(V) に 1 倍速でダビングするときの動作

1 倍速で番組を HDD に一時的に複製したあと、ディスクに高速でダビングします。ダビング後、一時的に複製した HDD の番組は消去されます。
HDD の残量が少ないときは、ダビングできません。
HDDの不要な番組を消去(➜70)してからダビングしてください。

チャプターマークの保持について

ダビングすると、チャプターマークの位置が多少ずれる場合があります。また、最大チャプターマーク数(➜204)を超えると、超えた分は保持されません。

「1080/60p」の表示がある番組のダビングについて

ダビング先のディスクにかかわらず、1 倍速ダビングになり、プログレッシブでは記録できません。

3D 対応の番組のダビングについて

以下の番組のダビングをした場合は、「出力方式」(➜59)を「サイドバイサイド」にして再生してください。

- 3D 表示のある番組を BD-RE BD-R RAM(VR) -R(VR) -RW(VR) に XP、SP、LP、EP、FR モードでダビング
- 3D 表示のない番組をダビング

複数の音声や字幕情報を含んだ番組のダビングについて

HDDに録画した番組をダビングする場合、音声や字幕情報は以下のようになります。

- BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC)
  (高速、HG、HX、HE、HL、HM、HZ モードでダビング時)
  複数の音声や字幕情報を記録できます。(再生時に切り換え可能)
- BD-RE BD-R (XP、SP、LP、EP、FRモードでダビング時)
  RAM(VR) -R(VR) -RW(VR)
  複数の音声や字幕情報の記録はできません。(再生時に切り換え不可)
  ダビング前に記録したい音声や字幕の入 / 切を設定してください。
  ① ダビングしたい番組を再生し、以下の設定をする
  ･**[音声切換]**(ふた内部)を押して記録したい音声を選ぶ
  ･「信号切換」(➜62)で字幕の設定をする
  ② ダビングする(1 倍速ダビングになります)
  字幕の設定を番組ごとに変更してダビングすることはできません。1 番組ずつダビングしてください。

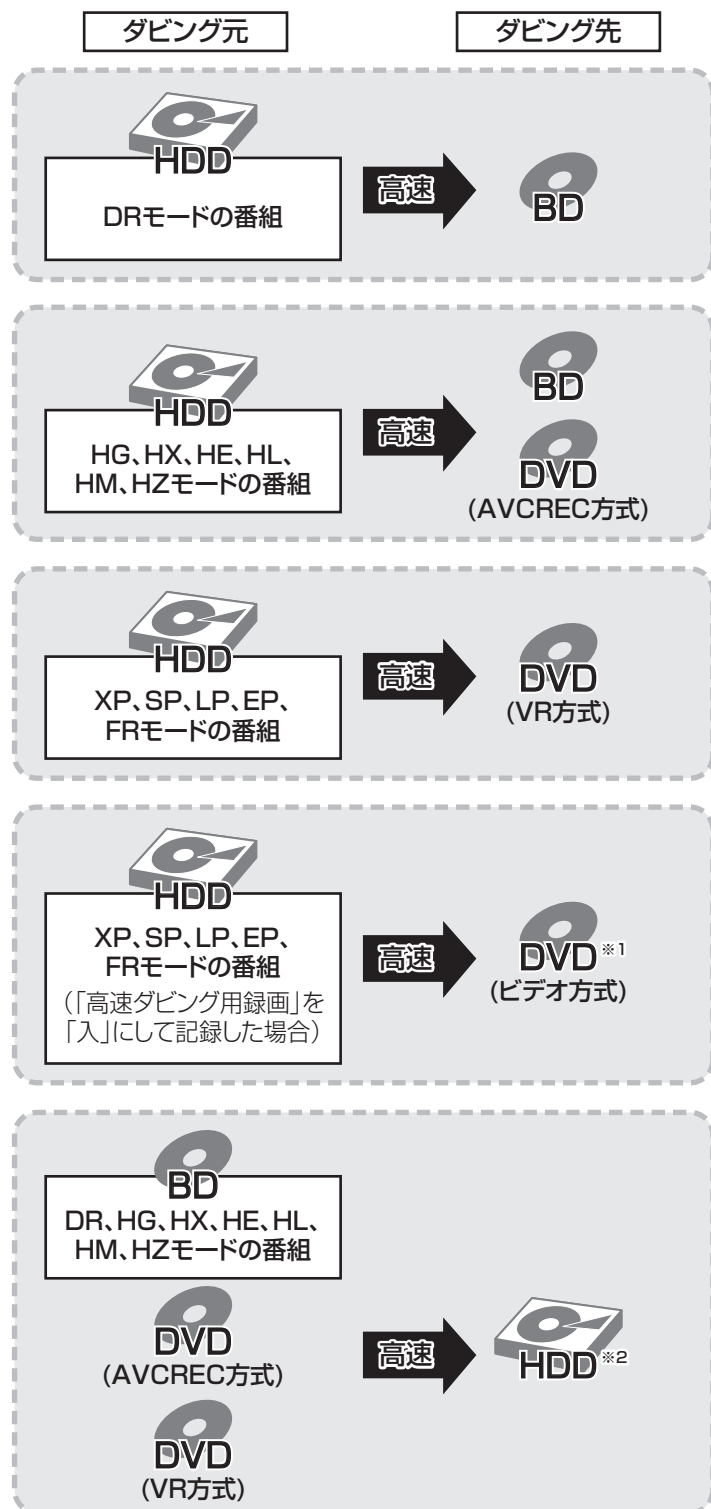
お知らせ

- 他の機器でディスクを再生すると音声や字幕を切り換えられないことがあります。
  BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) 詳細ダビングの詳細設定(➜75)で、「音声･字幕の記録」を「モード2」にしてディスクに 1 倍速ダビングすると、「信号切換」(➜62)で設定した内容で記録することができます。(ただし、音声の切り換えや字幕表示の入 / 切はできなくなります)

ダビング

ダビング時の動作について(つづき)

ダビングする番組とディスクによりダビング速度は異なります。

高速でダビングできる場合

※ 1 デジタル放送の番組はダビングできません。

※ 2 デジタル放送の番組をダビングする場合
- ･DVD からはダビングできません。
- ･BDからは移動のみできます。(ディスクの番組は消去されます。ただし BD-R はディスク残量は増えません)
- ･ファイナライズ後の BD-R からは移動できません。

●高速ダビングでの録画モードは、ダビングする番組と同じです。

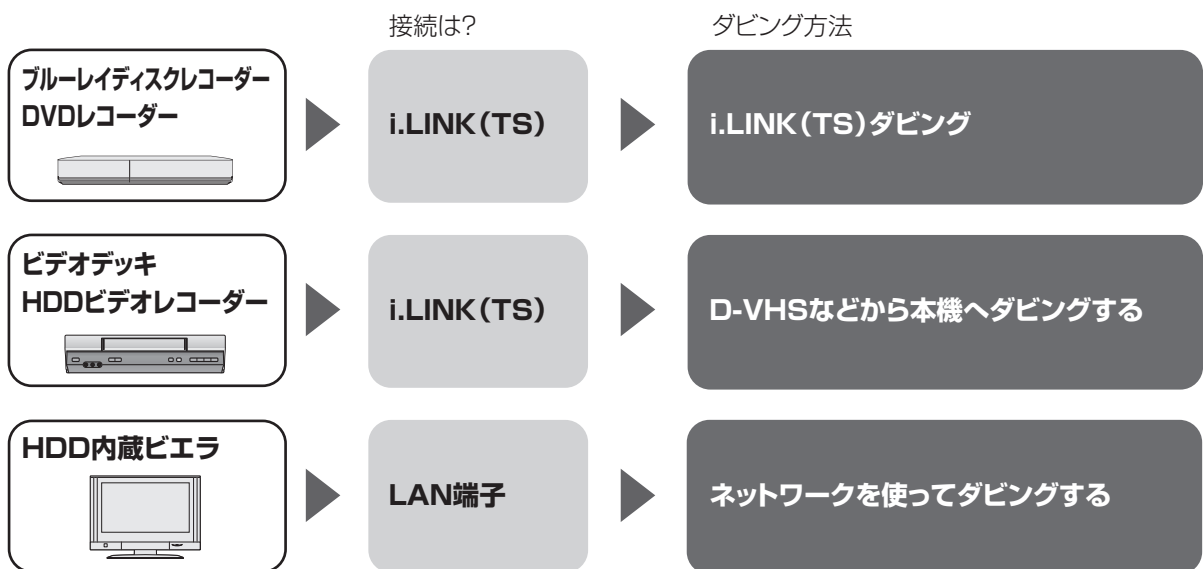
●ディスク容量を超えてダビングする場合やディスクに記録した機器によっては、1 倍速ダビングになります。

高速でダビングできない場合（1 倍速ダビングになる場合）

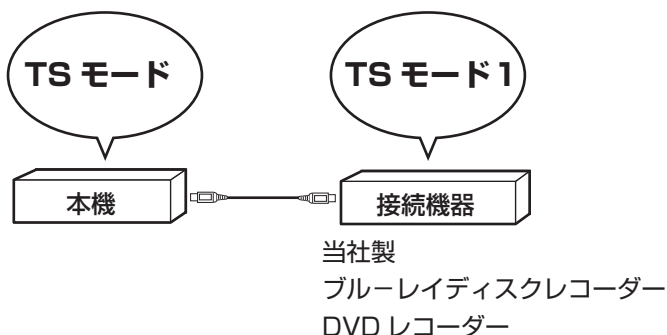
ダビング元　ダビング先

※ 3 ハイビジョン動画（AVCHD）のみダビングできます。

※ 4 デジタル放送の番組はダビングできません。

レコーダー・ビデオデッキ・ビエラからダビングする

接続と設定

i.LINK(TS)

●i.LINK ケーブルで接続する(➜126)
●「i.LINK機器モード設定」を設定する(➜158)
・「TS モード」に設定してください。
●接続機器側の i.LINK(TS)の設定をする
・当社製ブルーレイディスクレコーダーや DVD レコーダーと接続する場合、
接続機器側の設定を「TSモード 1」にしてください。

当社製
ブルーレイディスクレコーダー
DVD レコーダー

・HDD ビデオレコーダーには、DISC モードと D-VHS モードの切り換え機能がある場合があります。本機で操作する場合は D-VHS モードにしてください。詳しくは、HDD ビデオレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

LAN 端子

●ネットワーク接続と設定をする(➜127、142)
お部屋ジャンプリンク(DLNA)の設定をする(➜144)

i.LINK(TS)を使ってダビングする

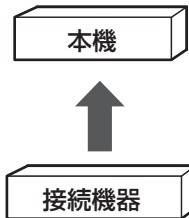
HDD に録画モード「DR」で録画した番組を、ハイビジョン画質のままダビングすることや、接続した機器から HDD へダビングすることができます。

●本機は、i.LINK(TS)に対応した当社製のブルーレイディスクレコーダー、DVD レコーダー、D-VHS ビデオカセットレコーダー、HDD ビデオレコーダーとの動作のみ保証しています。(2011 年 2 月現在)

お知らせ

●S400 対応の i.LINK ケーブルをお使いください。
●i.LINK(TS)経由で本機に接続できる i.LINK(TS)機器は、1 台のみです。
●本機の入力が「i.LINK(TS)」のときは、操作一覧を表示できません。操作一覧を表示する場合は、[**入力切換**](ふた内部)を押して「i.LINK(TS)」以外を選んでから [**操作一覧**] を押してください。

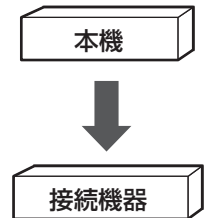
レコーダーなどから本機へダビングする

ダビングできる当社製機器:
ブルーレイディスクレコーダー
DVD レコーダー など

ダビング方法など、詳しくは接続した機器の説明書をご覧ください。

●接続した機器の電源を入れてから本機の電源を入れてください。
●録画モードは「DR」でダビングします。
●本機の予約録画が始まり、2 番組を録画(➜45)できない場合は、ダビングは中止されます。

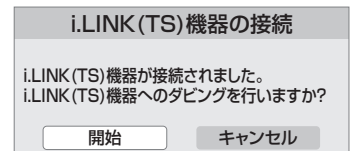
本機からレコーダーなどへダビングする

i.LINK(TS)ダビング

● HDD のDRモードの番組のみダビングできます。

1 接続した i.LINK(TS)機器の電源を入れる

2 「開始」を選び、決定 を押す

●ダビング元になる側で操作します。

i.LINK(TS)機器の接続
i.LINK(TS)機器が接続されました。
i.LINK(TS)機器へのダビングを行いますか?
開始 キャンセル

下記操作で開始することもできます。
① [**操作一覧**] を押す
② 「その他の機能へ」を選び、[**決定**] を押す
③ 「i.LINK(TS)ダビング」を選び、[**決定**] を押す

3 番組を選び、青 を押す

●☑ が表示されます。操作を繰り返します。

選択を取り消すには
タイトルを選び、[**青**] を押す

4 すべてを選んだあと、決定 を押す

5 「ダビング開始」を選び、決定 を押す

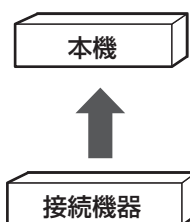
●ダビングは、1 倍速になります。

お知らせ

● 1 の表示がある番組は以下のようになります。
・ダビングすると、HDD から消去されます。
・ダビングを中止すると、中止した位置までの内容はHDDから消去されます。
● 10 ～ 2 の表示がある番組は以下のようになります。
・ダビング先では「1 回だけ録画可能」の番組になります。
・ダビングを中止してもダビングできる残り回数は減ります。
●接続した機器が、録画や再生中や確認画面が表示されているときはダビングできない場合があります。

D-VHS などから本機へダビングする

● HDD にダビングできます。

ダビングできる機器:
D-VHS ビデオ
HDD ビデオレコーダーなど

1 入力切換 (ふた内部)**を押して、「i.LINK(TS)」を選ぶ**

2 **接続した機器で再生を始め、録画を始めたい場面で、** 録画 (ふた内部)**を押す**

☞ダビングを実行中に中止するには
停止 を押す
●接続した機器の再生も停止してください。

ネットワークを使ってダビングする

HDD

HDD 内蔵のビエラや当社製 CATV セットトップボックスとネットワーク接続すると、ビエラやセットトップボックスの HDD に録画した番組を本機の HDD にダビングすることができます。

本体前面

"LAN 録画"が点灯

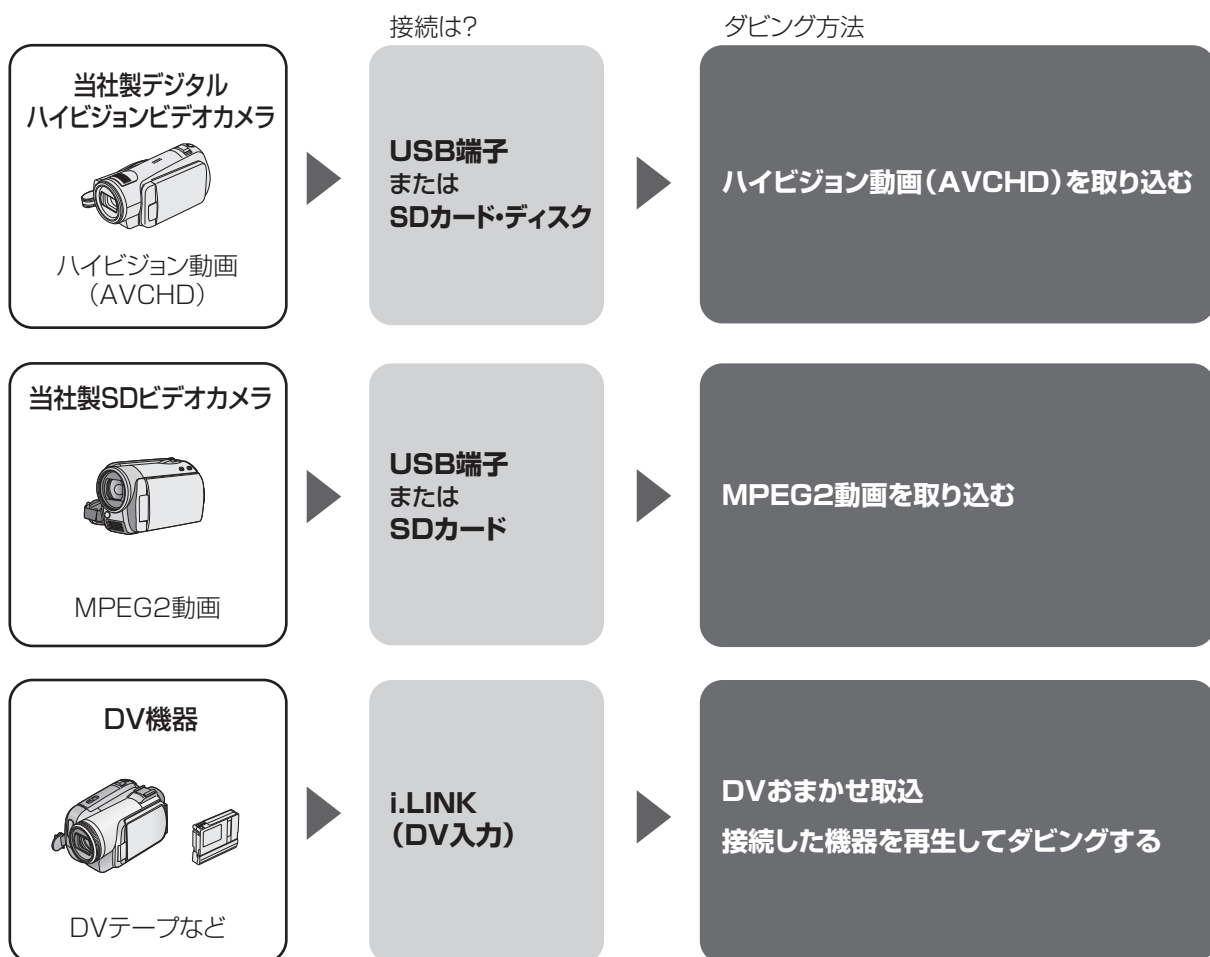
●ネットワーク接続と設定をする
(➜127、142)
お部屋ジャンプリンク(DLNA)の設定をする
(➜144)

ダビングの操作方法は接続した機器の取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

●コピー制限のある番組はダビングできません。
●本機の予約録画が始まり、2 番組を録画(➜45)できない場合は、ダビングは中止されます。
●長時間連続して録画すると、8時間ごとの番組に分けて記録します。

ビデオカメラからダビングする

	接続は?	ダビング方法
当社製デジタル ハイビジョンビデオカメラ ハイビジョン動画 (AVCHD)	**USB端子** または **SDカード・ディスク**	**ハイビジョン動画(AVCHD)を取り込む**
当社製SDビデオカメラ MPEG2動画	**USB端子** または **SDカード**	**MPEG2動画を取り込む**
DV機器 DVテープなど	**i.LINK** **(DV入力)**	**DVおまかせ取込** **接続した機器を再生してダビングする**

接続と設定

USB 端子

●接続する(➜168)

SD カード・ディスク

●挿入する(➜15)

i.LINK(DV 入力)

●i.LINK ケーブルで接続する(➜126)

●**初期設定**で以下の設定をする

・「DV 入力時の音声設定」:記録する音声の種類を選ぶ(➜155)

・「i.LINK 機器モード設定」: 「DV モード」(➜158)

ビデオカメラからダビングする(つづき)

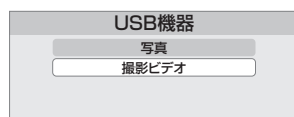
ハイビジョン動画(AVCHD)を取り込む

USB　SDカード　ディスク

当社製デジタルハイビジョンビデオカメラで撮影したハイビジョン動画(AVCHD)を取り込むことができます。

- ディスクは HDD に、USB 機器または SD カードは HDD BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) に取り込むことができます。
- 当社製デジタルハイビジョンビデオカメラで撮影した 1080/60p(1920 × 1080/60 プログレッシブ)記録の番組(「1080/60p」の表示がある番組)は HDD にのみ取り込むことができます。

USB 機器を接続する(➜168)またはディスク、SD カードを入れると、下記画面が表示されます。(表示される項目は記録内容によって異なります)

例) USB

USB機器
写真
撮影ビデオ

ディスクの場合:
- 右記の手順 3 に進みます。

USB 機器または SD カードの場合:
① 「撮影ビデオ」を選び、[決定] を押す
② 「AVCHD(ハイビジョン画質)を取り込む」を選び、[決定] を押す
- 右記の手順 4 に進みます。

1 操作一覧 **を押す**

2 ディスクから取り込む場合:
「ブルーレイ(BD)/DVD」を選び、決定 を押す

USB から取り込む場合:
❶ **「その他の機能へ」を選び、決定 を押す**
❷ **「USB 機器」を選び、決定 を押す**
❸ **「撮影ビデオ」を選び、決定 を押す**
❹ **「AVCHD(ハイビジョン画質)を取り込む」を選び、決定 を押す**
- 手順 4 へ

SD から取り込む場合:
「SD カード」を選び、決定 を押す

3 **「撮影ビデオ(AVCHD)を取込」を選び、決定 を押す**

4 USB SD から取り込む場合:
「HDD へ取込」または「BD/DVD へ取込」を選び、決定 を押す

5 **タイトルを選び、青 を押す**
- ☑ が表示されます。操作を繰り返します。

選択を取り消すには
タイトルを選び、[青] を押す

6 **すべてを選んだあと、決定 を押す**

7 **「ダビング開始」を選び、決定 を押す**
- ダビング終了後、約５分以上本機の操作を何も行わなかったときは、本機の電源が切れます。
- 新品など未フォーマットのディスクに取り込む場合は、自動的にフォーマットをしてから取り込みを始めます。

MPEG2 動画を取り込む（ダビング）

USB　SDカード

当社製 SD ビデオカメラなどで撮影した MPEG2 動画をダビングします。

- USB 機器または SD カードから HDD RAM(VR) -R(VR) -RW(VR) にダビングできます。
- ディスクにダビングするには、フォーマットをして記録方式を設定してください。（➜118）

1 USB 機器を接続する または SD カードを入れる

☞ USB 機器を接続するには（➜168）

2 「撮影ビデオ」を選び、決定 を押す

例）USB

3 「MPEG2（標準画質）を取り込む」を選び、決定 を押す

4 項目を選び、[▶] を押す

- 操作方法は「詳細ダビング」（➜74）をご覧ください。
  以下のように設定されているかご確認ください。
  ・「ダビング方向」：「ダビング元」➜「USB」
  　　　　　　　　　　　　または「SD カード」

5 「ダビング開始」を選び、決定 を押す

6 「はい」を選び、決定 を押す

お知らせ

- 1 つのタイトルに 99 シーンを超えて記録されている場合 99 シーンごとに分けて取り込みます。
- 当社製デジタルハイビジョンビデオカメラで撮影した場合、日付単位でタイトルとして表示されます。ただし、撮影状態によっては、同じ日に撮影されたシーンでも、別々のタイトル（日付に「-1」、「-2」などを表示）となる場合があります。詳しくは、撮影した機器の取扱説明書をご覧ください。
- 撮影した機器によっては、取り込み後に撮影日時が表示されない場合があります。

お知らせ

- ダビングすると、撮影した日付単位で 1 番組になります。
- USB 機器や SD カードにある MPEG2 動画をそのまま本機で再生することはできません。
- ダビング中は、録画や再生はできません。
- BD-RE、BD-Rには直接ダビングできません。いったんHDDにダビングしてから、ディスクにダビングしてください。

接続したDV機器を再生してダビングする i.LINK(DV入力)

HDD

1 入力切換 (ふた内部)**を押して、「DV」を選ぶ**

2 サブメニュー S **を押す**

3 「録画モード」を選び、 決定 **を押す**

4 録画モード(➔46)を選ぶ

- 「DR」「HG」「HX」「HE」「HL」「HM」「HZ」「FR」は選べません。

5 接続した機器で再生を始め、録画を始めたい場面で、 録画 (ふた内部)**を押す**

録画を一時停止するには

一時停止/前週局 を押す

- もう一度押すと、録画を再開します。

録画を止めるには

停止 を押す

DVおまかせ取込 i.LINK(DV入力)

HDD BD-RE BD-R RAM(VR) -R(VR) -R(V) -RW(VR) -RW(V)

1 接続した機器の電源を入れ、機器側でダビング開始点を探し、一時停止しておく

DVおまかせ取込
DV機器からの取込を行いますか?
HDDへ取込 BD/DVDへ取込 キャンセル

2 「HDD へ取込」または「BD/DVD へ取込」を選び、 決定 **を押す**

3 青 **を押して、録画モード(➔46)を選ぶ**

- 「DR」「HG」「HX」「HE」「HL」「HM」「HZ」「FR」は選べません。

4 「録画開始」を選び、 決定 **を押す**

録画を止めるには

停止 を押す

お知らせ

- 日付や時刻情報は記録されません。
- DV 機器のモデル名は、正しく表示されない場合があります。

お知らせ

- i.LINK（DV 入力 /TS）経由で、接続した機器から本機を操作することはできません。
- i.LINK（DV入力/TS）経由で本機に接続できるDV機器は、1台のみです。
- DV 機器によっては、映像や音声が正しくダビングされない場合があります。
- DV 入力からダビング中は
  - ・予約録画が始まると、ダビングを中断します。
  - ・追っかけ再生、同時録画再生、放送 / 入力切換はできません。
- -R 記録や編集を約 30 回行うと、そのディスクは記録できなくなる場合があります。
- -R(V) -RW(V) 「DV おまかせ取込」後にファイナライズ(➜121)を行うと、自動的に約 5 分ごとのチャプターを作成します。
- 片面 2 層の -R(V) は、DV おまかせ取込はできません。

i.LINK(TS)対応機器を操作する

i.LINK ケーブルで接続した録画機器(D-VHS など)を本機で操作することができます。

接続と設定

i.LINK(TS)

- i.LINK ケーブルで接続する(➜126)
- 「i.LINK機器モード設定」を設定する(➜158)
  - ·「TS モード」に設定してください。
- 接続機器側の i.LINK(TS)の設定をする
  - ·HDD ビデオレコーダーには、DISC モードと D-VHS モードの切り換え機能がある場合があります。本機で操作する場合は D-VHS モードにしてください。詳しくは、HDD ビデオレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

- 当社製のブルーレイディスクレコーダー(BD/DVD レコーダー)、DVDレコーダーの場合は、機器操作パネルでの操作はできません。
- S400 対応の i.LINK ケーブルをお使いください。
- i.LINK(TS) 機器の操作中は、本機の機能が一部使用できなくなります。
- i.LINK(TS) 経由で本機に接続できる i.LINK(TS) 機器は、1 台のみです。
- 本機の入力が「i.LINK(TS)」のときは、操作一覧を表示できません。操作一覧を表示する場合は、**[入力切換]**(ふた内部)を押して「i.LINK(TS)」以外を選んでから **[操作一覧]** を押してください。

i.LINK(TS) 対応機器を再生する

i.LINK 再生

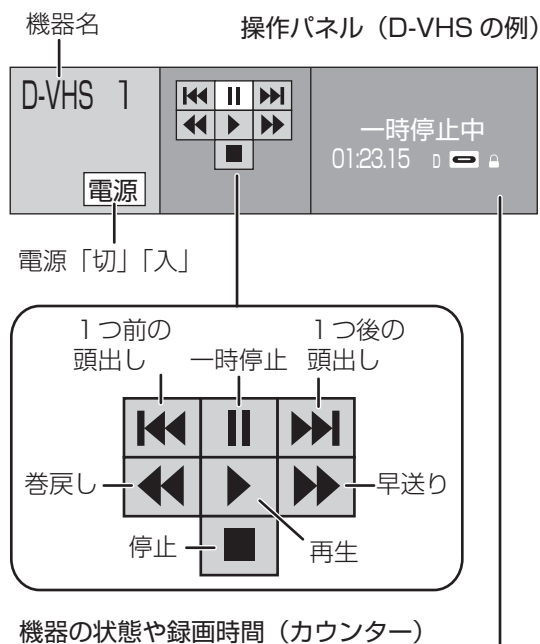
1 操作一覧 **を押す**

2 **「その他の機能へ」を選び、決定 を押す**

3 **「i.LINK 再生」を選び、決定 を押す**

- 機器操作パネルが表示されます。

4 **操作したい機能を選び、決定 を押す**

機器の状態や録画時間（カウンター）

- D ビデオテープの種類
  - D : D-VHS テープ
  - S : S-VHS テープ
  - 表示なし : VHS テープ
- ビデオテープが入っているとき
- 録画できないビデオテープのとき（誤消去防止用「つめ」が折れた状態）

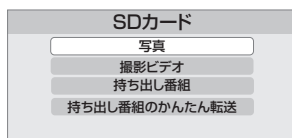
写真を再生する

基本操作 選び→決定する

HDD BD-RE BD-R RAM -R -RW CD SD USB
+R、+R DL、+RW

- CD USB 写真を記録したCD-R、CD-RWや当社製デジタルカメラなどのUSB機器が再生できます。
- 本機では、フルHD対応の3DテレビとHDMIケーブルで接続している場合、3D対応のデジタルカメラで撮影した写真(MPO)の3D再生をお楽しみいただけます。

ディスク、SDカードを入れるまたはUSB機器を接続(➜168)すると、下記画面が表示されます。(表示される項目は記録内容によって異なります)

例) SD

「写真」を選び、[決定] を押す
- 下記の手順3に進みます。

1 操作一覧 **を押す**

HDD 手順3へ

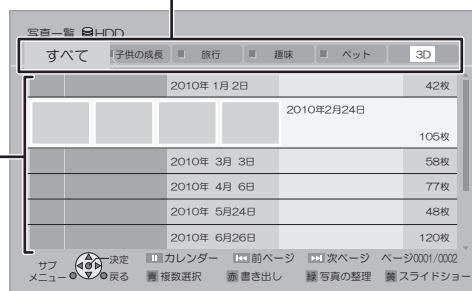
2 BD-RE BD-R RAM -R -RW CD +R、+R DL、+RW
「ブルーレイ(BD)/DVD」を選び、決定 を押す

SD
「SDカード」を選び、決定 を押す

USB
❶「その他の機能へ」を選び、決定 を押す
❷「USB機器」を選び、決定 を押す
❸「写真」を選び、決定 を押す

3 「写真を見る」を選び、決定 を押す

4 イベント(日付またはフォルダ)を選び、決定 を押す

例) HDD
ラベル
- ▇ の付いたラベル:アルバム
  ・アルバムにイベントをお好みで入れておくと、さらに写真を探しやすくなります。(➜93)
- 3D ラベル:
  取り込んだ3D写真(MPO)が自動で分類されています。3D再生する場合はこのラベルから選んでください。(他のラベルからは2D再生になります)

イベント
- HDDに取り込まれた写真(➜94)は、撮影日ごとにイベントとして管理されます。

5 写真を選び、決定 を押す

再生を止めるには
停止 を押す
- 止めた写真の位置を一時的に記憶します。

前後の写真を見るには
[◀][▶] を押す

写真の情報を表示するには
画面表示 を押す

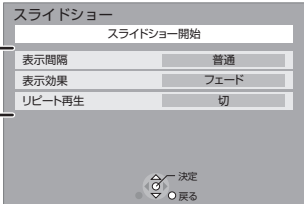
スライドショーを見るには
再生/1.3倍速 を押す

お知らせ
- 写真の横縦比によっては、上下左右に黒帯(グレー帯)が表示される場合があります。
- HDD以外のメディアの写真は、フォルダごとに表示します。「¥...¥」はフォルダの階層を表します。
- ☒ の表示になっている写真は、本機では再生できません。

写真を再生する(つづき)

写真再生のいろいろな機能

写真一覧表示中または写真再生中に操作します。

1 サブメニュー Ⓢ **を押す**

●表示されない場合、もう一度[**サブ メニュー**]を押してください。

2 項目を選び、決定 を押す

写真一覧表示中

<table>
<tr><td>スライドショー</td><td>写真を連続して再生することができます。

「スライドショー開始」を選び、[決定]を押す

例）

開始前に、スライドショーの内容を設定できます。(➜ 下記)

スライドショーを終了するには
[戻る]を押す

表示間隔
画素数が大きい写真は、設定を変更しても、短くならない場合があります。

表示効果
写真の表示方法を設定します。
●「フェード」「ランダム」「モーション」「ウェーブ」が選べます。
（3D 写真再生時を除く）

リピート再生
再生を繰り返します。</td></tr>
<tr><td>カレンダー
HDD</td><td>カレンダー表示に切り換えます。撮影した月からイベントを探すことができます。</td></tr>
</table>

写真再生中

スライドショー開始	スライドショーを開始します。
画面モード切換	画面モードを切り換えます。 **(➜24)** ●3D写真再生時は効果がありません。
画面表示	再生中の写真の情報を表示します。
右 90° 回転 **左 90° 回転**	写真を回転します。
画面表示の飛び出し量	3D写真再生中の画面表示などの飛び出し量を変更することができます。

写真の整理をする

基本操作 選び 決定する

HDD BD-RE RAM SD

1 **を押す**

HDD 手順3へ

2 BD-RE RAM

「ブルーレイ(BD)/DVD」を選び、決定 を押す

SD

「SD カード」を選び、決定 を押す

3 「写真を見る」を選び、決定 を押す

4 イベント単位で管理する場合:

イベントを選び、サブメニュー S を押す(➜ 手順 6 へ)

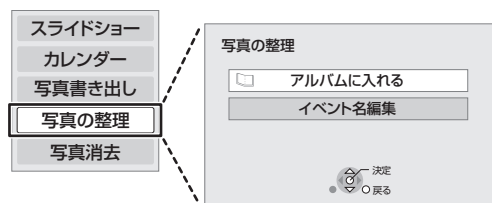
写真単位で管理する場合:

イベントを選び、決定 を押す

●「イベントをまとめる」ときは、[青] を押してイベントを選択したあと、[サブ メニュー] を押してください。

5 写真を選び、サブメニュー S を押す

6 項目を選び、決定 を押す(➜ 右記へ)

例) HDD 「すべて」表示時

アルバムに入れる HDD ●「すべて」表示時のみ	イベントまたは写真を既存のアルバムに登録します。 **登録するアルバムを選び、[決定] を押す**
イベント名編集	イベント名を編集します。 ☞ **文字入力については(➜111)**
イベントをまとめる HDD ●アルバム表示時のみ	選択した2つ以上のイベントを、1つのイベントにまとめることができます。 **「はい」を選び、[決定] を押す**
アルバムから除外 HDD ●アルバム表示時のみ	選択したイベントや写真をアルバムから外します。 **「アルバムから除外」を選び、[決定]を押す**
アルバム名編集 HDD ●アルバム表示時のみ	選択中のアルバムのアルバム名を編集します。 ☞ **文字入力については(➜111)**
写真消去 ●「すべて」「フォルダ」表示時のみ	イベントまたは写真を消去します。 **「消去」を選び、[決定] を押す**
プロテクト設定 / 解除 BD-RE RAM SD	**「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、[決定]を押す** ●プロテクト設定すると「🔒」が表示されます。

お知らせ

●HDD内のすべての写真を一度に消去する場合は、「全写真消去」(➜154)を行ってください。

写真/音楽

写真を取り込む / 書き出す

写真を取り込む

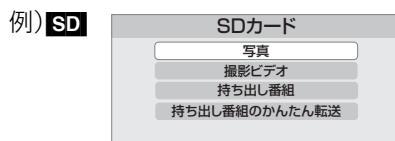
BD-RE **BD-R** **RAM** **-R** **-RW** **CD** **SD** **USB**

+R、+R DL、+RW ➜ **HDD**

写真かんたん取込

取り込んだ写真の履歴をHDDに保持しているため、複数回取り込むと、新たに追加された写真のみを取り込みます。

ディスクや SD カードを入れるまたは USB 機器を接続(➜168)すると、下記画面が表示されます。(表示される項目は記録されている内容によって異なります)

例)**SD**

① 「写真」を選び、[決定] を押す
② 「写真を取り込む」を選び、[決定] を押す
●右記の手順 4 に進みます。

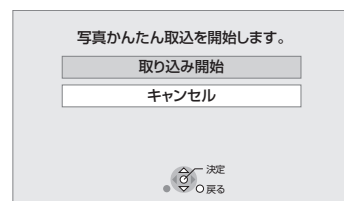
1 **操作一覧 を押す**

2 ディスクから取り込む場合:
「ブルーレイ(BD)/DVD」を選び、決定 を押す

SD から取り込む場合:
「SD カード」を選び、決定 を押す

USB から取り込む場合:
❶ **「その他の機能へ」を選び、決定 を押す**
❷ **「USB 機器」を選び、決定 を押す**
❸ **「写真」を選び、決定 を押す**
❹ **「写真を取り込む」を選び、決定 を押す**
●右記手順 4 へ

3 **「写真かんたん取込」を選び、決定 を押す**

4 **「取り込み開始」を選び、決定 を押す**

5 **取り込み終了後、「HDD の写真一覧を見る」または「テレビ視聴画面へ」を選び、**
を押す

お知らせ

- 写真の履歴保持は、「HDDのフォーマット」(➜154)や「全写真消去」(➜154)を行うと、削除されます。
- 同じ写真を取り込みたい場合や写真単位で取り込みたい場合は、「写真一覧から取り込む」(➜95)を行ってください。
- 取り込んだ写真は、撮影日ごとにイベントとして管理されます。
- イベント名は取り込まれません。

写真一覧から取り込む

1 操作一覧 **を押す**

2 ディスクから取り込む場合:
「ブルーレイ(BD)/DVD」を選び、決定 を押す

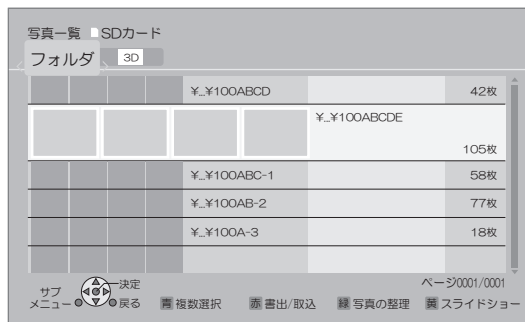
SD から取り込む場合:
「SD カード」を選び、決定 を押す

USB から取り込む場合:
❶「その他の機能へ」を選び、決定 を押す
❷「USB 機器」を選び、決定 を押す
❸「写真」を選び、決定 を押す

3 **「写真を見る」を選び、決定 を押す**

4 **イベントまたは写真を選び、青 を押す**

- 選んだイベント、写真には ☑ が表示されます。操作を繰り返します。

例) SD

5 **すべてを選んだあと、赤 を押す**

6 **「HDD へ取り込む」を選び、決定 を押す**

7 **「アルバムに入れる」または「アルバムに入れない」を選び、決定 を押す**

- 「アルバムに入れる」を選んだ場合、取り込み先のアルバムを選んでください。
- 「アルバムに入れる」を選んだ場合のみイベント名を取り込みます。

8 **「取り込み開始」を選び、決定 を押す**

写真を書き出す

HDD ➡ BD-RE RAM SD

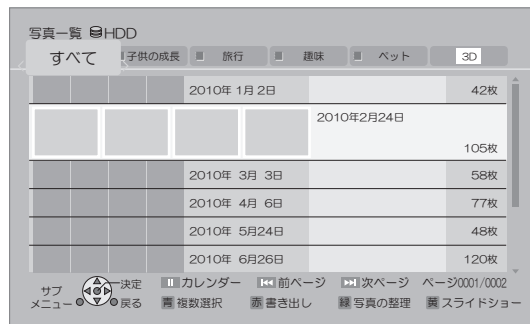
BD-RE BD-R RAM -R -RW CD +R、+R DL、+RW ➡ SD

SD USB ➡ BD-RE RAM

91 ページ手順 1 〜 3 のあと

4 **イベントまたは写真を選び、青 を押す**

選んだイベント、写真には ☑ が表示されます。
操作を繰り返します。

例) HDD

5 **すべてを選んだあと、赤 を押す**

6 ディスクに書き出す場合:
「ブルーレイ(BD)/DVD へ書き出す」を選び、決定 を押す

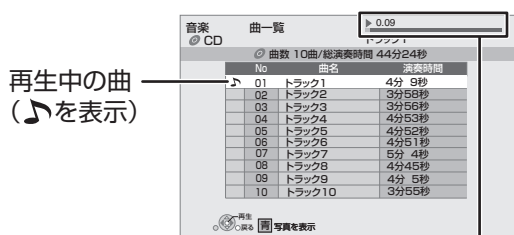
SD に書き出す場合:

「SD カードへ書き出す」を選び、決定 を押す

7 **「書き出し開始」を選び、決定 を押す**

音楽 CD を再生する

CD

1 音楽 CD を入れる

再生中の曲の経過時間/
現在の再生位置/演奏時間

●自動的に再生が始まります。

別の曲を再生するには

再生したい曲を選び、[決定] を押す

再生中のいろいろな操作

●再生中に、以下のボタン操作を行うことができます。

●再生中に、以下の再生設定を行うことができます。

・「再生」(➜63)の「リピート」「ランダム」

・「音声」(➜64)

写真のスライドショー

音楽再生中に、青 を押す

スライドショーを停止するには

[戻る] を押す

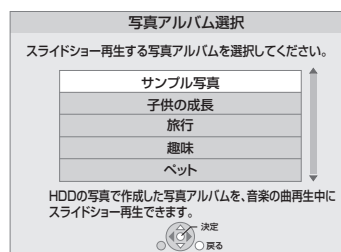
(音楽の再生を停止したときも、停止します)

表示させる写真を選択するには

本機では、スライドショーで表示させる写真を、あらかじめ HDD に内蔵されているサンプル写真または「アルバムに入れる」(**➜93**)で登録したアルバムからのみ選ぶことができます。

① **スライドショー再生中に、[サブ メニュー] を押す**

② **「写真アルバム選択」を選び、[決定] を押す**

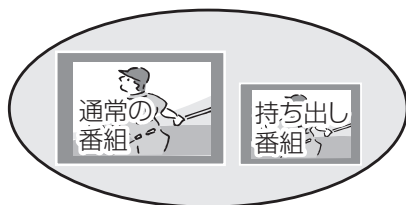
③ **アルバムなどを選び、[決定] を押す**

録画した番組をモバイル機器に持ち出す

モバイル機器(携帯電話など)に転送するには、HDDに録画した番組から持ち出し番組を作成する必要があります。

対応機器については、下記サポートサイトでご確認ください。(2011 年 2 月現在)

http://panasonic.biz/broad/catv-support/index.html

持ち出し番組について

- 通常の番組の「番組消去」「部分消去」「番組分割」を行うと、持ち出し番組は消去されます。
  [ダウンロードした番組(➜106)は番組消去しても、持ち出し番組は消去されません]
- 通常の番組の「番組名編集」を行うと、持ち出し番組も同じように編集されます。[ダウンロードした番組(➜106)を除く]
- 本機では、持ち出し番組の再生･編集はできません。

持ち出し方法について

モバイル機器に持ち出し番組を転送するには、以下の方法があります。持ち出しする方法に合わせて持ち出し番組を作成する必要があります。

- SD/USB 経由
  SD カードを本機に挿入して転送する場合やUSB 接続ケーブルを接続して転送する場合
- ネットワーク経由
  DLNA 対応のモバイル機器にネットワークを経由して転送する場合

持ち出し番組の画質について

SD/USB経由で持ち出す場合、本機では持ち出し番組の記録画質を選ぶことができます。「高画質(VGA)」に設定すると、「ワンセグ画質(QVGA)」より高画質で作成します。(高画質 と表示)ただし、「高画質(VGA)」に対応したモバイル機器でしか再生できません。

- 「持ち出し番組の VGA 画質」(➜154)で記録する画質(1.5 Mbps/1.0 Mbps)を変更できます。
- ネットワーク経由で持ち出す場合の画質は「高画質(VGA)」(1.5 Mbps)となり、変更できません。
  (ネット高画質 と表示)

多重音声の記録について

多重音声の番組から持ち出し番組を作成する場合、以下のようになります。

- **マルチ音声の番組**
  ･録画した番組から作成するとき:
  「信号切換」の「音声」(➜62)で設定した音声 1 つ
  ･通常の番組の録画と同時に作成するとき:
  マルチ音声、サラウンド音声では放送されていません
- **二重音声の番組**
  ･録画した番組から作成するとき:
  ステレオ音声
  ･通常の番組の録画と同時に作成するとき:
  両方の音声

持ち出し番組を作成する

番組の予約録画時に作成する

持ち出し番組の設定 HDD

番組の予約時に、持ち出し番組を作成するように設定しておくことができます。

番組予約(➜30 手順 5)、詳細設定(➜38 手順 1)、または時間指定予約(➜40 手順 3)画面で

❶ **「持ち出し番組の設定」を選び、決定 を押す**
❷ **「持ち出し番組の作成」を選び、「する」に設定する**
❸ **「持ち出し方法」を選び、設定する**
- 「ネットワーク経由」を選んだ場合、**手順 ❺** へ

❹ **「持ち出し番組の画質」を選び、設定する**
❺ **「かんたん転送の登録」を選び、設定する**
- 「する」に設定しておくと、「かんたん転送」(**➜99**)で自動的に転送することができます。

お知らせ
- 地上デジタル放送を「ワンセグ画質(QVGA)」で作成する場合、通常の番組の録画と同時に作成します。
- 以下の場合、電源「切」時に録画した番組から変換して作成します。
  - ・「高画質 (VGA)」で作成するとき
  - ・BS･CATV デジタル放送から作成するとき
  - ・地上デジタル放送録画時に、ワンセグ放送が行われていないとき
  - ・地上デジタル放送の連続録画時間が8時間を超えるときの超えた分
- ワンセグ放送が地上デジタル放送と放送内容が異なる場合や開始時刻 / 終了時刻がずれる場合、正しく作成されないことがあります。「録画した番組から作成する」(**➜ 右記**)で作り直すことをおすすめします。
- 複数の音声や字幕を含む番組から作成する場合、「信号設定」(**➜39**)で記録したい音声や字幕を選んでください。

録画した番組から作成する

持ち出し番組の作成 HDD

HDD の録画一覧にある番組から持ち出し番組用に変換して作成します。
作成には番組の再生とほぼ同じ時間がかかります。

❶

を押す

❷ **作成する番組を選び、緑 を押す**
❸ **「持ち出し番組の作成」を選び、決定 を押す**
❹ **「持ち出し方法」を選び、設定する**
- 「ネットワーク経由」を選んだ場合、**手順 ❻** へ

❺ **「持ち出し番組の画質」を選び、設定する**
❻ **「かんたん転送の登録」を選び、設定する**
- 「する」に設定しておくと、「かんたん転送」(**➜99**)で自動的に転送することができます。

❼ **「開始方法」を選び、設定する**

- **すぐに:**
  下記手順 ❾ の設定後すぐに、作成を開始します。作成中は録画や再生はできません。予約録画も実行されません。
- **電源 [切] 後:**
  電源を切ってしばらくすると、予約録画の設定がされていない時間帯に作成を行います。作成中に電源を入れると、作成を中止し、次に電源を切ると、作成をやり直します。

❽ **「作成する」を選び、決定 を押す**
❾ 「すぐに」作成を開始する場合:
「開始」を選び、決定 を押す

作成を実行中に中止するには
[戻る] を 3 秒以上押す

「電源 [切] 後」作成を開始する場合:
決定 を押す

作成の設定内容を変更･取り消しするには
手順❸のあと、「設定変更」または「作成取消」を選び、**[決定]** を押す

☞ 作成が終了しているか確認するには

持ち出し番組一覧(➜100)で「作成待ち」が表示されている場合、作成は終了していません。

ネットワーク経由で持ち出す(転送)

ネットワーク経由で DLNA 対応のモバイル機器に転送する場合は、以下の設定を行ってください。

- ネットワーク接続と設定をする
  (➜127、142)
  お部屋ジャンプリンク(DLNA)の設定をする
  (➜144)

転送操作はモバイル機器側で行います。操作方法は、モバイル機器の取扱説明書をご覧ください。

SD/USB 経由で持ち出す(転送)

かんたん転送

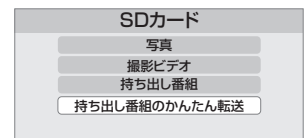
「かんたん転送」の登録がされた番組をすべて転送します。(最大 99 番組まで転送可能)

登録されている番組は、持ち出し番組一覧(➜100)で確認することができます。

- 登録は、番組の予約時(➜98)、持ち出し番組の作成時(➜98)、持ち出し番組の作成後(➜100)に行うことができます。

❶ **SD カードを入れる または USB 機器(携帯電話など)を接続する**

☞ **USB 機器を接続するには(➜168)**

例) SD

❷ **「持ち出し番組のかんたん転送」を選び、**

 を押す

お知らせ

- ダウンロードした番組(➜106)の場合:
  - ・コピー制限がある番組は、ダビングの残り可能回数は 1 回減ります。
  - ・以下の設定はできません。
    - -「持ち出し方法」の「ネットワーク経由」
    - -「かんたん転送の登録」の「する」
    - -「開始方法」の「電源[切]後」
  - ・ネットワークに接続した状態で作成してください。
- 視聴制限のある番組は、「かんたん転送の登録」を「する」に設定することはできません。
- ダビングできない番組の場合、持ち出し番組は作成できません。
- HDD の残量が少ない場合や、HDD の番組数がいっぱいの場合、持ち出し番組は作成できません。
- 持ち出し番組は以下の設定に従い作成されます。
  - ・二重音声 :「二重放送音声記録」(➜155)
  - ・マルチ音声 :「信号切換」の「音声」(➜62)
  - ・チャプター :作成元になる番組のチャプター情報
  - ・字幕 :「信号切換」の「字幕」(➜62)
    (「電源[切]後」作成する場合、電源「切」時の「信号切換」の設定に従い作成されます)

便利機能

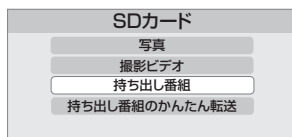
録画した番組をモバイル機器に持ち出す(つづき)

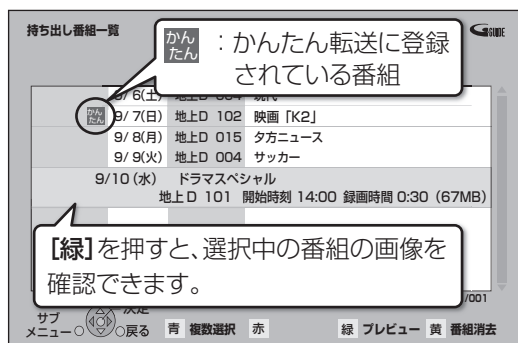
SD/USB 経由で持ち出す(転送)(つづき)

持ち出し番組一覧から転送する

❶ SD カードを入れる または USB 機器(携帯電話など)を接続する

USB 機器を接続するには(➜168)

例) SD

❷「持ち出し番組」を選び、決定 を押す

❸「持ち出し番組を転送する」を選び、決定 を押す

❹ 番組を選び、青 を押す

- ☑ が表示されます。操作を繰り返し、番組を選びます。

選択を取り消すには

番組を選び、[青] を押す

❺ すべてを選んだあと、決定 を押す

❻「転送を開始する」を選び、決定 を押す

持ち出し番組の確認と編集

「持ち出し番組一覧から転送する」(➜ 左記)
手順 ❸ のあと

❹ 番組を選び、サブメニュー S を押す

❺ 項目を選び、決定 を押す (➜ 下記へ)

SD/USB へ転送	SD カードまたは USB 機器へ番組を転送します。(➜ 左記手順 ❻ へ)
番組消去	番組を消去します。
内容確認	番組の情報を確認します。
かんたん転送の設定	「かんたん転送」(➜99)の登録をします。(かんたん が表示されます)
かんたん転送の解除	「かんたん転送」(➜99)の登録を解除します。
視聴制限一時解除	「制限項目設定」(➜150)で設定された視聴制限を一時的に解除します。画面の指示に従って暗証番号を入力してください。表示されていない視聴制限のある番組を表示します。

転送(ダビング)の残り可能回数について

デジタル放送には、著作権を保護するためにコピー制御信号が加えられているため、転送(ダビング)できる回数に限りがあります。

- 通常の番組をダビングした場合や持ち出し番組を転送した場合には、ダビングの残り可能回数は1回減ります。

表示のある番組について

転送すると、HDDの番組は消去されます。

- 通常の番組･持ち出し番組ともにHDDから消去されます。

転送した番組を確認･消去する

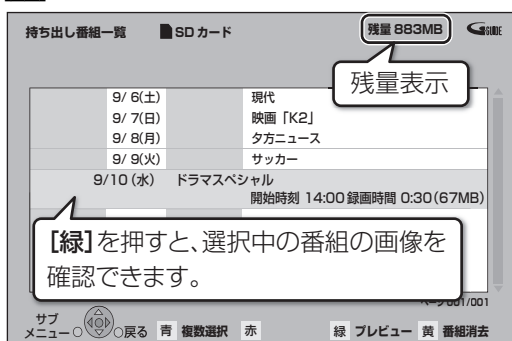
❶ **SDカードを入れる または USB機器(携帯電話など)を接続する**

USB機器を接続するには(➜168)

❷ **「持ち出し番組」を選び、決定 を押す**

❸ **「持ち出し番組を確認する」を選び、決定 を押す**

❹ **番組を選ぶ**

例) SD

番組の内容を確認するには

① [サブ メニュー]を押す

② 「内容確認」を選び、[決定]を押す

持ち出し番組を消去するには

① [黄]を押す

② 「消去」を選び、[決定]を押す

お知らせ

- 転送した番組の「かんたん転送」の登録は解除されます。
- 選択した番組の容量合計は、管理情報が含まれるなどの理由で、転送する持ち出し番組の合計より少し大きくなります。
- 転送中は以下のようになります。
  - ･通常の番組の再生はできません。
  - ･録画先が「BD」の予約録画が始まると、HDDに代替録画されます。
- ディスクに予約録画中は、転送できません。
- 録画中に転送を行うと、通常より時間がかかります。
- 転送した番組は、再生停止位置(➜56「続き再生メモリー機能」)とチャプターマーク(➜68)を通常の番組から引き継ぎます。
  - ･ダウンロードした番組(➜106)では再生停止位置は引き継ぎません。
  - ･作成したチャプターマークは引き継がれない場合があります。
  - ･位置は多少ずれる場合があります。
- 通常の番組がプロテクト設定(➜65)されている「1回だけ録画可能」の持ち出し番組は、転送できません。
- 視聴制限のある番組は表示されない場合があります。「視聴制限一時解除」(➜100)を行うと、表示されるようになります。

お知らせ

- 残量表示は、持ち出し番組を最適に記録できる残量を表示するため、実際より少なく表示されます。
- 本機以外で記録された持ち出し番組は、消去できない場合があります。
- ネットワーク経由で転送した番組の確認･消去は本機ではできません。

ドアホンやセンサーカメラから録画された映像を再生する

HDD

ドアホンやセンサーカメラを接続して設定すると、呼び出しや検知があったときに、映像を自動でHDDに録画します。

- H.264 対応のセンサーカメラからの場合は動画(音声付き)を、H.264非対応のセンサーカメラやドアホンからの場合はコマ送りの画像(連続静止画)を記録することができます。

- 本機とドアホンやセンサーカメラを接続する (➜127)
- ドアホンやセンサーカメラの設定をする (➜146)

お知らせ

- ドアホン録画が実行された場合のみ、録画終了後に" ✉ "が点滅します。
- ドアホン映像に新着の映像がある場合、本機の電源を入れると、確認画面が表示されます。
- ドアホン·センサーカメラ映像の録画は、以下の制約がありますので、ご理解いただいた上で、ご利用ください。
  - ·以下の場合、映像は録画されません。
    - ２番組を録画中 (通知のみ記録)
    - ダビングと録画の同時実行中 (通知のみ記録)
    - オンエアーダウンロードなどのソフトウェア更新中(➜162)
    - 本機の安定性維持のために行われる午前 4 時ごろ(1 週間に一度程度)の自動再起動時
    - その他、初期設定画面表示やファイナライズ中　など
  - ·録画は最大で約 30 秒です。最短検知間隔が 1 分間のセンサーカメラの場合、検知後、約 30 秒間の映像は記録されますが、30 秒以降から 1 分までの間は、センサーカメラは検知せず、録画されません。
    ドアホンの場合、応答すると録画は止まります。
  - ·最大記録件数は、以下になります。
    ドアホン映像 400　センサーカメラ映像 400
    400 件を超えると、古い映像から削除されます。削除したくない映像はプロテクトを設定してください。(➜103)
  - ·本機能を運用された結果、発生したいかなる損害に対して当社およびご加入のケーブルテレビ局は一切の責任を負いません。

録画された映像を再生する

1

を押す

2 「その他の機能へ」を選び、決定 を押す

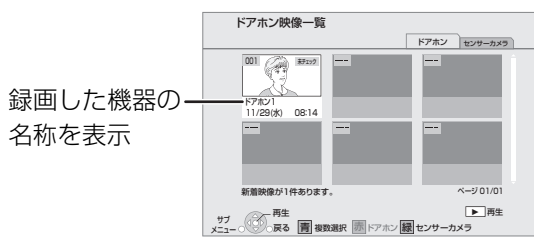
3 「ドアホン・センサーカメラ映像」を選び、
を押す

☞ **ドアホン映像一覧を表示するには**
[赤] を押す

☞ **センサーカメラ映像一覧を表示するには**
[緑] を押す

4 映像を選び、決定 を押す

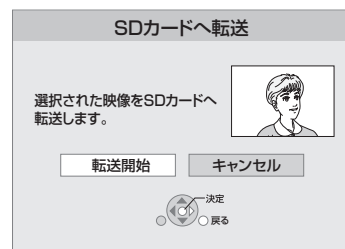
- 映像の再生が終了すると、次の映像を表示します。

録画した機器の名称を表示

- 再生中に、以下のボタン操作を行うことができます。

(一時停止中)

映像の一場面を SD カードに保存

映像の一場面を写真(JPEG)に変換して SD カードに保存することができます。

❶ 保存したい場面で 一時停止/前選局 を押す
❷ [◀][▶] を押して場面を調整する
❸ 黄 を押す
❹ 「転送開始」を選び、決定 を押す

- SECURITYフォルダ内の日付フォルダに保存されます。

録画された映像を編集する

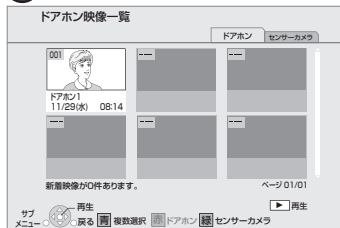
1 **を押す**

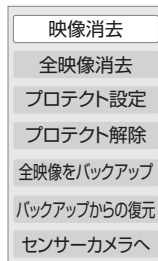
2 「その他の機能へ」を選び、決定 を押す

3 「ドアホン・センサーカメラ映像」を選び、決定 を押す

ドアホン映像一覧を表示するには
[赤] を押す

センサーカメラ映像一覧を表示するには
[緑] を押す

4 映像を選んで、サブメニュー S を押す

5 編集する項目を選び、決定 を押す（➜ 右記へ）

例）

映像消去 全映像消去	**「消去」を選び、[決定] を押す**
プロテクト設定 / 解除	映像を誤って消去しないよう、映像ごとに書き込み禁止(プロテクト)の設定または解除ができます。 **「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、[決定] を押す** ●プロテクト設定すると「🔒」が表示されます。
全映像をバックアップ	ドアホンまたはセンサーカメラの全映像を DVD-RAM にバックアップすることができます。 **「開始」を選び、[決定] を押す** お知らせ ●バックアップする DVD-RAM は、バックアップ専用としてお使いください。(バックアップデータはフォーマット以外の消去方法がありません。番組や写真が混在したディスクの場合、バックアップデータを消去するためにフォーマットすると、大切な録画番組なども消去されてしまいます) ●バックアップデータを再生したり、他の機器にコピーして利用することはできません。 ●一度バックアップしたディスクには、フォーマットしない限り、バックアップはできません。
バックアップからの復元	DVD-RAM にバックアップしたデータをHDDに復元します。 ●万が一、HDD が故障してデータが損なわれた場合にはHDDの修理が完了してから復元を行ってください。 **「開始」を選び、[決定] を押す**

インターネットを利用した情報を見る

インターネットを利用した生活情報やテレビ向けの双方向情報提供サービスを利用することができます。

- ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容により利用できない場合や、サービス内容が異なる場合があります。ご加入のケーブルテレビ局にご確認ください。
- ポータルサイト※の利用条件については、別途ポータルサイトにてご確認ください。

※ ポータルサイトとは、[**ブラウザ**] を押したときに最初に表示されるホームページのことです。（ポータルとは玄関･入り口の意味です）

お知らせ

- **ホームページへの情報登録について**
  ブラウザを使ってホームページに登録した情報は、そのホームページのサーバーに登録されます。ご加入のケーブルテレビ局への返却などで本機のご使用を中止される場合は、登録時の規約などに従って、必ず登録情報の消去を行ってください。
- クレジットカードの番号や氏名などの個人情報を入力するときは、そのページの提供者が信用できるかどうか十分お気をつけください。
- プログレッシブテレビやハイビジョンテレビに接続されることをおすすめします。それ以外のテレビに接続すると文字などが見えにくい場合があります。
- 天災やシステム障害その他の事由により、ポータルサイトのコンテンツを表示できない場合があります。あらかじめご了承ください。
- ソフトウェア更新のお知らせが画面上に表示された場合は、ソフトウェアを更新してください。更新を行わない場合、「テレビでネット」をご利用できなくなります。

インターネットの閲覧制限について

本機には、インターネットを見るときに、お子様などに見せたくないホームページなどの閲覧を制限するための機能が組み込まれています。
お子様などが本機を使ってインターネットをご覧になる家庭では、この制限機能の利用をおすすめします。
制限機能を使用する場合は、「ブラウザ制限」を「する」に設定してください。

① **[操作一覧]** を押す
② 「その他の機能へ」を選び、**[決定]** を押す
③ 「放送設定」を選び、**[決定]** を押す
④ 「システム設定」を選び、**[決定]** を押す
⑤ 「制限項目設定」を選び、**[決定]** を押す
⑥ [1] ～ [10] で暗証番号を設定する
⑦ 「ブラウザ制限」を選び、「する」を選ぶ

- ブラウザを利用するには、手順⑥で設定した暗証番号の入力が必要になります。

1 [ブラウザ] を押す

2 見たい項目を選び、 を押す

ブラウザを終了するには

[赤] を押す

ブラウザメニューを表示する

❶ ホームページ表示中に、[青] を押す

❷ 項目を選び、[決定] を押す

① 1つ前のページへ
② 1つ先のページへ
③ 読込みを中止
④ 表示中のページを再読込み
⑤ ポータルサイトに戻るとき
⑥ お好みページを使う(➜ 右記)

☞ ブラウザメニューの表示を消すには

 を押す

お好みページを使う

お気に入りのホームページを「お好みページ」に登録すると、あとからそのページを見るのに便利です。

❶ ホームページ表示中に、[青] を押す

- ●登録したい場合、登録したいホームページを表示して [青] を押してください。

❷「お好みページ」を選び、[決定] を押す

■登録する

❸ [青] を押す

❹「確認」を選び、[決定] を押す

- ●「お好みページ」の登録は最大 20 件までです。

■見る

❸ 見たいタイトルを選び、[決定] を押す

■削除する

❸ 削除したいタイトルを選ぶ

❹ [黄] を押す

❺「はい」を選び、[決定] を押す

■タイトルを変更する

❸ 変更したいタイトルを選ぶ

❹ [緑] を押す

❺「タイトル」を選び、[決定] を押す

☞ 文字入力については(➜112)

便利機能

アクトビラからダウンロードする

TZ-BDT910M、TZ-BDT910F ではできません。

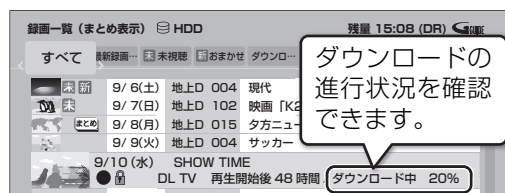
動画コンテンツを HDD にダウンロードする

●TZ-BDT910P のみ

アクトビラなどのページから動画コンテンツを購入し、HDD にダウンロードすることができます。

●動画コンテンツ購入の課金方法はそれぞれのサービスのページでご確認ください。

アクトビラなどのページに従って動画コンテンツを購入する

●録画一覧にダウンロードする番組が登録され、ダウンロードは自動的に開始します。

本体表示窓

ダウンロード中に点灯

ダウンロードを中断するには

ダウンロード中は他のネットワーク機器が使用できなくなる場合があります。その場合は、ダウンロードを一時停止することができます。

① 録画一覧で、ダウンロード中の番組を選び、**[サブ メニュー]** を押す
② 「ダウンロード一時停止」を選び、**[決定]** を押す
③ 「一時停止」を選び、**[決定]** を押す
●ダウンロードを再開するには、手順②で「ダウンロード再開」を選んでください。

ダウンロードに失敗した場合は

ダウンロード履歴を確認してください。
(➜147「ダウンロード履歴」)

お知らせ

●電源切時でもダウンロードは実行されます。
●以下の操作中はダウンロードは実行されません。
・２番組を録画中
・BD ビデオや AVCHD のディスク再生中
・ダビング中
・お部屋ジャンプリンク(DLNA)機能など、ネットワークを利用する機能を使用中　など
またダウンロード中に上記の操作を開始した場合、ダウンロードを中断します。操作が終了するとダウンロードを再開します。

ダウンロードした番組を再生する

●TZ-BDT910P のみ

録画一覧(➜50)から再生する

ダウンロードした番組が表示されない場合

「制限項目設定」(➜150)の設定が「無制限」以外の場合、以下の操作で表示することができます。

① **[サブ メニュー]** を押す
② 「視聴制限一時解除」を選び、**[決定]** を押す
③ 暗証番号を入力する

お知らせ

●視聴期限のある番組は、期限内に視聴してください。期限を過ぎると録画一覧から自動的に消去されます。視聴期限は再生を開始した時点から始まります。
●再生時はネットワークに接続した状態で行ってください。
●番組は自動的にプロテクト設定されます。

ダウンロードした番組をディスクにダビングする
●TZ-BDT910P のみ

ダウンロードした番組には、ディスクにダビングできるものもあります。

かんたんダビング(➜72)や詳細ダビング(➜74)でダビングを行う

☞ **ダウンロードした番組が表示されない場合**
「制限項目設定」(➜150)の設定が「無制限」以外の場合、以下の操作で表示することができます。
① [サブ メニュー] を押す
② 「視聴制限一時解除」を選び、[決定] を押す
③ 暗証番号を入力する

お知らせ

- DVD にダビングする場合、CPRM 対応のディスクを準備してください。
- ダビング時はネットワークに接続した状態で行ってください。
- 番組によっては、ダビングできるディスクやダビングできる回数や期間に制限があります。番組の制限については、購入時にご確認ください。

動画共有サイトなどのサービスを利用する

ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容により利用できない場合や、サービス内容が異なる場合があります。ご加入のケーブルテレビ局にご確認ください。

1 **を押す**

2 **「ネットワーク機能を使う」を選び、** **を押す**

3 **「テレビでネット」を選び、決定 を押す**

4 **項目を選び、決定 を押す**
●操作方法は画面の指示に従ってください。

☞ **サービスを終了するには**
   を押す

便利機能

お部屋ジャンプリンク(DLNA)を使う

お部屋ジャンプリンク(DLNA)機能

HDD に記録されたコンテンツの再生などを、ネットワーク接続した DLNA 対応機器で行う機能です。

コンテンツが記録された機器をサーバー、コンテンツを再生する機器をクライアントといいます。

- 本機はサーバーとクライアントのどちらとしてもお使いいただけます。
- サーバーとクライアントの組み合わせにより、再生できるコンテンツなどは異なります。

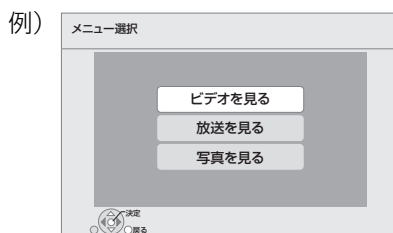
別の部屋のテレビなどで見る（サーバーとして使用する）

- ネットワーク接続と設定をする
(➜127、142)
お部屋ジャンプリンク(DLNA)の設定をする
(➜144)

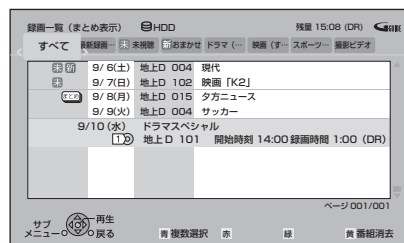
HDD

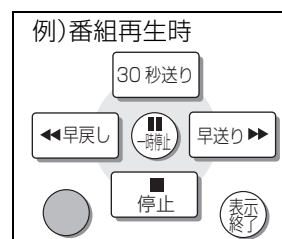
DLNA 対応機器から、本機の HDD に録画した番組や写真の再生や、受信した放送の視聴ができます。

テレビなどのクライアント機器側で操作する

例）

- 画面に従って、以降の操作をしてください。

例）DLNA 対応の当社製機器から番組を再生する場合

① 機器のリモコンを使って、本機の「録画一覧」を表示させる

② 再生する番組を選び、[決定] を押す

- 「画面 de リモコン」が表示されます。
（[▲][▼][◀][▶][決定][戻る] で操作することができます）

☞「画面 de リモコン」が表示されていないときは
[サブ メニュー] を押す

お知らせ

「ビデオを見る」「写真を見る」のとき

- 編集はできません。(当社製機器の場合、番組の消去のみできます)
- ダウンロードした番組(**➜106**)は再生できません。
(DLNA対応の他社製機器から再生時)(2011 年 2 月現在)
- 本機が以下の操作中の場合、再生できません。
  - ・2 番組を録画中
  - ・BD ビデオや AVCHD のディスク、SD カード再生中
  - ・高速ダビングと録画の同時実行中(「ビデオを見る」のとき)
  - ・1 倍速でダビング中
  - ・ダビング中(「写真を見る」のとき)
  - ・初期設定画面表示中
  - ・ブラウザなどのネットワークを利用する機能を使用中 など
- 再生する機器によっては、以下の場合があります。
  - ・録画中の番組や HG、HX、HE、HL、HM、HZ モードの番組、本機に取り込んだハイビジョン動画(AVCHD)が再生できない
- DLNA 対応のモバイル機器の場合、以下の番組は再生できません。
  - ・ネットワーク経由で持ち出し番組を作成していない XP、SP、LP、EP、FR モードの番組
  - ・「1080/60p」表示のある番組
- 2 台以上の機器で同時に再生することはできません。
- 再生中に本機を操作して初期設定画面を表示すると、再生を終了します。

「放送を見る」のとき

- 視聴中は、本機の HDD に放送を一時的に記録します。(視聴終了後は番組を削除します)
- 本機のチャンネル設定(**➜133**)で登録しているチャンネルのみ視聴できます。
- ブラウザの番組を視聴することはできません。
- 視聴する番組は、実際の放送よりも数秒遅れます。
- 視聴制限のある番組は、暗証番号の入力が必要です。暗証番号(**➜150**)を入力すると、本機の視聴制限を一時解除します。
- 連続して 8 時間以上は視聴できません。
- 本機が以下の操作中の場合、視聴できません。
  - ・録画中
  - ・BD ビデオや AVCHD のディスク、SD カード再生中
  - ・ダビング中
  - ・操作一覧や初期設定などの設定画面を表示中
  - ・ブラウザなどのネットワークを利用する機能を使用中 など
- 2 台以上の機器で同時に視聴することはできません。
- 視聴中に本機を操作して操作一覧画面を表示すると、視聴画面を終了します。
- 他社製機器で放送番組を視聴することはできません。(2011 年 2 月現在)

映像が途切れたり、停止する場合

- 無線LAN使用時に映像の途切れなどが起こる場合、無線LANアダプターや無線ブロードバンドルーター(アクセスポイント)の位置や角度を変えて、通信状態が良くなるかお確かめください。それでも改善できない場合は、有線で接続してください。
- 無線 LAN はすべてのご利用環境での動作を保証するものではありません。距離や障害物により十分な通信速度が出なかったり接続できない場合があります。

別の部屋の機器の映像を見る（クライアントとして使用する）

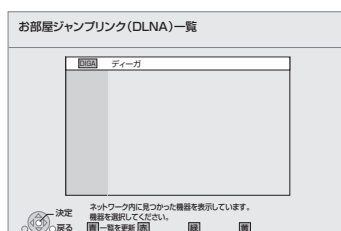
本機からDLNA 対応ディーガなどのHDD にある番組などを再生することができます。

●ネットワーク接続と設定をする
(➔127、142)
●接続した機器側で、本機を登録する（当社製機器の場合は「お部屋ジャンプリンク（DLNA）」または「ビエラリンク（LAN）」で登録する）
（本機の操作を必要とするメッセージが表示されたときは、下記の手順 1 ～ 4 の操作を行ってください）

1 操作一覧 **を押す**

2 **「ネットワーク機能を使う」を選び、**
 を押す

3 **「お部屋ジャンプリンク(DLNA)」を選び、**
 を押す

4 **接続する機器を選び、** 決定 **を押す**

例）
●選んだ機器の画面が表示されます。
●以降の操作については、接続した機器の説明書をご覧ください。

お知らせ

●ディスクを再生することはできません。また接続している機器によっては、写真を再生することはできません。
●接続環境によっては、再生中に映像が途切れたり、再生できないことがあります。

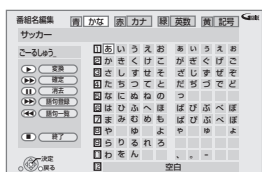
文字入力

基本操作 選び→決定する

本機では、表示された画面によって 2 種類の文字入力方法があります。

文字パネル方式で文字入力する

(番組名、ディスク名、アルバム名、イベント名、マイラベル名などを入力するとき)

1 青 赤 緑 黄 **で文字の種類を選び、** **決定を押す**

- 漢字を入力する場合、まず「かな」を選びます。

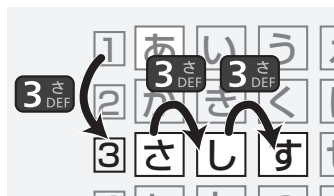
2 入力する文字を選び、決定 を押す

- この手順を繰り返し、文字を入力します。
- ひらがなの場合は、確定するかまたは漢字変換してください。(➜ 下記)

3 入力が終わったら、停止 を押す

4 「保存」を選び、決定 を押す

数字ボタン [1] ～ [9]、[11]、[12] でも文字を入力できます。

例:ひらがな「す」を選ぶ場合

① **[3] を押す**

- 「さ」行に移動します。

② **[3] を 2 回押し、[決定] を押す**

- 「す」が文字変換表示欄に表示されます。

ひらがなを確定する

[▶▶] を押す

ひらがなを漢字変換する

[再生 ▶] を押したあと、変換候補を選び、[決定] を押す

- [戻る] を押すと、入力画面に戻ります。
- JIS 第 1 水準の漢字コードのみ入力可能

文字を消す

[一時停止 ❚❚] を押す

文字入力(つづき)

よく使う語句の登録 / 呼び出し / 消去

語句を登録する

① 語句を入力したあと、[▶▶|] を押す
② 「登録」を選び、[決定] を押す

語句を呼び出す

① [|◀◀] を押す
② 語句を選び、[決定] を押す

語句の消去

① [|◀◀] を押す
② 語句を選び、[サブ メニュー] を押す
③ 「語句消去」を選び、[決定] を押す
④ 「消去」を選び、[決定] を押す

携帯電話(リモコンボタン)方式で文字入力する
(フリーワード検索、ブラウザなどで入力するとき)

リモコンの数字ボタンを使って、携帯電話と同じような操作で入力する方法です。ブラウザの入力などで使います。
(番組名やディスク名はこの方法では入力できません)

1 1～12 で文字を入力する

例)「えいが」と入力するとき

4回押す (え) 1回押す 2回押す (い) 1回押す (か) 1回押す (˝)

えいが

●入力文字一覧表をご覧ください。(➜113)

漢字に変換するには

[▲][▼] で変換候補を選び、[決定] を押す

●JIS第1水準、JIS第2水準の漢字コードのみ入力可能

映画
栄華
頴娃が
英が
瑛が

2 決定 を押す

●この手順を繰り返し、文字を入力します。

映画 ── カーソル

3 「登録」を選び、決定 を押す

文字の種類を変換する

[緑] を押して文字の種類を選び、[決定] を押す

●[緑]を押すごとに、(かな→カナ→英数→数字)に切り換わります。
●漢字を入力するときは、「かな」を選びます。

同じボタンで続けて入力する

[▶] でカーソルを右に移動させる
例)「あい」と入力する場合 :[1][▶][1][1] の順に押す

文節を分けて変換する

例)「えいが」の「えい」だけを変換する場合:

① 「えいが」と入力して、[▼] を押す
② [◀] を押して「えい」だけを選ぶ
③ 変換候補を選び、[決定] を押す

映画
えいが
映が

記号を入力する

① "きごう" と入力する
② 変換候補を選び、[決定] を押す

文字を追加する

カーソルを移動させたあと、文字を入力する
(カーソルの左に文字が追加されます)

文字を消す

カーソルを移動させたあと、[黄] を押す
(カーソルの文字が削除されます)

携帯電話方式での入力文字一覧表

入力モード＼ボタン	[1]	[2]	[3]	[4]	[5]	[6]	[7]	[8]	[9]	[10]	[11]	[12]
かな	あ	か	さ	た	な	は	ま	や	ら	、	わ	改行
	い	き	し	ち	に	ひ	み	ゆ	り	。	を	
	う	く	す	つ	ぬ	ふ	む	よ	る	?	ん	
	え	け	せ	て	ね	へ	め	ゃ	れ	!	ゎ	
	お	こ	そ	と	の	ほ	も	ゅ	ろ	・	ー	
	ぁ	2	3	っ	5	6	7	ょ	9	(	スペース	
	ぃ			4				8		)		
	ぅ									0		
	ぇ											
	ぉ											
	1											
カナ	ア	カ	サ	タ	ナ	ハ	マ	ヤ	ラ	、	ワ	改行
	イ	キ	シ	チ	ニ	ヒ	ミ	ユ	リ	。	ヲ	
	ウ	ク	ス	ツ	ヌ	フ	ム	ヨ	ル	?	ン	
	エ	ケ	セ	テ	ネ	ヘ	メ	ャ	レ	!	ヮ	
	オ	コ	ソ	ト	ノ	ホ	モ	ュ	ロ	・	ー	
	ァ	2	3	ッ	5	6	7	ョ	9	(	スペース	
	ィ			4				8		)		
	ゥ									0		
	ェ											
	ォ											
	1											
英数	@	a	d	g	j	m	p	t	w	ー	スペース	改行
	.	b	e	h	k	n	q	u	x	,		
	／	c	f	i	l	o	r	v	y	;		
	:	A	D	G	J	M	s	T	z	'		
	~	B	E	H	K	N	P	U	W	"		
	_	C	F	I	L	O	Q	V	X	?		
	1	2	3	4	5	6	R	8	Y	!		
							S		Z	(		
							7		9	)		
										&		
										¥		
										0		
数字	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0	*	#

- ボタンを押すたびに、表の順に文字が変わります。（例:「い」を入力するときは [1] を 2 回押す）
  未確定の文字があるときに [12] を押すと、表の逆順で文字が変わります。
- 濁点や半濁点を入力するときは、文字に続けて [10] を押してください。

お知らせ

- 入力したすべての文字が表示されない画面もあります。
- 表示可能な漢字コードは、JIS 第 1 水準、JIS 第 2 水準のみです。
- BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) 文字の種類によって入力できる文字数が少なくなる場合があります。

便利機能

ビエラリンク(HDMI)を使う

ビエラリンク(HDMI)に対応した当社製テレビ(ビエラ)、またはアンプをHDMI経由で接続すると連動操作を行うことができます。
●本機はビエラリンク(HDMI)Ver.4に対応しています。

ビエラリンク(HDMI)(HDAVI Control™)とは
本機とHDMIケーブル(市販品)を使って接続したビエラリンク対応機器を自動的に連動させて、リモコン1つで簡単に操作できる機能です。各機器の詳しい操作については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。
※すべての操作ができるものではありません。

■ 設定
① **「ビエラリンク制御」(➜156)を「入」にする**
② **接続した機器側(テレビなど)で、ビエラリンク(HDMI)が働くように設定する**
③ **すべての機器の電源を入れ、一度テレビの電源を切/入したあと、テレビの入力を「HDMI 入力」に切り換えて、画像が正しく映ることを確認する**
(接続や設定を変更した場合にも、この操作をしてください)

お知らせ
- ビエラリンク(HDMI)は、HDMI CEC(Consumer Electronics Control)と呼ばれる業界標準の HDMI によるコントロール機能をベースに、当社独自機能を追加したものです。他社製 HDMI CEC 対応機器との動作保証はしておりません。
- ビエラリンク(HDMI)に対応した他社製品については、その製品の取扱説明書をご確認ください。

表示マーク について

Ver.○以降 :接続している機器が表示のバージョン以降のビエラリンク(HDMI)に対応している場合に操作できます。

●テレビやアンプのビエラリンクのバージョンは、各機器の取扱説明書でご確認ください。

テレビの電源と連動させる

Ver.1以降

本機とテレビの電源操作を連動させることができます。

設定を有効にするには
- 「ビエラリンク制御」(➜156)が「入」の場合:
  - ・本機の電源を「入」にするとテレビの電源も「入」になり、本機の入力に切り換わる
  - ・テレビの電源を「切」にすると本機の電源も「切」になる
- 「電源オフ連動」(➜156)が「入」の場合:
  - ・本機の電源を「切」にするとテレビの電源も「切」になる
- 「ビエラリモコンで操作」(➜156)が「入」の場合:
  - ・テレビの電源を「入」にすると本機の電源も「入」になり、本機の入力に切り換わる
- 接続したテレビでも電源に連動する設定を行ってください。
  詳しくは接続したテレビの取扱説明書をご覧ください。

音声の出力先を切り換える

Ver.1以降

ビエラとアンプと接続している場合、本機の音声出力先を切り換えることができます。

操作方法(➜25)

番組ぴったりサウンド（オートサウンド連携）

Ver.3以降

ビエラとアンプと接続している場合、アンプから出力されるサウンドが、番組情報やディスクに応じて、最適なサウンドに自動で切り換わります。

●VR方式のディスクや他の機器で記録したディスクでは働きません。

設定を有効にするには

●「オートサウンド連携」(➜156)を「入」にする

ECO スタンバイ

Ver.4以降

リモコンを使ってビエラの電源「入」「切」に連動して、本機の電源「切」時の消費電力を最小にします。

●電源「切」時に時計表示されなくなります。

設定を有効にするには

●「ECO スタンバイ」(➜156)を「入」にする

テレビのリモコンで本機を操作する

Ver.3以降

テレビのリモコンで本機を操作するには、あらかじめテレビの操作から本機の操作に切り換えるための切り換え操作が必要です。

切り換え操作の詳細はテレビの取扱説明書をご覧ください。

設定を有効にするには

- 「ビエラリモコンで操作」(➜156)を「入」にしてください。

テレビのリモコンで操作できるボタンは？

[▲][▼][◀][▶][決定][戻る][サブ メニュー]
[番組表][地上][BS][CS][チャンネル∧,∨]
[ネット][ビエラリンク][データ ⓓ]
[元の画面][字幕][お好み選局][音声切換]
と数字ボタン、色ボタンなど

ビエラの機種によっては、ボタンの配置と使用できるボタンが異なる場合があります。
詳しくはビエラの取扱説明書または電子説明書(VIERA 操作ガイド)をご覧ください。

ビエラのリモコン（例 : TH-L42G3）

お知らせ

- 本機とテレビの電源が「入」の状態で、テレビ側の入力切換の設定が本機のときに、ビエラのリモコンで本機を操作することができます。
- 本機を操作するときは、ビエラのリモコンをテレビに向けてください。

■番組表を表示する

[番組表] を押す

●番組表の詳細操作は、**30**、**32ページ**をご覧ください。

■放送を選ぶ

[地上] [BS] [CS] を押す

●ボタンの名称は本機リモコンと異なります。

・**[地上]**:地上デジタル放送

・**[BS]**:BS デジタル放送

・**[CS]**:CATV デジタル放送

■チャンネルを選ぶ

[チャンネル∧,∨] [お好み選局] または数字ボタンを押す

●ボタンの名称は本機リモコンと異なります。

■ブラウザを利用する

[ネット] を押す

●ボタンの名称は本機リモコンと異なります。

●ブラウザの詳細操作は、**104ページ**をご覧ください。

■ケーブルテレビ放送の画面に戻る

[元の画面] を押す

■データ放送を見る

[データ ⓓ] を押す

●データ放送の詳細操作は、**22ページ**をご覧ください。

■音声や字幕を切り換える

視聴中に音声や字幕表示の切り換えなどができます。

[字幕] または [音声切換] を押す

■ケーブルテレビの「操作一覧」を表示する

① **[ビエラリンク] を押す**

② **「ケーブルテレビの操作一覧」を選び、[決定]を押す**

■サブメニューボタンを使う

ケーブルテレビの番組を視聴中:
[サブ メニュー]を押す

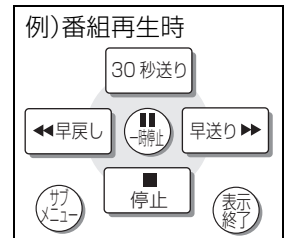
サブメニュー画面が表示され、以下のボタンを押すとそれぞれの操作を行うことができます。

[青]:番組内容の表示(➔**24**)

[赤]:録画一覧の表示(➔**50**)

[緑]:放送の切り換え

[黄]:操作一覧の表示(➔**189**)

番組の再生中:
[サブ メニュー]を押す

テレビのリモコンで早送り・早戻し(サーチ)、停止などの操作ができます。

●**[▲][▼][◀][▶][決定][戻る][サブ メニュー]**で操作することができます。

●もう一度 **[サブ メニュー]** を押すと、「画面モード切換」(➔**24**)、「再生中番組の保存」(➔**78**)を行うことができます。

本機で記録できるようにする(フォーマット)

新品または他の
機器で使っていた
ディスクやカード

そのままでは
本機で記録できない
場合があります。

フォーマット
すると

本機で記録できる
ようになります。

フォーマットすると、記録した内容はすべて消去され元に戻すことができません。（パソコンデータなども含む）すべて消去してよいか確認してから行ってください。
（番組や写真、ディスクにプロテクトを設定していても消去されます）

■ディスクの記録方式とフォーマットについて

ディスクの種類と記録方式によりフォーマットが必要な場合と不要な場合があります。

ディスク	記録方式	フォーマット	特徴
BD-RE BD-R	―	必要	記録方式の設定はありません。どの番組でも記録できます。
RAM	VR 方式	―（ディスクによる）	標準画質で記録
	ビデオ方式	ビデオ方式はありません。	
	AVCREC 方式	必要	ハイビジョン画質で記録
-R	VR 方式	必要	標準画質で記録
	ビデオ方式	不要	デジタル放送は記録できません
	AVCREC 方式	必要	ハイビジョン画質で記録
-RW	VR 方式	必要	標準画質で記録
	ビデオ方式	必要	デジタル放送は記録できません
	AVCREC 方式	AVCREC 方式はありません。	

BD-RE BD-R RAM -R -RW SD

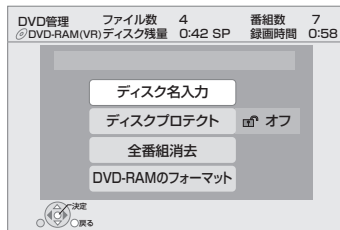
1 操作一覧 を押す

2 「ブルーレイ (BD)/DVD」または「SD カード」を選び、決定 を押す

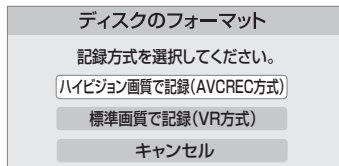
3 「BD 管理」、「DVD 管理」または「カード管理」を選び、決定 を押す

●未使用の -R を入れた場合、「ディスクのフォーマット」の画面が表示されます。
(➜ 手順5へ)

4 フォーマットの項目を選んで、決定 を押す

例) RAM

5 画面の指示に従って、フォーマットする

●DVD の場合、フォーマットの実行前に記録方式を選んでください。

例) RAM

お知らせ

- **フォーマット実行中は、終了メッセージが表示されるまで、絶対に電源コードを抜かないでください。ディスクやカードが使えなくなることがあります。**
- SD 「カード管理」の「BD ビデオデータ消去」は、BD-Live を利用して、SD カードに記録された BD ビデオのデータが不要になった場合に実行してください。
- -R 記録やフォーマット、または「ディスク名入力」(➜120)を行うと記録方式を変更できません。
- ビデオ方式にフォーマットした場合は、デジタル放送を記録できません。
- RAM -RW 記録やフォーマットしても、再度フォーマットすれば記録方式を変更できます。
- 本機でフォーマットした場合、本機以外の機器で使えないことがあります。
- HDD フォーマットは、「HDDのフォーマット」(➜154)で行ってください。
- フォーマット後のディスクの空き容量は、ディスクに表示されている容量より少なくなります。

ディスク名入力 / ディスクプロテクト / 全番組消去

BD-RE **BD-R** **RAM** **-R** **-RW**

（ファイナライズしたディスクではできません）

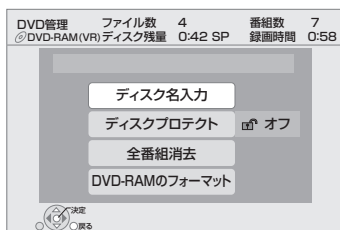
1 を押す

2 「ブルーレイ (BD)/DVD」を選び、 を押す

3 「BD 管理」または「DVD 管理」を選び、決定 を押す

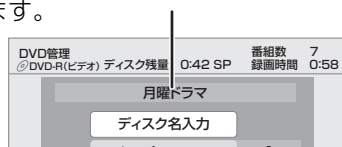
4 操作したい項目を選んで、 を押す

（➜ 下記へ）

例）**RAM**

ディスク名入力

BD-RE **BD-R** **RAM** **-R** **-RW**

☞ 文字入力については（➜111）

入力したディスク名は、「BD 管理」、「DVD 管理」画面に表示されます。

-R(V) **-RW(V)**

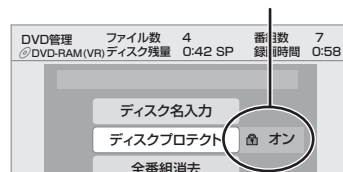
ファイナライズ後はトップメニューに表示されます。

ディスクプロテクト

BD-RE **BD-R** **RAM** **-R(AVCREC)** **-R(VR)** **-RW(VR)**

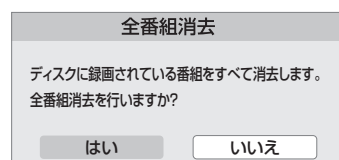
ディスクの内容を誤って消去することを防ぎます。

❺ 「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、決定 を押す

プロテクト設定すると「🔒 オン」が表示

全番組消去

BD-RE **BD-R** **RAM** **-R(AVCREC)** **-R(VR)** **-RW(VR)**

例）**RAM**

❺ 「はい」を選び、決定 を押す

❻ 「実行」を選び、決定 を押す

お知らせ

- 全番組消去すると、プレイリストもすべて消去されます。
- **BD-RE** **RAM** 写真は消去されません。
- **BD-R** **-R(AVCREC)** **-R(VR)** 消去しても残量は増えません。

他の機器で再生できるようにする（ファイナライズ）

ファイナライズ すると

DVD プレーヤーなどで再生できます。
ファイナライズ後、記録状態によっては
他の機器で再生できない場合があります。

VR方式

ファイナライズ すると

再生する機器が、再生するディスクの VR 方式に対応している場合、再生できます。

ファイナライズ すると

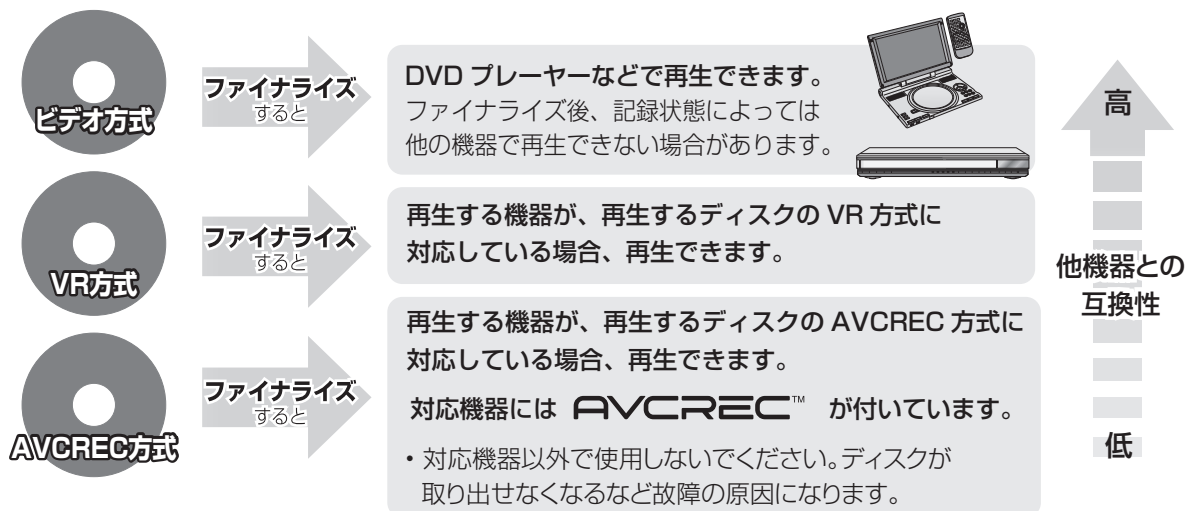
再生する機器が、再生するディスクの AVCREC 方式に対応している場合、再生できます。

対応機器には AVCREC™ が付いています。

- 対応機器以外で使用しないでください。ディスクが取り出せなくなるなど故障の原因になります。

高

他機器との互換性

低

BD-RE RAM ファイナライズは不要です。

120 ページ手順 1 ～ 4 のあとに操作します。

トップメニュー

-R(V) -RW(V)

ファイナライズ後のディスクの再生時に表示されるトップメニューの背景を設定できます。

❺ お好みの背景を選び、決定 を押す

- トップメニュー内に表示される画像（サムネイル）は変更できます。**(➜66「サムネイル変更」)**

ファーストプレイ選択

-R(V) -RW(V)

ファイナライズ後のディスクの再生の始めかたを設定できます。

❺「トップメニュー」または「タイトル 1 」を選び、決定 を押す

トップメニュー：番組再生前に、メニュー画面を表示する
タイトル 1：先頭の番組から再生する

他の DVD 機器再生（ファイナライズ）
他の BD 機器再生（ファイナライズ）

-R -RW BD-R

❺「はい」を選び、決定 を押す

❻「実行」を選び、決定 を押す

お願い

ファイナライズ実行中は、終了メッセージが表示されるまで、絶対に電源コードを抜かないでください。ディスクが使えなくなることがあります。

お知らせ

- 本機以外の機器で記録したディスクはファイナライズできないことがあります。
- ファイナライズすると再生専用となり、記録や編集はできなくなります。
- -RW(V) フォーマット（**➜118**）すると、記録や編集ができます。ただし記録していた番組などはすべて消去されます。
- -RW(VR)「ファイナライズ解除」（**➜下記**）を行うと、記録や編集ができます。

ファイナライズ解除

-RW(VR)

ファイナライズを解除し、記録や編集を行えるようにします。

❺「はい」を選び、決定 を押す

❻「実行」を選び、決定 を押す

お知らせ

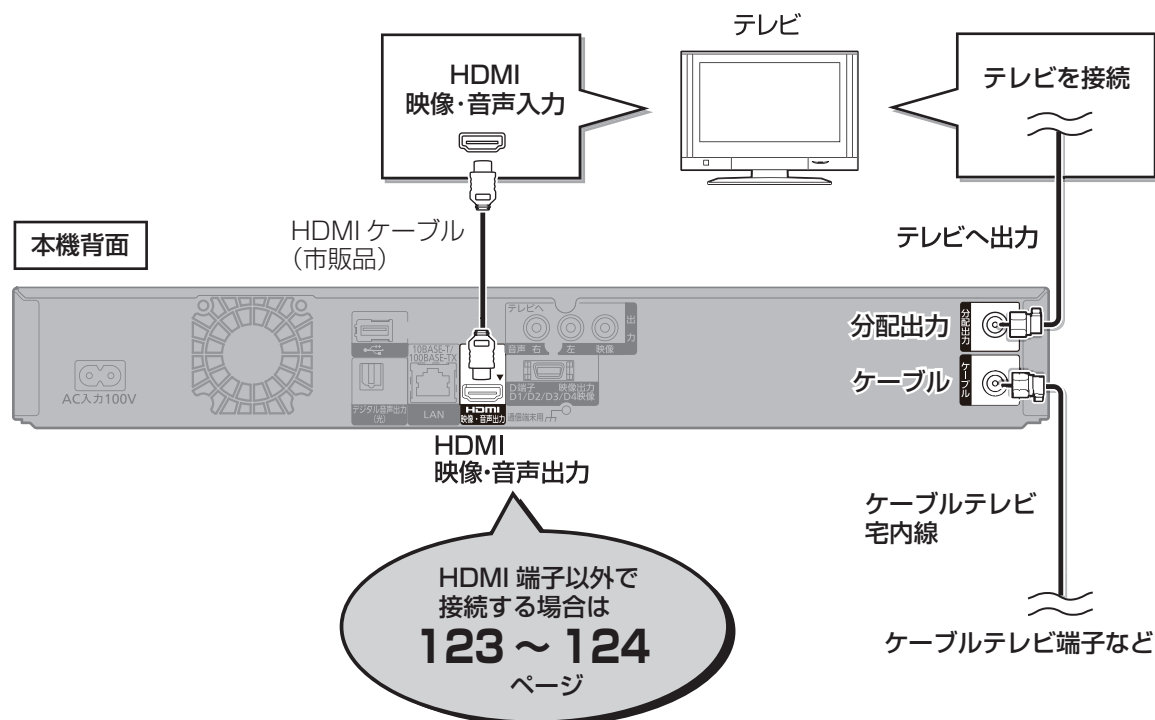
- 本機以外の機器でファイナライズしたディスクは、解除できない場合があります。

接続1 テレビやケーブル宅内線と接続する

●すべての接続が終わったあとは、必ず電源コードをつないでおいてください。

3D 映像を楽しむには…

3D 対応テレビとの接続は
HDMI 端子を使用してください

HDMI 端子以外で
接続する場合は
123 ～ 124
ページ

上記の接続では、テレビと本機の接続は、HDMI ケーブル(市販品)を使用した接続を紹介しています。
HDMI ケーブルで接続すると、高画質·高音質の映像と音声で楽しむことができます。
さらに、ビエラリンク(HDMI)(➜114)に対応した当社製テレビ(ビエラ)と接続すると、連動操作が可能になります。

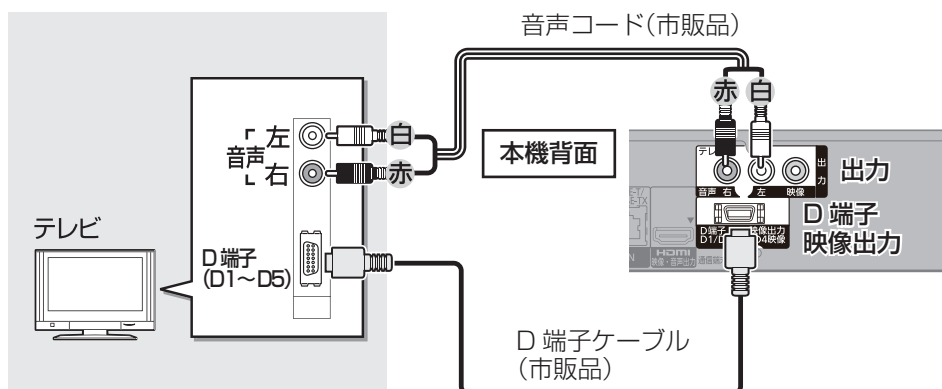
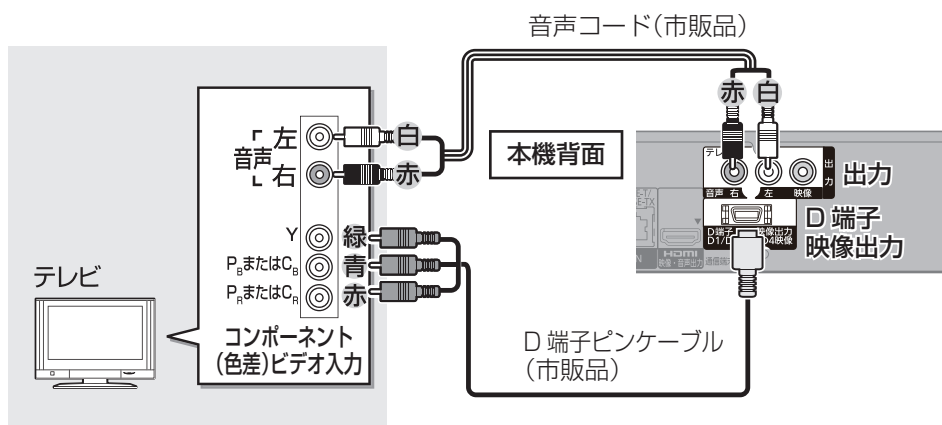
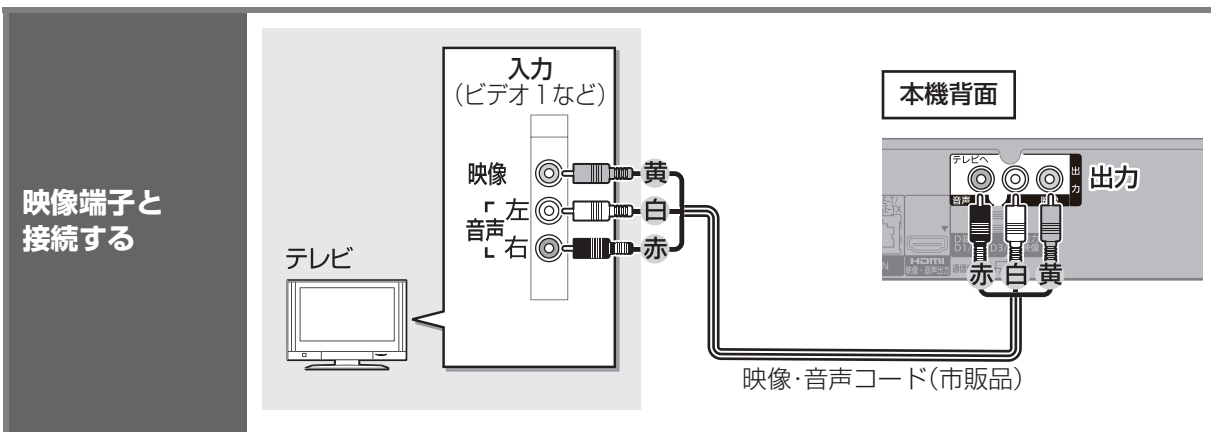
お知らせ

- **本機では地上アナログ放送の受信はできません。**
- ケーブル端子、分配出力端子にF型接栓を接続するときは、緩まない程度に手で締めつけてください。締めつけすぎると、本機内部が破損する恐れがあります。
- ケーブル端子には、ケーブル宅内線以外のケーブルを接続しないでください。
- 分配出力端子には、BS アンテナなどへ電源供給を行っているケーブルを接続しないでください。
- HDMIケーブルは、HDMIロゴ (➜表紙)のある「High Speed HDMI™ ケーブル」をお買い求めください。HDMI規格に準拠していないケーブルでは動作しません。

  当社製 HDMI ケーブル

  品番 : RP-CDHS10(1.0 m)、RP-CDHS15(1.5 m)、
  RP-CDHS20(2.0 m)、RP-CDHS30(3.0 m) など
- HDMIケーブルが端子から外れないようにしっかり接続してください。

HDMI 端子以外でテレビと接続する

以下の端子を持つテレビに対応しています。

D 端子と接続する	音声コード(市販品) テレビ 音声 左 白 / 右 赤 D端子 (D1～D5) 本機背面 出力 D 端子 映像出力 D 端子ケーブル(市販品) AACS(ブルーレイディスクの著作権保護技術)の運用ルールの制限により、本機を含む 2011 年 1 月以降に生産開始した機種では、D 端子からハイビジョン映像で出力されない場合があります。**(➜201)**
コンポーネント(色差)端子と接続する	入力端子の表示が図と異なるとき(Y/B-Y/R-Y など)は、同じ色の端子どうしを接続してください。 音声コード(市販品) テレビ 音声 左 白 / 右 赤 Y 緑 P_BまたはC_B 青 P_RまたはC_R 赤 コンポーネント(色差)ビデオ入力 本機背面 出力 D 端子 映像出力 D 端子ピンケーブル(市販品)

お知らせ

- コピーガードがかかっている番組は録画機器を経由してテレビで視聴したり、一部のビデオ内蔵型テレビで視聴すると正常に受信できない場合があります。コピーガードがかかっている番組を視聴する場合は、録画機器を経由しないで直接、本機とテレビを接続してください。

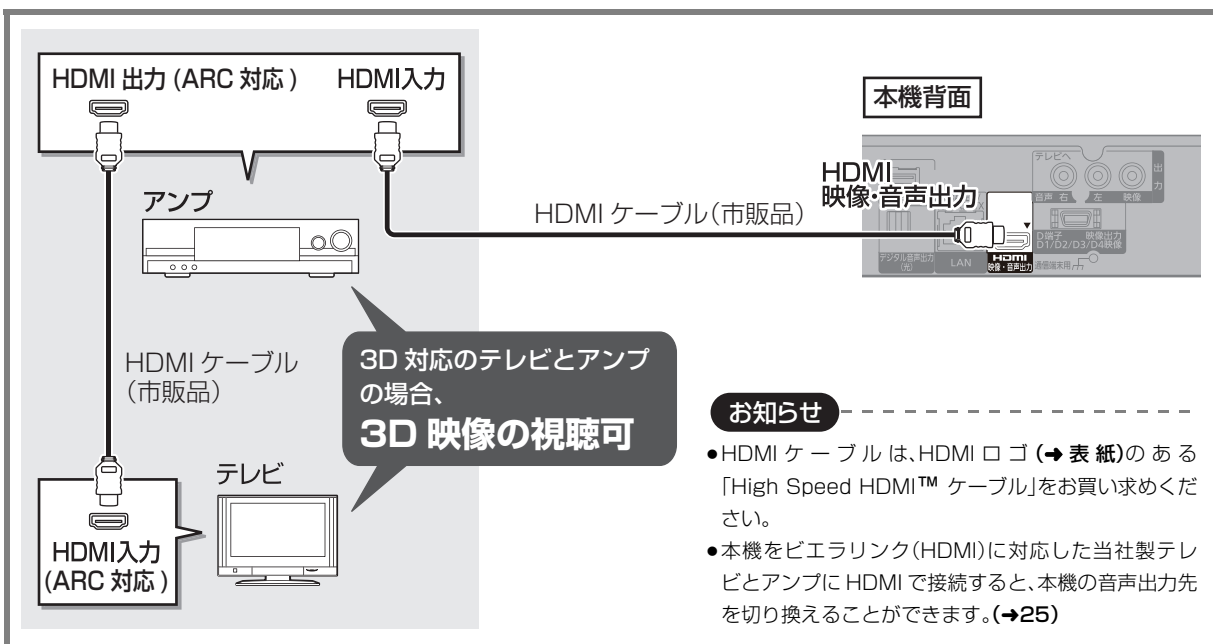
アンプと接続する

アンプと接続して、ホームシアターなどを楽しむことができます。

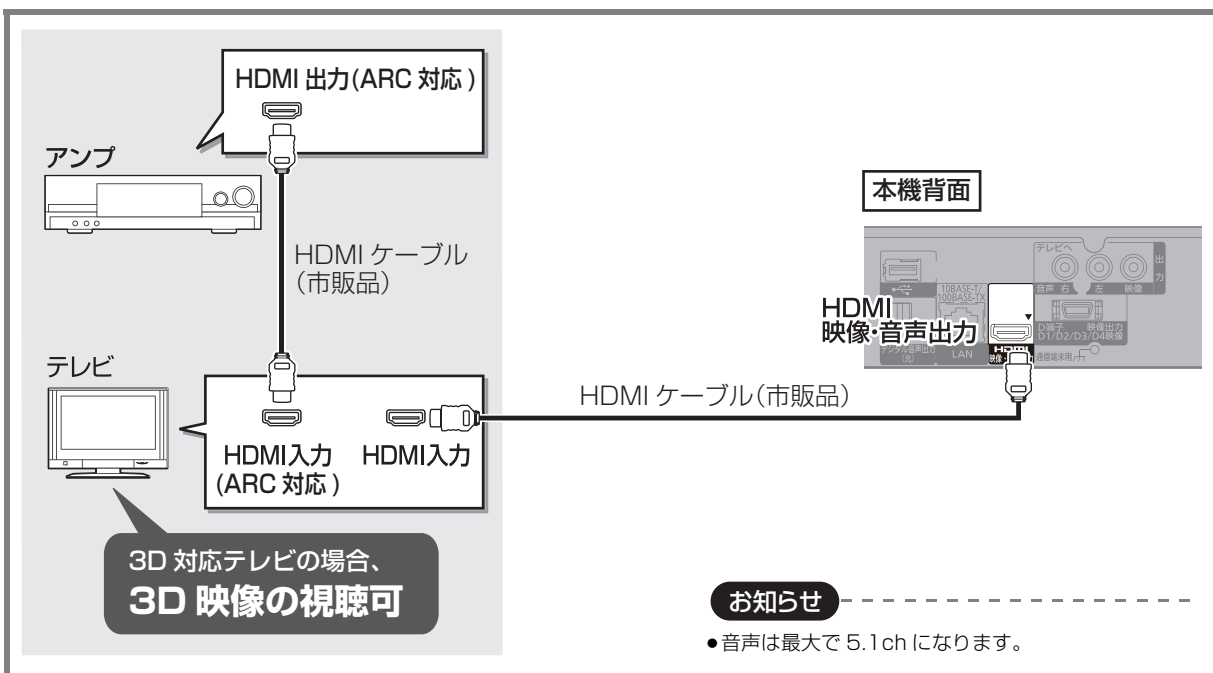
デジタル出力される音声と接続・設定の関係(➜161)

HDMI 端子で接続する

お知らせ

- HDMI ケーブルは、HDMI ロゴ(➜表紙)のある「High Speed HDMI™ ケーブル」をお買い求めください。
- 本機をビエラリンク(HDMI)に対応した当社製テレビとアンプに HDMI で接続すると、本機の音声出力先を切り換えることができます。(➜25)

3D 非対応のアンプと接続して 3D 映像を視聴するには

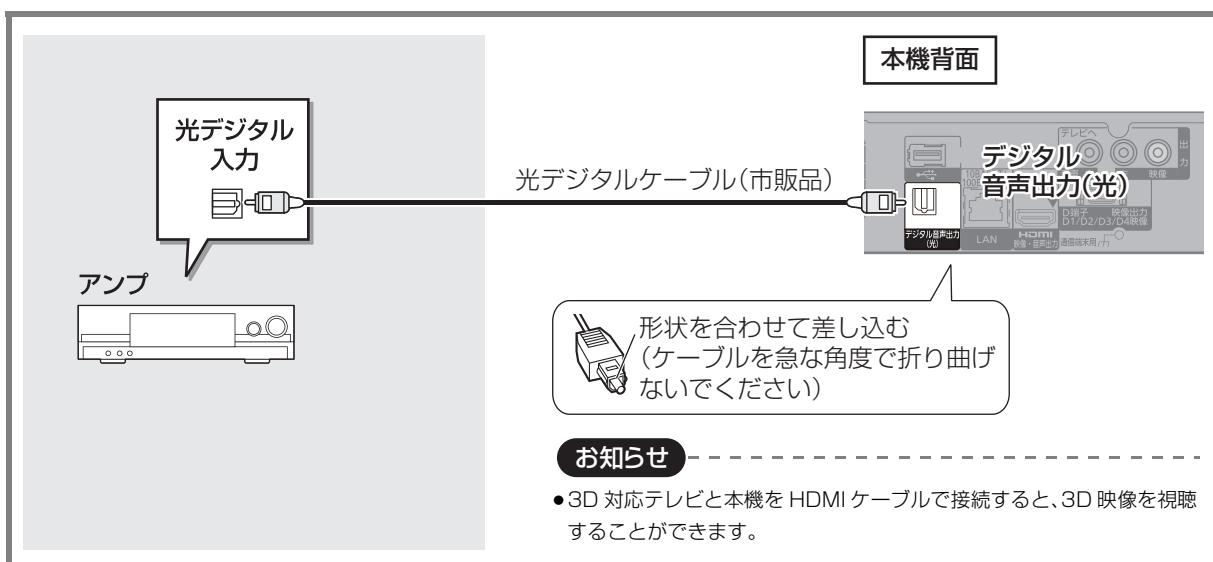
お知らせ

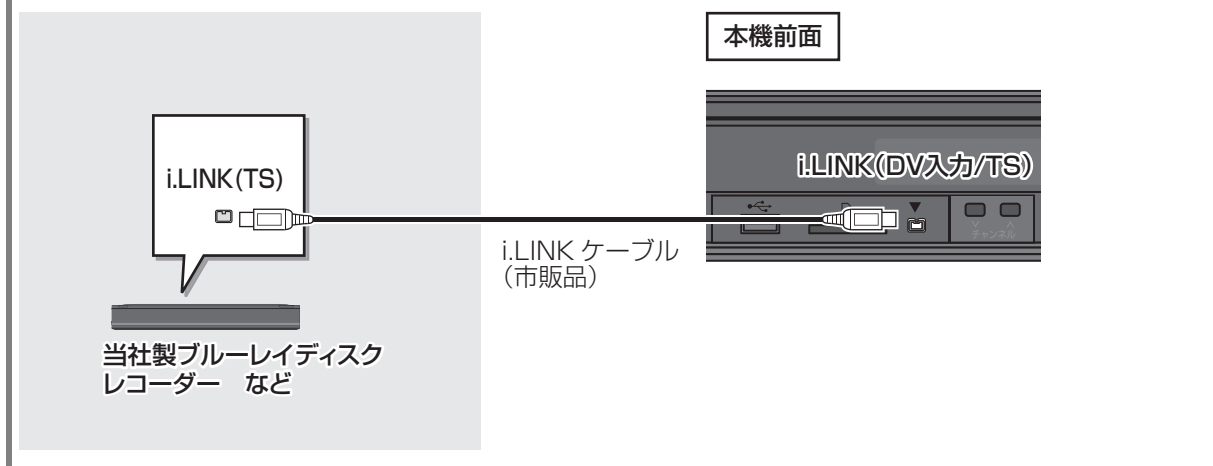
- 音声は最大で 5.1ch になります。

お知らせ

- HDMI 端子に「ARC 対応」の表示がない ARC 非対応のテレビまたはアンプを使用する場合は、テレビの音声をアンプで楽しむために、さらにアンプとテレビを光デジタルケーブルで接続する必要があります。

デジタル音声端子で接続する

お知らせ

- 3D 対応テレビと本機を HDMI ケーブルで接続すると、3D 映像を視聴することができます。

接続3 i.LINK 対応機器と接続する

当社製ブルーレイディスクレコーダーや DV 機器などと接続してダビングすることができます。
- S400 対応の i.LINK ケーブルをお使いください。

接続4 ネットワーク接続をする

本機をネットワークに接続すると、以下のサービスや機能を利用することができます。
接続後は、ネットワーク設定(➔142)と連携する機器の設定(➔144 ～ 146)を行ってください。

<table>
<tr><th></th><th>1ヵ月の番組表を受信する(➔33)</th><th>BD-Live、e-move対応のディスクを楽しむ(➔60)</th><th>インターネットの情報を利用する(➔104)</th><th>外出先から操作する(➔145)(ブロードバンドレシーバー機能)</th><th>お部屋ジャンプリンク(DLNA)機能(➔108)</th><th>ネットワークを使ってダビングする(➔84)</th><th>ドアホンやセンサーカメラの映像を録画する(➔102)</th><th>自宅のパソコンから録画などの操作をする(➔145)(ブロードバンドレシーバー機能)</th></tr>
<tr><td>TZ-BDT910M</td><td colspan="4" rowspan="2">ケーブルテレビ宅内線の接続が必要(Ⓑ)
(本体表示窓にモデム接続ランプが点灯)</td><td colspan="4" rowspan="3">LAN ケーブルまたは
無線 LAN アダプターを使っての
宅内 LAN 環境の接続が必要(Ⓒ Ⓓ)</td></tr>
<tr><td>TZ-BDT910F</td></tr>
<tr><td>TZ-BDT910P</td><td colspan="4">LAN ケーブルまたは無線 LAN アダプターを使ってのブロードバンド環境の接続が必要(Ⓐ Ⓒ)</td></tr>
</table>

ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容によりご利用いただけない場合があります。

本機のネットワーク接続方法は、ご加入のケーブルテレビ局により異なりますので設置、設定、変更などは必ずご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。ご加入のケーブルテレビ局以外のプロバイダー経由でインターネット接続されている場合は、ご加入のケーブルテレビ局ではなくご加入のプロバイダーにご相談ください。

お知らせ

- ハブやルーターを経由せず、本機と各機器を LAN ケーブルで直接接続することもできます。(LANケーブルはストレートとクロスのどちらを使用しても問題ありません)
- カテゴリー5(CAT5)以上の LAN ケーブルのご使用をおすすめします。
- 接続機器は、本機と同じハブまたはブロードバンドルーター(アクセスポイント)に接続してください。

LANケーブルを使って接続する

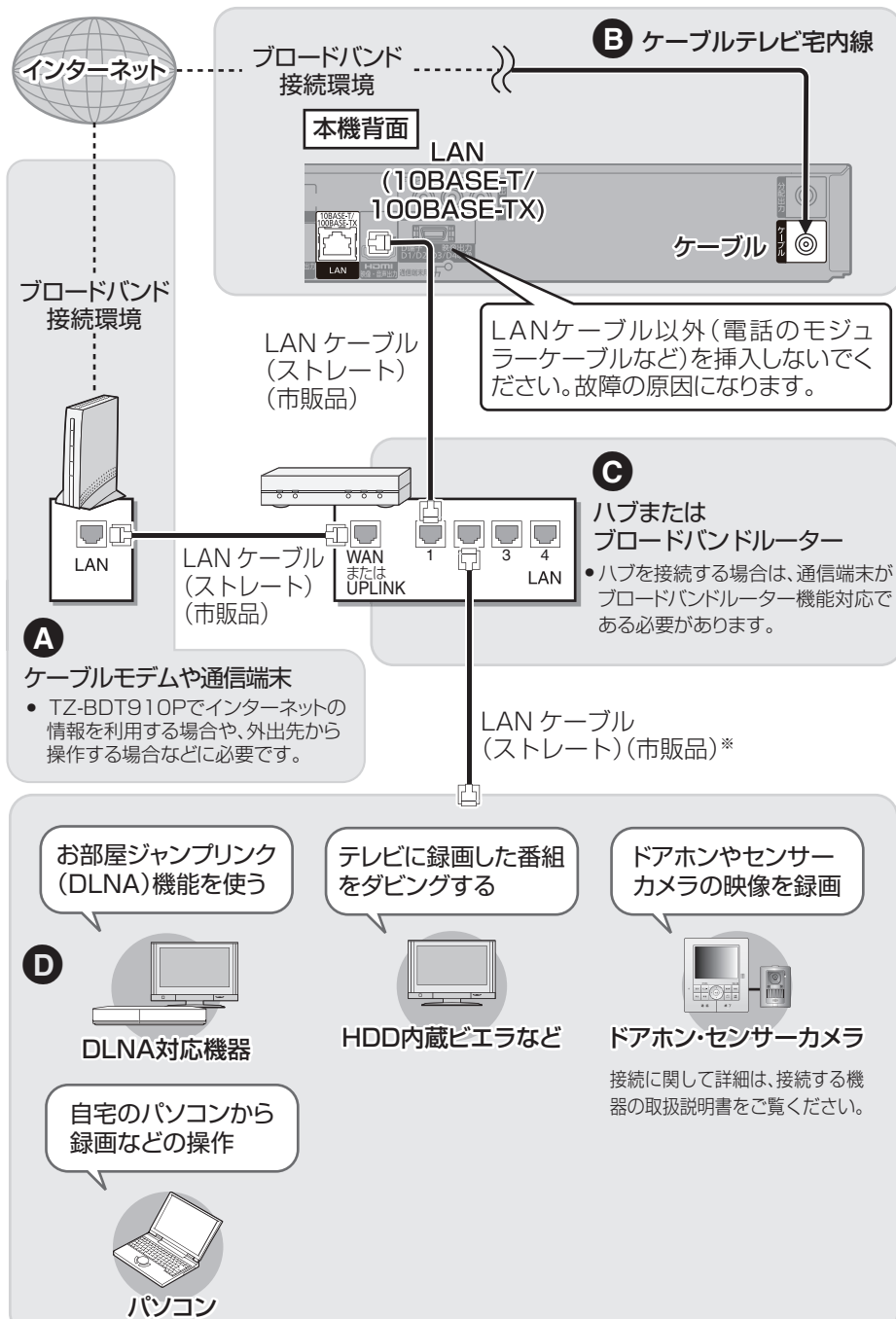
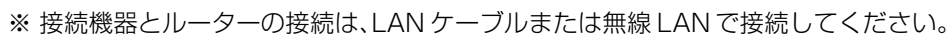
有線

※ 接続機器とルーターの接続は、LAN ケーブルまたは無線 LAN で接続してください。

無線 LAN アダプター DY-WL10（市販品）を使って接続する

無線

※ 接続機器とルーターの接続は、LAN ケーブルまたは無線 LAN で接続してください。

お知らせ

- 当社製無線LANアダプター DY-WL10（市販品）以外は使用できません。DY-WL10（市販品）の取扱説明書もよくお読みください。
- スペースの都合などにより、本機背面または前面に無線LANアダプター DY-WL10（市販品）を接続するのが困難な場合は、無線 LAN アダプターに付属の延長用 USB ケーブルを使って接続してください。
- 無線LANアダプター（市販品）を使ってLAN接続する場合は、LANケーブル（有線）では使用できません。
- 802.11n（2.4 GHz / 5 GHz 同時使用可）の無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）をお選びください。5 GHz でのご使用をおすすめします。2.4 GHz で電子レンジやコードレス電話機などを同時にご使用の場合、通信がとぎれたりします。また、暗号化方式は「AES」にしてください。

接続4 ネットワーク接続をする(つづき)

ブロードバンドレシーバー機能は TZ-BDT910P のみ対応しています。(2011 年2月現在)

ネットワーク機能を快適に利用するために

個人情報の取り扱いについて

本機の機能およびサービスを提供するため、機器 ID･機器パスワードおよび利用履歴情報は当社の適切なセキュリティー環境のもと、安全に保管･管理します。利用履歴などの情報については、個人が特定できない状態で集計し、製品やサービスの向上などに利用させていただく場合があります。あらかじめご了承ください。

不正利用を防ぐために

- 機器パスワードは
  - ･他人に見られたり、教えたりしないでください。
  - ･第三者が本機の設置･設定を行った場合は、必ず変更してください。
  - ･修理依頼する場合は機器パスワードを初期化し(➜159)、再設定してください。
  - ･機器を返却する場合は、機器パスワードを初期化してください。
- 当社およびご加入のケーブルテレビ局では、ネットワークのセキュリティーに関する技術情報についてはお答えできません。
- 携帯電話を紛失した場合は、第三者による不正な使用を避けるため、直ちに加入されていた通信事業者、対応サービス提供者へ連絡してください。
- 利用権限のない無線ネットワークには接続しないでください。無線ネットワーク環境の自動検索時に利用権限のない無線ネットワーク(SSID※)が表示されることがありますが、接続すると不正アクセスと見なされるおそれがあります。
  ※ 無線 LAN で特定のネットワークを識別するための名前のことです。このSSIDが双方の機器で一致した場合、通信可能になります。

対応サービスについて

サービスは対応サービス提供者が提供します。

- 本機の接続に必要なインターネット接続機器(ADSLモデム、ルーターやハブなど)や、電話通信事業者およびプロバイダーとの契約･設置･接続･設定作業･通信などの費用は、すべてお客様のご負担となります。
- 一部のサービスは有料です。また、現在無料のサービスでも、将来有料になることがあります。
- ブロードバンドレシーバー機能のご利用には、対応サービスに加入していただく必要があります。
- 定期的なメンテナンスや、不測のトラブルで一時的にサービスを停止したり、予告ありなしにかかわらず、サービス内容の変更･中止や操作メニュー画面の変更をする場合があります。あらかじめご了承ください。

免責事項について

- 機器登録時や会員登録時のパスワードが第三者に知られた場合、不正に利用される可能性があります。パスワードはお客様ご自身の責任で管理してください。当社およびご加入のケーブルテレビ局では不正利用された場合の責任は負いません。
- 当社が検証していない接続機器、ソフトウェアなどとの意図しない組み合わせによる誤動作やハングアップなどから生じた損害に関して、当社およびご加入のケーブルテレビ局では責任を負いません。
- 本機がお手元にない場所から問い合わせの際、本機自体の接続や現象などの目視確認が必要な内容については、お答えできません。
- ルーターのセキュリティー設定をする場合は、お客様ご自身の判断で行ってください。ルーターのセキュリティー設定により発生した障害に関して、当社およびご加入のケーブルテレビ局では責任を負いません。また、ルーターの設定･使用方法などに関する問い合わせには、当社およびご加入のケーブルテレビ局ではお答えできません。

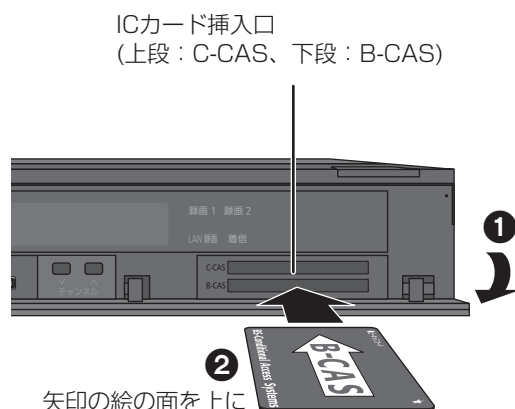
接続5 IC カードを挿入する

デジタル放送の受信には、本機への IC カードの常時挿入が必要です。
本機に挿入されていない場合、デジタル放送の視聴・録画はできません。

●ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容により、B-CAS カードのみの場合があります。
●IC カードに記載されている番号は、有料番組の契約内容などを管理するための大切な番号です。問い合わせの際にも必要です。便利メモ(➜ **裏表紙**)に記入しておいてください。

IC カードの抜き差しについては、ご加入のケーブルテレビ局にご相談いただき指示に従って操作してください。

電源コードがコンセントに差し込まれていないことを確認してください。

前面のとびらを開け、IC カードを奥まで差し込む

●ご使用中は抜き差ししないでください。
視聴できなくなる場合があります。

ICカードのテストをするには(➜136)

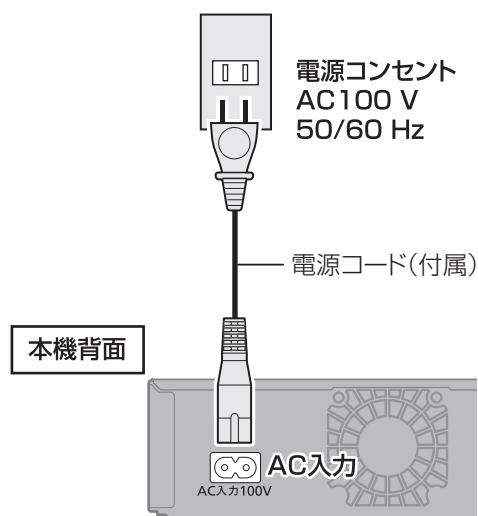
ICカードを抜くときは
① 電源コードをコンセントから抜く
② ゆっくりと IC カードを抜く
●IC カードには、IC(集積回路)が組み込まれているため、画面にメッセージが表示されたとき以外は抜き差ししないでください。
●ICカードを抜き差ししたときは、3秒以上経ってから、IC カードテストを行ってください。

お知らせ
●本機専用のICカード以外は絶対に挿入しないでください。故障や破損の原因となります。
●裏向きや逆方向から挿入しないでください。挿入方向を間違うとIC カードは機能しません。

接続6 電源コードを接続する

すべての接続が終わったあと、接続してください。

**電源コードは、本機専用ですので、
他の機器には使用しないでください。
また、他の機器の電源コードを本機に
使用しないでください。**

電源を切っていても、デジタル放送からの情報受信や視聴記録の送信を自動的に行っていますので、ICカードの抜き差し時や異常時以外は抜かないでください。

電源を切った状態でも、電力を消費しています。
(電源「切」時の消費電力 ➜197)

設置設定をする

基本操作 選び 決定 ➡ 決定する 決定

チャンネル設定をする

1 **を押す**

2 「その他の機能へ」を選び、決定 を押す

3 「放送設定」を選び、決定 を押す

4 「設置設定」を選び、決定 を押す

5 「チャンネル設定」を選び、決定 を押す

6 修正したい放送を選び、決定 を押す
(BS、CS1、CS2、CATVの場合➜134ページへ)

7 (地上デジタルのみ)
修正する方法を選び、決定 を押す
(➜ 右記または 134 ページへ)

地上デジタル 初期スキャン

受信できる局を自動で探します。

左記手順 1 〜 7 のあと

8 TZ-BDT910F TZ-BDT910P
青 を押し、方式切換の画面が表示されたら、「パススルー」または「トランスモジュレーション」を選び、決定 を押す
- TZ-BDT910M をお使いの場合は選択画面は表示されません。手順 9 へお進みください。

9 お住まいの地域を選び、決定 を押す

10 設定が終了したら、戻る を押す

地上デジタル 再スキャン

受信状況が変わったときに受信できる局を追加します。

左記手順 1 〜 7 のあと

8 設定が終了したら、戻る を押す

地上デジタル マニュアル

チャンネル割り当てを修正したいときなどに行います。

地上デジタルチャンネル設定

Po	CH	チャンネル名	種類
1	011	NHK総合・東京	テレビ
2	021	NHK教育・東京	テレビ
3	----	----	
4	041	日本テレビ	テレビ
5	051	テレビ朝日	テレビ

Po ：「1」～「12」はリモコンの数字ボタンの番号です。(変更できません)
- ●「13」以降を表示するには、「13」が表示されるまで、[▼] を押してください。
- ●「1」～「36」は「設定チャンネル」(**➜34「表示対象」、150「選局対象」**)を選んだときに選局されるチャンネルです。

CH ：テレビの画面や本体表示窓に表示される番号です。「ーーーー」の場合、チャンネル設定されていません。

133 ページ手順 1 ～ 7 のあと

8 修正したい行(Po)を選び、決定 を押す

9 表示チャンネル(CH)を修正し、 を押す

10 修正が終わったら、 を押す

チャンネルの順番を入れ換えるには

① [**緑**] を押す
② 入れ換えをしたい行(Po)を選び、[**決定**] を押す
③ 入れ換え先の行(Po)を選び、[**決定**] を押す
④ 入れ換えが終わったら [**戻る**] を押す

BS、CS1、CS2、CATV

放送のチャンネル割り当てを修正したいときなどに行います。

BS チャンネル設定

Po	CH	チャンネル	種類
1	101	NHK BS1	テレビ
2	102	NHK BS2	テレビ
3	103	NHK h	テレビ
4	141	BS 日テレ	テレビ
5	151	BS 朝日 1	テレビ

Po ：「1」～「12」はリモコンの数字ボタンの番号です。(変更できません)
- ●「13」以降を表示するには、「13」が表示されるまで、[▼] を押してください。
- ●「1」～「36」は「設定チャンネル」(**➜34「表示対象」、150「選局対象」**)を選んだときに選局されるチャンネルです。

CH ：テレビの画面や本体表示窓に表示される番号です。「ーーー」の場合、チャンネル設定されていません。

133 ページ手順 1 ～ 6 のあと

7 修正したい行(Po)を選び、決定 を押す

8 表示チャンネル(CH)を修正し、戻る を押す

9 修正が終わったら、戻る を押す

チャンネルの順番を入れ換えるには

① [**緑**] を押す
② 入れ換えをしたい行(Po)を選び、[**決定**] を押す
③ 入れ換え先の行(Po)を選び、[**決定**] を押す
④ 入れ換えが終わったら [**戻る**] を押す

視聴チャンネルを表示させる

番組表の表示やチャンネル選局、お好み選局の表示を視聴しているチャンネルのみ表示させせます。

1 **を押す**

2 「その他の機能へ」を選び、決定 を押す

3 「放送設定」を選び、決定 を押す

4 「設置設定」を選び、決定 を押す

5 「チャンネル設定」を選び、決定 を押す

6 「チャンネル制限」を選び、決定 を押す

7 「制限する」を選び、決定 を押す

8 「はい」または「いいえ」を選び、決定 を押す

9 設定が終了したら、戻る を押す

☞チャンネル制限設定を元に戻すには
手順 7 で「制限しない」を選ぶ

地域設定を修正する

データ放送が正しく受信できていない場合に地域の修正を行います。

1 **を押す**

2 「その他の機能へ」を選び、決定 を押す

3 「放送設定」を選び、決定 を押す

4 「設置設定」を選び、決定 を押す

5 「地域設定」を選び、決定 を押す

6 「県域設定」を選び、お住まいの都道府県を選ぶ

- 「地域設定削除」を選ぶと、工場出荷時の状態に戻ります。
- 伊豆、小笠原諸島地域は ➜「東京都島部」
- 南西諸島鹿児島県地域は ➜「鹿児島県島部」

7 「郵便番号」を選び、決定 を押す

8 1 〜 10 でお住まいの地域の郵便番号を入力し、決定 を押す

9 「はい」を選び、決定 を押す

B-CAS/C-CAS カードのテストをする

カードを挿入して3秒以上経ってから行ってください。

●ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容により、B-CAS カードのみの場合があります。

1

を押す

2 「その他の機能へ」を選び、決定 を押す

3 「放送設定」を選び、決定 を押す

4 「設置設定」を選び、決定 を押す

5 「B-CAS カードテスト」または「C-CAS カードテスト」を選び、決定 を押す

●NG の場合、カードの挿入を確認してください。(➜131)

接続した端子に合わせて設定する

基本操作 選び→決定する

1 操作一覧 **を押す**

2 「その他の機能へ」を選び、決定 を押す

3 「初期設定」を選び、決定 を押す
(➜ 下記または 138 ページへ)

HDMI 映像優先モード

テレビと D 端子で接続し、HDMI 端子でアンプなどに接続しているときのみ、「切」にしてください。

上記手順 1 ～ 3 のあと

4 「テレビ / 機器 / ビエラリンクの接続」を選び、決定 を押す

5 「HDMI 接続」を選び、決定 を押す

6 「HDMI 映像優先モード」を選び、決定 を押す

7 「入」または「切」を選び、決定 を押す

HDMI 音声出力

テレビとHDMI端子で接続し、デジタル音声端子でアンプなどに接続しているときのみ、「切」にしてください。

上記手順 1 ～ 3 のあと

4 「テレビ / 機器 / ビエラリンクの接続」を選び、決定 を押す

5 「HDMI 接続」を選び、決定 を押す

6 「HDMI 音声出力」を選び、決定 を押す

7 「入」または「切」を選び、決定 を押す

D 端子出力解像度

テレビとD端子またはコンポーネント端子で接続しているときに設定してください。

左記手順 1 ～ 3 のあと

4 「テレビ / 機器 / ビエラリンクの接続」を選び、決定 を押す

5 「D 端子出力解像度」を選び、決定 を押す

6 テレビの端子に合わせて項目を選び、決定 を押す
●テレビの端子に記載されている数字に合わせてください。

7 「はい」を選び、決定 を押す

8 「はい」を選び、決定 を押す

●「HDMI 映像優先モード」を「入」にして HDMI 端子からも映像を出力している場合は、設定にかかわらず 480i で出力します。
●「D3」、「D4」に設定したときの DVD ビデオの映像または DV 入力からの映像について
・はじめの数秒間黒い画面が表示されたり、画面が乱れたりしますが、故障ではありません。
・480p で出力します。
(HDMI端子と接続していないとき、または、「HDMI 映像優先モード」が「切」に設定されているとき)
●ハイビジョン映像で出力されない場合
(➜179)

コンポーネント(色差)端子と接続時の推奨設定

テレビのコンポーネント(色差)端子が対応している信号方式	推奨設定
480i	D1
480i 、480p	D2
480i 、480p 、1080i	D3
480i 、480p 、1080i 、720p 、1080p	D4

接続した端子に合わせて設定する(つづき)

D 端子映像出力

D 端子からの映像の出力方法を設定します。

137 ページ手順 1 ～ 3 のあと

4 「テレビ / 機器 / ビエラリンクの接続」を選び、決定 を押す

5 「D 端子映像出力」を選び、決定 を押す

6 「入」または「オート」を選び、決定 を押す

入　　：「オート」に設定していて D 端子接続時に映像が出力されない場合、「入」にしてください。

オート：D 端子に接続しているときのみ映像を出力するので、消費電力の節電になります。

手順 6 で「オート」を選んだ場合

7 「はい」を選び、決定 を押す

8 「はい」を選び、決定 を押す

テレビ画面の横縦比を変更する

基本操作　選び→決定する

1 操作一覧 **を押す**

2 「その他の機能へ」を選び、決定 を押す

3 「初期設定」を選び、決定 を押す

4 「テレビ / 機器 / ビエラリンクの接続」を選び、決定 を押す

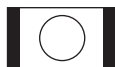
5 「TV アスペクト」を選び、決定 を押す

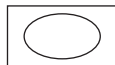
6 テレビタイプに合わせて項目を選び、
決定 を押す

4:3　　:4:3 標準テレビに接続しているとき

4:3 の映像は、そのまま表示

16:9　　:ワイドテレビに接続しているとき

4:3 の映像は、左右に黒帯を付加して表示

16:9 フル:ワイドテレビに接続していて、左右の黒帯をなくして表示したいとき

4:3 の映像は、画面いっぱいに拡大して表示

リモコン設定をする

本機のリモコンでテレビを操作する

本機のリモコンでお手持ちのテレビの基本的な操作をすることができます。(電源の入切、テレビ/ビデオの切り換え、チャンネル選局、音量調整)

テレビ操作部

テレビ電源 を押しながら、2 桁の番号(➜ 下記)を

1 ～ 10 を押して入力する

例)01 の場合…[10] → [1]　10 の場合…[1] → [10]
　11 の場合…[1] → [1]　12 の場合…[1] → [2]

●リモコンのテレビ操作部のボタンを使って、テレビ操作ができるか確認してください。
●工場出荷時はパナソニック(新 1)に設定されています。
●同一メーカーで設定が 2 種類以上ある場合は、動作するほうに設定してください。

メーカー名	番号	メーカー名	番号
パナソニック（新1）	11	三菱（1）	51
パナソニック（新2）	12	三菱（2）	52
パナソニック（旧）	13	三菱（3）	53
パナソニック（新3）	14	三菱（4）	54
パナソニック（新4）	15	富士通ゼネラル(1)	55
ビクター	21	富士通ゼネラル(2)	56
東芝	25	三洋（1）	61
日立（1）	31	三洋（2）	62
日立（2）	32	三洋（3）	63
日立（3）	33	三洋（4）	64
日立（4）	34	NEC（1）	65
SONY（1）	35	NEC（2）	66
SONY（2）	36	AIWA	71
パイオニア	41	FUNAI	72
シャープ（1）	45		
シャープ（2）	46		
シャープ（3）	47		

お知らせ

●接続したテレビにリモコン機能がない場合は、本機のリモコンでも動作しません。
●電池の交換などで設定が「パナソニック(新 1)」に戻った場合は、再設定してください。
●一部動作しない機種もあります。動作しない場合は、テレビに付属のリモコンをご使用ください。
●当社製テレビの場合、「パナソニック(新 3)」または「パナソニック(新 4)」に設定すると、**[入力切換]** を押すことで入力の切り換えおよびテレビの放送に切り換えができます。切り換えることができない場合やテレビの放送に切り換えたくない場合は、「パナソニック(新 1)」、「パナソニック(新 2)」、「パナソニック(旧)」のいずれかに設定してください。

リモコンを使うと他機器が同時に動作するのを防ぐ

リモコンモード

本機の近くに当社製機器があるとき、リモコンで再生などの操作をすると、本機以外の機器にも影響してしまうことがあります。このときは、リモコンモードを変えてください。

1 **を押す**

2 「その他の機能へ」を選び、決定 を押す

3 「初期設定」を選び、決定 を押す

4 「設置」を選び、決定 を押す

本機側のモードを設定する

5 「リモコンモード」を選び、決定 を押す

6 「リモコン 2」または「リモコン 3」を選び、決定 を押す

リモコン側のモードを設定する

リモコンのモードの設定をします。

7 決定 を押しながら、1 のあとに続けて 2 または 3 を押す

リモコンモードの設定
本体側のリモコンモード：リモコン○
次に、リモコン側の設定を行います。
1. 決定ボタンを押しながら "1"、"○"を押してください。リモコン側の設定が完了します。
2. 続いて、リモコンを本体に向け、画面表示が切り換わるまで決定ボタンを押し続けてください。（約3秒）

ここに表示されている数字のボタンを押してください。

8 リモコンを本体に向けて、決定 を3秒以上押す

9 決定 を押す

本体表示窓に"U30"と表示されたとき

本体とリモコンのリモコンモードが合っていないため、操作できません。[決定] を押しながら、[1] のあとに続けて、表示されたリモコンモード番号の数字ボタンを押してください。

リモコンモード番号

お知らせ

- 電池の交換などで設定が「リモコン１」に戻った場合は、再設定してください。(➜180)

ネットワークの設定をする

LAN ケーブルまたは当社製無線 LAN アダプターDY-WL10(市販品)を使ってネットワーク接続するための設定です。

●不明な場合、設置された方に確認するか、ルーターなどの説明書をご覧ください。

1 [操作一覧] **を押す**

2 **「その他の機能へ」を選び、[決定] を押す**

3 **「初期設定」を選び、[決定] を押す**

4 **「LAN 通信設定」を選び、[決定] を押す**

5 **「LAN 接続形態」を選び、[決定] を押す**

6 **「有線」または「無線」を選び、[決定] を押す**
(➜ 右記または 143 ページへ)

有線で接続する場合

LAN ケーブルで接続する場合、「接続テスト」を行って、ネットワークの接続･設定が正常か確認してください。

左記手順 1 ～ 6 のあと

7 **「IPアドレス/DNS設定」を選び、[決定] を押す**

8 **「接続テスト」を選び、[決定] を押す**

●「NG」が表示された場合、ネットワークの接続(➜128)と「IP アドレス /DNS 設定」(➜159)を確認してください。

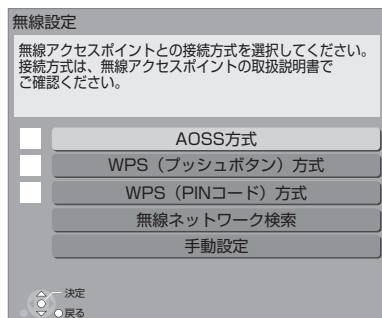
無線で接続する場合

無線で接続するには、当社製無線 LAN アダプターDY-WL10(市販品)が必要です。

142 ページ手順 1 ～ 6 のあと

7 「無線設定」を選び、決定 を押す

8 「接続設定」を選び、決定 を押す

9 「AOSS 方式」を選び、決定 を押す

無線ブロードバンドルーター(アクセスポイント)がAOSS™に対応している場合は、「AOSS方式」を選ぶと、簡単に設定することができます。
AOSS に対応していない場合、WPS 対応機器では「WPS(プッシュボタン)方式」を、それ以外では「無線ネットワーク検索」を選び、設定してください。

10 アクセスポイント(無線LAN親機)のAOSSボタンを対応ランプが点滅するまで押す

11 決定 を押す

- AOSS™、WPS とは、無線 LAN 機器との接続やセキュリティーに関する設定を簡単に行うことができる機能です。お持ちの無線ブロードバンドルーター(アクセスポイント)が対応しているかどうかは、ルーターの取扱説明書をご覧ください。

お知らせ

- ハブやルーターについてはそれぞれの取扱説明書をご覧ください。
- 本機とネットワーク設定を行うと、無線ブロードバンドルーター(アクセスポイント)の暗号化方式などが変更されることがあります。お持ちのパソコンがインターネットに接続できなくなった場合は、無線ブロードバンドルーター(アクセスポイント)の設定に従って、パソコンのネットワークの設定を行ってください。
- 2.4 GHz で電子レンジやコードレス電話機などを同時にご使用の場合、通信がとぎれたりします。5 GHz をお使いください。
- 無線設定の画面で「電波状態」のインジケーターが 4 つ以上点灯していることが、安定した受信状態の目安です。3つ以下、または通信のとぎれなどが発生する場合は、無線LANアダプターまたは無線ブロードバンドルーター(アクセスポイント)の位置や角度を変えて、通信状態が良くなるかお確かめください。それでも改善できない場合は有線で接続し、LAN通信設定を再度行ってください。
- お部屋ジャンプリンク機能(➜144)をご利用になるには、802.11n(5 GHz)をお使いの上、暗号化方式を「AES」にしてください。暗号化についてはお使いの無線ブロードバンドルーター(アクセスポイント)の取扱説明書をご覧ください。
- 暗号化せずにネットワーク接続すると、第三者に不正に侵入されて通信内容を盗み見られたり、お客様の個人情報や機密情報などのデータが漏えいするおそれがありますので、十分お気をつけください。

ネットワーク連携する機器の設定をする

DLNA 対応の機器と接続する
HDD 内蔵ビエラなどと接続する

お部屋ジャンプリンク(DLNA)設定

1 操作一覧 を押す

2 「その他の機能へ」を選び、決定 を押す

3 「初期設定」を選び、決定 を押す

4 「LAN 通信設定」を選び、決定 を押す

5 「お部屋ジャンプリンク (DLNA) 設定」を選び、決定 を押す

6 「お部屋ジャンプリンク機能」を選び、決定 を押す

7 「入」を選び、決定 を押す

- 「クイックスタート」(➔152)が「入」に固定され、待機時の消費電力が増えます。
- 無線接続で無線ブロードバンドルーター(アクセスポイント)との通信が暗号化されていない場合、「入」に設定できません。

8 「アクセス許可方法」を選び、決定 を押す

9 「手動」または「自動」を選び、決定 を押す

- 「自動」の場合、本機にアクセスのあった機器をすべてアクセス許可します。
  (「手動」から「自動」に変更する場合、メッセージが表示されます。メッセージを確認したあと、「はい」を選んで**[決定]**を押してください。)
- 「手動」の場合(**➔ 右記手順 10 へ**)

左記手順 9 で「手動」を選んだ場合

10 「機器一覧」を選び、決定 を押す

11 アクセスを許可したい機器の機器名または MAC アドレスを選び、決定 を押す

12 「アクセス許可」を選び、決定 を押す

- 最大 16 台まで登録できます。

登録している機器のアクセス許可を取り消すには(「アクセス許可方法」が「手動」の場合のみ)

① 手順 11 で、取り消したい機器の機器名または MAC アドレスを選び、**[決定]** を押す
② 「アクセス許可取消」を選び、**[決定]** を押す
- 「自動」の場合、機器ごとにアクセス許可を取り消すことはできません。手順9で「手動」を選んだあと、上記手順で機器ごとに取り消し操作を行ってください。

接続した機器側で表示される本機の名前を変更するには

① 手順5のあと「本機の名称」を選び、**[決定]**を押す
② 項目を選び、**[決定]** を押す
- 一覧から選んで変更:あらかじめ登録されている名前から選びます。
- 文字入力して変更　:文字入力画面から入力します。(**➔111**)

お部屋ジャンプリンク機能を使用しないときは

手順 7 で「切」を選ぶ
- 登録している機器からの操作はできなくなります。

お知らせ

- HDD 内蔵ビエラなどからダビングをする場合、その機器をアクセス許可の状態にしてください。
  機器側の設定は、各機器の取扱説明書をご覧になって行ってください。

携帯電話、パソコンと接続する

ブロードバンドレシーバー設定

ブロードバンドレシーバー機能をご利用になるには、対応サービスへの加入が必要です。

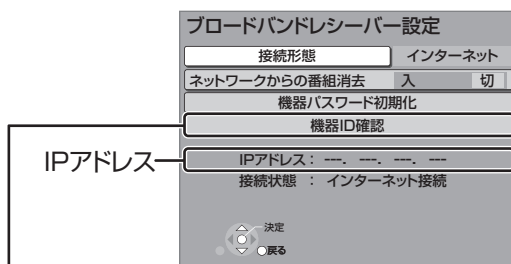
1 **を押す**

2 「その他の機能へ」を選び、 **を押す**

3 「初期設定」を選び、決定 を押す

4 「LAN 通信設定」を選び、 **を押す**

5 「ブロードバンドレシーバー設定」を選び、 **を押す**

6 「接続形態」を選び、決定 を押す

機器 ID：
ブロードバンドレシーバー機能を使ってインターネット経由で携帯電話から操作するとき、機器を特定するための番号です。

7 「インターネット」または「家庭内ネット」を選び、決定 を押す

インターネット：本機を宅外 / 宅内の機器から操作する場合
家庭内ネット：本機を宅内の機器からのみ操作する場合

8 「はい」を選び、決定 を押す

「接続されていません」が表示されているとき
ネットワークの接続(➜**127 ～ 129**)、「IPアドレス /DNS 設定」(➜**159**)を確認してください。

機器パスワードを初期化するには
① 手順 **5** のあと「機器パスワード初期化」を選び、**[決定]** を押す
② 「する」を選び、**[決定]** を押す

自宅にあるパソコンで操作する

本機と接続したパソコンから遠隔操作ができます。パソコンを使って以下の操作を行ってください。

1 インターネット閲覧(ブラウザ)ソフトを起動させ、本機の IP アドレス(➜ 左記、手順 6 で確認)をアドレス欄に入力する
●ログイン画面が表示されます。

2 機器パスワードを入力し、「確定」をクリックする
●初めてログインするときはパスワードが未設定です。ここで設定してください。以降のログイン時は、設定したパスワードを入力します。
●サービスの機器登録で設定済みの機器パスワードをお持ちの方は、それと同じパスワードを入力してください。

3 操作内容を選ぶ
●各操作は画面の指示に従ってください。

番組編集 HDD 番組の番組名入力や消去
●消去する場合は、「ネットワークからの番組消去」を「入」にしてください。

レコーダー操作 本機の録画、電源入/切など

ヘルプ 操作方法などの説明

ログアウト 操作の終了

接続・設定

ドアホン・センサーカメラと接続する

ドアホン・センサーカメラの接続設定

ドアホンやセンサーカメラの映像を、本機で録画するための設定です。

手順 5 から 9 の間で登録する機器を登録モードにしてください。機器によって登録モードにする方法は異なりますので、必ず登録する機器の取扱説明書をご覧ください。

1 **を押す**

2 「その他の機能へ」を選び、 を押す

3 「初期設定」を選び、 を押す

4 「LAN 通信設定」を選び、 を押す

5 「ドアホン・センサーカメラの接続設定」を選び、決定 を押す

6 「ドアホン・センサーカメラ接続」を選び、 を押す

7 「入」を選び、決定 を押す

- 「ドアホン・センサーカメラ接続」の設定を「入」にすると、HDD にドアホンやセンサーカメラの映像を録画するための領域が確保されます。
  一度「入」にすると、「HDD のフォーマット」(➜154)をしないかぎり、「切」にしても、HDD の領域は確保されたままです。
- メッセージを確認したら、[戻る] を押してください。

8 「〈新規登録〉」を選び、決定 を押す

9 「する」を選び、決定 を押す

- 登録が正しく完了したら“登録が完了しました。”と表示されます。
- ドアホンやセンサーカメラは最大５台まで登録できます。

「ドアホン・センサーカメラ接続」からの録画を解除するには

手順 7 で「切」を選ぶ

- 手順 5 のあと「ドアホン録画」または「センサーカメラ録画」を選び、「しない」を選ぶと、ドアホン単位またはセンサーカメラ単位で設定を解除できます。

登録機器の詳細情報を確認するには

手順５のあと「機器一覧」から情報を知りたい機器を選び、[決定] を押す

- 「機器のページ」では、登録している機器の設定画面が表示されます。
  詳しい操作方法は各機器の取扱説明書をご覧ください。

機器の登録を削除するには

① 手順 5 のあと「機器一覧」から削除したい機器を選び、[決定] を押す
② 「登録削除」を選び、[決定] を押す
③ 「する」を選び、[決定] を押す

機器の登録ができない場合は

- 本機と各機器の接続を確認し、登録したい機器を再起動してから、再度設定を行ってください。
- 本機の電源を入れた直後に操作をすると、登録できない場合があります。その場合は、約３分待って、操作を行ってください。(登録する機器が登録モードになったのを確認してから手順 9 を行ってください)

いろいろな情報を見る（メール / 情報）

1 **（操作一覧）を押す**

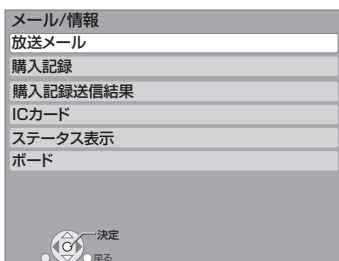
2 **「その他の機能へ」を選び、（決定）を押す**

3 **「メール / 情報」を選び、（決定）を押す**

4 **項目を選び、（決定）を押す**

例）

メール/情報
放送メール
購入記録
購入記録送信結果
ICカード
ステータス表示
ボード

決定
戻る

お知らせ

●録画中に設定することはできません。

放送メール

ご加入のケーブルテレビ局や本機からのお知らせや情報を見ることができます。

確認したいメールを選び、（決定）を押す

お知らせ

- ICカードが挿入されていないと、メールを受信できない場合があります。
- メールの内容に合わせて、ボタンが表示されることがあります。選んで決定すると、関連画面を表示します。
- インターネットメールではありません。
- ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容により表示が異なります。
- 放送メールには、ご加入のケーブルテレビ局からのお知らせ（最大31通まで保存）や、本機の機能向上のためのダウンロード情報（最新の1通のみ保存）などがあります。

購入記録

購入した有料番組を確認できます。

●表示される金額は参考金額です。価格改定などにより、請求金額とは異なる場合があります。

累計金額をリセット（0円に戻す）するには

① ［黄］を押して、リセット画面を表示させる
② 「はい」を選び、［決定］を押す

ダウンロード履歴

●TZ-BDT910P のみ

ダウンロードに失敗した番組や消去した番組を確認できます。

表示されていない番組を表示するには

① ［サブ メニュー］を押す
② 「視聴制限一時解除」を選び、［決定］を押す
③ 暗証番号（➜150）を入力する

購入記録送信結果

有料番組の購入記録、データ放送の送信記録などを確認します。

●前回の送信結果で再送信が可能であれば、その旨表示します。このときは、［決定］を押すと再送信されます。
●通常は自動送信されます。

接続・設定

いろいろな情報を見る（メール / 情報）(つづき)

IC カード

B-CASカードやC-CASカードの番号などを確認できます。

☞ その他の情報を見るには

- [**赤**]：C-CAS カード情報を表示
- [**緑**]：CATV-ID 情報を表示

ステータス表示

本機のソフトウェアに関する情報などを見るときに使用します。

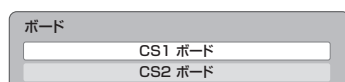
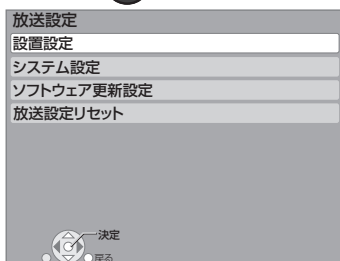
☞ その他の情報を見るには

- [**青**]：本機のソフト情報を表示
- [**赤**]：データ放送時のルート証明書情報を表示

●放送を視聴中に**[操作一覧]**を 5 秒以上押してステータスを表示することもできます。

ボード

CS デジタル放送から送られてくる、番組情報などのお知らせを確認します。
ご加入のケーブルテレビ局のサービス内容によっては、表示されない場合があります。

❶「CS1 ボード」または「CS2 ボード」を選び、
 を押す

❷ 確認したい情報を選び、決定 を押す

放送設定を変える(放送設定)

基本操作 選び 決定 ➡ 決定する 決定

1 **を押す**

2 「その他の機能へ」を選び、決定 を押す

3 「放送設定」を選び、決定 を押す

4 放送設定の項目を選び、決定 を押す

5 設定項目を選び、決定 を押す

●さらに項目がある場合は、この操作を繰り返してください。

6 設定内容を変更する

お知らせ

●操作方法が異なる場合は、画面の指示に従ってください。
●録画中に設定することはできません。

設置設定

チャンネル設定(➜133)

番組表設定

G ガイド地域設定
番組表の設定地域を確認できます。
●通常は変更しないでください。

G ガイド受信確認
番組表の受信スケジュールを確認できます。

通信による G ガイド受信
「オン」に設定すると、1 ヵ月の番組表や注目番組を取得することができます。
●番組表はインターネットを利用して取得します。そのためネットワークの接続と設定が必要です。
●「オン」にすると、常時接続状態になります。
● 1 ヵ月の番組表の取得やフリーワード検索などの検索には、時間がかかります。
●2011 年 2 月現在、ネットワークから番組情報を取得できる放送局は NHK、WOWOW のみです。

地域設定(➜135)

県域設定

郵便番号

地域設定削除

C-CAS カードテスト(➜136)

B-CAS カードテスト(➜136)

接続・設定

放送設定を変える（放送設定）（つづき）

システム設定

字幕の設定

デジタル放送の字幕や、番組からのお知らせなど（文字スーパー）を表示させるための設定です。

録画モード「XP」、「SP」、「LP」、「EP」、「FR」で録画した場合、設定した内容がそのまま録画され、再生時に切り換えできません。

設定しても番組によって無効になる場合があります。

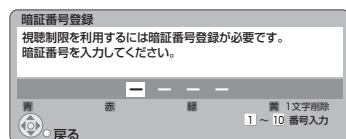
字幕

字幕言語

文字スーパー

文字スーパー言語

制限項目設定

- 視聴制限のある番組の視聴できる年齢や購入金額の上限やブラウザ表示の制限を設定できます。
- 上限を超える番組を見るときは、暗証番号の入力が必要です。
- 年齢制限を超える番組は、番組表などで「･･･」と表示されます。

画面の指示に従って[1]～[10]を押し、暗証番号を入力する

- 10秒間ボタン操作がないと、元の画面に戻ります。
- 暗証番号を入力後、下記の設定を行ってください。

視聴可能年齢

一番組限度額

ブラウザ制限

インターネットを利用するとき（**[ブラウザ]**を押したとき）、暗証番号の入力が必要かどうかの設定をします。

制限解除有効期限

チャンネルスキップ設定

視聴できるチャンネルを制限することができます。

- **[決定]**を押して選んだチャンネルは選局できなくなります。（番組表にも表示しません）
- スキップ設定したチャンネルを選び**[決定]**を押すと、スキップ設定を解除します。
- **[青]**を押すと、スキップ設定を一時解除します。（電源切まで）
- **[黄]**を押すと、スキップチャンネルのみの表示に切り換わります。

暗証番号変更

暗証番号削除

設定した年齢を超えるなど視聴に制限のある番組を選ぶと、暗証番号入力画面が表示されます。

- 暗証番号を入力すると、番組が映ります。

選局対象

[チャンネル へ,∨]を押して順送りできるチャンネルを設定できます。

- 「設定チャンネル」を選ぶと、チャンネル設定で設定されているPo1～36までのチャンネルを選局します。番組表の表示では枝番号の表示をしないようになります。

二重音声設定

二重音声の設定ができます。

電源を「切」「入」したときに放送が二重音声の場合、設定した音声になります。

選局入力方式

チャンネルを選ぶとき、3 桁のチャンネル番号を入力して選ぶ（「3 桁入力」）か、数字ボタンに割り当てられたチャンネル番号を選ぶ（「プリセット」）かを設定します。

チャンネルアップダウン

[チャンネル へ,∨]を押して順送りする方法を設定します。

- 「シームレス」は、地上デジタル放送、BS デジタル放送、CATV デジタル放送などの各放送をまたいで選局します。
- 「ネットワーク」は、地上デジタル放送、BS デジタル放送、CATV デジタル放送などの各放送内で選局します。

ソフトウェア更新設定

ダウンロード予約

ご加入のケーブルテレビ局からの情報を本機に取り込むことにより、本機のソフトウェア（制御プログラム）を最新のものに書き換えます。(➜162)

- 「自動」にすると、電源「切」時に自動的にダウンロードします。
- 「手動」にすると、情報が届いたときにメールで知らせます。(➜147「放送メール」)

放送設定リセット

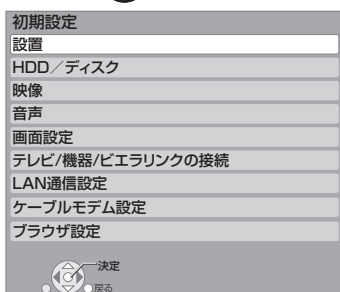
個人情報リセット

初期設定と放送設定の項目を工場出荷時の設定に戻します。また、本機に記録されているお客様の個人情報（メールやデータ放送のポイントなど）や、予約内容も消去します。ケーブルテレビ局への返却などで本機のご使用を中止される場合以外には、実行しないでください。

お知らせ

- 双方向データ放送やブラウザでのサービスをご利用の場合、本機からの操作により、ケーブルテレビ局や放送局、インターネットのホームページに登録された情報はこの操作では消去されません。消去方法はそれぞれのサービスにお問い合わせください。
- HDDの番組などは、この操作では消去されません。消去するには、「HDDのフォーマット」(➜154)を行ってください。

本機の設定を変える(初期設定)

1 （操作一覧）**を押す**

2 「その他の機能へ」を選び、**を押す**

3 「初期設定」を選び、（決定）**を押す**

4 初期設定の項目を選び、（決定）**を押す**

例）

初期設定
- 設置
- HDD／ディスク
- 映像
- 音声
- 画面設定
- テレビ/機器/ビエラリンクの接続
- LAN通信設定
- ケーブルモデム設定
- ブラウザ設定

決定
戻る

5 設定項目を選び、（決定）**を押す**

●さらに項目がある場合は、この操作を繰り返してください。

6 設定内容を変更する

お知らせ

●操作方法が異なる場合は、画面の指示に従ってください。
●録画中に設定することはできません。

設置

自動電源〔切〕

操作しないとき、節電のため自動的に電源を切る時間を設定します。
時間を設定すると、本機の動作(録画やダビングなど)が終了してから3時間後、6時間後または12時間後に、電源が切れます。

リモコンモード(➜141)

音声ガイドの設定

番組表の内容や録画一覧、選局時、エラーメッセージなどを音声や操作音でお知らせします。
●実際と異なる読み上げを行う場合がありますが、故障ではありません。
●「音声ガイド機能」を「入」に設定すると、「デジタル出力」**(➜155)**は自動的に「PCM」になります。(「切」に戻しても「PCM」のままです)
●DV 入力のときは、出力されません。

音声ガイド機能

読み上げ音量

読み上げ速度

クイックスタート

電源「切」状態からの起動を高速化します。
●テレビの種類や接続端子によっては、表示が遅れることがあります。
●「入」にすると、内部の制御部が通電状態になるため、「切」のときに比べて以下の内容が異なります。
・待機時消費電力が増えます。
・本機の動作を安定させるため、予約録画終了時または、午前4時ごろ(1週間に一度程度)に、本機全体を再起動することがあります。(再起動中は、本体表示窓に“PLEASE WAIT”と表示され、電源以外のボタン操作が数分間できません。また、本機から動作音がしますが、故障ではありません。)
・テレビと HDMI 端子で接続時は、テレビの無信号自動オフ機能が働かない場合があります。
●「切」にすると、待機時消費電力は減りますが、起動に時間がかかるようになります。
●以下の設定時、「クイックスタート」は自動的に「入」になります。
・「接続形態」**(➜159)**:「インターネット」または「家庭内ネット」
・「お部屋ジャンプリンク機能」**(➜159)**:「入」
・「ドアホン･センサーカメラ接続」**(➜159)**:「入」

初期設定リセット

設定を工場出荷時の設定に戻します。
ただし、以下の設定は戻りません。
・DVD-Video の視聴制限
・BD-Video の視聴可能年齢
・D 端子映像出力
・LAN 接続形態
・無線設定
・IP アドレス /DNS 設定
・ブラウザ設定

●本体側の「リモコンモード」も工場出荷時の設定（リモコン１）に戻ります。リモコンが働かなくなった場合（本体表示窓に“U30”と表示）、リモコンモードを変更してください。(➜175)

ソフトウェア更新（ネットワーク）

本機をネットワーク接続している場合、本機のソフトウェアが最新かどうかの確認や、ソフトウェアの更新をすることができます。更新する場合は、画面の指示に従ってください。

●更新中は他の操作はできません。また、故障の原因となるので、以下の操作は行わないでください。
・本機の電源を切る
・電源プラグをコンセントから抜く

HDD/ ディスク

再生設定（再生専用ディスク）

DVD-Video の視聴制限※1

DVDビデオの視聴制限ができます。
制限レベルの記録されている DVD ビデオ（成人向けや暴力シーンを含むもの）が視聴不可になります。

BD-Video の視聴可能年齢※1

BDビデオの視聴可能な下限年齢を設定できます。
年齢制限の記録されている BD ビデオ（成人向けや暴力シーンを含むもの）が視聴不可になります。

●「年齢入力」を選んで**[決定]**を押すと、**[1]**～**[10]**で年齢を入力できます。

BD-Live インターネット接続※1

BD-Live 機能を利用するときに、インターネットへの接続を制限することができます。

3D ディスクの再生方法

3D ディスクの再生方法を選びます。

音声言語※2

再生時の音声を選びます。

●「オリジナル」は、ディスクの最優先言語で再生します。

字幕言語※2

再生時の字幕言語を選びます。

●「オート」は、「音声言語」の言語で音声が再生されなかったときのみ、その言語で字幕を表示します。

メニュー言語※2

テレビ画面に表示される言語を選びます。

AVCHD 優先モード

BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC)

ハイビジョン画質の番組とハイビジョン動画（AVCHD）が混在したディスクで再生する動画を設定します。

●「入」はハイビジョン動画（AVCHD）を、「切」はハイビジョン画質の番組を再生します。

記録設定

EP 時の記録時間

録画モードがEP時に、4.7 GB ディスクに記録できる最大記録時間を設定します。

高速ダビング用録画

以下の場合に記録した番組を -R(V) -RW(V) に高速でダビングするための設定です。

●DV 入力から記録
●ファイナライズ後のディスク（DVDビデオ）をダビング

「入」にすると、高速でダビングできるようになりますが、制限がかかります。

●番組は以下の設定に従い記録されます。
・画面サイズ：「ビデオ方式の記録アスペクト」(➜154)
・二重放送の音声：「二重放送音声記録」(➜155)

●コピー制限のある番組は、設定にかかわらず「切」の状態で記録されます。

ビデオ方式の記録アスペクト

記録時のアスペクトの設定をします。

以下の記録時に有効

- -R(V) -RW(V) への記録時
- 「高速ダビング用録画」(➜153)が有効なとき

高速ダビング速度

高速モードでのダビング速度を設定します。

(高速記録対応ディスクの場合など)

自動チャプター

デジタル放送録画時に CM などで自動的にチャプターを作成する設定をします。

- 録画する番組や録画モードによっては、正しく作成されない場合があります。

持ち出し番組の VGA 画質

「持ち出し方法」を「SD/USB 経由」、「持ち出し番組の画質」を「高画質(VGA)」に設定して作成する場合に、記録する画質(1.5 Mbps/1.0 Mbps)を変更します。

デジタル放送の記録アスペクト

デジタル放送を HG、HX、HE、HL、HM、HZ モードで記録する場合のアスペクトの設定をします。

HDD 設定

HDD 管理

全番組消去

番組をすべて消去します。

全写真消去

写真をすべて消去します。

HDD のフォーマット

HDD の初期化を行います。

※1 暗証番号入力画面が表示されたら、画面の指示に従って[1]～[10]で暗証番号を入力してください。暗証番号は共通です。

暗証番号は忘れないでください。

※2 「その他＊＊＊＊」の場合、＊には [1] ～ [10]で言語番号(➜162)を入力してください。

選んだ言語がディスクにない場合は、ディスクの最優先言語で再生されます。ディスクに収録されているメニュー画面でのみ切り換えるものもあります。

映像

スチルモード

一時停止中の画像の表示方法が選べます。

- 「フィールド」は、動きのある映像や「オート」時にぶれが生じるときに設定してください。
- 「フレーム」は、「オート」時に細かい絵柄などが見えにくいときに設定してください。

シームレス再生

部分消去した部分などをなめらかに再生します。

- 「切」にすると、精度よく再生しますが、画像が一瞬止まる場合があります。

HD ノイズフィルター

ハイビジョン信号をざらつきが少なく柔らかい画像にします。

音声

音声のダイナミックレンジ圧縮

小音量でもセリフを聞き取りやすくします。

Dolby Digital、Dolby Digital Plus、Dolby TrueHDに有効

●「オート」は、Dolby TrueHD のときにコンテンツ意図に従います。

デジタル出力

Dolby D/Dolby D+/Dolby TrueHD
DTS/DTS-HD
AAC

音声の出力方法を選びます。

●接続機器が、それぞれの音声に対応している場合、「Bitstream」で出力することもできます。
●正しく設定しないと雑音が発生し、耳を傷めたり、スピーカーを破損する恐れがあります。

BD ビデオ副音声・操作音（副音声を含む BD-V）

BD ビデオのメニュー画面などで使われる操作音の入 / 切を設定します。

PCM ダウンサンプリング変換

サンプリング周波数96 kHzで収録された音声を48 kHzに変換する（「入」）かしない（「切」）かを選びます。

●96 kHzに非対応の機器に接続時は「入」を、対応した機器に接続時は「切」にしてください。
●以下の場合、48 kHzに変換されます。
・BD-V 「BD ビデオ副音声・操作音」(➜上記)：「入」
・BD-V 192 kHz 以上の信号
・著作権保護処理がされているディスク

ダウンミックス

マルチサラウンド音声を再生するときにダウンミックスの方法を切り換えることができます。

●「デジタル出力」(➜上記)が「Bitstream」のときはダウンミックスの効果はありません。
●2 チャンネルからマルチ・チャンネル・サラウンドに変換する機能に対応した機器に接続時は、「ドルビーサラウンド」に設定してください。
●以下の場合は、「ノーマル」で出力されます。
・AVCHD 再生時
・BD-V 副音声や操作音を含んでの再生時

二重放送音声記録

二重放送時、以下の場合に記録する音声を選びます。

● -R(V) -RW(V) への記録
●「高速ダビング用録画」(➜153)が有効なとき
●「XP時の記録音声モード」(➜下記)を「LPCM」にして、録画モード「XP」での記録
● HDD BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC)
CATV デジタル放送の番組を「HG」「HX」「HE」「HL」「HM」「HZ」モードで記録（番組によっては「主」、「副」を選んでも、両音声が記録される場合があります）

XP 時の記録音声モード

録画モードが「XP」での記録時、音声を選びます。

●「LPCM」にした場合：
・画質は少し下がります。
・二重放送の音声は「二重放送音声記録」(➜上記)であらかじめ選んでください。

DV 入力時の音声設定

i.LINK（DV入力 /TS）端子からの録画時、音声の種類を選びます。音声は以下のようになります。

●「ステレオ１」は、録画時の音声（L1、R1）
●「ステレオ２」は、編集などであとから追加した音声（L2、R2：ナレーションなど）
●「MIX」は、ステレオ１とステレオ2の音声
●二重放送の音声を記録する場合は、「二重放送音声記録」(➜上記)で音声をあらかじめ選んでください。

音声ディレイ

映像と音声のズレを、音声出力を遅らせて調整します。

画面設定

画面表示動作〔オート〕
操作の表示をテレビ画面に自動で表示します。

テレビ画面の焼き付き低減機能
通常は「入」に設定しておくことをおすすめします。
「入」に設定すると、以下のような動作を行います。
- 10分以上操作を行わないと、テレビの焼き付きを低減するために、自動的に画面を切り換えます。
- 黒帯部分を明るくします。
  [D 端子または HDMI 端子と接続して、「D端子出力解像度」(➔157)が「D3」「D4」のときや「HDMI出力解像度」(➔157)が「480p」以外のとき]

本体表示窓の明るさ
本体表示窓の明るさを調節します。
- 「電源連動」は、電源「入」時は明るくなり、電源「切」時は暗くなります。
- 「オート」は、再生中は暗くなり、電源「切」時は時計表示を含むすべてを消灯するため、消費電力の節電になります。

テレビ / 機器 / ビエラリンクの接続

3D 設定

3D 方式設定
接続しているテレビの方式に設定します。
- 「サイドバイサイド」の場合、テレビ側でも 3D の設定を切り換えてください。

3D 再生時の注意表示
3D 映像再生時に、3D 視聴の注意画面を表示するかどうかを設定します。

ビエラリンク設定

ビエラリンク制御
ビエラリンク(HDMI)に対応した機器と HDMI 端子と接続時、連動操作の設定をします。

電源オフ連動
ビエラと本機の電源を連動するように設定します。

ビエラリモコンで操作
ビエラのリモコンで本機を操作するかどうかの設定をします。

オートサウンド連携
ビエラリンク(HDMI)Ver. 3 以降に対応したビエラとアンプと接続時、自動的に適したサウンドに切り換えます。

ECO スタンバイ
ビエラリンク(HDMI)Ver. 4 以降に対応したビエラと接続時、ビエラの電源「切」に連動して、本機の電源「切」時の消費電力を最小にします。
- 「入」に設定すると、ビエラの電源「切」時に以下の設定時と同じように動作します。
  ・「本体表示窓の明るさ」(➔ 左記):「オート」
  ・「クイックスタート」(➔ 152):「切」
  「クイックスタート」が「入」に固定される状態の場合、待機時消費電力は最小になりません。
  ビエラの電源「入」時には、上記の設定は実際の設定どおりに動作します。

TV アスペクト（➜139）

接続したテレビに合わせて設定します。

HDMI 接続

HDMI 映像優先モード（➜137）

HDMI 出力解像度

接続した機器が対応している項目に「＊」が表示されます。「＊」の付いていない項目を選ぶと、映像が乱れることがあります。映像が乱れた場合は、以下の操作をしてください。

① **[決定]**と**[青]**と**[黄]**を同時に 5 秒以上押す
 ・本体表示窓に“00 RET”が表示されます。
② 本体表示窓に“04 PRG”が表示されるまで **[▶]**を数回押す
③ **[決定]**を 3 秒以上押す
 ・「480p」に設定されます。再度正しく設定してください。

●「720p」の場合、720p の映像以外は、1080i で出力されます。

24p 出力

BD-V 映画など 24p 記録された素材を 24p 出力します。

●「HDMI 出力解像度」**(➜上記)**が「オート」または「1080i」、「1080p」のときに有効です。
●24p 出力時は、HDMI 端子以外の端子からは正しく出力されないことがあります。
●24p以外の素材は BD-V の場合60iまたは60pで出力されます。

DVD-V を24p出力するには、この設定を「入」にして、「24p」**(➜63)**を「入」にしてください。

HDMI RGB 出力レンジ

RGB入力のみに対応した機器（DVI機器など）との接続時に有効

HDMI 音声出力（➜137）

Deep Color 出力

Deep Color対応テレビと接続時に設定します。

7.1ch 音声リマッピング BD-V

6.1チャンネル以下のサラウンド音声を自動的に7.1チャンネルに拡張して再生します。

●以下の場合に有効
 ・接続する機器が 7.1 チャンネル･サラウンドに対応している場合
 ・「デジタル出力」**(➜155)**が「PCM」の場合
 ・音声が Dolby Digital、Dolby Digital Plus、Dolby TrueHD または LPCM のとき
●「切」にすると、オリジナルのチャンネル数で再生します。（6.1チャンネルの場合は5.1チャンネルで再生します）
●DTS音声は「切」にしても、DTS, Inc.の仕様により7.1 チャンネルに拡張して再生します。

コンテンツタイプフラグ

接続したテレビがこの設定に対応している場合、再生する内容によってテレビが最適な方法に調整し出力します。

D 端子出力解像度

D 端子から出力する解像度を設定します。

●「D4」に設定すると、720pの映像以外は、1080iで出力されます。
●設定を変更して映像が乱れた場合は、以下の操作をしてください。

① **[決定]**と**[青]**と**[黄]**を同時に 5 秒以上押す
 ・本体表示窓に“00 RET”が表示されます。
② 本体表示窓に“04 PRG”が表示されるまで **[▶]**を数回押す
③ **[決定]**を 3 秒以上押す
 ・「D1」に設定されます。

D 端子映像出力

D 端子からの映像の出力方法を設定します。「オート」の場合、D 端子に接続しているときのみ映像を出力するので、消費電力の節電になります。

TV アスペクト (4:3) の設定

4:3テレビに接続時、16:9映像の映しかたを選びます。

●「パン & スキャン」は左右の切れた映像で、「レターボックス」は上下に帯のある映像で再生します。

パン & スキャン

レターボックス

DVD-Video の 16:9 映像

パン&スキャン再生ができないソフトは、レターボックスで再生します。

録画ディスクの 16:9 映像

「スルー」は、録画された映像のままで再生します。

● HDD DR、HG、HX、HE、HL、HM、HZモードの番組は、レターボックスで再生します。

i.LINK 機器モード設定

i.LINK(DV入力/TS)端子に接続した機器に合わせて設定します。

●本機の入力が「i.LINK(TS)」のときは、操作一覧を表示できません。操作一覧を表示する場合、
[入力切換](ふた内部)を押して「i.LINK(TS)」以外を選んでから **[操作一覧]** を押してください。

LAN 通信設定

LAN ケーブルまたは当社製無線 LAN アダプターDY-WL10(市販品)を使ってネットワーク接続するための設定です。

●不明な場合、設置された方に確認するか、ルーターなどの説明書をご覧ください。

LAN 接続形態

ネットワーク接続の方法を選びます。

●「無線」は当社製無線LANアダプター DY-WL10(市販品)を接続時のみ有効です。

無線設定

無線ブロードバンドルーター(アクセスポイント)との接続設定に進むことができます。また接続済みの場合は、設定内容や電波の状態を確認することができます。

接続設定

無線ブロードバンドルーター(アクセスポイント)との接続を行います。

倍速モード設定(2.4GHz)

無線方式が2.4 GHzの場合、通信速度を設定します。

●「倍速モード(40 MHz)」で通信を行うと、2 チャンネル分の周波数帯域を使うため、電波干渉が起こりやすくなる恐れがあります。そのため、通信速度が低下したり、通信が不安定になったりする場合があります。

IP アドレス /DNS 設定

接続テスト
ネットワークの接続状態を確認します。
●ネットワーク接続をしたあと、または「IP アドレス /DNS 設定」の各設定を終えたあとに必ず行ってください。
●「NG」が表示された場合、接続と設定を確認してください。
●「宅内機器使用可」は、宅内のネットワーク接続機器が使用できる状態です。

IP アドレス自動取得
通常は「する」を選んでおいてください。

IP アドレス
サブネットマスク
ゲートウェイアドレス
ルーターに DHCP※サーバー機能がない場合、ルーターのDHCPサーバー機能を「有効」にしていないときのみ設定してください。
●「IP アドレス自動取得」(➜上記)を「しない」にしたあと設定します。
●パソコンを確認して、「IP アドレス」にはパソコンと違った値を、「サブネットマスク」、「ゲートウェイアドレス」にはパソコンと同じ値をそれぞれ入力してください。
●LAN通信設定のIPアドレスには、ケーブルモデム設定のIPアドレスと異なるIPアドレスグループの設定が必要です。
※ サーバーやブロードバンドルーターが、IP アドレスなどを本機に自動的に割り当てる仕組みのことです。

DNS-IP 自動取得
通常は「する」を選んでおいてください。

プライマリ DNS
セカンダリ DNS
手動で「プライマリDNS」、「セカンダリDNS」を設定する必要がある場合のみ設定してください。
●「DNS-IP 自動取得」(➜上記)を「しない」にしたあと設定します。
●パソコンを確認して、「プライマリ DNS」にはパソコンの「優先 DNS サーバー」の値を、「セカンダリDNS」にはパソコンの「代替 DNS サーバー」の値をそれぞれ入力してください。

MAC アドレス
家庭内ネットワークで接続されている機器を特定するための番号です。
表示される番号は、「LAN接続形態」(➜158)の設定によって、以下のようになります。
●「有線」:背面の LAN 端子に割り当てられた番号
●「無線」: 当社製無線 LAN アダプター(DY-WL10)(市販品)に割り当てられた番号

ブロードバンドレシーバー設定 (➜145)

接続形態
●「インターネット」「家庭内ネット」にすると、「クイックスタート」(➜152)は自動的に「入」になります。

ネットワークからの番組消去

機器パスワード初期化

機器 ID 確認

お部屋ジャンプリンク(DLNA)設定 (➜144)

お部屋ジャンプリンク機能
●「入」にすると、「クイックスタート」(➜152)は自動的に「入」になります。

本機の名称

アクセス許可方法

機器一覧

ドアホン・センサーカメラの接続設定 (➜146)

ドアホン・センサーカメラ接続
●「入」にすると、「クイックスタート」(➜152)は自動的に「入」になります。

ドアホン録画
センサーカメラ録画

機器一覧

本機の設定を変える（初期設定）（つづき）

ケーブルモデム設定

TZ-BDT910P はケーブルモデムを内蔵していないため、ケーブルモデム設定はありません。

ケーブルモデムからネットワークに正しく接続できるかの確認とケーブルモデムの情報を確認します。

IP アドレス /DNS 設定

- 接続テスト
- IP アドレス自動取得
- IP アドレス
サブネットマスク
ゲートウェイアドレス
- DNS-IP 自動取得
- プライマリ DNS
セカンダリ DNS
- MAC アドレス

ケーブルモデム情報表示

内蔵ケーブルのモデム情報を確認することができます。

- MAC アドレス
- ソフトウェアバージョン
- ダウンストリーム周波数
- ダウンストリーム受信レベル
- ダウンストリーム SNR
- アップストリーム周波数
- アップストリーム送信レベル

ケーブルモデム電源連動

本機と内蔵ケーブルモデムの電源オン･オフを連動させるかどうかの設定をします。
この設定は、変更できない場合があります。

●「しない」にすると、本機の電源「切」時に内蔵のケーブルモデムは電源「入」のままになります。
消費電力は増えますが、電源「入」時にブラウザの起動が早くなります。

ブラウザ設定

本機のブラウザ機能でホームページを正しく表示させるための設定です。
ご加入のケーブルテレビ局からの指定があるときのみ、設定が必要です。

●ブラウザを設定すると、アクトビラのサービスが利用できなくなります。

プロキシアドレス

プロキシポート番号

ホームアドレス

接続テスト

デジタル出力される音声と接続・設定の関係

[表内の ch(チャンネル数)は最大チャンネル数を表示]

<table>
<tr><td>接続端子</td><td colspan="4">HDMI 端子</td><td colspan="4">デジタル音声出力端子</td></tr>
<tr><td>「デジタル出力」の設定</td><td colspan="2">Bitstream ※1</td><td colspan="2">PCM ※2</td><td colspan="2">Bitstream</td><td colspan="2">PCM</td></tr>
<tr><td>「BD ビデオ副音声・操作音」の設定</td><td>入※3</td><td>切</td><td>入※4</td><td>切</td><td>入</td><td>切</td><td>入</td><td>切</td></tr>
<tr><td>Dolby Digital
Dolby Digital EX※5</td><td rowspan="2">Dolby Digital</td><td rowspan="5">オリジナルの音声で出力</td><td colspan="2">DVD-V 5.1ch
BD-V 7.1ch※7</td><td colspan="2">Dolby Digital
Dolby Digital EX※6</td><td colspan="2" rowspan="5">ダウンミックス2ch</td></tr>
<tr><td>Dolby Digital Plus
Dolby TrueHD</td><td colspan="2">7.1ch</td><td colspan="2">Dolby Digital</td></tr>
<tr><td>DTS Digital Surround
DTS-ES※5</td><td rowspan="3">DTS Digital Surround</td><td colspan="2">DVD-V 5.1ch
BD-V 7.1ch※8</td><td colspan="2">DTS Digital Surround
DTS-ES※6</td></tr>
<tr><td>DTS-HD High Resolution Audio</td><td colspan="2" rowspan="2">7.1ch※8</td><td colspan="2" rowspan="2">DTS Digital Surround</td></tr>
<tr><td>DTS-HD Master Audio</td></tr>
<tr><td>7.1ch LPCM</td><td colspan="4">7.1ch PCM</td><td colspan="4">ダウンミックス 2ch PCM</td></tr>
</table>

※1 接続する機器が非対応のときは、Dolby Digital か DTS Digital Surround の Bitstream またはダウンミックス 2ch PCM(例:テレビなど)で出力します。

※2 接続する機器がディスクに記録されているチャンネル数に非対応の場合、ダウンミックス 2ch PCM で出力します。

※3 BD-V 副音声や操作音を含まない場合は、「BD ビデオ副音声·操作音」(➜155)を「切」に設定したときと同様の音声で出力します。

※4 副音声や操作音を含む BD ビデオの再生時は、5.1ch で出力します。

※5 PCM 出力する場合、Dolby Digital EX は Dolby Digital として、DVD に記録された DTS-ES は DTS Digital Surround として、BD に記録された DTS-ES は DTS-ES としてデコードした PCM 音声になります。

※6 BD-V 「BD ビデオ副音声·操作音」(➜155)を「入」に設定した場合、Dolby Digital EX は Dolby Digital、DTS-ES は DTS Digital Surround の Bitstream で出力します。ただし、副音声や操作音を含まない BD ビデオの再生時は、オリジナルの音声で出力します。

※7 BD-V 「7.1ch 音声リマッピング」(➜157)が「切」時は 5.1ch になります。

※8 DTS, Inc. の仕様により 5.1ch または 6.1ch から 7.1ch に自動的に拡張して出力します。

ソフトウェアの更新について

電源「切」の状態で、ご加入のケーブルテレビ局から送られてくる情報を本機に取り込むことにより、自動的に本機の制御プログラムを最新のものに書き換えます。

●工場出荷時は、本機が更新を自動で行う設定になっています。**(➜151「ソフトウェア更新設定」)**

ソフトウェアのダウンロード実行中は、本体表示窓が以下のように表示します。

DL 1/5（1/5などはダウンロードの進行状況です）

“DL 5/5”まで表示したあと時計表示に変わるまで本機を操作できません。

お知らせ

- ダウンロードの実行中は、故障の原因になりますので、**絶対に電源コードを抜かないでください。**
- 本機をネットワーク接続している場合、インターネットを利用して、本機のソフトウェアが最新かどうかの確認や、ソフトウェアの更新をすることができます。
[➜153「ソフトウェア更新（ネットワーク）」]

言語番号一覧　「再生設定（再生専用ディスク）」の言語選択時に使用します。**(➜153)**

言語	番号
アイスランド	7383
アイマラ	6589
アイルランド	7165
アゼルバイジャン	6590
アッサム	6583
アファル	6565
アフリカーンス	6570
アブハジア	6566
アムハラ	6577
アラビア	6582
アルバニア	8381
アルメニア	7289
イタリア	7384
イディッシュ	7473
インターリングア	7365
インドネシア	7378
ウェールズ	6789
ウォロフ	8779
ウクライナ	8575
ウズベク	8590
ウルドゥー	8582
ヴォラピュック	8679
英語	6978
エストニア	6984
エスペラント	6979
オーリヤ	7982
オランダ	7876
カザフ	7575
カシミール	7583
カタロニア	6765
ガリチア	7176
韓国（朝鮮）語	7579
カンナダ	7578
カンボジア	7577
キルギス	7589
ギリシャ	6976
クルド	7585
クロアチア	7282
グアラニー	7178
グジャラト	7185
グリーンランド	7576
グルジア	7565
ケチュア	8185
ゲール（スコットランド）	7168
コーサ	8872
コルシカ	6779
サモア	8377
サンスクリット	8365
ショナ	8378
シンド	8368
シンハラ	8373
ジャワ	7487
スウェーデン	8386
スペイン	6983
スロバキア	8375
スロベニア	8376
スワヒリ	8387
スンダ	8385
ズールー	9085
セルビア	8382
セルボクロアチア	8372
ソマリ	8379
タイ	8472
タガログ	8476
タジク	8471
タタール	8484
タミル	8465
チェコ	6783
チベット	6679
中国語	9072
ティグリニア	8473
テルグ	8469
デンマーク	6865
トウイ	8487
トルクメン	8475
トルコ	8482
トンガ	8479
ドイツ	6869
ナウル	7865
日本語	7465
ネパール	7869
ノルウェー	7879
ハウサ	7265
ハンガリー	7285
バシキール	6665
バスク	6985
パシュト	8083
パンジャブ	8065
ヒンディー	7273
ビハール	6672
ビルマ	7789
フィジー	7074
フィンランド	7073
フェロー	7079
フランス	7082
フリジア	7089
ブータン	6890
ブルガリア	6671
ブルターニュ	6682
ヘブライ	7387
ベトナム	8673
ベロルシア（白ロシア）	6669
ベンガル（バングラ）	6678
ペルシャ	7065
ポーランド	8076
ポルトガル	8084
マオリ	7773
マケドニア	7775
マダガスカル	7771
マライ（マレー）	7783
マラッタ	7782
マラヤーラム	7776
マルタ	7784
モルダビア	7779
モンゴル	7778
ヨルバ	8979
ラオ	7679
ラテン	7665
ラトビア（レット）	7686
リトアニア	7684
リンガラ	7678
ルーマニア	8279
レトロマンス	8277
ロシア	8285

受信できるテレビ放送について

地上デジタル放送 （地上デジタル）

地上波の UHF 放送（13 ～ 62ch）の周波数帯を使って行うデジタル放送で、高画質な映像や多チャンネルの番組以外に地域密着型のデータ放送なども行われています。

●本機ではワンセグ放送を録画できます。(➜97)
ワンセグは携帯端末向けの地上デジタルテレビ放送で、2006 年 4 月 1 日より、NHK および民放各社からサービスが開始されています。（お住まいの地域によっては、放送されない地域もあります）

BS デジタル放送 （BS デジタル）

放送衛星（Broadcasting Satellite）を使って行う放送で、ハイビジョン放送やデータ放送が特長です。

●WOWOW などの有料放送には、ご加入のケーブルテレビ局にて加入申し込みと契約が必要です。ご加入のケーブルテレビ局にお問い合わせください。

CATV デジタル放送 （CATVデジタル）

ニュースや映画、スポーツ、音楽など幅広いジャンルの専門チャンネルから、見たい番組を選択できます。ご加入のケーブルテレビ局にて加入申し込みと契約が必要です。

●ご加入のケーブルテレビ局にお問い合わせください。

アナログテレビ放送からデジタルテレビ放送への移行について

地上アナログテレビ放送と BS アナログテレビ放送は 2011 年 7 月 24 日までに終了することが、国の法令によって定められています。

お知らせ

●**本機では、地上アナログ放送を受信することはできません。**
●**IC カードを挿入しないと、デジタル放送は映りません。**
●WOWOW など有料の放送局とのご契約は B-CAS カード単位でのご契約となります。テレビの B-CAS カードでご契約いただいている場合でも、本機でご使用の B-CAS カードのご契約が必要です。
●本機では、ラジオ放送やデータ放送は記録できません。

同時操作について

番組の録画中・ダビング中にできる操作

（○：できる　×：できない）

	放送中の番組の視聴	HDD の再生	ディスクの再生	SD カードの再生	ダビング	編集	写真の再生・取り込み	ドアホン・センサーカメラ録画	持ち出し番組の転送
DR モードで HDD に録画中	○	○	○	○※1	○	○	×	○	○
HG、HX、HE、HL、HM、HZ モードで HDD に録画中	○	○※2	○	○※1	○	○※2	×	○	○
XP、SP、LP、EP、FR モードでHDDに録画中	○	○※2	○※3	×	×	○※2	×	○	○
BD ディスクに予約録画中	○	○※2	×	○※4	×	○※2※5	×	○	×
DVD ディスクに予約録画中	○	○※2	×	×	×	○※2※5	×	○	×
i.LINK（TS）入力から録画中	○	○	○	○※4	○	○	×	○	○
DV 入力から録画中	×	×	×	×	×	×	×	○	×
1 倍速でダビング中	○	○※2	×	×	×	○※2※5	×	○	×
高速でダビング中（ファイナライズあり）	×	×	×	×	×	×	×	×	×
高速でダビング中（ファイナライズなし）	○	○	×※6	×	×	○※5	×	○	×

- 2 番組を録画中は、録画中の番組以外は放送中の番組を視聴できません。
- 「DV おまかせ取込」中は同時操作はできません。
- HDD の残量が少なくなると、同時操作はできなくなることがあります。
- AVCHD の取り込み中は同時操作はできません。

※1　DR、HG、HX、HE、HL、HM、HZ モードで録画中は、AVCHD の動画のみ再生できます。（写真は再生できません）

※2　DRモード以外で録画中や1倍速ダビング中は、「1080/60p」の表示がある番組は再生や編集ができません。

※3　市販の映画などが記録された BD ビデオや AVCHD のディスクは再生できません。

※4　DR モードで録画中は、AVCHD の動画のみ再生できます。（写真は再生できません）

※5　ディスクに録画中やダビング中にディスクの編集はできません。

※6　HDD の番組を複製中は、再生できます。

他の操作を実行中の予約録画の動作

（○：実行する　×：実行しない）

他の操作	予約録画の実行	他の操作	予約録画の実行
録画中	○※1	ネットワーク経由で持ち出し番組を転送中	○※1
再生中（番組）	○※2	ドアホン・センサーカメラ録画中	○※1
再生中（写真）	○※3	ドアホン・センサーカメラ再生中	○
番組の編集の処理を実行中	○	ドアホン・センサーカメラ映像のバックアップ・復元中	×
写真の編集の処理を実行中	×	フォーマット中	×
番組を高速でダビング中（ファイナライズあり）	×	ファイナライズ中	×
番組を高速でダビング中（ファイナライズなし）	○	ブラウザを表示中	○※1
番組を１倍速でダビング中	○※4	番組をダウンロード中	○※1
本機から他機器へi.LINK（TS）ダビング中	×	動画共有サイトなどのサービスを利用中	○※3
他機器から本機へi.LINK（TS）ダビング中	○※1	VOD を表示中	○※1
DV おまかせ取込中	○※3	お部屋ジャンプリンク（DLNA）利用中（「ビデオを見る」「写真を見る」のとき）	○※1
AVCHD 取込中	×	お部屋ジャンプリンク（DLNA）利用中（「放送を見る」のとき）	○※3
写真の取り込み・書き出し中	×	お部屋ジャンプリンク（DLNA）利用中（クライアントとして使用時）	○※3
SD/USB 経由で持ち出し番組を転送中	○※5	ソフトウェア更新中（ネットワーク）	×

※１　２番組を録画できない状態のときは、予約録画が優先され、実行中の操作は終了します。

※２　ディスク再生中にディスクへの予約録画が始まったときや、BD ビデオや AVCHD ディスクを再生中に XP、SP、LP、EP、FR モードの予約録画が始まると、再生は終了します。

※３　実行中の操作は終了します。

※４　XP、SP、LP、EP、FR モードの予約録画は実行されません。

※５　ディスクへの予約録画が始まると、HDD に代替録画されます。

- 予約録画が実行されなかった場合、それぞれの操作終了時点から予約録画が始まります。

再生のみできるディスク / 使えないディスクについて

再生のみできるディスク

BD ビデオ	**映画や音楽などの市販ソフト** ●本機では右記のマーク(リージョンコード)が表示されたディスクを再生できます。	「A」または「A」を含むもの 例) ●リージョンコードは国により違います。
DVD ビデオ	**映画や音楽などの市販ソフト** ●本機では右記のマーク(リージョン番号)が表示されたディスクを再生できます。	「2」(または「2」を含むもの)、「ALL」が表示されたもの 例) ●番号は国により違います。
CD	**●音楽や音声が記録された市販ソフト** (CD-DA 形式で記録した CD-R や CD-RW を含む) **●写真が記録された CD-R や CD-RW**	
+R +R DL(片面2層) +RW	**●他の DVD レコーダーで録画されたディスク** (録画した機器でファイナライズを行ったディスクのみ再生できます) **●写真が記録されたディスク**	

●記録状態によって再生できない場合があります。
●CD-DA規格に準拠していないCD(コピーコントロールCDなど)は、動作および音質の保証はできません。
●8 cmディスクに記録や編集はできません。再生やHDDへのダビングのみ可能です。(CDは再生のみできます)
●本機では、「RAM 2」マークのついたDVD-RAMディスク(6X以上の 高速記録対応)の記録や編集はできません。再生や HDD へのダビングのみ可能です。
●他機器でハイビジョン動画(AVCHD)を記録したディスクの編集や追記はできません。再生や HDD への取り込みのみ可能です。

本機で使えないディスク

●カートリッジから取り出せない DVD-RAM(TYPE1)　●BD-RE(Ver.1.0)
●2.6 GB/5.2 GB DVD-RAM
●本機以外の機器で記録し、ファイナライズされていないDVD-R(ビデオ方式)、DVD-R DL(ビデオ方式)、DVD-RW(ビデオ方式)
●PAL方式で記録されたディスク
●HD DVD　● ビデオCD　●SACD　●SVCD　●DVDオーディオ
●Photo-CD　● パソコンやゲームのソフト　など

SD カードについて

本機で使えるカード

SD メモリーカード(8 MB ～ 2 GB)
(miniSD メモリーカード、microSD メモリーカードを含む)
SDHC メモリーカード(4 GB ～ 32 GB)
(microSDHC メモリーカードを含む)
SDXC メモリーカード(48 GB、64 GB)
(microSDXC メモリーカードを含む)

- 本書では上記カードのことを「SD カード」と記載しています。
- mini タイプ、micro タイプの SD カードは、必ず専用のアダプターを装着してご使用ください。
- SD カードを他機でフォーマットすると、記録に時間がかかるようになる場合があります。また、パソコンでフォーマットすると本機では使用できない場合があります。このようなときは本機でフォーマットしてください。**(➜118)**
- **SDHC メモリーカードと SDXC メモリーカードはそれぞれのカードに対応した機器で使用できます。(SDHC メモリーカードは SDXC メモリーカード対応機器でも使用できます)**
  非対応のパソコンや機器で使用すると、カードがフォーマットされるなど記録内容が消去されてしまう場合があります。
- **最新情報は下記サポートサイトでご確認ください。(2011 年 2 月現在)**
  http://panasonic.biz/broad/catv-support/index.html

本機で利用できる操作

本機では、以下のことができます。
- 動画(AVCHD、MPEG2)の取り込み**(➜86～87)**や再生**(➜51)**
- 録画した番組の持ち出し**(➜99)**
- 写真の再生**(➜91)**や取り込み**(➜94)**

カードを廃棄 / 譲渡するときのお願い

本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、カード内のデータは完全には消去されません。廃棄 / 譲渡の際は、カード本体を物理的に破壊するか、市販のパソコン用データ消去ソフトなどを使ってカード内のデータを完全に消去することをおすすめします。カード内のデータはお客様の責任において管理してください。

誤消去防止のために

カードにあるスイッチを「LOCK」側にすると、
カードの内容を誤って消去することを防げます。

USB 機器について

本機に接続できる USB 機器は？

当社製の以下のUSB機器と接続することができます。
●デジタルハイビジョンビデオカメラ
●SD ビデオカメラ
●デジタルカメラ
●携帯電話
●ポータブルテレビ(ビエラ･ワンセグ)
●無線 LAN アダプターDY-WL10

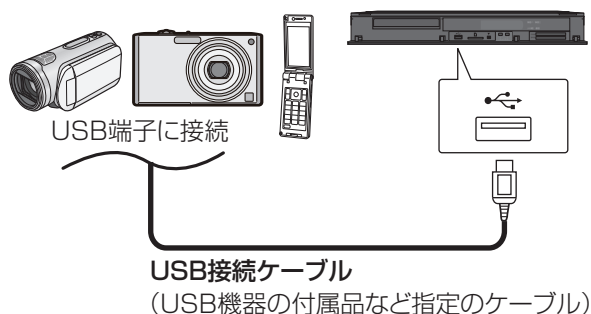
動作確認済みの機器については、下記サポートサイトでご確認ください。(2011 年 2 月現在)
http://panasonic.biz/broad/catv-support/index.html

●上記以外のUSB機器(USBメモリー、USBリーダー＆ライター、USB電源を利用する機器など)については動作保証しておりません。故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。
●USB ハブおよび USB 延長ケーブルで接続した場合やUSB端子経由でパソコンと接続した場合の動作は保証しておりません。
・当社製無線LANアダプター DY-WL10(市販品)の場合、付属の USB 延長ケーブルをお使いいただけます。
●接続に使う USB ケーブルは、接続する機器の付属品など、メーカー指定のケーブルをお使いください。

本機で利用できる操作

本機では、以下のことができます。
●動画(AVCHD、MPEG2)の取り込み(➜86 ～ 87)
●録画した番組の持ち出し(➜99)
●写真の再生(➜91)や取り込み(➜94)

USB 機器を接続する

USB接続ケーブル
(USB機器の付属品など指定のケーブル)

背面端子も同様に接続することができます。

接続した当社製機器に設定画面が表示される場合があります。接続した機器の取扱説明書に従って設定してください。(機器によっては、パソコンに接続するモードに設定する場合もあります)
●接続･設定については、接続した機器の取扱説明書も参考にしてください。
●本体表示窓の“D”(➜13)点滅中は、認識や読み込み･書き込みを行っています。本体が正常に動作しなくなったり、記録内容が破壊されたりする恐れがありますので、点滅中に電源を切ったり、USB接続ケーブルを抜かないでください。
・当社製無線LANアダプター DY-WL10(市販品)は電源｢切｣状態で、ネットワークを利用する機能を使用していないときに抜き差ししてください。

取り扱いについて

録画内容の補償に関する免責事項について

何らかの不具合により、正常に録画・編集ができなかった場合の内容の補償、録画・編集した内容（データ）の損失、および直接・間接の損害に対して、当社およびご加入のケーブルテレビ局は一切の責任を負いません。また、本機を修理した場合（HDD以外の修理を行った場合も）においても同様です。あらかじめご了承ください。

本機の設置について

- ビデオなどの熱源となるものの上に置かない。
- 温度変化が起きやすい場所に設置しない。
- 「つゆつき」が起こりにくい場所に設置する。
- 不安定な場所に設置しない。
- 重いものを上に載せない。

つゆつきについて

冷えたビンなどを冷蔵庫から出してしばらく置いておくと、ビンの表面に水滴が発生します。このような現象を「つゆつき」といいます。

- 「つゆつき」が発生しやすい状況
  - ・急激な温度変化が起きたとき（暖かい場所から寒い場所への移動やその逆、急激な冷暖房、冷房の風が直接あたるなど）
  - ・湯気が立ち込めるなど、部屋の湿度が高いとき
  - ・梅雨の時期
- 「つゆつき」が起こったときは故障の原因になりますので、部屋の温度になじむまで（約２～３時間）、**電源を切ったまま放置してください。**

本機の移動

① 電源を切る
（本体表示窓から"BYE"が消えるまで待つ）
② 電源プラグをコンセントから抜く
③ HDD の回転が完全に止まってから（3 分程度待ってから）、振動や衝撃を与えないように動かす
（電源を切っても、HDDはしばらくの間は惰性で回転しています）

お手入れ

本体

電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふいてください。

- 汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげる恐れがありますので使用しないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。

録画 / 再生用レンズ

長期間使用すると、レンズにほこりなどが付着し、正常な録画・再生ができなくなることがあります。
使用環境や使用回数にもよりますが、約１年に一度、当社指定のレンズクリーナー（市販品）でほこりなどの除去をおすすめします。使い方は、レンズクリーナーの説明書をご覧ください。

- 当社指定のレンズクリーナーについては、下記サポートサイトでご確認ください。（2011年2月現在）
http://panasonic.biz/broad/catv-support/index.html
- クリーニング中に音がすることがありますが、故障ではありません。

取り扱いについて(つづき)

本機の温度上昇について

本機を使用中は温度が高くなりますが、性能・品質には問題ありません。
本機の移動やお手入れなどをするときは、電源を切って電源コードを抜いてから 3 分以上待ってください。

- 本機の温度が気になる場合は、ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。

本機を返却するとき

本機にはお客様の操作に関する個人情報(メールや購入記録、データ放送のポイントなど)が記録されています。
ケーブルテレビ局への返却などで本機のご使用を中止される場合は、「個人情報リセット」(➜151)を実行し、記録された情報を必ず消去してください。

- 本機に記録される個人情報に関しては、お客様の責任で管理してください。

HDD(ハードディスク)

HDD は振動・衝撃やほこりに弱い精密機器です

設置環境や取り扱いにより、部分的な損傷や、最悪の場合、録画や再生ができなくなる場合もあります。
特に動作中は振動や衝撃を与えたり、電源プラグを抜いたりしないでください。また、停電などにより、録画・再生中の内容が損なわれる可能性があります。

HDD は一時的な保管場所です

HDDは、録画した内容の恒久的な保管場所ではありません。一度見るまで、または編集やダビングするまでの一時的な保管場所としてお使いください。

HDD に異常を感じた場合はすぐにダビング(バックアップ)を…

HDD 内に不具合個所があると、録画時や再生時、ダビング時に継続した異音がしたり、映像にブロック状のノイズが発生することがあります。そのままお使いになると劣化が進み、HDD全体が使えなくなってしまう恐れがあります。
このような現象が確認された場合は、すみやかにディスクなどにダビングし、修理をご依頼ください。

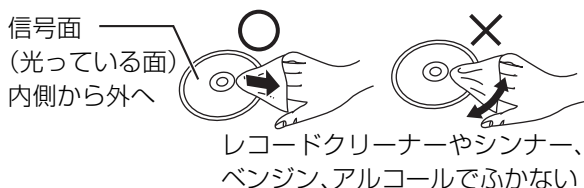
- **HDD が故障した場合は、記録内容(データ)の修復はできません。**

ディスク、カード

持ちかた

信号面や端子面には手を触れない

汚れたとき

水を含ませた柔らかい布でふき、あとはからぶきしてください。

信号面
(光っている面)
内側から外へ

レコードクリーナーやシンナー、
ベンジン、アルコールでふかない

- 当社指定のディスククリーナー(市販品)のご使用をおすすめします。
  - ･当社指定のディスククリーナーについては、下記サポートサイトでご確認ください。(2011 年 2 月現在)
    http://panasonic.biz/broad/catv-support/index.html
- ディスクが汚れている場合、記録や再生ができないことがあります。

破損や機器の故障防止のために、次のことを必ずお守りください。

- 落としたり、激しい振動を与えたりしない。
- お茶やジュースなどの液体をかけたりこぼしたりしない。
- **ディスク**
  - ･シールやラベルをはらない。(ディスクにそりが発生したり、回転時のバランスがくずれて使用できないことがあります)
  - ･印刷面にあるタイトル欄に文字などを書き込む場合は、必ず柔らかい油性のフェルトペンなどを使う。ボールペンなど、先のとがった硬いものは使わない。
  - ･傷つき防止用のプロテクターなどは使わない。
  - ･以下のディスクを使わない。
    - シールやラベルがはがれたり、のりがはみ出しているレンタルなどのディスク
    - そっていたり、割れたりひびが入っているディスク
    - ハート型など、特殊な形のディスク

- **カード**
  - ･カード裏の端子部にごみや水、異物を付着させない。

保管場所

次のような場所に置いたり保管したりしないでください。

- ほこりの多いところ
- 高温になるところ
- 温度差が激しいところ
- 湿度の高いところ
- 湯気や油煙の出るところ
- 冷暖房機器に近いところ
- 直射日光のあたるところ
- 静電気･電磁波の発生するところ(大切な記録内容が損傷する可能性があります)

使用後はケースに収めてください。

こんな表示が出たら

	表示文字	調べるところ・原因・対策
ネットワーク設定や接続テスト時	**アドレスが正しく設定されませんでした。**	●一度、電源を「切」にし、電源コードを抜き差しして、再度実行してください。それでも症状が改善しない場合は、ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。
	接続テストを実行できませんでした。	
	セキュリティーが低い設定になっています。設定の変更をおすすめします	●安全のために、無線 LAN の暗号化方式を「AES」にしてください。 DLNA 対応機器から映像などを再生する場合は、暗号化が必要になります。
	接続できませんでした。	●ハブをお使いの場合で、ハブの Link ランプが消えているときは、ケーブルの接続、LAN 端子の接触不良、またはケーブル(誤ってクロスケーブルを使用)などを確認してください。
	ゲートウェイが応答しません。ルーターとの接続や設定をご確認ください。	●ハブをお使いの場合は、ハブとルーター間の接続をご確認ください。 ・ルーターにつなぐ側のハブのポートは、UPLINK につないでください。 ・ハブの UPLINK ポートの Link ランプが消えている場合は、ケーブルの接続、LAN 端子の接触不良、またはケーブル(誤ってクロスケーブルを使用)などを確認してください。 ●「IP アドレス /DNS 設定」(**➜159**)で「IP アドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイアドレス」をご確認ください。 ●無線 LAN 対応のアクセスポイントをご使用の場合、アクセスポイントの通信設定をご確認ください。設定について詳しくはアクセスポイントの説明書をご覧ください。本機の MAC アドレスが必要な場合は、「LAN 通信設定」(**➜158**)を表示してご確認ください。 ●「IP アドレス自動取得」(**➜159**)を「しない」に設定している場合、接続テストを行うとこのメッセージが表示されますが異常ではありません。
	デバイスエラーが発生しました。	●無線 LAN アダプターの接続を確認してください。再度設定しても失敗する場合は、ご加入のケーブルテレビ局にお問い合わせください。
	認証エラー、またはタイムアウトエラーが発生しました。	●無線ブロードバンドルーター(アクセスポイント)側の MAC アドレスなどの設定を確認してください。 ●電波が弱いことが考えられます。無線 LAN アダプターや無線ブロードバンドルーター(アクセスポイント)の位置や角度を調節して通信状態が良くなるかお確かめください。(無線 LAN アダプターは、無線 LAN アダプターに付属の USB 延長ケーブルを使って調節してください) ●アクセスポイント接続設定の SSID や暗号化キーを確認してください。 ●しばらく待ってから、再度、実行してください。
	無線LANアダプターが接続されていません。	●無線 LAN アダプターが奥までしっかり挿入されているかの確認、または抜き差しをしてください。それでも表示が変わらない場合は、ご加入のケーブルテレビ局にお問い合わせください。

	表示文字	調べるところ・原因・対策
ネットワーク設定や接続テスト時	**IPアドレスが取得できませんでした。 接続や設定をご確認ください。**	●ハブをお使いの場合は、ハブとルーター間の接続をご確認ください。 ・ルーターにつなぐ側のハブのポートは、UPLINKにつないでください。 ・ハブのLinkランプが点灯しているか確認し、消えている場合は、ケーブルの接続、LAN 端子の接触不良、またはケーブル(誤ってクロスケーブルを使用)などを確認してください。 上記で問題がなければ、ルーターなどのDHCPが動作していないことが考えられます。 ルーターの設定や動作をご確認ください。ルーターのリセットを行ってみるのも1つの方法です。
	IPアドレスが設定されていません。	●「IPアドレス/DNS設定」(➜159)で「IPアドレス」が「---. ---. ---. ---」になっています。 「IPアドレス」、「サブネットマスク」、「ゲートウェイアドレス」を設定してください。(必要に応じて、アドレスの自動取得を選択してください)
	IPアドレスの重複を検出しました。 設定をご確認ください。	●本機と同じ IP アドレスが他の機器に使われています。他のパソコンや、本機、ルーターのIPアドレスをご確認のうえ、重複しないように再設定してください。
通信時	**サーバーへの接続に失敗しました。(B020)**	●サーバーが混み合っているため接続ができないか、サーバー側のサービスが停止されている可能性があります。しばらく待ってから、再度実行してください。
	サーバーとの通信に失敗しました。(B021)	●通信がタイムアウトしました。サーバーへのアクセスが集中していると思われます。しばらく待って再度実行してください。
	認証に失敗しました。(B401)	●接続先のIDやパスワードを正しく設定してください。

表示文字		調べるところ・原因・対策
本体表示窓	-- -- --	●インターネットに接続中です。
	D	●以下の場合に点灯または点滅します。 ・ソフトウェアのダウンロード時のデータ蓄積中※ ・録画モード変換の処理中※ ・持ち出し番組作成中※ ・アクトビラからダウンロード中 ・USB 機器の読み書き時 ※ “D”点灯中に電源を「入」にすると、上記の処理は中止されます。次回、電源「切」時に処理が実行されます。
	0:00	●停電や電源コードをコンセントから抜いたあとなどに、点滅します。 ●デジタル放送が受信できる場合は、電源を入れると自動的に時刻を合わせます。
	61PCT	●ダビング中やファイナライズ中などの進行状況です。(例:61 パーセント)
	BS 101	●現在選んでいるBSデジタル放送のチャンネルです。(例:101 チャンネル)
	C 200	●現在選んでいるCATVデジタル放送のチャンネルです。(例:200チャンネル)
	D 011	●現在選んでいる地上デジタル放送のチャンネルです。(例:011 チャンネル)
	DL 1/5	●ダウンロード実行中です。表示が消えるまで、本機を操作することはできません。故障の原因となりますので、絶対に電源コードを抜かないでください。(1/5 などはダウンロードの進行状況です)
	DV	●現在、DV 入力が選ばれています。
	HARD ERR	●電源を入れ直しても症状が変わらない場合は、ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。
	HDMI ONLY	● BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) ディスクによっては、著作権保護の規定により、アナログでの出力を禁止している場合があります。その場合は、HDMI 端子のみ映像出力が可能です。
	MENU	●操作一覧表示中です。

表示文字		調べるところ・原因・対策
本体表示窓	NoFINALIZE	●HDD の録画や再生中などに[開 / 閉 ▲](ふた内部)を押したとき、未ファイナライズの -R(AVCREC) -R(V) -RW(V) が入っている場合に表示されます。ファイナライズを行わずにディスクを取り出します。
	NoREAD	●ディスクに汚れや傷が付いているため、記録や再生、編集できません。 ●当社指定のレンズクリーナー(市販品)(➜169)の作業が終了したときに、表示されることがあります。[開 / 閉 ▲](ふた内部)を押してクリーナーを取り出してください。
	NoREC	●以下の場合、[録画 ●](ふた内部)を押しても、録画はできません。 ・データ放送やラジオ放送、または録画中の番組を視聴中 ・i.LINK(TS) 入力に接続した機器でコピー禁止のディスクなどを再生中
	PHOTO	●写真一覧表示中です。
	PLEASE WAIT	●終了処理中です。"BYE" が表示されたあと、電源が切れます。 ●停電または動作中に電源コードが抜けたための復旧動作中にも表示されます。表示が消えれば使えます。
	PROG FULL	●「新番組おまかせ録画」以外の予約が 128 件登録されています。不要な予約を消してください。(➜41)
	SLIDE	●写真のスライドショー再生中です。
	TRANS	●持ち出し番組一覧表示中です。
	TS	●現在、i.LINK(TS) 入力が選ばれています。
	T-WARP	●タイムワープ中です。
	U30 2 1～3のいずれかを表示	●本体とリモコンのリモコンモードが違っています。リモコンモードを合わせてください。 U30 2 [決定]を押しながら、[1] のあとに続けて、表示されたこの番号の数字ボタンを押してください。

必要なとき

	表示文字	調べるところ・原因・対策
本体表示窓	U59	●本体の内部温度が上昇しています。安全のため動作停止中です。表示が消えるまで（約30分間）お待ちください。できるだけ風通しのよいところに設置し、背面の内部冷却用ファンの周りを空けてください。
	U61	●ディスクが入っていない状態で、録画や再生、ダビング中に、異常が確認されたため、本体動作を正常に戻すための復旧動作中です。表示が消えれば使えます。消えない場合は、ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。
	U82	●本機で使用できないUSB 機器が接続されています。本機に対応した機器をお使いください。 ●USB 機器接続時に異常が発生しました。接続した USB 機器をいったん本機から外して、再び接続し直してください。
	U88	●再生やダビング中に、ディスクに異常が確認されたため、本体動作を正常に戻すための復旧動作中です。表示が消えれば使えます。消えない場合は、ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。
	F99	●本機が正常に動作しません。本体の [電源⏻/I] を押し、電源を切/入してください。それでも症状が変わらない場合は、ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。
	F00 H00 （数字の 00は例です）	●異常が発生しました。（“F”または“H”以降の数字は、本機の状態によって変わります） 電源を一度、切 / 入してください。
	UNFORMAT	●フォーマットされていない、または他の機器で記録されたディスクが入っています。 ご使用になる場合は、ディスクをフォーマットしてください。 ただし、記録されていた内容はすべて消去されます。
	UNSUPPORT	●本機で記録や再生できないディスクが入っています。 本機に対応したディスクをお使いください。
	UPD1/5	●ソフトウェアの更新中です。表示が消えるまで、本機を操作することはできません。故障の原因となりますので、絶対に電源コードを抜かないでください。（1/5などは更新の進行状況です）
	VIDEO	●録画一覧またはドアホン・センサーカメラ映像一覧表示中です。

●上記の数値表示は、本機の症状を表すサービス番号です。

●上記の操作をしても表示が消えない場合、ご加入のケーブルテレビ局へ修理を依頼してください。

故障かな !?

修理を依頼される前に、下記の項目を確かめてください。これらの処置をしても直らないときや、下記の項目以外の症状は、ご加入のケーブルテレビ局にお問い合わせください。

次のような場合は、故障ではありません

- 周期的なディスクの回転音（ファイナライズ時などに通常より回転音が大きくなる場合があります）
- 電源切 / 入時の音
- 気象条件が悪いためによる受信映像の乱れ
- 早送り・早戻し時の映像の乱れ
- 3D ディスク入れ換え時の画面の乱れ
- BS/CATV デジタル放送の一時的な休止による受信障害
- 以下の状態のときに、本機から HDD の動作音が聞こえる場合があります。
  - ・電源切 / 入時
  - ・番組表データを受信中
  - ・ソフトウェアのダウンロード中または番組のダウンロード中
  - ・録画中
  - ・録画モード変換時または持ち出し番組作成時
  - ・予約録画終了時または午前 4 時ごろ（1 週間に一度程度）の、本機全体の自動再起動時
    本機の安定性維持のため、自動的に内部点検を行っています。

本機が操作を受けつけなくなったときは…

各種安全装置が働いていることがあります。

① **本体の [電源 ⏻/I] を押し、電源を切る**
- 切れない場合は、約3秒間押し続けると強制的に切れます。
  （それでも切れない場合は、電源コードをコンセントから抜き、約1分後再びコンセントに差し込む）

② **本体の [電源 ⏻/I] を押し、電源を入れる**

上記の操作を行っても操作できないときは、ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。

故障かな !?(つづき)

電源

電源が入らない

●予約録画終了時や午前4時ごろの数分間は、「クイックスタート」を「入」にしていると、電源ボタン以外の操作ができないときがあります。
●電源コードを差した直後は電源が入りません。しばらくお待ちください。
●停電のあとなど一時的にリモコンから電源が入らない場合があります。本体の **[電源⏻/I]** を押し、電源を入れてください。

自動的に電源が切れた

●「自動電源〔切〕」**(➜152)**、「電源オフ連動」**(➜156)**や「こまめにオフ」の機能が働いている場合、自動的に電源が切れます。

表示

表示が出ない
表示が暗い

●「本体表示窓の明るさ」**(➜156)**で明るさを変えてください。
●ビエラリンク(HDMI)のECOスタンバイの機能が働くと、本体表示窓は消灯します。

“録画 1”または“録画 2”が点滅している

●以下の場合、点滅します。
・予約録画の開始時刻の約3分前から開始時刻までの間
・デジタル放送録画時、ケーブル宅内線の抜けや信号の障害で正常に録画できないとき
・録画や予約録画時に IC カードが抜けて録画できないとき
・予約録画時に、HDD の残量がなくて録画できないとき
・「録画禁止」の番組を録画しようとしたとき

残量表示が使用した量と違う

●残量表示は実際より増減することがあります。
●-R 記録や編集を約 200 回以上繰り返すと、残量が減ります。

残量表示が画面によって異なる

●DR モード選択時の残量は、番組表や予約確認画面などでは、放送に合わせて14 Mbps、17 Mbpsまたは24 Mbps の転送レートで残量計算しますが、録画一覧画面などでは、24 Mbps の転送レートでのみ残量計算します。そのため、画面によっては、残量表示が異なる場合があります。

テレビ画面や映像

映像が映らない
映像が乱れる

●HDMI 端子接続時:
- ・接続状態に合わせて、「HDMI映像優先モード」(➜137)を設定してください。
  - - HDMI 端子でテレビと接続:「入」
  - - HDMI端子でアンプなどと接続し、D端子でテレビと接続:「切」
- ・HDCP(不正コピー防止技術)に対応した機器(パソコンのディスプレイなど)に接続したときは、機器によっては正常な映像にならない、または映らない場合があります。(音声は出力されません)
- ・以下の場合、HDMI 認証が起こり、黒画面になります。
  - -「24p出力」(➜157)が「入」の場合、24p素材とそれ以外の素材が切り換わる部分
  - - 2D 映像と 3D 映像を切り換えたとき
- ・「Deep Color 出力」(➜157)もしくは「コンテンツタイプフラグ」(➜157)を「切」にしてください。

●D 端子接続時:
- ・本機の出力設定がテレビの D 端子の性能を超えている場合や、接続したケーブルによっては、映像が映らないときがあります。以下の操作を行うと D1 出力になり、「D端子映像出力」(➜157)が「入」になって、映像が映ります。
  1. ① **[決定]**と**[青]**と**[黄]**を同時に 5 秒以上押す
     ・本体表示窓に“00 RET”が表示されます。
  2. ② 本体表示窓に“04 PRG”が表示されるまで **[▶]**を数回押す
  3. ③ **[決定]**を 3 秒以上押す
- ・「D端子出力解像度」(➜157)が「D3」「D4」の場合、DVDビデオやDV入力からの映像は、はじめの数秒間黒い画面が表示されたり、画面が乱れたりします。

●テレビによっては、再生中などの操作時の画面にノイズが出る場合があります。
HDMI 端子で接続している場合、接続するテレビのHDMI端子を変更すると改善される場合があります。

表示していた画面が消える

●「テレビ画面の焼き付き低減機能」(➜156)が「入」の場合、10分以上操作を行わないと、自動的に表示していた画面を切り換えます。

画面の上下左右に黒帯(グレー帯)が表示される
画面の横縦比がおかしい

●「画面モード切換」(➜24)で調整してください。(テレビのアスペクト設定でも調整できます)
●「TV アスペクト」(➜139)の設定を接続したテレビに合わせてください。
●4:3 のテレビに接続する場合、「D 端子出力解像度」(➜157)を「D1」または「D2」に設定してください。

再生時の映像に残像が多い

●「HDオプティマイザー」(➜63)を「切」にしてください。

ハイビジョン映像で出力されない

●ディスクによっては著作権保護のため、D端子からの出力が 480p に制限される場合があります。
●HDMI 端子以外で接続時、以下の場合は出力が 480i に制限されることがあります。
- ・ディスクから HDD にダビングした番組を再生時
- ・お部屋ジャンプ(DLNA)利用時(クライアントとして使用)
- ・BD-RE BD-R BD-V RAM(AVCREC) -R(AVCREC) 再生時

ボタン操作

リモコンが働かない

- 本体とリモコンのリモコンモード(➜141)が異なっていませんか。電池を交換すると、リモコンモードを合わせ直す必要がある場合があります。

U30 2 ― [決定] を押しながら、[1] のあとに続けて、表示されたこの番号の数字ボタンを押してください。

- 本体のリモコン受信部に向けて操作していますか。また、受信部に直射日光やインバーター蛍光灯の強い光が当たると受信できなくなる場合があります。
- リモコンと本体の間に障害物(ラックなどの色つきガラスも含む)などがありませんか。
- テレビ操作部のボタンでテレビのメーカー番号が異なっていませんか。電池を交換すると、合わせ直す必要がある場合があります。(➜140)

本機のリモコンで操作したら、他の当社製機器も動いてしまう

- 本機と他の当社製機器のリモコンモードが同じになっています。本機のリモコンモードを変更してください。(➜141)

デジタル放送

画質や音質が少し悪くなった

- 雨の影響により、衛星からの電波が弱くなっている場合は、ケーブルテレビ局で電波が弱くても受信可能な降雨対応放送に切り換える場合があります。降雨対応放送は画質、音質が少し悪くなります。天候が回復すれば、元の画質や音質に戻ります。

WOWOWやスターチャンネルなどの有料放送が視聴できない

- IC カードが正しく挿入されていますか。
- 有料放送を視聴するための手続きはされていますか。
- ネットワークの接続は正しくされていますか。

字幕や文字スーパーが出ない

- 字幕や文字スーパーのある番組の場合、「字幕の設定」(➜150)の「字幕」や「文字スーパー」を「オン」にしてください。

本体

本機が熱い

- 本機使用中は温度が高くなりますが、性能･品質には問題ありません。本機の上下左右にスペースをあけてください。
本機の温度が気になる場合は、ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。

ディスクが取り出せない

- 本機の故障が考えられます。
電源「切」状態で、以下の操作を行うと、ディスクトレイが開きます。
① [決定]と[青]と[黄]を同時に 5 秒以上押す
  ･本体表示窓に“00 RET”が表示されます。
② 本体表示窓に“06 FTO”が表示されるまで [▶] を数回押す
③ [決定]を押す
(ディスクトレイが開かない場合は、電源コードを抜き差ししたあと、再度同様の操作を行ってください)
ディスクを取り出し、ご加入のケーブルテレビ局へご相談ください。

音声

音声が出ない

- ケーブルがしっかり接続されているか確認してください。アンプに接続しているときは、アンプの入力切換なども確かめてください。
- HDMI端子の接続状態に合わせて、「HDMI音声出力」(➜137)を設定してください。
  - ･HDMI 端子でテレビと接続し、テレビから音声を出力:「入」
  - ･HDMI 端子でテレビと接続し、デジタル音声出力端子で接続したアンプなどから音声を出力:「切」
- Dolby Digital Plus または Dolby TrueHD、DTS-HD の音声のみが出力されなくなった場合は、本機の内部設定が自動的に切り換わった可能性があります。その場合は、一度、「初期設定リセット」(➜153)を行ってください。

サラウンドの音声が出ない

- 接続するアンプによっては、音声が2チャンネルになる場合があります。「音質効果」(➜64)の「リ．マスター」を「切」にしてください。

片方のスピーカーからしか音声が出ない

- スピーカーの接続を確認してください。
- 5.1ch マルチ音声を再生する場合、「ダウンミックス」(➜155)を「ドルビーサラウンド」にしていると、モノラル音声になります。「ノーマル」に変更してください。

音声が切り換えられない

- 「高速ダビング用録画」(➜ 153)が「入」の場合、DV 入力から記録した番組は音声の切り換えができません。
- アンプと接続している場合、アンプ側で切り換えてください。
- ディスク制作者の意図で音声が切り換えられないディスクもあります。

ディスク

記録できない

- ディスクをフォーマットしていますか。
- ファイナライズ後のディスクは記録できません。
- 誤消去防止(プロテクト)の設定がされていませんか。
- ディスク残量がない場合や、番組数が最大数になっている場合は記録できません。
  (不要な番組を消去するか、新しいディスクを使ってください)
- カートリッジ付きの BD-RE(Ver.1.0) は、本機では記録できません。
- -R 記録後、ディスクの出し入れや電源の切 / 入を約 30 回程度繰り返すと、そのディスクは記録や編集ができなくなることがあります。
- 本機以外の DVD レコーダーなどで記録したディスクは、本機で追記できない場合があります。
- 録画 / 再生用レンズが汚れている場合があります。
  レンズをクリーニングしてください。
- ディスクに汚れや傷があると、再生、記録、フォーマットなどができない場合があります。

視聴

放送中の番組の視聴ができない

- ファイナライズを行うダビング中は、視聴できません。

必要なとき

録画

録画できない

●ディスクには[録画 ●](ふた内部)を押しても、録画できません。

番組を同時に録画できない

●以下の場合、番組の同時録画はできません。
・2 番組を「XP」「SP」「LP」「EP」「FR」モードで録画する場合
・1 番組を「HG」「HX」「HE」「HL」「HM」「HZ」モードで、1 番組を「XP」「SP」「LP」「EP」「FR」モードで録画する場合
・2 番組をディスクに録画する場合
・DV 入力から録画する場合
・ディスクから HDD へダビング中
・HDD から HDD へダビング(複製)中

予約録画

予約録画ができない

●[予約確認]を押して、予約内容を確認してください。
・「重複」が表示された予約は、番組の一部またはすべてが録画できません。
・「予約実行切」が表示された予約は、「予約実行入」にしてください。

●予約録画の開始時刻に他の操作(ソフトウェアの更新など)を行っていた場合、操作の内容によっては予約録画が実行されません。詳しくは「同時操作について」(➜164)をご覧ください。

ディスクに予約録画ができない

●以下の場合、ディスクに予約録画できません。
・カートリッジ付きの BD-RE(Ver.1.0)
・未フォーマットのディスク
・-R(V) -RW(V) のディスク
・RAM(VR) -R(VR) -RW(VR) に録画モード「HG」「HX」「HE」「HL」「HM」「HZ」で予約
・RAM(AVCREC) -R(AVCREC) に録画モード「XP」「SP」「LP」「EP」「FR」で予約
・CPRM 非対応の DVD にデジタル放送を予約
・誤消去防止(プロテクト)の設定がされたディスク
・ディスクへの予約がすでにある(ディスクへの予約は 1 番組のみ)

番組の検索ができない

●「G ガイド地域設定」がお住まいの地域に合っていない場合、番組の検索が正しく行われないことがあります。

番組追従機能が働かない

●時間指定予約では働きません。

●放送開始時刻または終了時刻に 3 時間以上の変更があった番組には働きません。

●毎週予約をした場合、番組表データの更新状態によっては、正しく働かない場合があります。

録画した番組の一部、またはすべてが消えた

●録画中に停電になったり、電源コードが抜けるなどで電源が切れると、番組が消えたり、ディスクが使えなくなる場合があります。

●「自動更新」(➜38)を「入」にして予約録画すると、前回録画した番組を自動的に消去し、録画します。

再生

録画した番組が見つからない

- 毎日･毎週予約で録画した番組は、録画一覧（まとめ表示）では、まとめて表示されます。
  まとめ が付いた番組を選んで、**[決定]** を押すと、第 1 回目に録画した番組から最後に録画した番組まですべて表示されます。
- 録画一覧で **[サブ メニュー]** を押し「全番組表示へ」を選択すると、まとめ表示が解除されます。
- 「最新録画番組」ラベルを選択すると、最新の録画番組から順に 18 番組までを全番組表示します。
- 視聴制限のある番組は録画一覧に表示されない場合があります。「視聴制限一時解除」を行うと、表示されるようになります。

再生できない

- 他の機器（ブルーレイディスクレコーダーやパソコンなど）で録画したコピー制限のある番組は、本機の HDD へダビングしても、著作権保護のため再生できません。
- SDカードやUSB機器のMPEG2動画またはUSB機器のハイビジョン動画 (AVCHD) は直接再生できません。HDD などにダビングしてから再生してください。

番組の先頭から再生が始まらない

- 続き再生メモリー機能が働いています。HDD に記録した番組は、以下の手順で先頭から再生してください。
  ① 録画一覧表示中に、番組を選んで **[サブ メニュー]** を押す
  ② 「先頭から再生」を選んで **[決定]** を押す
  ･ディスクの止めた位置は、トレイを開けると解除されます。

自動 CM 早送りが働かない

- 録画内容により、正しく働かないことがあります。
- 以下の場合は、働きません。
  ･DR モードの番組
  ･DV 入力 /i.LINK(TS) 入力から録画した番組
  ･マルチ音声の番組

映像が乱れたり、正しく再生されない

- 天候などにより電波の悪い状態で録画した番組を再生していませんか。
- 録画モードや、映像の横縦比などの異なるつなぎ目では、一瞬映像が乱れたり、黒い画面になる場合があります。
- i.LINK(TS) ダビングをした番組は、番組の一部が欠けている場合があります。
- 2 倍速対応以下の DVD に記録された高画質（転送レート約 18 Mbps 以上）の動画は、正しく再生できません。

なめらかに再生されない（映像や音声が一瞬止まる）

- 以下の場合、なめらかに再生されない場合があります。（「シームレス再生」(➜154)を「入」に設定しても改善されません）
  ･DR モードの番組
  ･「信号切換」の「字幕」を「オン」にして再生
  ･シーンの切り換わりや、字幕や音声の切り換え時
  ･片面 2 層の -R の層の変わり目
- 取り込んだハイビジョン動画など、転送レートの高い動画は、なめらかにスロー再生されない場合があります。

字幕が出ない、切り換えられない

- BDビデオやDVDビデオに字幕が収録され、「字幕情報」(➜62)が「入」になっていますか。
- 「DR」「HG」「HX」「HE」「HL」「HM」「HZ」モードの番組は、「字幕」(➜62)を「オン」にしてください。
- 「XP」「SP」「LP」「EP」「FR」モードの番組は、「字幕」(➜26、39、79)を「オン」にして記録した場合に字幕が表示されます。字幕表示の入 / 切はできません。

音声言語や字幕言語が切り換えられない

- 「音声情報」、「字幕情報」(➜62)ではなく、ディスクのメニュー画面でのみ切り換えられるディスクもあります。

故障かな !?(つづき)

BD ビデオの副映像が再生されない

●以下の場合、副映像は再生されません。
・早送り・早戻し、早見再生、スロー再生、コマ送り中
・「アニメ」(➜63)の「原画解像度」の設定を「720i/p」または「480i/p」にして再生中

BD ビデオや DVD ビデオの視聴制限の暗証番号を忘れた 視聴制限を解除したい

●視聴制限の内容を工場出荷時の状態に戻してください。
① **[決定]**と**[青]**と**[黄]**を同時に 5 秒以上押す（本体表示窓に "00 RET" が表示されます）
② 本体表示窓に "03 VL" が表示されるまで **[▶]** を押す
③ **[決定]**を押す

プログレッシブ出力で DVD ビデオを再生時、映像が二重にぶれる

●映像そのものの編集方法や素材の状態に起因する症状です。インターレース出力にすれば問題なく再生できます。「D 端子出力解像度」(➜157)を「D1」にしてください。
HDMIケーブルでテレビと接続している時は、以下の手順で設定してください。
① HDMI 端子以外の映像端子で接続する
② 「HDMI 映像優先モード」(➜137)を「切」にする
③ 「D 端子出力解像度」(➜157)を「D1」にする

3D 映像が出力されない

●本機とテレビの設定は正しいですか。
●本機とテレビの間に接続しているアンプの電源は入っていますか。
●本機とテレビの間に 3D 非対応のアンプを接続していませんか。

3D 映像が正しく 2D 出力されない

●「3D ディスクの再生方法」(➜153)が「2D 再生」に設定されていますか。
●サイドバイサイド(2 画面構成)などの放送を記録した番組は、2D 再生すると 2 画面で出力されます。

ダビング

ダビングできない

●録画モード「XP」「SP」「LP」「EP」「FR」で録画した番組は **RAM(AVCREC)** **-R(AVCREC)** にはダビングできません。
●HDDから **-R(V)** **-RW(V)** へのダビング時、HDDの残量が少ないときはダビングできません。HDD の不要な番組を消去してください。
（使用するディスクによっては、HDD の残量が SP モードで最大 4 時間必要な場合があります）
●市販やレンタルの DVD などコピー禁止処理された映像はダビングできません。
●チャプター数や管理情報がいっぱいになり、ダビングできない場合があります。
●高画質(転送レート約 18 Mbps以上)の動画を、2倍速対応以下の DVD に取り込むことはできません。

高速ダビングできない

●以下の場合、1 倍速でのダビングになります。
・「XP」「SP」「LP」「EP」「FR」モードの番組を **BD-RE** **BD-R** にダビングする
・DR モードの番組を DVD にダビングする
・「HG」「HX」「HE」「HL」「HM」「HZ」モードの番組を **RAM(VR)** **-R(VR)** **-RW(VR)** にダビングする
・「高速ダビング用録画」(➜153)を「切」にしてHDDに記録した番組を **-R(V)** **-RW(V)** にダビングする
・部分消去を 255 回以上行った番組を **-R(V)** **-RW(V)** にダビングする
・ディスクの記録容量を超えてダビングする
・1080/60p(1920 × 1080/60 プログレッシブ)記録の番組をディスクにダビングする
・**BD-RE** **BD-R** から「XP」「SP」「LP」「EP」「FR」モードの番組を HDD にダビングする
・**DVD-V** から HDD にダビングする

高速ダビングに時間がかかる

●ディスクの倍速対応によってダビング速度が変わります。
●「高速ダビング速度」(➜154)の設定によってダビング速度が変わります。

高速ダビング時の動作音が大きい

●高速記録対応ディスクへ高速ダビングする場合、「高速ダビング速度」(➜154)を「静音モード」にすると動作音を抑えることができます。

編集

番組を消去しても残量が増えない

●BD-R -R 消去しても増えません。
●-RW(V) 最後に記録した番組を消去したときのみ、増えます。途中の番組を消去しても増えません。

編集できない

●HDD 残量がないと、編集ができなくなることがあります。不要な番組を消去してください。
●以下のディスクの場合、編集できません。
・ファイナライズ済みのディスク
・AVCHD のディスク
●本機では持ち出し番組の編集はできません。

部分消去の開始点や終了点が設定できない

●開始点と終了点の間が短い場合や、開始点が終了点の後ろにある場合、すでに設定している区間に重なる場合は設定できません。

プレイリストが作成できない

●本機ではプレイリストの作成はできません。

持ち出し番組

持ち出し番組が作成できない

●ダビングができない番組は持ち出し番組を作成できません。
●HDD の残量が少ない場合や、HDD の番組数がいっぱいの場合、持ち出し番組は作成できません。
●録画先が「HDD」以外の場合、持ち出し番組は作成できません。

持ち出し番組が転送できない

●SD カードの著作権の管理情報がいっぱいの場合、転送できません。
管理情報を消去するためには、SD カードをフォーマットしてください。ただし、記録されている内容もすべて消去されます。

持ち出し番組が再生できない

●本機では持ち出し番組の再生はできません。
●高画質 (VGA) の持ち出し番組は、高画質 (VGA) に対応したモバイル機器でしか再生できません。
●「持ち出し番組の VGA 画質」(➜154)を「モード1(1.5Mbps)」で記録すると再生できない場合があります。その場合は、画質を「モード2 (1.0Mbps)」に設定して、持ち出し番組を作成し直してください。

写真

SD カードの内容を読めない

●本機の電源を切ってから SD カードを入れ直してください。
●本機に対応していない SD カードは使えません。

取り込みに時間がかかる

●ファイル数やフォルダ数が多い場合、または写真の解像度が高い場合、数時間かかることがあります。

他機器との連携

i.LINK(TS) ダビングができない

- 接続した機器が本機で対応している機器か確認してください。
- 接続した機器の電源が「切」になっていませんか。
- 接続した機器側で、i.LINK(TS) が動作する設定になっていますか。
- 本機の初期設定で以下の設定をしてください。
  ・「i.LINK 機器モード設定」(➜158):「TS モード」

ビデオやビデオカメラからダビングできない

- 接続と接続機器の設定などを確かめてください。
- **[入力切換]**(ふた内部)で外部機器を接続した外部入力チャンネルを選んでいますか。
- DV おまかせ取込をする場合は、本機の初期設定で以下の設定をしてください。
  ・「i.LINK 機器モード設定」(➜158):「DV モード」
  うまく働かない場合は、接続と DV 機器側の設定を確かめ、電源を入れ直してください。それでも働かない場合は、「接続した DV 機器を再生してダビングする」(➜88)を行ってください。

USB 機器が正しく認識しない

- 本機は当社製のデジタルハイビジョンビデオカメラ、SD ビデオカメラ、デジタルカメラ、携帯電話、ポータブルテレビ(ビエラ・ワンセグ)と接続することができます。それ以外の USB 機器については動作保証していません。
- USB 接続ケーブルを抜き差ししてください。それでも認識しない場合は、本機の電源を入れ直してください。
- 本機と接続するための設定が、接続した USB 機器側で正しく設定されていますか。接続機器の説明書をご覧ください。
- USB 機器に SD カードが正しく入っていますか。
- 再生、録画またはダビング中などに、USB機器が接続された場合は、認識しないことがあります。

記録したディスクが他の機器で再生できない

- **BD-R** **-R** **-RW** ファイナライズしていますか。(➜121)
- AVCREC方式やVR方式のDVDの場合、再生する機器が、そのディスクの AVCREC 方式や VR 方式の再生に対応している必要があります。

ビエラリンク (HDMI)

ビエラリンク (HDMI) が働かない

- 本機の電源を「入」にしたときに、本体表示窓に “HDMI” が表示されない場合は、HDMI ケーブルの接続を確認してください。
- 「ビエラリンク制御」(➜156)が「入」になっていますか。
- 接続した機器側のビエラリンク (HDMI) の設定を確認してください。
- HDMI 機器の接続を変更したとき、停電やコンセントの抜き差しをしたとき、ダウンロードを実行したときなどにビエラリンク(HDMI)が動作しなくなる場合があります。このときは、設定をやり直してください。

「番組ぴったりサウンド」が働かない

- 「オートサウンド連携」(➜156)が「入」になっていますか。
- 接続した機器の電源を入れる順番によっては、正しく働かない場合があります。その場合、テレビ(ビエラ)の入力を HDMI 入力以外に切り換えたあと、再び本機を接続した HDMI 入力に切り換えてください。

番組表

番組表データが受信できない

- 本機をはじめてご使用のときや、約1週間以上本機の電源コードを抜いていた場合は、番組表を受信できていないため、表示できません。

番組表データが更新されない

- データ受信中に電源を入れたり、本機を使用中などでデータを受信しなかった場合は、更新されません。前回受信したデータが残ります。
  データ受信時に本機の電源が「切」状態であれば、自動的に内容を更新します。
  （データ受信時に電源コードは抜かないでください。電源スイッチのある延長コードをお使いの場合は、延長コードの電源スイッチは切らないでください。）

1ヵ月の番組表や注目番組が受信できない

- ネットワークの接続と設定を確認してください。**(➜127、142)**
- 「通信によるGガイド受信」**(➜149)**の設定を「オン」にしてください。
- 1ヵ月の番組表は WOWOW、注目番組は NHK、WOWOW のみ受信できます。（2011 年 2 月現在）

お部屋ジャンプリンク (DLNA)

別の部屋のテレビなどで再生（サーバーとして使用）できない

- 接続や設定を確認してください。
- 「機器一覧」**(➜159)**で、再生する機器が［許可］になっていますか。
- 再生する機器によっては、録画中の番組や「HG」「HX」「HE」「HL」「HM」「HZ」モードの番組、取り込んだハイビジョン動画 (AVCHD) は再生できません。

別の部屋の機器の映像を再生（クライアントとして使用）できない

- 接続した機器側で本機が登録されていますか。
- すべての映像を再生できるわけではありません。詳しくは接続した機器の説明書をご覧ください。

再生できない、または映像が途切れる（無線 LAN 接続時）

- 802.11n（2.4 GHz/5 GHz 同時使用可）の無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）をお選びください。5 GHz でのご使用をおすすめします。
  2.4 GHzで電子レンジやコードレス電話機などを同時にご使用の場合、通信が途切れたりします。また、暗号化方式は「AES」にしてください。
- 「無線設定」**(➜158)**の画面で「電波状態」のインジケーターが 4 つ以上点灯していることが、安定した受信状態の目安です。3つ以下、または通信の途切れなどが発生する場合は、無線LANアダプターや無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）の位置や角度を調節して通信状態が良くなるかお確かめください。
  （無線 LAN アダプターは、無線 LAN アダプターに付属の USB 延長ケーブルを使って調節してください）

ブロードバンドレシーバー

TZ-BDT910P のみ (2011 年 2 月現在)

操作できない

●ネットワーク接続は正しいですか。
●通信状況(電波の届きにくいところやネットワークの状況)などにより、操作できないときがあります。
●オンエアーダウンロード中は、操作できません。また、お使いの環境により、ダウンロード終了後も一時的に操作できないことがあります。

携帯電話で本機を操作できない

●「ブロードバンドレシーバー設定」(➜ 159)が選ばれている状態で、「インターネット接続」と表示されていない場合、接続を確認してください。
●本機が使用中の場合、操作できないことがあります。
●加入しているサービスの会員登録や機器登録の内容を確認してください。
●ルーターの設定(DHCPサーバー機能やセキュリティーなど)を確認してください。詳しくは、ルーターの説明書をご覧ください。
●回線業者や対応するプロバイダーがルーターの使用を制限している場合があります。加入している回線業者やプロバイダーにお問い合わせください。

機器パスワードを忘れた

●加入しているサービスで機器登録を削除後、「機器パスワード初期化」(➜ 159)を行ってください。そのあと、パスワードを再設定してください。

ドアホン･センサーカメラ録画

操作できない

●ネットワーク接続は正しいですか。
●通信状況(電波の届きにくいところやネットワークの状況)などにより、操作できないときがあります。
●オンエアーダウンロード中は、操作できません。また、お使いの環境により、ダウンロード終了後も一時的に操作できないことがあります。

ドアホン･センサーカメラ録画ができない

●「ドアホン･センサーカメラの接続設定」(➜ 159)画面を表示し、接続設定を確認してください。
●ドアホンまたはセンサーカメラ側の設定を確認してください。
●２番組を録画中、ダビングと録画の同時実行中はできません。(通知のみ記録します)
●HDD 管理画面表示中、初期設定画面表示中、ファイナライズ中、ドアホン･センサーカメラ映像の編集の処理中、バックアップ･復元中などの動作が優先され、録画ができない場合があります。

その他

操作一覧が表示されない

●本機の入力が「i.LINK(TS)」になっていませんか。
[入力切換](ふた内部)を押して「i.LINK(TS)」以外を選んでから、**[操作一覧]** を押してください。

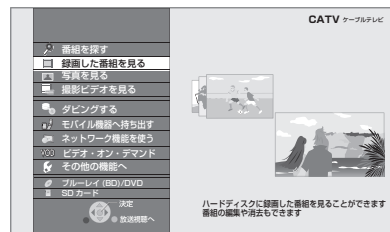
操作一覧について

操作一覧画面から本機の各機能の操作を行うことができます。

- ディスクの種類、記録状態によって、選択できる項目は異なります。

操作一覧 を押す

- 放送メール (➔147)
- 番組を探す (➔21、30)
- 録画した番組を見る HDD (➔50)
- 写真を見る HDD (➔91)
- 撮影ビデオを見る HDD (➔50)
- ダビングする
  - かんたんダビング (➔72)
  - 詳細ダビング (➔74)
- モバイル機器へ持ち出す
  - かんたん転送 (➔99)
  - 持ち出し番組一覧 (➔100)
- ネットワーク機能を使う
  - お部屋ジャンプリンク(DLNA) (➔110)
  - テレビでネット 「テレビでネット」が使用できるときに表示
- VOD ビデオ・オン・デマンド VODが使用できるときに表示
- その他の機能へ
  - 予約確認 (➔41)
  - 新番組おまかせ録画 (➔37)
  - ぴったり録画 (➔29)
  - DVおまかせ取込 (➔88)
  - i.LINK(TS)ダビング (➔83)
  - i.LINK再生 (➔90)
  - ドアホン・センサーカメラ映像 (➔102)
  - 放送設定 (➔149)
  - 初期設定 (➔152)
  - メール/情報 (➔147)
  - USB機器
    - USB機器
      - 写真 (➔91、94)
      - 撮影ビデオ (➔86)
      - 持ち出し番組 (➔100、101)
      - 持ち出し番組のかんたん転送 (➔99)
      - 書込許可：記録できます。
      - サブメニュー 決定 戻る
- ブルーレイ (BD)/DVD
  - BD-RE BD-R RAM -R -RW 挿入時 例）RAM(VR)
    - 録画した番組を見る (➔50)
    - プレイリストを見る (➔61)
    - 写真を見る (➔91)
    - 写真かんたん取込 (➔94)
    - DVD管理 (➔118～121)※
    - ※ BD挿入時は「BD管理」表示
  - AVCHD 挿入時 例）DVD-RAM
    - 撮影ビデオ(AVCHD)を見る (➔51)
    - 写真を見る (➔91)
    - 撮影ビデオ(AVCHD)を取込 (➔86)
    - 写真かんたん取込 (➔94)
  - BD-V 挿入時
    - BD-Videoを再生する (➔50)
  - DVD-V 挿入時
    - DVD-Videoを再生する (➔50)
- SD カード
  - SD 挿入時
    - 持ち出した番組を確認 (➔101)
    - 撮影ビデオ(AVCHD)を見る (➔51)
    - 写真を見る (➔91)
    - 撮影ビデオ(AVCHD)を取込 (➔86)
    - 撮影ビデオ(MPEG2)を取込 (➔87)
    - 写真かんたん取込 (➔94)
    - カード管理 (➔119)
- 決定
- 放送視聴へ

- 「録画した番組を見る」「撮影ビデオを見る」を選ぶと、HDD 内の未視聴で最新の 10 番組を表示します。[ダウンロードした番組(➔106)や「1 回だけ録画可能」な番組を除く]
  - ・番組数が 10 未満の場合は、サンプルの画像を表示します。
  - ・同時操作中は、サンプルの画像の動きが遅くなる場合があります。

必要なとき

表示マーク一覧

●本機は表示マーク(機能表示のシンボルマーク)によって、表示画面の情報をお知らせします。
●放送局から情報が送られてこない場合は、正しい表示マークを表示しない場合があります。

番組内容画面

マーク	内容
テレビ	テレビ放送(映像+音声)の番組
ラジオ	ラジオ放送の番組
データ	データ放送の番組
d テレビ	番組とは別のデータ放送を行っている番組
+d テレビ	番組内容に関連したデータ放送を行っている番組
d ラジオ	ラジオ放送で、番組とは別のデータ放送を行っている番組
+d ラジオ	ラジオ放送で、番組内容に関連したデータ放送を行っている番組
制限 COPY	「ダビング 10」または「1 回だけ録画可能」のコピー制限のある番組
●●● 信号	映像や音声などの信号切り換えできる番組
字幕	字幕(日本語/英語)の情報が含まれている番組
16:9 1080i	番組の映像信号情報 上:画面の横縦比(16:9、4:3) 下:信号方式 (デジタルハイビジョン放送－ 1080i、720p) (デジタル標準テレビ放送－ 480p、480i)

マーク	内容
主+副	二重音声信号で、「主+副」の音声の番組
モノラル	モノラル音声の番組
ステレオ	ステレオ放送の番組
サラウンド	5.1ch などのサラウンド放送の番組
有料	有料のデータを含む番組 (ペイ・パー・ビュー番組)
20 才~	視聴年齢制限がある番組 (表示される年齢は4～20才まであります)
3D	3D 映像の番組 (番組によっては、表示されない場合もあります)
デジタル XCOPY	著作権が保護されているため「録画禁止」の番組
デジタル 1COPY	「1 回だけ録画可能」のコピー制限のある番組

予約一覧画面

アイコン	説明
	全編の録画が可能な番組
	予約登録後に放送時間が変更になったが、全編の録画が可能な番組
	番組表を使って予約した番組
	時間指定予約で予約した番組
	時間変更追従を実行中(時間確認中)
毎週 / 毎日 / 月~土 / 月~金	毎日·毎週予約の番組
	曜日指定した毎日·毎週予約のときに表示
毎週更新 / 毎日更新 / 月~土更新 / 月~金更新	毎日·毎週予約で自動更新をする番組(前回録画した内容に上書きして録画します)

アイコン	説明
	録画できない場合があるときなどに表示されます。**[決定]**を押して、予約内容を確認してください。
重複	予約時間が重なっている番組
シリーズ終了	毎日·毎週予約していた番組が終了したときに表示されます。予約を登録し直すことをおすすめします。
警告	予約登録したチャンネルが見つからなかった番組
新番組	「新番組おまかせ録画」で自動的に予約された番組
注目番組	注目番組一覧から予約した番組
まとめ予約	「注目まとめ予約」で予約した番組
自動予約	ブロードバンドレシーバー機能を使って自動予約された番組
DR切換	「HG」「HX」「HE」「HL」「HM」「HZ」モードで録画中に「DR」モードに切り換えて録画している番組
残量不足	HDD の残量が不足していて録画できない番組
番組数FULL	HDD の番組数がいっぱいで録画できない番組
予約実行切	予約の実行が「切」になっている番組
未実行	予約録画が実行されなかった番組
一部未実行	予約録画中に停止されたなど一部が実行されなかった番組や番組視聴の契約がされていなかった番組

予約一覧画面(つづき)

マーク	内容
	番組表を使って毎日·毎週予約した番組で、予約した番組と同じ名前の番組が見つけられずに予約を実行した場合に表示 HG、HX、HE、HL、HM、HZモードで録画中に DR モードに切り換えて録画した番組(電源「切」時に予約時の録画モードに自動変換します)
お知らせ	1ヵ月より先の番組予約です。 1ヵ月以内になったときに録画可能かどうかが表示されます。
	番組表を使って予約したペイ·パー·ビュー番組
	HDDがいっぱいで録画が中断された番組
	録画禁止信号により録画が中断された番組
	ディスクが未挿入などで、HDD に代替録画される番組
	録画中の番組
	番組購入できずに予約録画に失敗したペイ·パー·ビュー番組

録画一覧、写真一覧、曲一覧画面

マーク	内容
	新しく録画してまだ見ていない番組
	「新番組おまかせ録画」で録画された番組
	2つ以上の番組がまとめられた、まとめ番組
	HDDに代替録画された番組
	録画禁止信号により録画できなかった番組
	録画した 3D 映像の番組(番組によっては、表示されない場合もあります) 取り込んだ 3D の写真
1080 60p	取り込んだ 1080/60p (1920 × 1080/60 プログレッシブ) 記録の番組
	書き込み禁止(プロテクト)設定した番組や写真
	ブロードバンドレシーバー機能を使って自動予約録画された番組
	HDDにダビング中の番組や視聴期限の過ぎたダウンロードした番組(➜ 106)またはデータが壊れているなど、再生できない番組
10 (数字は 10~2)	本機で録画したコピー制限のある番組。数字はダビングできる残り回数です。 ダビングするたびに数字は少なくなります。
1 (赤)	本機で録画したコピー制限のある番組 ダビングするとダビング元の番組は消去されます
(白)	ダウンロードした番組(➜ 106)でディスクへダビングできる回数が残り1回の番組
	ダビングできない番組
	新しく取り込んだ写真
	再生中の曲
	録画·ダウンロード中の番組

ダビング、持ち出し番組一覧画面

	録画モード「DR」「HG」「HX」「HE」「HL」「HM」「HZ」で録画された番組 取り込んだハイビジョン動画 (AVCHD)
	録画モード「DR」で録画された番組 [i.LINK(TS)ダビング時]
	2つ以上の番組がまとめられた、まとめ番組
	-R(V) -RW(V) に高速でダビングできる番組
	ダビングすると移動する番組 (詳細ダビング時)
	静止画を含むもの (HDD に静止画部分はダビングされません)
	録画した 3D 映像の番組(番組によっては、表示されない場合もあります)
1080 60p	取り込んだ 1080/60p (1920 × 1080/60 プログレッシブ) 記録の番組

(数字は10~2)	本機で録画したコピー制限のある番組。数字はダビングできる残り回数です。 ダビングするたびに数字は少なくなります。
(赤)	本機で録画したコピー制限のある番組 ダビングするとダビング元の番組は消去されます
(白)	ダウンロードした番組(➜106)でディスクへダビングできる回数が残り1回の番組
	ダビングできない番組
(数字は1~99)	ダビング登録した番組(かんたんダビング時)。数字の小さい番組から順にダビングします。
	かんたん転送するように登録されている番組
	持ち出し方法を「SD/USB 経由」で作成した高画質 (VGA) の番組
	持ち出し方法を「ネットワーク経由」で作成した高画質 (VGA) の番組

その他の画面

	メール一覧画面で、お客様がまだ読まれていないメール(未読メール)(➜147)
	番組表を使って予約された番組の番組表上での表示
	ドアホン・センサーカメラ映像一覧でまだ表示していない映像

	メール一覧画面で、お客様がすでに読まれたメール(既読メール)
	「新番組おまかせ録画」で予約された番組の番組表上での表示

用語解説

タ ダウンミックス
サラウンドの音声を２チャンネルなどに混合することです。

ハ ファイナライズ
番組を記録したDVD-Rなどを再生対応機器で再生できるように処理することです。ファイナライズすると記録や編集はできなくなります。

フォーマット
記録前のDVD-RAMなどを録画機器で記録できるように処理することです。初期化ともいいます。フォーマットすると、それまでに記録していた内容はすべて消去されます。

プロキシアドレス
ブラウザの代わりに目的のサーバーに接続し、ブラウザにデータを送る中継サーバーのアドレス。
ご加入のケーブルテレビ局からの指定があるときのみ、設定が必要です。（例：proxy. ○○○ .ne.jp）

プロキシポート番号
プロキシアドレスと共に、ご加入のケーブルテレビ局から指定される番号です。（例：8000）

プログレッシブ (p) / インターレース (i)
インターレース（飛び越し走査）は、画面の表示を奇数段と偶数段の２回に分けて行う従来の映像信号です。
プログレッシブ（順次走査）は、画面の表示を１回で行います。そのため、インターレースに比べてちらつきを抑えた高精細な映像を再現できます。

ワ ワンセグ
ワンセグ（地上デジタルテレビ放送 １ セグメント部分受信サービス）とは、携帯端末向けの地上デジタルテレビ放送です。放送内容は基本的に地上デジタル放送の通常の番組と同じですが、屋外を移動しながらでも映像と音声を楽しむことができます。

A AAC（Advanced Audio Coding）（エーエーシー（アドバンスド オーディオ コーディング））
デジタル放送で標準に定められたデジタル音声方式で、CD並みの音質データを約 1/12まで圧縮できます。また、5.1 チャンネルのサラウンド音声や多言語放送を行うこともできます。

AVCHD（エーブイシーエイチディー）
高精細なハイビジョン映像を ８ cmDVD 記録用ディスクやメモリーカード上に撮影記録できるように開発された新しいビデオカメラ記録フォーマット（規格）の名称です。

B BD - J（ビーディー ジェイ）
BDビデオには、JAVAアプリケーションを含むものがあり、そのアプリケーションはBD-Jと呼ばれます。通常のビデオの操作に加えて、いろいろなインタラクティブな機能を楽しむことができます。

Bitstream（ビットストリーム）
圧縮され、デジタルに置き換えられた信号です。
AVアンプなどに搭載されたデコーダーによって、5.1 chなどのサラウンド音声信号に戻されます。

C CAS（キャス）
ケーブルテレビや BS･CS デジタル放送などの有料放送サービスにおいて用いられている、限定視聴制御方式です。ケーブルテレビ加入者が視聴契約に基づいて視聴するチャンネル制御や番組視聴情報を管理します。

CPRM（シーピーアールエム）（Content Protection for Recordable Media）（コンテント プロテクション フォー レコーダブル メディア）
デジタル放送のコピー制御信号が加えられた番組に対する著作権保護技術のことです。コピー制御信号が加えられた番組は、CPRM に対応した機器とディスクに記録できます。

D D映像端子
コンポーネント（色差）ビデオ信号と制御信号を１つにまとめた端子で、デジタル放送やDVDプレーヤーなどに対応しています。色信号の干渉を避けるために、映像信号を輝度、赤系、青系の３つの信号に分け、それぞれの専用回路で信号処理し、画面に映すときに合成しますので、より自然に近い映像がお楽しみいただけます。

Deep Color（ディープ カラー）
８ bit 以上の色情報を扱える高色域規格の１つです。Deep Color 対応のテレビに接続することで、映像を8bit以上の高階調表示に変換して表示します。

DLNA (Digital Living Network Alliance)

ホームネットワーク環境に接続したデジタル機器同士などを連携させて、簡単に、便利に使用するための技術です。

Dolby Digital

ドルビー社の開発したデジタル音声の圧縮方式です。ステレオ（2 ch）はもちろん、サラウンド音声にも対応しており、大量の音声データを効率よくディスクに収めることができます。

Dolby Digital Plus

ドルビーデジタルの改良版で、さらなる高音質、5.1ch 以上の多チャンネル、より広いビットレートを実現しています。BD規格では最大 7.1ch まで対応しています。

Dolby TrueHD

DVDオーディオで採用されているMLPロスレスの機能拡張版でスタジオマスターの音声データを完全に再生する高品位な音声方式です。BD 規格では最大 7.1ch まで対応しています。

DTS (Digital Theater Systems)

映画館で多く採用されているサラウンドシステムです。チャンネル間のセパレーションも良く、リアルな音響効果が得られます。

DTS - HD

映画館で採用されているDTSをさらに高音質/高機能化した音声方式で、下位互換性により従来のAV アンプでも DTS として再生できます。BD 規格では最大 7.1ch まで対応しています。

H

HDD（ハードディスクドライブ）

パソコンなどで使われている大容量データ記憶装置の 1 つです。表面に磁性体を塗った円盤（ディスク）を回転させ、磁気ヘッドを近づけて大量のデータの読み書きを高速で行います。

HDMI (High-Definition Multimedia Interface)

HDMIとは、デジタル機器向けのインターフェースです。従来の接続と違い、1本のケーブルで非圧縮のデジタル音声･映像信号を伝送することができます。

I

i.LINK

i.LINK端子を持つ機器間で映像や音声などのデータ転送や、接続した機器の操作ができるシリアル転送方式のインターフェースです。

i.LINKはIEEE1394の呼称で、IEEE（米国電子電気技術者協会）によって標準化された国際規格です。

J

JPEG (Joint Photographic Experts Group)

カラー静止画を圧縮、展開する規格の1つです。デジタルカメラなどで保存形式としてJPEGを選ぶと、元のデータ容量の1/10～1/100に圧縮されますが、圧縮率の割に画質の低下が少ないのが特長です。

L

LPCM（リニア PCM）

CDなどで使われている、圧縮せずにデジタル信号に置き換えられた音声信号です。

M

MAC アドレス

家庭内ネットワークで接続されている機器を特定するための番号です。

MPEG-2、MPEG-4 AVC / H. 264

カラー動画を効率良く圧縮、展開する規格の1つです。

MPEG-2は デジタル放送やDVDなどに使われる圧縮方式で、MPEG-4 AVC/H.264 はハイビジョン映像の録画などに使われる圧縮方式です。

P

PCM (Pulse Code Modulation)

アナログ音声をデジタル音声に変換する方式の 1 つで、手軽にデジタル音声が楽しめます。

Q

QVGA (Quarter Video Graphics Array)

画面の解像度（本機では 320 × 180）を示す表記の 1 つです。

U

USB (Universal Serial Bus)

周辺機器を接続するためのインターフェース規格です。

V

VBR (Variable Bit Rate)

映像の情報量や複雑さに合わせて、圧縮率を変化させる記録方式です。

● VGA(Video Graphics Array)
ブイジーエー ビデオ グラフィックス アレイ

画面の解像度(本機では 640 × 360)を示す表記の 1 つです。

● VOD
ビデオ・オン・デマンド

お客様が観たいときに観たい番組を配信するサービスです。「ビデオ・オン・デマンド」の略です。

❶ 1080p、1080i、720p、480p、480i

映像信号の有効走査線数と走査方式の略称を表しています。テレビ放送は 1 コマの画像を走査線と呼ばれる細い横線に分解して送っており、受信する機器側で元の画像に組み立てて表示します。
有効走査線数は、実際の画面を構成する走査線数のことをいいます。インターレース(i=飛び越し走査)は、1 行おきに走査する方式です。プログレッシブ(p= 順次走査)は、上から順に走査する方式で、インターレースよりちらつきの少ない画像になります。
また、1080p、1080i、720p、480p、480i の表示は総走査線数にあたる 1125p、1125i、750p、525p、525i と表示されることもあります。

❷ 24p

毎秒 24 フレーム(映画フィルムと同じ)で記録したプログレッシブ映像です。

仕様

この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

TZ-BDT910M **TZ-BDT910F**

電源　AC 100 V、50/60 Hz

消費電力

・電源入：30 W

・電源切：7 W

[クイックスタート「入」、ケーブルモデム電源「切」、時計表示点灯、外部接続端子(LAN、USB、DV)未接続時]

0.1 W

[クイックスタート「切」、ケーブルモデム電源「切」、時計表示消灯、外部接続端子(LAN、USB、DV)未接続時]

TZ-BDT910P

電源　AC 100 V、50/60 Hz

消費電力

・電源入：25 W

・電源切：7 W

[クイックスタート「入」、時計表示点灯、外部接続端子(LAN、USB、DV)未接続時]

0.1 W

[クイックスタート「切」、時計表示消灯、外部接続端子(LAN、USB、DV)未接続時]

本体

寸法	幅 430 mm×高さ 59 mm×奥行 238 mm (突起部含まず) 幅 430 mm×高さ 59 mm×奥行 249 mm (突起部含む)
本体質量	約 3.2 kg
許容周囲温度	5 ℃～40 ℃
許容相対湿度	10%～80%RH (結露なきこと)
時計	クォーツ制御、24時間、デジタル表示

テレビジョン方式

デジタル放送 **TZ-BDT910M**	**受信変調方式：** 64QAM(Annex.C) **受信周波数帯域：** 90 MHz ～ 770 MHz **入力レベル：** 49 ～ 81 dBμV(平均値)
デジタル放送 **TZ-BDT910F** **TZ-BDT910P**	**受信変調方式：** 64QAM(Annex.C) **受信周波数帯域：** 90 MHz ～ 770 MHz **入力レベル：** 49 ～ 81 dBμV(平均値) **受信変調方式：** OFDM **受信周波数帯域：** 90 MHz ～ 770 MHz **入力レベル：** 47 ～ 81 dBμV(平均値)
ケーブルモデム **TZ-BDT910M** **TZ-BDT910F**	**受信変調方式：** 64QAM/256QAM(Annex.B) **受信周波数帯域：** 90 MHz ～ 770 MHz **入力レベル：** 49 ～ 79 dBμV(平均値) **送信変調方式：** QPSK/8/16/32/64/128QAM **送信周波数帯域：** 10 MHz ～ 55 MHz **出力レベル：** 68 ～ 118 dBμV

仕様(つづき)

入出力端子(映像・音声を除く)

ケーブル端子	F型接栓、75 Ω
分配出力端子	F型接栓、75 Ω
DV入力/ TS入出力端子	4ピン: 前面 1系統(IEEE1394準拠)
SDメモリー カードスロット	1系統
LAN端子	1系統(10BASE-T/100BASE-TX)
USB 端子	2系統(前面 / 後面) (DC 5 V MAX 500 mA)

映像

記録圧縮方式	MPEG-2(Hybrid VBR) MPEG-4 AVC/H.264
映像出力	**出力端子** :1系統(ピンジャック) **出力レベル** :1.0 Vp-p 75 Ω
D端子映像出力 (D1/D2/ D3/D4端子)	**出力端子** :1系統 (480i/480p/1080i/720p) **Y出力レベル** :1.0 Vp-p 75 Ω **CB/PB出力レベル**:0.7 Vp-p 75 Ω **CR/PR出力レベル**:0.7 Vp-p 75 Ω
HDMI 映像・音声出力	**出力端子:** 1系統(19ピン typeA端子) HDMI [本機はビエラリンク(HDMI)Ver.4に対応しています] (480p/1080i/720p/1080p)

音声

記録方式	●**MPEG-2 AAC** (DR、HG、HX、HE、HL、HM、HZモード・デジタル放送記録時): 最大 5.1ch 記録 ●**Dolby Digital** (XP、SP、LP、EP、FR モード): 2ch記録 ●**リニアPCM**(XPモード): 2ch記録 (XP モードのみ Dolby Digital と切り換え可)
アナログ出力	**出力端子** :2ch出力 1 系統(ピンジャック) **出力レベル:** 250 mV[rms](標準)※1 出力インピーダンス:2.2 kΩ 以下
チャンネル数	**記録**:2ch(デジタル放送記録時:最大5.1ch) **再生**:2ch HDMI 出力:最大 7.1ch 光デジタル出力:最大 5.1ch (Bitstream)
デジタル出力	**光デジタル音声出力端子**:1系統 − 18 dBm 660 nm ※2 (PCM、Dolby Digital、DTS、MPEG-2 AAC対応) **HDMI 映像・音声出力端子**: 1 系統 (PCM、Dolby Digital、DTS、MPEG-2 AAC対応) (Dolby Digital Plus、Dolby TrueHD、DTS-HD Master Audio、DTS-HD High Resolution Audio 対応、対応アンプに接続時のみ Bitstream 出力可能)

HDD/BD部

内蔵HDD容量	500 GB
記録可能なディスク※3	●BD-RE (25 GB:片面1層/50 GB:片面2層) 1-2X SPEED(Ver.2.1 準拠) (1X SPEED Ver.1.0は非対応) (100 GB:片面3層) 2X SPEED(Ver.3.0 準拠) ●BD-R (25 GB:片面1層/50 GB:片面2層) 1-2X SPEED(Ver.1.1 準拠) 1-4X SPEED(Ver.1.2 準拠) 1-6X SPEED(Ver.1.3 準拠) (25 GB:片面1層のみ) 1-2X SPEED LTH type (Ver.1.2 準拠) 1-4X SPEED LTH type (Ver.1.3 準拠) 1-6X SPEED LTH type (Ver.1.3 準拠) (100 GB:片面3層/128 GB:片面4層※4) 2-4X SPEED(Ver.2.0 準拠) ●DVD-RAM※5: 2X SPEED(Ver.2.0 準拠) 2-3X SPEED(Ver.2.1 準拠) 2-5X SPEED(Ver.2.2 準拠) ●DVD-R: 1X SPEED(Ver.2.0 準拠) 1-4X SPEED(Ver.2.0 準拠) 1-8X SPEED(Ver.2.0 準拠) 1-16X SPEED(Ver.2.1 準拠) ●DVD-R DL: 2-4X SPEED(Ver.3.0 準拠) 2-8X SPEED(Ver.3.0 準拠) ●DVD-RW: 1X SPEED(Ver.1.1 準拠) 1-2X SPEED(Ver.1.1 準拠) 2-4X SPEED(Ver.1.2 準拠) 2-6X SPEED(Ver.1.2 準拠)

リージョンコード	DVD :#2 BD :Region A
再生可能なディスク	●BD-RE(25 GB:片面1層) ●BD-RE(50 GB:片面2層) ●BD-RE(100 GB:片面3層) ●BD-R(25 GB:片面1層) ●BD-R(50 GB:片面2層) ●BD-R(100 GB:片面3層) ●BD-R(128 GB:片面4層※4) ●BD-Video (Blu-ray 3D、BD-Live 対応) ●DVD-RAM※5: DVDビデオレコーディング規格準拠、 AVCHD 規格準拠、 AVCREC 規格準拠 ●DVD-R、DVD-R DL(片面2層): DVDビデオ規格準拠※6、 DVDビデオレコーディング規格準拠、 AVCHD 規格準拠※6、 AVCREC 規格準拠※6 ●DVD-RW: DVDビデオ規格準拠※6、 DVDビデオレコーディング規格準拠、 AVCHD 規格準拠※6 ●+R、+R DL(片面2層)、+RW: DVDビデオ規格準拠※6、 AVCHD 規格準拠※6 ●DVD-Video:DVDビデオ規格準拠 ●CD-Audio(CD-DA) ●CD-R/CD-RW: CD-DA、JPEGフォーマット記録ディスク

※1 FS − 18 dB 時(ARIB 標準規格)
※2 JEITA CP-1212 準拠
※3 8 cm ブルーレイディスク、8 cm DVD ディスクへは記録できません。
※4 2011年2月現在、BD-R(128 GB:片面4層)は発売されていません。
※5 カートリッジ付きはディスクをカートリッジから取り出してお使いください。
※6 他機器で記録されたディスクは、記録された機器でファイナライズが必要です。

SD部

スロット	SDメモリーカード
対応カード	SDメモリーカード※7※8※9
対応フォーマット	SDカード: FAT12/FAT16 SDHCカード: FAT32 SDXCカード: exFAT

USB部

バージョン	ハイスピードUSB(USB2.0準拠)
対応フォーマット	FAT12、FAT16、FAT32

写真

画像ファイル形式	●JPEGベースライン形式
画素数	34×34～8192×8192 サブサンプリング:4:2:2、4:2:0
解凍時間※10	約2秒(1010万画素)
記録/再生可能メディア	HDD、BD-RE、DVD-RAM、SDカード
再生のみ可能メディア	BD-R、DVD-R、DVD-R DL、DVD-RW、+R、+R DL、+RW、CD-R/CD-RW、USB
ファイル方式	●JPEG: ベースライン方式(DCF準拠) ・ファイル名の拡張子に「jpg」、「JPG」と書かれたファイル(半角英数字のみ) ・MOTION JPEG非対応 ●MPO: マルチピクチャーフォーマット(MPF準拠) ・ファイル名の拡張子に「mpo」、「MPO」と書かれたファイル(半角英数字のみ)
フォルダ数	BD-RE、BD-R、DVD-RAM、DVD-R、DVD-R DL、DVD-RW、+R、+R DL、+RW、CD-R/CD-RW、SDカード、USB:最大500※11
ファイル数	HDD :最大20000 BD-RE、BD-R、DVD-RAM、DVD-R、DVD-R DL、DVD-RW、+R、+R DL、+RW、CD-R/CD-RW、SDカード、USB:最大10000※12
CD/DVD-R/DVD-R DL/DVD-RW/+R/+R DL/+RW	●ISO9660 level1と2(拡張フォーマットは除く)、Joliet対応 ●マルチセッション対応 ●パケットライト方式非対応

DCF準拠(デジタルカメラなどで記録したもの)したフォーマットが使用できます。

DCF:Design rule for Camera File system[電子情報技術産業協会(JEITA)にて制定された統一規格]

MPEG-2 動画

ファイル形式	SD VIDEO規格準拠
圧縮方式	MPEG-2

AVCHD 動画

ファイル形式	AVCHD規格準拠
圧縮方式	MPEG-4 AVC/H.264

持ち出し動画

ファイル形式/画質	SD VIDEO 規格（ISDB-T Mobile Video Profile) 準拠 / 320 × 180 15 fps（412 kbps） SD VIDEO 規格（H.264 Mobile Video Profile) 準拠 / 640 × 360 30 fps（1.5 Mbps、1.0 Mbps）
圧縮方式	MPEG-4 AVC/H.264

ブラウザ仕様

記述言語	HTML4.0 準拠
スタイルシート規格	CSS 1 /CSS2（Subset）
動作記述言語	JavaScript 1.5/ECMAScript(ECMA-262)
セキュア通信	SSL2.0/SSL3.0/TLS1.0
Cookie	バージョン 0
モノメディア（写真）	JPEG、PNG、GIF
プラグイン	なし
文字入力	携帯電話（リモコン）方式
画面解像度	800 × 450
カラーモデル	フルカラー

※7　使用可能容量は少なくなることがあります。

※8　SDHCメモリーカード、SDXC メモリーカードを含む。

※9　miniタイプ、microタイプのSDカードを含む。（専用のアダプター装着時）

※10　解凍時間は使用環境（ファイル数･圧縮率など）によって多少長くなることがあります。

※11　最大フォルダ数：ディスク 1 枚に対し、本機で対応している最大フォルダ数（ルートもフォルダとして数える）

※12　最大ファイル数：ディスク1枚に対し、本機で対応している最大ファイル数（JPEG と MPO のファイル合計）

AACS による制限について

AACS（ブルーレイディスクの著作権保護技術）の運用ルールの制限により、本機を含む 2011 年 1 月以降に生産開始した機種では、再生する番組やディスクによっては、D 端子からハイビジョン映像で出力されない場合があります。

再生する番組、ディスク	ハイビジョン出力
市販の BD ビデオ	× [D1(480i)で出力]
BD-RE、BD-R に記録した番組	× [D1(480i)で出力]
AVCREC方式のDVDディスクに記録した番組	× [D1(480i)で出力]
HDD に記録した番組	○ （BDディスクからダビングした番組は D1 出力になります）

必要なとき

録画モードと記録時間の目安

録画モード				内蔵HDD (500 GB)	BD-R 25 GB (片面１層)	BD-R 50 GB (片面２層)	BD-R 100 GB (片面３層)	BD-R 128 GB (片面４層)※13
放送画質	DR	BSデジタル	HD放送 (≦24 Mbps)	約 45 時間	約２時間 10 分	約４時間 20 分	約８時間 40 分	約 11 時間 10 分
			SD放送 (≦12 Mbps)	約 90 時間	約４時間 20 分	約８時間 40 分	約 17 時間 20 分	約 22 時間 20 分
		地上デジタル	HD放送 (≦17 Mbps)	約 63 時間	約３時間	約６時間	約 12 時間	約 15 時間 30 分
		CATVデジタル	HD放送 (≦14 Mbps)	約 77時間	約３時間 40 分	約７時間 20 分	約 14 時間 40 分	約 18 時間 40 分
			SD放送 (≦6 Mbps)	約 180 時間	約８時間 40 分	約 17 時間 20 分	約 34 時間 40 分	約 44 時間 20 分
ハイビジョン画質	HG			約 80 時間	約４時間	約８時間	約 16 時間	約 20 時間 30 分
	HX			約 126 時間	約６時間	約 12 時間	約 24 時間	約 30 時間 50 分
	HE			約 189 時間	約９時間	約 18 時間	約 36 時間	約 46 時間 10 分
	HL			約 252 時間	約 12 時間	約 24時間	約 48時間	約 62時間
	HM			約 360 時間	約 17 時間 20 分	約 35 時間	約 70 時間	約 90 時間
	HZ			約 675 時間	約 32 時間 30 分	約 65 時間	約 130 時間	約 167 時間 30 分
標準画質	XP			約 110 時間	約５時間 15 分	約 10 時間 30 分	約 21 時間	約 27 時間
	SP			約222時間	約 10 時間 30 分	約 21 時間	約 42時間	約 54時間
	LP			約442時間	約 21 時間	約 42時間	約 84時間	約 107 時間 40 分
	EP			約887時間 (約 665 時間)	約42 時間 (約31時間 30分)	約84 時間 (約63 時間)	約 168 時間 (約 126 時間)	約215時間 10分 (約161時間 30分)

お知らせ

- HDD 持ち出し番組や写真を記録している場合、「ドアホン・センサーカメラ接続」(➜159)を「入」にすると、記録できる時間は少なくなります。
- HZ モードでの録画では、録画する番組がサラウンド音声やマルチ音声の場合、実際に録画できる時間が残量表示よりも短くなることがあります。残量に余裕がある状態(録画される時間の 1.3 倍以上の残量がある状態)で録画することをおすすめします。
- EPモードは「 EP 時の記録時間」(➜153)の設定で時間は異なります。[()内の時間は EP(6 時間)のとき]
  - ・「6 時間」の方が高音質です。
  - ・RAM(VR) 他の機器で再生する可能性のあるときは、EP(6 時間)モードで記録してください。
- 表の数値は目安です。HDD の実際の残量は **[サブ メニュー]** を押して「録画モード」を選んで確認することができます。**(➜27)**
  記録する内容によっては変化することがあります。
- DRモード以外で録画する場合、映像の情報量に合わせてデータの記録量を変化させる方式(可変ビットレート方式:VBR)を採用しているため、残量表示と実際に記録できる時間が異なることがあります。(HDD BD-RE BD-R RAM(AVCREC) -R(AVCREC) では、特にその差が著しくなります)
- DR モードの録画時間は放送(転送レート)によって異なります。本機の残量表示は、地上デジタル放送を 17 Mbps、BS デジタル放送を 24 Mbps、CATV デジタル放送を 14 Mbps で録画したものとして計算されています。そのため、残量表示と実際の残量は異なる場合があります。
- 情報量の少ない(ビットレートの低い)番組を高画質の録画モードで長時間記録すると、ディスク容量いっぱいに記録することができない場合があります。

録画モード ＼ ディスク				BD-RE		
				25 GB （片面１層）	50 GB （片面2層）	100 GB （片面３層）
放送画質	DR	BSデジタル	HD放送 （≦24 Mbps）	約２時間 10 分	約４時間 20 分	約８時間 40 分
放送画質	DR	BSデジタル	SD放送 （≦12 Mbps）	約４時間 20 分	約８時間 40 分	約 17 時間 20 分
放送画質	DR	地上デジタル	HD放送 （≦17 Mbps）	約３時間	約６時間	約 12 時間
放送画質	DR	CATVデジタル	HD放送 （≦14 Mbps）	約３時間 40 分	約７時間 20 分	約 14 時間 40 分
放送画質	DR	CATVデジタル	SD放送 （≦6 Mbps）	約８時間 40 分	約 17 時間 20 分	約 34 時間 40 分
ハイビジョン画質	HG			約４時間	約８時間	約 16 時間
ハイビジョン画質	HX			約６時間	約 12 時間	約 24 時間
ハイビジョン画質	HE			約９時間	約 18 時間	約 36 時間
ハイビジョン画質	HL			約 12 時間	約 24時間	約 48時間
ハイビジョン画質	HM			約 17 時間 20 分	約 35 時間	約 70 時間
ハイビジョン画質	HZ			約 32 時間 30 分	約 65 時間	約 130 時間
標準画質	XP			約５時間 15 分	約 10 時間 30 分	約 21 時間
標準画質	SP			約 10 時間 30 分	約 21 時間	約 42時間
標準画質	LP			約 21 時間	約 42時間	約 84時間
標準画質	EP			約42 時間 （約31時間 30 分）	約84 時間 （約63 時間）	約168 時間 （約126 時間）

※ 13　2011 年２月現在、BD-R（128 GB: 片面４層）は発売されていません。

録画モード ＼ ディスク		DVD-RAM		DVD-R （4.7 GB）	DVD-R DL （8.5 GB） （片面2層）	DVD-RW （4.7 GB）
		4.7 GB（片面）	9.4 GB（両面）			
ハイビジョン画質	HG	約 42 分	約１時間 24 分	約 42 分	約１時間 20 分	—
ハイビジョン画質	HX	約１時間５分	約２時間 10 分	約１時間５分	約２時間	—
ハイビジョン画質	HE	約１時間 40 分	約３時間 20 分	約１時間 40 分	約３時間	—
ハイビジョン画質	HL	約２時間 10 分	約４時間 20 分	約２時間 10 分	約4時間 10 分	—
ハイビジョン画質	HM	約３時間 15 分	約６時間 30 分	約３時間 15 分	約６時間	—
ハイビジョン画質	HZ	約6時間	約 12時間	約6時間	約11時間15分	—
標準画質	XP	約1時間	約2時間	約1時間	約1時間45分	約1時間
標準画質	SP	約2時間	約4時間	約2時間	約3時間35分	約2時間
標準画質	LP	約4時間	約8時間	約4時間	約7時間10分	約4時間
標準画質	EP	約8時間 （約6時間）	約16時間 （約12時間）	約8時間 （約6時間）	約14時間20分 （約10時間45分）	約8時間 （約6時間）

予約可能番組数

128(予約可能期間 : 1 年間)

持ち出し番組の記録可能時間の目安

画質 / SD カード	ワンセグ (412 kbps)	VGA(1.0 Mbps)	VGA(1.5 Mbps)
128 MB	約 41 分	約 14 分	約 10 分
256 MB	約 1 時間 20 分	約 29 分	約 20 分
512 MB	約 2 時間 39 分	約 58 分	約 40 分
1 GB	約 5 時間 20 分	約 1 時間 56 分	約 1 時間 20 分
2 GB	約 10 時間 51 分	約 3 時間 57 分	約 2 時間 44 分
4 GB	約 21 時間 19 分	約 7 時間 46 分	約 5 時間 23 分
8 GB	約 43 時間 24 分	約 15 時間 50 分	約 10 時間 58 分
16 GB	約 87 時間 20 分	約 31 時間 52 分	約 22 時間 5 分
32 GB	約 175 時間 12 分	約 63 時間 57 分	約 44 時間 19 分
48 GB	約 257 時間 32 分	約 94 時間	約 65 時間 9 分
64 GB	約 349 時間 28 分	約 127 時間 34 分	約 88 時間 24 分

本機では、情報量の多い番組を想定して記録可能時間を算出しています。そのため、情報量の少ない番組を記録する場合、記録可能時間は上記の目安よりも長くなります。

●**最大番組数 :99** [ハイビジョン動画(AVCHD)以外の動画を含む]

記録できる最大番組数

(使い方によっては、記録できる番組数は少なくなります)

● **HDD** : 3000(持ち出し番組を含む)(長時間連続して記録すると、8時間ごとの番組に分けて記録されます)
● **BD-RE** **BD-R** **RAM(AVCREC)** **-R(AVCREC)** : 200
● **RAM(VR)** **-R(VR)** **-R(V)** **-RW(VR)** **-RW(V)** : 99

最大チャプターマーク数

(記録状態により異なります。自動的に作成されるチャプターマークを含む)

● **HDD** :
1 番組あたり約 999 個

● **BD-RE**※14 **BD-R**※14
RAM **-R(AVCREC)** **-R(VR)** **-RW(VR)** :
ディスクあたり約 999 個
※ 14　BDXL は約 20000 個

● **BD-RE** **BD-R** **RAM(AVCREC)** **-R(AVCREC)** :
1 番組あたり約 100 個

放送やネットワークのサービス事業者が提供する以下のサービス内容は、サービス提供会社の都合により、予告なく変更や終了することがあります。サービスの変更や終了にかかわるいかなる損害、損失に対しても当社およびご加入のケーブルテレビ局は責任を負いません。

- ●ブラウザなどのインターネットサービス
- ●番組表表示や、1ヵ月の番組表、注目番組などの電子番組表サービス
- ●ブロードバンドレシーバー機能
- ●その他の放送･ネットワーク事業者が提供するサービス

本製品は以下の種類のソフトウェアから構成されています。

(1) パナソニック株式会社(パナソニック)が独自に開発したソフトウェア
(2) 第三者が保有しており、別途規定される条件に基づきパナソニックに利用許諾されるソフトウェア
(3) GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2 (GPL v2) に基づき利用許諾されるソフトウェア
(4) GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1(LGPL v2.1) に基づき利用許諾されるソフトウェア
(5) GPL,LGPL 以外の条件に基づき利用許諾されるオープンソースソフトウェア

上記(3)、(4)に基づくソフトウェアに関しては、例えば以下で開示される GNU GENERAL PUBLIC LICENSE V2.0, GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE V2.1 の条件をご参照ください。
http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html
http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/lgpl-2.1.html
また、上記 (3)、(4) に基づくソフトウェアは、多くの人々により著作されています。これら著作者のリストは以下をご参照ください。
http://www.am-linux.jp/dl/bdt910

これら GPL,LGPL の条件で利用許諾されるソフトウェア(GPL/LGPL ソフトウェア)は、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての黙示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。

製品販売後、少なくとも３年間、パナソニックは下記のコンタクト情報宛にコンタクトしてきた個人･団体に対し、GPL/LGPL の利用許諾条件の下、実費にて、GPL/LGPL ソフトウェアに対応する、機械により読み取り可能な完全なソースコードを頒布します。

コンタクト情報
cdrequest@am-linux.jp

またソースコードは下記の URL からも自由に入手できます。
http://www.am-linux.jp/dl/bdt910

(5) には以下が含まれます。

1. This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit.
   (http://www.openssl.org/)
2. This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
3. FreeType code.
4. The Independent JPEG Group's JPEG software.

This product incorporates the following software:

(1) the software developed independently by or for Panasonic Corporation,
(2) the software owned by third party and licensed to Panasonic Corporation,
(3) the software licensed under the GNU General Public License, Version 2 (GPL v2),
(4) the software licensed under the GNU LESSER General Public License, Version 2.1 (LGPL v2.1) and/or,
(5) open sourced software other than the software licensed under the GPL v2 and/or LGPL v2.1

For the software categorized as (3) and (4), please refer to the terms and conditions of GPL v2 and LGPL v2.1, as the case may be at
http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/gpl-2.0.html and
http://www.gnu.org/licenses/old-licenses/lgpl-2.1.html.
In addition, the software categorized as (3) and (4) are copyrighted by several individuals. Please refer to the copyright notice of those individuals at
http://www.am-linux.jp/dl/bdt910

The GPL/LGPL software is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY, without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE.

At least three (3) years from delivery of products, Panasonic will give to any third party who contacts us at the contact information provided below, for a charge no more than our cost of physically performing source code distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code covered under GPL v2/LGPL v2.1.

Contact Information
cdrequest@am-linux.jp

Source code is also freely available to you and any other member of the public via our website below.
http://www.am-linux.jp/dl/bdt910

For the software categorized as (5) includes as follows.

1. This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit.
   (http://www.openssl.org/)
2. This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
3. FreeType code.
4. The Independent JPEG Group's JPEG software.

●著作物を無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
●この製品は、著作権保護技術を採用しており、ロヴィ社が所有する米国およびその他の国における特許技術と知的財産権によって保護されています。分解したり、改造することも禁じられています。
●ロヴィ、Rovi、G ガイド、G-GUIDE、および G ガイドロゴは、米国 Rovi Corporation および／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。
G ガイドは、米国 Rovi Corporation および／またはその関連会社のライセンスに基づいて生産しております。
米国 Rovi Corporation およびその関連会社は、G ガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。また、G ガイドに関連する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
●電子番組表の表示機能に G ガイドを採用していますが、当社が G ガイドの電子番組表サービスを保証するものではありません。
●天災、システム障害、放送局側の都合による変更などの事由により、電子番組表サービスが使用できない場合があります。当社は電子番組表サービスの使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
●ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
●米国特許番号：5,451,942; 5,956,674; 5,974,380; 5,978,762; 6,226,616; 6,487,535; 7,392,195; 7,272,567; 7,333,929; 7,212,872 及び、その他米国や世界各国に出願し権利を保有する特許に基づき製造されています。
DTS とそのシンボルマークは、DTS, Inc. の登録商標です。
DTS-HD、DTS-HD Master Audio ｜ Essential 及び DTS のロゴは、DTS, Inc. の商標です。「製品」にはソフトウェアも含みます。 © DTS, Inc. 不許複製。
●SDXCロゴは SD-3C, LLC の商標です。
●i.LINKとi.LINKロゴ“ ”は商標です。
●DLNA, the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.
●HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、米国およびその他の国における HDMI Licensing LLC の商標または、登録商標です。
●JavaおよびすべてのJava関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。
●HDAVI Control™ は商標です。
● マーク、 および「acTVila」、「アクトビラ」は、（株）アクトビラの商標または登録商標です。
●AOSS™ は株式会社バッファローの商標です。
●e-move™及びe-moveロゴはパナソニック株式会社の商標です。
●日本語変換はオムロンソフトウエア（株）のモバイルWnnを使用しています。
“Mobile Wnn” © OMRON SOFTWARE Co.,Ltd. 1999-2002 All Rights Reserved
●富士通株式会社のInspirium音声合成ライブラリを使用しています。
Inspirium 音声合成ライブラリ Copyright FUJITSU LIMITED 2011
●“AVCHD”および“AVCHD”ロゴはパナソニック株式会社とソニー株式会社の商標です。
●“DVD Logo”はDVDフォーマットロゴライセンシング株式会社の商標です。
●CP8 PATENT
●本製品は、AVC Patent Portfolio License 及び VC-1 Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされておりません。
・AVC 規格及び VC-1 規格に準拠する動画（以下、AVC/VC-1 ビデオ）を記録する場合
・個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録された AVC/VC-1 ビデオを再生する場合
・ライセンスを受けた提供者から入手された AVC/VC-1 ビデオを再生する場合
詳細については米国法人 MPEG LA, LLC
（http://www.mpegla.com）をご参照ください。
●Copyright 2004-2010 Verance Corporation. Cinavia™は Verance Corporation の商標です。米国特許第 7,369,677 号および Verance Corporation よりライセンスを受けて交付されたまたは申請中の全世界の特許権により保護されています。すべての権利は Verance Corporation が保有します。
●本機がテレビ画面に表示する平成丸ゴシック体は、財団法人日本規格協会を中心に制作グループが共同開発したものです。許可なく複製することはできません。
●この製品に使用されているソフトウェアに関する情報は、
[操作一覧]ボタンを押し、“その他の機能へ”→“メール／情報”→“ステータス表示”→“ソフト情報表示”をご参照ください。
●この取扱説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の登録商標または商標です。
●本機は ARIB（電波産業会）規格、日本 CATV 技術協会標準規格および日本ケーブルラボ仕様に基いた商品仕様になっております。将来規格および仕様に変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。
●あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。
なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

安全上のご注意(必ずお守りください)

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

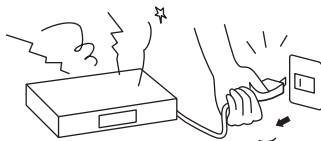
	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。
	気をつけていただく内容です。

警告

異常・故障について

異常・故障時は直ちに使用を中止してください

■ 異常があったときは電源プラグを抜いてください

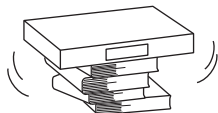
電源プラグを抜く

・煙が出たり、異常な臭いや音がする
・映像や音声が出ないことがある
・内部に水などの液体や異物が入った
・本機に変形や破損した部分がある

そのまま使用すると火災・感電の原因になります。

● すぐに電源プラグをコンセントから抜いてケーブルテレビ局に修理をご相談ください。
● お客様による修理は危険ですから、おやめください。

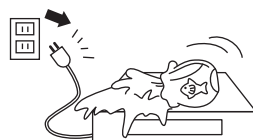
⚠ 警告

設置について

■ 不安定な場所に置かないでください

倒れたり、落ちたりしてけがの原因になります。

水ぬれについて

■ 上に花びん、コップなどを置かないでください

水ぬれ禁止

火災・感電の原因になります。

雷について

■ 雷が鳴りだしたときは、機器やケーブルには触れないでください

接触禁止

感電の原因になります。

誤飲防止について

■ メモリーカード類は、乳幼児の手の届く所に置かないでください

誤って飲み込むおそれがあります。

● 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

分解禁止について

■ カバーを外したり、本機を改造しないでください

分解禁止

火災・感電の原因になります。

● 内部の点検・調整・修理はケーブルテレビ局にご相談ください。

異物について

■ 内部に金属類・燃えやすいものなどの異物を入れないでください

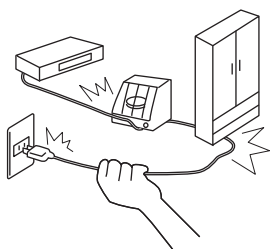
火災・感電の原因になります。

● 特にお子様にはご注意ください。

⚠ 警告

電源コード・電源プラグについて

■ 破損するようなことはしないでください

（傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねる など）

火災・感電・ショートなどの原因になります。
● 修理は、ケーブルテレビ局にご相談ください。

■ 交流100 V以外で使用しないでください
■ コンセント・配線器具の定格を超えて使わないでください
■ たこ足配線などをしないでください

発熱による火災の原因になります。

■ ぬれた手で、電源プラグの抜き差しをしないでください

ぬれ手禁止

感電の原因になります。

■ 電源プラグのほこりなどは定期的に取り除いてください

ほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり火災の原因になります。
● 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

■ 電源プラグは根元まで確実に差し込んでください

差し込みが不完全ですと、火災・感電の原因になります。

■ 電源コードは本機に付属のもの以外は使用しないでください

火災や感電の原因になります。

■ 傷んだ電源プラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください

火災・感電・ショートなどの原因になります。
● 修理は、ケーブルテレビ局にご相談ください。

⚠ 注意

本機の取り扱いについて

■ 乗らないでください

倒れたり、こわれたりしてけがの原因になることがあります。

■ 上に物を置かないでください

落下してけがの原因になることがあります。

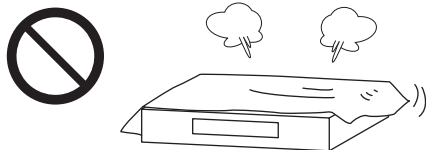
■ 接続ケーブルを無理に曲げたり、引っぱったり、ねじったりしないでください

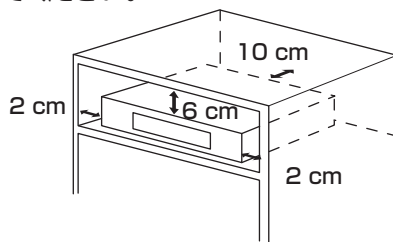
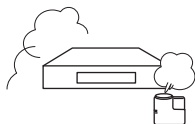
火災・感電の原因になることがあります。

■ 接続ケーブルを壁面に挟んだり、足を引っかけたりしないように処理を行ってください

火災・感電・けがの原因になることがあります。

設置について

■ 通風孔をふさがないでください
■ 風通しの悪い狭い所で使用しないでください
■ あお向けや、横倒し、逆さまにして使用しないでください

内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

● テレビ台などに設置した場合、上側が6 cm以上、左右が2 cm以上、後側が10 cm以上の間隔をあけて据えつけてください。

■ 湿気やほこりの多い所、油煙や湯気が当たるような所(調理台や加湿器のそばなど)に置かないでください

火災・感電の原因になることがあります。

⚠ 注意

電源プラグについて

■ 長期間使用しないときはコンセントから抜いてください

電源プラグを抜く

電源プラグにほこりがたまり火災・感電の原因になることがあります。

■ 電源プラグを持って抜いてください

電源コードを引っぱると破損し、火災・感電・ショートの原因になることがあります。

電池の取り扱いについて

■ 新しい電池と古い電池を混ぜたり、指定以外の電池を使用しないでください

間違えると電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因になることがあります。

■ 極性(プラス⊕とマイナス⊖)を逆に入れないでください

間違えると電池の破裂、液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因になることがあります。
挿入指示通り正しく入れてください。
(13ページ参照)

移動について

■ 移動させる前に接続線などをはずしてください
(電源プラグ、ケーブル宅内線、機器間の接続線)

電源コードや本機が損傷し、火災・感電の原因になることがあります。

お手入れについて

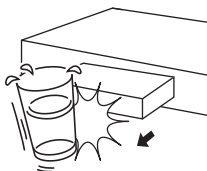
■ お手入れの前に、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください

電源プラグを抜く

感電の原因になることがあります。

⚠ 注意

ディスクトレイについて

■ 機器の前にものを置かないでください

リモコンの開/閉ボタンを押すと、離れた場所からディスクトレイを開くことができますが、開いたときに、ものに当たって倒れるなどで破損やけがの原因になることがあります。

- ガラス扉付きラックなどに入れてご使用の場合は、不用意に扉が開くことがあります。
- リモコンの開/閉ボタンを押すと、本機以外の当社製機器のディスクトレイも開くことがあります。
- 誤ってリモコンの開/閉ボタンを押さないようご注意ください。

■ ディスクトレイに指をはさまないように注意してください

指はさみ注意

けがの原因になることがあります。

- 特にお子様にはご注意ください。

⚠ 注意

3D映像の視聴について

■ 光過敏の既往症のある人、心臓に疾患のある人、体調不良の人は3D映像を視聴しない

病状悪化の原因になることがあります。

■ 3D映画などを視聴する場合は1作品の視聴を目安に適度に休憩をとる

長時間の視聴による視覚疲労の原因になることがあります。

■ 3D映像の視聴年齢については、およそ5～6歳以上を目安にする

お子様の場合は、疲労や不快感などに対する反応がわかりにくいため、急に体調が悪くなることがあります。

- お子様が視聴の際は、保護者の方が目の疲れがないか、ご注意ください。

■ 3D映像を視聴中に疲労感、不快感など異常を感じた場合には、視聴を中止する

そのまま視聴すると体調不良の原因になることがあります。

- 適度な休憩をとってください。
- 3D映像の見えかたには個人差がありますので、「3D画面モード」で効果を設定する場合には特にご注意ください。

さくいん

英数字　ページ

■ AVCHD
再生する……51
取り込む……86
■ AVCREC 方式……16
■ B-CASカード /C-CAS カード
挿入する……131
テストする……136
番号を見る……148
■ BD-Live……60
BD-Live インターネット接続……153
■ DNS-IP 自動取得……159
■ DR モード……46
■ DVおまかせ取込……88
■ D映像端子
出力解像度を設定する
（「D端子出力解像度」）……157
■ ECO スタンバイ……156
■ e-move……60
■ EP時の記録時間（6時間 /8時間）……153
■ FR（フレキシブルレコーディング）……46
■ HDD
取り扱い……170
フォーマット……154
■ HDMI
HDMI 映像優先モード……137
HDMI 音声出力……137
アンプと接続……125
設定する（「HDMI接続」）……157
テレビと接続……122
■ i.LINK
i.LINK 機器モード設定……158
i.LINK 再生……90
i.LINK（TS）対応機器とのダビング……83
設定する……158
■ IP アドレス /DNS 設定……159
■ MPEG2
ダビングする……87
■ SDカード……167
MPEG2動画のダビング……87
入れかた/出しかた……15
撮影ビデオ（AVCHD）を取込……86
撮影ビデオ（AVCHD）を見る……51
写真の再生……91
写真の取り込み……94
フォーマット……118
プロテクト（書き込み禁止）……167
持ち出し番組の転送……99
■ U30（本体表示窓）……175
■ USB 機器……168
MPEG2動画のダビング……87
撮影ビデオ（AVCHD）を取込……86
写真の再生……91
写真の取り込み……94
接続する……168
持ち出し番組の転送……99
■ VR 方式（DVDビデオレコーディング規格）……16
■ XP 時の記録音声モード……155
■ 15 秒戻し……56
■ 24p 出力……157
■ 30秒送り……56
■ 3D
3D 奥行きコントローラー……59
3D 再生時の注意表示……156
3D ディスクの再生方法……153
3D 方式設定……156
再生する（映像）……58
再生する（写真）……91

あ 行　ページ

■ **アクトビラ**
ダウンロードする 106
■ **暗証番号**
BD-Video の視聴可能年齢を設定する 153
DVD-Video の視聴制限を設定する 153
番組の視聴制限を設定する 150
■ **アンプと接続する** 125
■ **枝番号 26**
■ **オートサウンド連携 115**
■ **お好み選局 22**
■ **追っかけ再生 28**
■ **お手入れ 169**
■ **お部屋ジャンプリンク(DLNA)**
設定する 144
操作する 108
■ **音楽**
再生する(CD) 96
■ **音質効果 64**
■ **音声**
DV入力から録画する
(「DV入力時の音声設定」) 155
LPCMで記録する
(「XP時の記録音声モード」) 155
音声言語を切り換える(音声情報) 62
音声効果を設定する 64
音声を切り換える(再生時) 57
音声を切り換える(受信時) 25
記録する音声(主/副)を選ぶ
(「二重放送音声記録」) 155
■ **音声ガイド**
設定する(「音声ガイドの設定」) 152

か 行　ページ

■ **画質の選択 (再生時) 63**
■ **画面モード切換 24**
■ **かんたんダビング 72**
■ **かんたん転送 99**
■ **機器パスワード初期化 159**
■ **記録方式 16**
■ **クイックスタート 152**
■ **高速ダビング**
高速ダビング速度 154
高速ダビング用録画 153
■ **購入記録 147**
■ **個人情報リセット 151**
■ **コマ送り/コマ戻し 56**

必要なとき

さ 行 ページ

■ **サーチ** **56**
■ **再生する**
BD ビデオ、DVD ビデオ
(市販またはレンタル) 50
音楽(CD) 96
写真 91
スライドショー 92
ドアホン･センサーカメラ映像 102
ハイビジョン動画(AVCHD) 51
番組 50
プレイリスト 61
■ **再生設定** **62**
■ **再生中番組の保存** **78**
■ **撮影ビデオ(AVCHD)を取込** **86**
■ **サブメニュー**
かんたんダビング 73
写真一覧 93
番組表 34
持ち出し番組一覧 100
録画一覧(再生) 54
録画一覧(編集) 65
■ **時間指定予約** **40**
■ **視聴制限**
BDビデオの視聴可能年齢を設定する 153
DVDビデオの視聴制限を設定する 153
番組の視聴制限を設定する 150
■ **自動CM早送り** **63**
■ **自動更新録画** **43**
■ **字幕**
切り換える(再生時) 62
切り換える(受信時) 26
字幕情報 62
字幕の設定 150
録画モードによる記録の違い 46
■ **写真**
書き出す 95
かんたん取込 94
再生する 91
スライドショー 92
整理する 93
取り込む 94
プロテクト 93
■ **仕様** **197**
■ **消去する**
写真 93
全写真消去(HDD) 154
全番組消去(HDD) 154
全番組消去(ブルーレイディスク、DVD) 120
番組 70
持ち出し番組 100
■ **詳細ダビング**
MPEG2動画をダビングする 87
番組をダビングする 74
ファイナライズ後のディスク
(DVDビデオ)をダビングする 76
■ **初期設定** **152**
初期化する(初期設定リセット) 153
■ **信号切換**
再生時 62
放送受信時 26
■ **信号設定** **39**
■ **新番組おまかせ録画** **37**
■ **スキップ** **56**
■ **スロー再生** **56**
■ **設置設定** **133**
■ **選局対象** **150**
■ **操作一覧** **189**
■ **操作状態の表示(情報表示)**
再生時 57
受信時 24

た 行

ページ

■ **代替録画** **43**
■ **タイムワープ** **57**
■ **ダウンロード**
ソフトウェア更新 162
番組のダウンロード 106
■ **ダウンミックス** **155**
■ **他機器での再生について** **19**
■ **他の BD機器再生(ファイナライズ)** **121**
■ **他のDVD機器再生(ファイナライズ)** **121**
■ **ダビング**
i.LINK(TS)対応機器 83
MPEG2動画 87
かんたんダビング 72
再生中番組の保存 78
詳細ダビング 74
ビデオカメラから 85
ファイナライズ後のディスク
(DVDビデオ)(詳細ダビング) 76
■ **チャプター** **68**
再生·編集する 69
自動チャプター 154
■ **チャプターマーク** **68**
■ **チャンネル設定** **133**
■ **重複について** **44**
■ **通信による G ガイド受信** **149**
■ **続き再生メモリー機能** **56**
■ **ディスク**
記録できるディスク 16
再生のみできるディスク 166
ディスクの選びかた 18
ディスクの再生方法(再生設定) 62
ディスクのメニュー画面 50
名前を付ける 120
フォーマット 118
プロテクト 120
■ **データ放送** **22**
■ **テレビでネット** **107**
■ **ドアホン·センサーカメラ録画**
再生する 102
接続する 127
設定する
(ドアホン·センサーカメラの接続設定) 146
■ **同時録画再生** **28**
■ **同時録画について** **45**

な 行

ページ

■ **名前を付ける**
アルバム(写真) 93
イベント(写真) 93
ディスク 120
番組 65
予約録画 40
■ **二重放送**
音声の記録について 49
記録する音声(主/副)を選ぶ
(「二重放送音声記録」) 155
■ **ネットワーク**
接続する 127
設定する 142

必要なとき

さくいん(つづき)

は　行

ページ

■ ハイビジョン画質......46
■ ハイビジョン動画(AVCHD)
再生する......51
取り込む......86
■ バックアップ
ドアホン･センサーカメラ......103
■ 早送り・早戻し(サーチ)......56
■ 早見再生(1.3倍速)......56
■ 番組
再生する......50
消去する......70
名前を付ける......65
プロテクト......65
編集する......65
■ 番組追従機能......43
■ 番組表
枝番号表示を非表示にする(選局対象)......150
画面の見かた......32
検索(フリーワード、ジャンル)......36
設定を確認する......149
表示を変更する......33
表示チャンネル数を変更する......34
予約録画する......30
■ 番組分割......66
■ 番組持ち出し......97
■ ビエラリンク (HDMI)
HDMIケーブルで接続する(アンプ)......125
HDMIケーブルで接続する(テレビ)......122
操作する......114
ビエラリンク制御......156
■ ぴったり録画......29
■ ビデオ方式(DVDビデオ規格)......16
■ 標準画質......46
■ ファイナライズ
他のBD/DVD機器再生(ファイナライズ)......121
■ フォーマット(初期化)......118
■ 部分消去......65
■ プレイリスト
再生する(番組)......61
■ ブロードバンドレシーバー
設定する......145
■ プロテクト(書き込み禁止)
SD カード......167
写真......93
ディスク......120
番組......65
■ 編集する
番組......65
■ 放送設定......149
■ 放送メール......147
■ ポップアップメニュー......50
■ 本体表示窓の明るさ......156

ま 行　ページ

■ **毎日･毎週予約 43**
設定する 38
毎日･毎週予約で録画した番組の再生
（まとめ番組の再生） 55
■ **マイラベル**
設定する（予約時） 39
設定する（録画一覧で） 66
■ **まとめ番組 55**
■ **無線 LAN**
接続する 129
設定する 143
■ **メール/情報 147**
■ **文字入力 111**
■ **持ち出し番組**
SD カードの記録時間の目安 204
SD カードを確認･消去 101
画質を変更する
（「持ち出し番組の VGA 画質」） 154
作成する（予約登録時） 98
作成する（録画後） 98
転送する 99

や 行　ページ

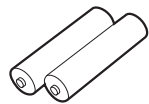
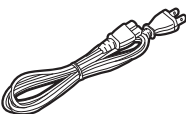
■ **野球延長対応（番組追従） 43**
■ **有料番組（ペイ･パー･ビュー） 23**
■ **予約確認 41**
■ **予約録画**
重複について 44
番組表を使って 30
予約内容の確認･取り消し･修正 41
録画日時を指定して（時間指定予約） 40

ら 行　ページ

■ **リージョンコード / リージョン番号 166**
■ **リピート再生 63**
■ **リ . マスター 64**
■ **リモコン**
各部のはたらき 14
他機器が同時に動作するのを防ぐ
（リモコンモード） 141
本機のリモコンでテレビを操作する 140
■ **リモコンモード 141**
■ **録画中に再生する**
（追っかけ再生/同時録画再生） 28
■ **録画中にできる操作 164**
■ **録画モード 46**
記録時間の目安 202
変換する 67

必要なとき

付属品を確認する

リモコン(1 個)

リモコン用乾電池(2 本)
単 3 形乾電池

電源コード(1 本)

お知らせ

- 付属品を紛失された場合は、ご加入のケーブルテレビ局にご相談ください。
- 包装材料は商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- イラストと実物の形状は異なっている場合があります。

本機の使用中、何らかの不具合により、正常に録画・編集ができなかった場合の内容の補償、録画・編集した内容(データ)の損失、および直接・間接の損害に対して、当社およびご加入のケーブルテレビ局は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。

本機を使用できるのは、日本国内のご加入されているケーブルテレビ局サービスエリア内のみで外国では放送方式、電源電圧が異なりますので使用できません。
This device can only be used inside Japan in areas that are covered by subscription cable TV services.
Because of differences in broadcast formats and power supply voltages, it cannot be used in overseas countries.

愛情点検　長年ご使用のデジタルセットトップボックスの点検を!

こんな症状はありませんか	
	● 映像も音も出ない。 ● 映像が時々消える。 ● 異常な臭いや音がする。 ● 水や異物が入った。

ご使用中止	
	故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ずご加入のケーブルテレビ局に点検をご相談ください。

便利メモ
おぼえのため記入されると便利です。

ご加入(契約)日	年　　月　　日	品　番	
ケーブルテレビ局および お客様相談室	電話 (　　　　　)　　　　–		
ID 番号 (148 ページ「IC カード」画面で確認できる「カード ID」と「CATV-ID の STB-ID」を記入してください。問い合わせのときに必要な場合があります。)		ID 番号	C-CAS カード(カード ID)
			B-CAS カード(カード ID)
			CATV-ID(STB-ID)

パナソニック株式会社　AVC ネットワークス社

〒 571 – 8504　大阪府門真市松生町 1 番 15 号

VQT3F51-3A
F0211EY3072(　　　　)